

浜松市高齢者保健福祉計画・  
介護保険事業計画策定に伴う実態調査  
調査結果報告書

令和5年3月  
浜松市

# 目次

---

## I 調査の概要

---

---

## II 調査結果（高齢者一般調査）

---

### あなたのご家族や生活状況について

---

（問 1） 家族構成.....	3
（問 2） 介護・介助の必要状況.....	7
（問 3） 現在の暮らしの経済的な状況.....	8

### からだを動かすことについて

---

（問 4） 階段昇り.....	10
（問 5） 椅子からの立ち上がり.....	11
（問 6） 続けての歩行.....	12
（問 7） 過去1年間の転倒経験.....	13
（問 8） 転倒に対する不安.....	14
（問 9） 外出頻度.....	15
（問10） 外出回数の昨年比.....	16

### 食べることについて

---

（問11） 身長・体重.....	17
（問12） 固いものの食べにくさ.....	19
（問13） 歯の数と入れ歯の利用状況.....	20
（問14） 食事をとにもする機会.....	21

### 毎日の生活について

---

（問15） 物忘れ.....	22
（問16） 外出時の移動手段.....	23
（問17） ひとりでの外出.....	27
（問18） 食品・日用品の買物.....	28
（問19） 食事の用意.....	29
（問20） 請求書の支払い.....	30
（問21） 預貯金の出し入れ.....	31
（問22） 生きがいの実感.....	32
（問23） インターネット環境.....	37
（問24） パソコン等の使用内容.....	41

## 地域での活動について

---

(問25①)	ボランティアのグループへの参加頻度	48
(問25②)	スポーツ関係のグループ やクラブへの参加頻度	49
(問25③)	趣味関係のグループへの参加頻度	50
(問25④)	学習・教養サークルへの参加頻度	51
(問25⑤)	介護予防のための通いの場への参加頻度	52
(問25⑥)	シニアクラブ・老人クラブへの参加頻度	53
(問25⑦)	町内会・自治会への参加頻度	54
(問25⑧)	収入のある仕事への参加頻度	55
(問26)	地域住民グループでの健康づくり・趣味活動等へ参加者として参加希望	56
(問27)	地域住民グループでの健康づくり・趣味活動等へ世話役として参加希望	57
(問28)	地域住民による支え合い活動の担い手としての参加希望	58
(問29)	地域住民による支え合い活動でご自身にできそうな活動	59
(問30)	地域住民による支え合い活動に参加しない理由	61
(問31)	地域住民による支え合い活動で利用したいサービス	63
(問32)	「ささえあいポイント事業」で行ってみたいボランティア活動	66

## あなたとまわりの人の「たすけあい」について

---

(問33)	心配ごとや愚痴(ぐち)を聞いてくれる人	68
(問34)	心配ごとや愚痴(ぐち)を聞いてあげる人	72
(問35)	看病や世話をしてくれる人	76
(問36)	看病や世話をしてあげる人	79

## 健康について

---

(問37)	現在の健康状態	82
(問38)	健康のために心がけていること	83
(問39)	健康について知りたいこと	86
(問40)	幸福度	89
(問41)	気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになることがあるか	91
(問42)	物事に興味がわかない、楽しめない感じがあるか	92
(問43)	喫煙の有無	93
(問44)	治療中・後遺症のある病気	94
(問45)	「フレイル」の認知度	99
(問46)	ロコモーショントレーニングの取組状況	101
(問47)	耳の聞こえについて	103
(問48)	補聴器の使用有無	105

## 今後の暮らしについて

---

(問49)	今後やってみたいこと	108
-------	------------	-----

(問50)	あなたはどこで介護を受けたいか	111
(問51)	家族をどのように介護したいか	113
(問52)	介護保険サービスの充実と費用負担	114
(問53)	地域包括支援センター（高齢者相談センター）の認知度	117
(問54)	認知症の有無	122
(問55)	認知症に関する相談窓口の認知度	123
(問56)	認知症等により判断能力が低下した場合に使える制度について	124
(問57)	ご自身の死期が迫ったときの世話や治療	126
(問58)	ご自身の死期が迫ったときの世話や治療の相談	128
(問59)	認知症カフェの認知度	130
(問60)	オレンジシール・オレンジメール事業の認知度	132
(問61)	高齢期を安心して快適に暮らすために重要な施策	134

#### 自由意見

(問62)	自由意見	192
-------	------	-----

### Ⅲ 調査結果（在宅要支援認定者調査）

#### ご本人のことについて

(問2)	家族構成	3
(問1)	調査の回答者	4

#### あなたのご家族や生活状況について

(問3)	介護・介助の必要状況	7
(問4)	現在の暮らしの経済的な状況	8

#### からだを動かすことについて

(問5)	階段昇り	10
(問6)	椅子からの立ち上がり	11
(問7)	続けての歩行	12
(問8)	過去1年間の転倒経験	13
(問9)	転倒に対する不安	14
(問10)	外出頻度	15
(問11)	外出回数の昨年比	16

#### 食べることについて

(問12)	身長・体重	17
(問13)	固いものの食べにくさ	19
(問14)	歯の数と入れ歯の利用状況	20
(問15)	食事をとにもする機会	21



## 毎日の生活について

---

( 問16 )	物忘れ.....	22
( 問17 )	外出時の移動手段.....	23
( 問18 )	ひとりでの外出.....	27
( 問19 )	食品・日用品の買物.....	28
( 問20 )	食事の用意.....	29
( 問21 )	請求書の支払い.....	30
( 問22 )	預貯金の出し入れ.....	31
( 問23 )	生きがいの実感.....	32
( 問24 )	インターネット環境.....	37
( 問25 )	パソコン等の使用内容.....	41

## 地域での活動について

---

( 問26① )	ボランティアのグループへの参加頻度.....	48
( 問26② )	スポーツ関係のグループ やクラブへの参加頻度.....	49
( 問26③ )	趣味関係のグループへの参加頻度.....	50
( 問26④ )	学習・教養サークルへの参加頻度.....	51
( 問26⑤ )	介護予防のための通いの場への参加頻度.....	52
( 問26⑥ )	シニアクラブ・老人クラブへの参加頻度.....	53
( 問26⑦ )	町内会・自治会への参加頻度.....	54
( 問26⑧ )	収入のある仕事への参加頻度.....	55
( 問27 )	地域住民グループでの健康づくり・趣味活動等へ参加者として参加希望... 56	
( 問28 )	地域住民グループでの健康づくり・趣味活動等へ世話役として参加希望... 57	
( 問29 )	地域住民による支え合い活動で利用したいサービス.....	63

## あなたとまわりの人の「たすけあい」について

---

( 問30 )	心配ごとや愚痴(ぐち)を聞いてくれる人.....	68
( 問31 )	心配ごとや愚痴(ぐち)を聞いてあげる人.....	72
( 問32 )	看病や世話をしてくれる人.....	76
( 問33 )	看病や世話をしてあげる人.....	79

## 健康について

---

( 問34 )	現在の健康状態.....	82
( 問35 )	健康のために心がけていること.....	83
( 問36 )	健康について知りたいこと.....	86
( 問37 )	幸福度.....	89
( 問38 )	気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになることがあるか.....	91
( 問39 )	物事に興味がわかない、楽しめない感じがあるか.....	92
( 問40 )	喫煙の有無.....	93

(問41)	治療中・後遺症のある病気.....	94
(問42)	「フレイル」の認知度.....	99
(問43)	ロコモーショントレーニングの取組状況.....	101
(問44)	耳の聞こえについて.....	103
(問45)	補聴器の使用有無.....	105

#### 今後の暮らしについて

(問46)	今後やってみたいこと.....	108
(問60)	介護保険サービスの充実と費用負担.....	114
(問47)	地域包括支援センター（高齢者相談センター）の認知度.....	117
(問48)	認知症の有無.....	122
(問49)	認知症に関する相談窓口の認知度.....	123
(問50)	認知症等により判断能力が低下した場合に使える制度について.....	124
(問51)	ご自身の死期が迫ったときの世話や治療.....	126
(問52)	ご自身の死期が迫ったときの世話や治療の相談.....	128
(問53)	認知症カフェの認知度.....	130
(問54)	オレンジシール・オレンジメール事業の認知度.....	132

#### 災害・避難時の対応について

(問55)	災害時や緊急時の避難.....	136
(問56)	災害時や緊急時に手助けを頼める人.....	138
(問57)	災害時の心配事や問題点.....	140

#### 介護保険制度や介護保険サービスについて

(問58)	介護保険制度について.....	144
(問59)	担当のケアマネジャー.....	146
(問61)	施設入所・入居の検討状況.....	147
(問62)	介護保険サービスの利用有無.....	148
(問63)	介護保険サービスを利用しない理由.....	149
(問64)	介護保険サービスの利用状況.....	156
(問65)	ご家族等からの介護を受ける頻度.....	160
(問66)	介護者の年齢.....	163
(問67)	介護のための離職.....	166
(問68)	介護者の勤務形態.....	170
(問69)	介護者の働き方.....	172
(問70)	介護者は働きながら介護を継続できそうか.....	175
(問71)	介護する上での困りごと.....	177
(問72)	介護者が不安に感じる介護.....	181

#### 自由意見

介護保険制度などについての意見.....	193
----------------------	-----

---

## IV 調査結果（在宅要介護認定者調査）

---

（問 1） 調査の回答者.....	4
ご本人のことについて	
（問 2） 世帯類型.....	3
毎日の生活について	
（問 3） インターネット環境.....	37
（問 4） パソコン等の使用内容.....	41
健康について	
（問 7） 「フレイル」の認知度.....	99
（問 8） ロコモーショントレーニングの取組状況.....	101
（問 5） 耳の聞こえについて.....	103
（問 6） 補聴器の使用有無.....	105
今後の暮らしについて	
（問20） 介護保険サービスの充実と費用負担.....	114
（問 9） 地域包括支援センター（高齢者相談センター）の認知度.....	117
（問10） 認知症等により判断能力が低下した場合に使える制度について.....	124
（問11） ご自身の死期が迫ったときの世話や治療.....	126
（問12） ご自身の死期が迫ったときの世話や治療の相談.....	128
（問13） 認知症カフェの認知度.....	130
（問14） オレンジシール・オレンジメール事業の認知度.....	132
災害・避難時の対応について	
（問15） 災害時や緊急時の避難.....	136
（問16） 災害時や緊急時に手助けを頼める人.....	138
（問17） 災害時の心配事や問題点.....	140
介護保険制度や介護保険サービスについて	
（問18） 介護保険制度について.....	144
（問19） 担当のケアマネジャー.....	146
（問21） 施設入所・入居の検討状況.....	147
（問22） 介護保険サービスの利用有無.....	148
（問23） 介護保険サービスを利用しない理由.....	149
（問24） 介護保険サービスの利用状況.....	156
（問25） ご家族等からの介護を受ける頻度.....	160
（問26） 介護者の年齢.....	163
（問27） 介護のための離職.....	166
（問28） 介護者の勤務形態.....	170
（問29） 介護者の働き方.....	172

(問30)	介護者は働きながら介護を継続できそうか	175
(問31)	介護する上での困りごと	177
(問32)	介護者が不安に感じる介護	181

#### ダブルケアについて

---

(問33)	ダブルケアの状況	186
(問34)	ダブルケアの具体例	187
(問35)	育児・障がいのある人の介助・その他の人のケアに関する 支援制度やサービスの利用状況	188
(問36)	ダブルケアについての負担	190
(問37)	ダブルケアについての負担または希望する支援	191

#### 自由意見

---

	介護保険制度などについての意見	194
--	-----------------	-----

---

## V 付録 調査票

---

(1)	高齢者一般調査	197
(2)	在宅要支援認定者調査	207
(3)	在宅要介護認定者調査	217



# I 調査の概要



## I 調査の概要

### (1) 調査の目的

老人保健福祉法第20条の8の規定等に基づく高齢者保健福祉計画ならびに介護保険法第117条の規定に基づく介護保険事業計画「はままつ友愛の高齢者プラン」を一体的に策定する上で、高齢者の生活状況や活動状況などの必要な基礎資料を得るとともに、超高齢社会に対する意識や介護保険サービスに対する意向などの実態を把握することを目的としています。

### (2) 調査対象

区分	対象者	対象者人口	標本数 (対象者比率)
高齢者一般調査	市内在住の65歳以上の人で、介護認定を受けていない人	184,113人	3,000人 (1.6%)
在宅要支援認定者調査	市内在住の介護認定(要支援1・2)を受けている人(施設入所者を除く。介護保険サービス未利用者を含む。)及び事業対象者の人	12,330人	3,000人 (24.3%)
在宅要介護認定者調査	市内在住の介護認定(要介護1~5)を受けている人(施設入所者を除く。介護保険サービス未利用者を含む。)	19,722人	3,000人 (15.2%)
合計		216,165人	9,000人

※対象者人口令和4年4月1日現在

### (3) 調査期間

令和4年12月14日～令和5年1月10日

### (4) 調査方法

介護保険システムから該当者を無作為抽出(令和4年11月25日現在)  
郵送による配布・回収(自記式)

### (5) 回収状況

調査種別	発送数	有効回収数	有効回収率
高齢者一般調査	3,000通	1,936通	64.5%
在宅要支援認定者調査	3,000通	1,823通	60.8%
在宅要介護認定者調査	3,000通	1,561通	52.0%
合計	9,000通	5,320通	—

区分	高齢者一般調査			在宅要支援認定者調査			在宅要介護認定者調査		
	発送数	有効回収数	有効回収率	発送数	有効回収数	有効回収率	発送数	有効回収数	有効回収率
中央区	2,145	1,377	64.2%	2,137	1,298	60.7%	2,139	1,079	50.4%
浜名区	689	449	65.2%	684	414	60.5%	667	368	55.2%
天竜区	166	110	66.3%	179	111	62.0%	194	114	58.8%
合計	3,000	1,936	64.5%	3,000	1,823	60.8%	3,000	1,561	52.0%

※次期計画を見据え、区再編後の3区で表記しています。



## (6) 調査の信頼性

回答の精度（最大誤差）と母集団の大きさ（アンケート対象者人口）に対して必要とされる有効回収数は、精度を低く設定すると必要とされる有効回収数も少なくなり、精度を高く設定すると必要とされる有効回収数も多くなる関係にあります。

今回の調査において、回答の精度（最大誤差）を3%、調査の信頼度を95%とした場合に必要とされる有効回収数は、下記の計算式で求めることができます。

この結果、必要とされる有効回収数は高齢者一般調査1,061通、在宅要支援認定者調査974通、在宅要介護認定者調査1,010通となり、これを上回る有効回収数を得ていることから、調査結果の値の誤差は±3%以内の信頼性が高いものであるといえます。

これは、例えば、違う方を対象に同じ調査を100回行った場合でも、95回（信頼度95%）は調査結果の値が±3%以内でしか変わらないということです。

### 必要とされる有効回収数の求め方

$$\text{必要とされる有効回収数} = N / ((E/K)^2 \times (N-1) / (P \times (1-P)) + 1)$$

N：母集団の大きさ（各調査種別のアンケート対象人口）

E：回答の精度（最大誤差）3%

K：信頼度係数1.96（0.95（信頼度95%）における正規分布の値）

P：回答比率（最も誤差が生じる0.5（50%）に設定）

## (7) 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・表やグラフ中の回答選択肢が長文の場合、処理の都合上、省略している場合があります。

## (8) 調査対象者の状況

### ① 性別

区分	高齢者一般調査		在宅要支援認定者調査		在宅要介護認定者調査	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
男性	909	47.0%	811	44.5%	731	46.8%
女性	1,027	53.0%	1,012	55.5%	830	53.2%
合計	1,936	100.0%	1,823	100.0%	1,561	100.0%

### ② 年齢

区分	高齢者一般調査		在宅要支援認定者調査		在宅要介護認定者調査	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
64歳以下	—	—	49	2.7%	54	3.5%
65歳から69歳	215	11.1%	60	3.3%	53	3.4%
70歳～74歳	653	33.7%	161	8.8%	142	9.1%
75歳～79歳	503	26.0%	254	13.9%	210	13.5%
80歳～84歳	353	18.2%	476	26.1%	303	19.4%
85歳～89歳	149	7.7%	527	28.9%	367	23.5%
90歳以上	63	3.3%	296	16.2%	432	27.7%
合計	1,936	100.0%	1,823	100.0%	1,561	100.0%

### ③ 家族構成

区分	高齢者一般調査		在宅要支援認定者調査	
	回答数	割合	回答数	割合
1人暮らし	281	14.5%	494	27.1%
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	757	39.1%	499	27.4%
夫婦2人暮らし(配偶者65歳未満)	45	2.3%	31	1.7%
息子・娘との2世帯	464	24.0%	478	26.2%
その他	364	18.8%	266	14.6%
無回答	25	1.3%	55	3.0%
合計	1,936	100.0%	1,823	100.0%

### ④ 世帯類型

区分	在宅要介護認定者調査	
	回答数	割合
単身世帯	292	18.7%
夫婦のみの世帯	429	27.5%
その他	797	51.1%
無回答	43	2.8%
合計	1,561	100.0%

### ⑤ 介護度

区分	在宅要支援認定者調査		在宅要介護認定者調査	
	回答数	割合	回答数	割合
総合事業対象者	327	17.9%	—	—
要支援1	766	42.0%	—	—
要支援2	730	40.0%	—	—
要介護1	—	—	353	22.6%
要介護2	—	—	331	21.2%
要介護3	—	—	300	19.2%
要介護4	—	—	300	19.2%
要介護5	—	—	277	17.7%
合計	1,823	100.0%	1,561	100.0%

⑥ 区

区分	高齢者一般調査		在宅要支援認定者調査		在宅要介護認定者調査	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
中央区	1,377	71.1%	1,298	71.2%	1079	69.1%
浜名区	449	23.2%	414	22.7%	368	23.6%
天竜区	110	5.7%	111	6.1%	114	7.3%
合計	1,936	100.0%	1,823	100.0%	1,561	100.0%

⑦ 日常生活圏域

区	圏域	包括名	地区	高齢者一般調査		在宅要支援認定者調査		在宅要介護認定者調査	
				回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
中区	中央区	中区-1 元浜	北、曳馬	97	5.0%	93	5.1%	84	5.4%
		中区-2 鴨江	西、県居、江西	86	4.4%	81	4.4%	81	5.2%
		中区-3 佐鳴台	城北、佐鳴台	73	3.8%	75	4.1%	61	3.9%
		中区-4 和合	富塚、萩丘 (住吉・和合)	68	3.5%	82	4.5%	63	4.0%
		中区-5 板屋	中央、東、江東、 駅南	107	5.5%	114	6.3%	80	5.1%
		中区-6 高丘	萩丘(萩丘中、 葵・高丘)	128	6.6%	98	5.4%	86	5.5%
東区	中央区	東区-1 ありたま	積志	93	4.8%	68	3.7%	67	4.3%
		東区-2 さぎの宮	長上、笠井	116	6.0%	72	3.9%	64	4.1%
		東区-3 あんま	中ノ町、和田、蒲	98	5.1%	130	7.1%	78	5.0%
西区	中央区	西区-1 大平台	入野、篠原	80	4.1%	73	4.0%	69	4.4%
		西区-2 和地	庄内、和地、 伊佐見	85	4.4%	51	2.8%	73	4.7%
		西区-3	舞阪	42	2.2%	26	1.4%	26	1.7%
		西区-4 雄踏	雄踏	39	2.0%	29	1.6%	27	1.7%
		西区-5	神久呂	20	1.0%	23	1.3%	35	2.2%
南区	中央区	南区-1 新津	新津、可美	52	2.7%	70	3.8%	43	2.8%
		南区-2 芳川	芳川、河輪、 五島	96	5.0%	116	6.4%	69	4.4%
		南区-3 三和	白脇、飯田	70	3.6%	67	3.7%	47	3.0%
北区	浜名区	北区-1 三方原	都田、新都田、 三方原	110	5.7%	94	5.2%	90	5.8%
		北区-2	細江	64	3.3%	41	2.2%	41	2.6%
		北区-3 細江	引佐	49	2.5%	47	2.6%	35	2.2%
		北区-4	三ヶ日	33	1.7%	38	2.1%	42	2.7%
浜北区	浜名区	浜北区-1 北浜	北浜	81	4.2%	104	5.7%	82	5.3%
		浜北区-2 しんぱら	浜名、鹿玉	70	3.6%	66	3.6%	57	3.7%
		浜北区-3 於呂	中瀬、赤佐	69	3.6%	54	3.0%	47	3.0%
天竜区	天竜区	天竜区-1	天竜	60	3.1%	75	4.1%	50	3.2%
		天竜区-2	春野	18	0.9%	13	0.7%	25	1.6%
		天竜区-3	佐久間	18	0.9%	14	0.8%	25	1.6%
		天竜区-4 北遠中央	水窪	10	0.5%	7	0.4%	10	0.6%
		天竜区-5	龍山	4	0.2%	2	0.1%	4	0.3%
合計				1,936	100.0%	1,823	100.0%	1,561	100.0%

(9) 調査票回答者(複数回答)

区分	在宅要支援認定者調査		在宅要介護認定者調査	
	件数	割合	件数	割合
調査対象者本人	1,424	78.1%	429	27.5%
主な介護者となっている家族・親族	412	22.6%	1,146	73.4%
主な介護者以外の家族・親族	17	0.9%	59	3.8%
その他	17	0.9%	34	2.2%
無回答	106	5.8%	50	3.2%
有効回収数	1,823	-	1,561	-

# 調査結果

- Ⅱ 高齢者一般調査
- Ⅲ 在宅要支援認定者調査
- Ⅳ 在宅要介護認定者調査



介護・介助の必要状況

あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○はひとつ)

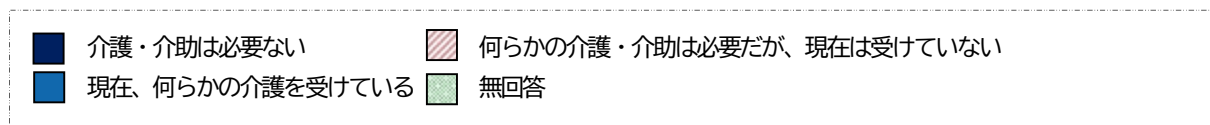
<高齢者一般調査 問2 ・ 在宅要支援認定者調査 問3>

【単純集計】

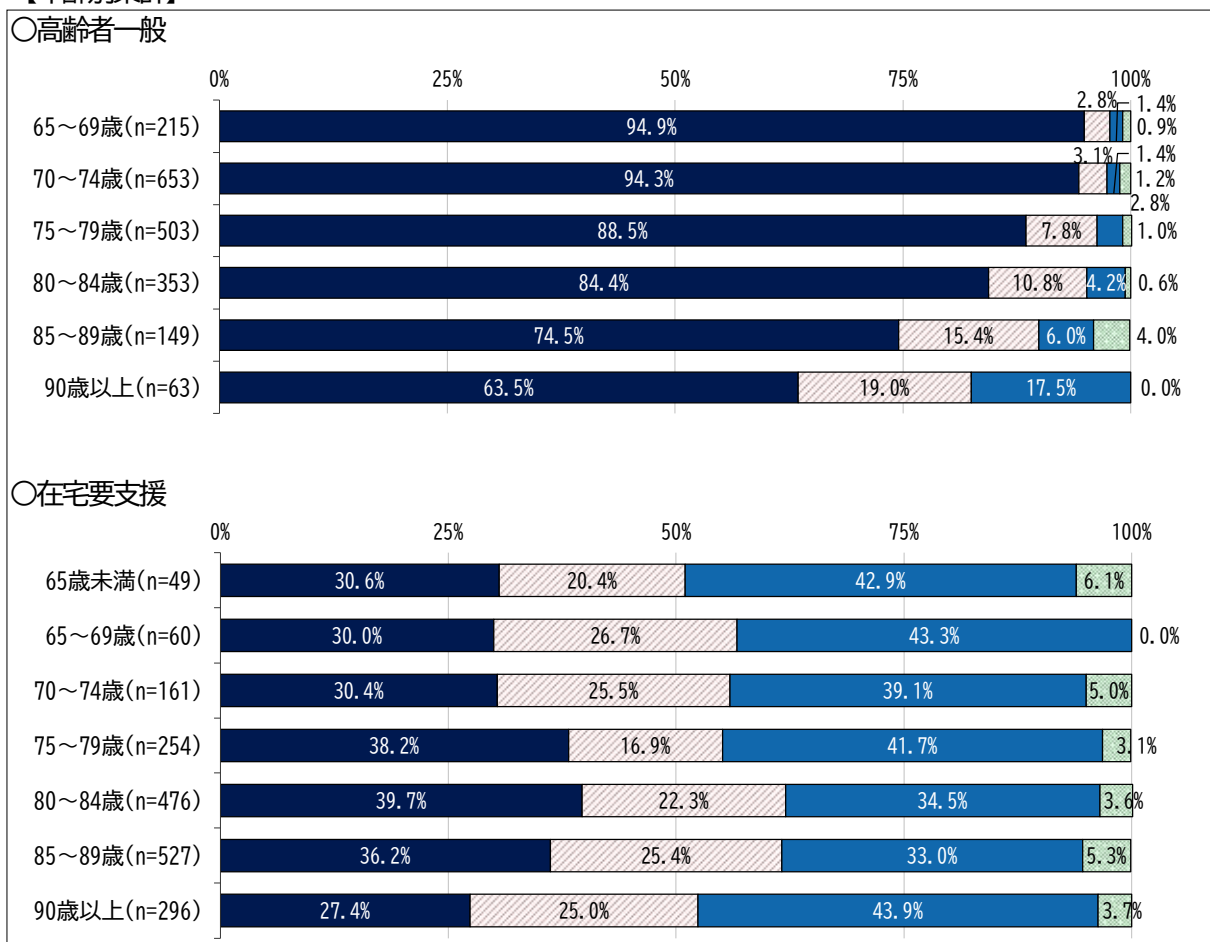
回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
介護・介助は必要ない	1,714	88.5%	640	35.1%
何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	138	7.1%	424	23.3%
現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)	61	3.2%	684	37.5%
無回答	23	1.2%	75	4.1%
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%

単純集計でみると、高齢者一般では「介護・介助は必要ない」の割合が高く、在宅要支援認定者では「介護・介助は必要ない」と「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」を合わせて約6割が「介護・介助を受けていない」となっています。

年齢別でみると、高齢者一般では、年齢が高くなるにつれて「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在何らかの介護を受けている」の割合が高くなる傾向がみられますが、在宅要支援認定者ではそのような傾向はみられません。



【年齢別集計】



現在の暮らしの経済的な状況

現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇はひとつ)

<高齢者一般調査 問3 ・ 在宅要支援認定者調査 問4>

【単純集計】

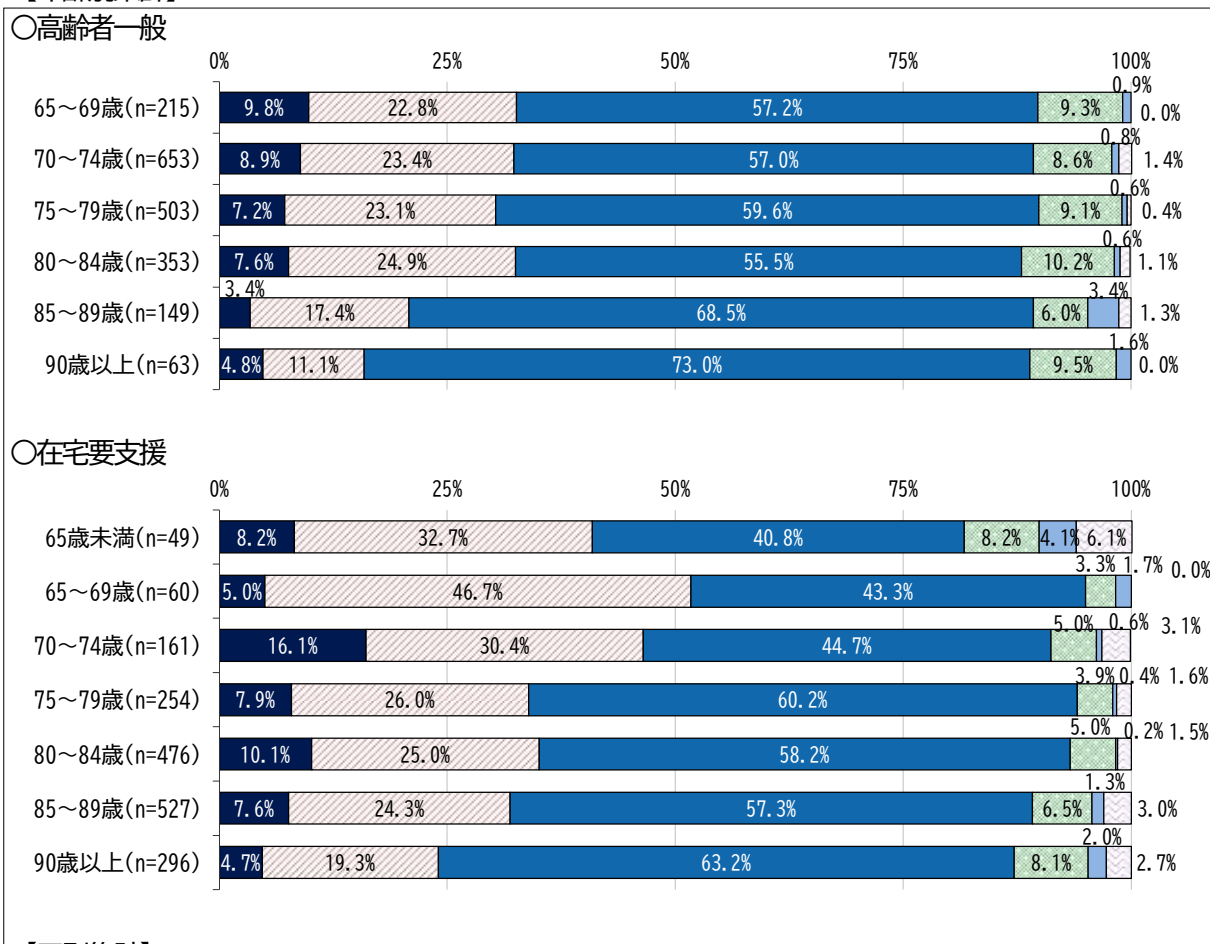
回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
大変苦しい	150	7.7%	155	8.5%
やや苦しい	439	22.7%	463	25.4%
ふつう	1,139	58.8%	1,037	56.9%
ややゆとりがある	173	8.9%	106	5.8%
大変ゆとりがある	18	0.9%	19	1.0%
無回答	17	0.9%	43	2.4%
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%

単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに「ふつう」の割合が高くなっています。  
年齢別でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに、年齢が高くなるにつれて「大変苦しい」「やや苦しい」の割合が低くなる傾向がみられます。

区別でみると、「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた割合が在宅要支援認定者では、天龍区がやや低くなっています。

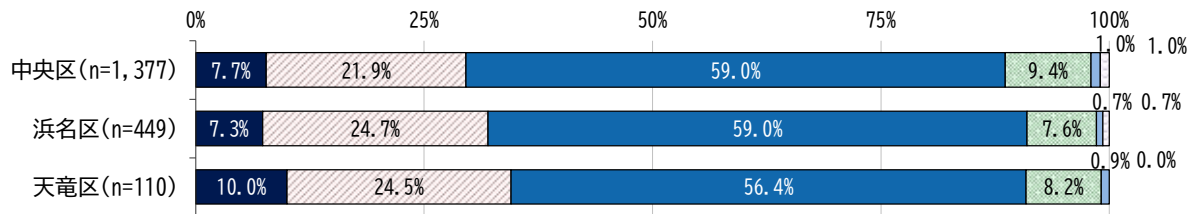
■ 大変苦しい ■ やや苦しい ■ ふつう ■ ややゆとりがある ■ 大変ゆとりがある ■ 無回答

【年齢別集計】

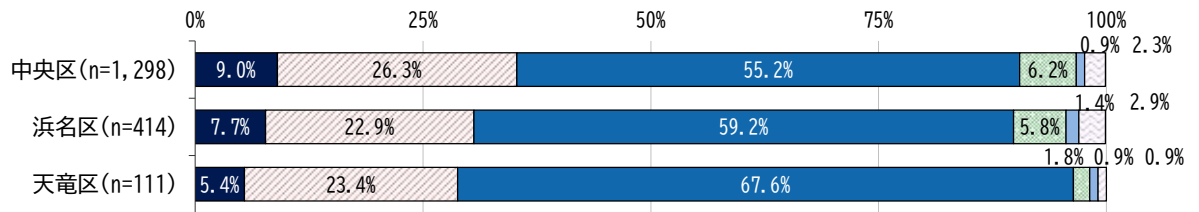


【区別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援





階段昇り

階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○はひとつ)

<高齢者一般調査 問4 ・ 在宅要支援認定者調査 問5>

【単純集計】

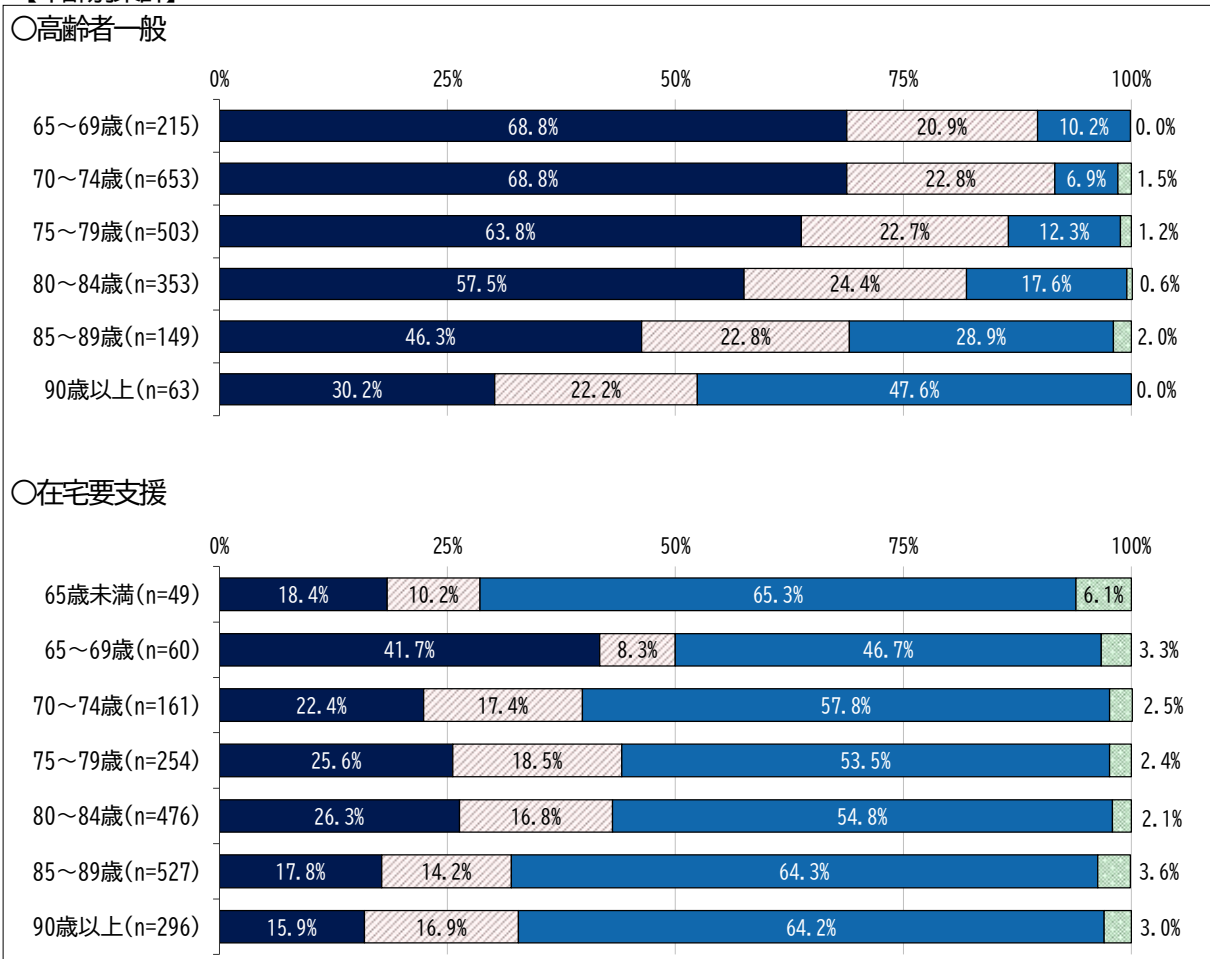
回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
できるし、している	1,209	62.4%	401	22.0%
できるけどしていない	442	22.8%	290	15.9%
できない	264	13.6%	1,079	59.2%
無回答	21	1.1%	53	2.9%
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%

単純集計で見ると、高齢者一般では「できるし、している」の割合が高く、在宅要支援認定者では「できない」の割合が高くなっています。

年齢別で見ると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに、年齢が高くなるにつれて「できるし、している」の割合が低くなる傾向がみられます。

■ できるし、している    ▨ できるけどしていない    ■ できない    ■ 無回答

【年齢別集計】



椅子からの立ち上がり

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○はひとつ)

<高齢者一般調査 問5 ・ 在宅要支援認定者調査 問6>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
できるし、している	1,474	76.1%	658	36.1%
できるけどしていない	242	12.5%	302	16.6%
できない	203	10.5%	813	44.6%
無回答	17	0.9%	50	2.7%
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%

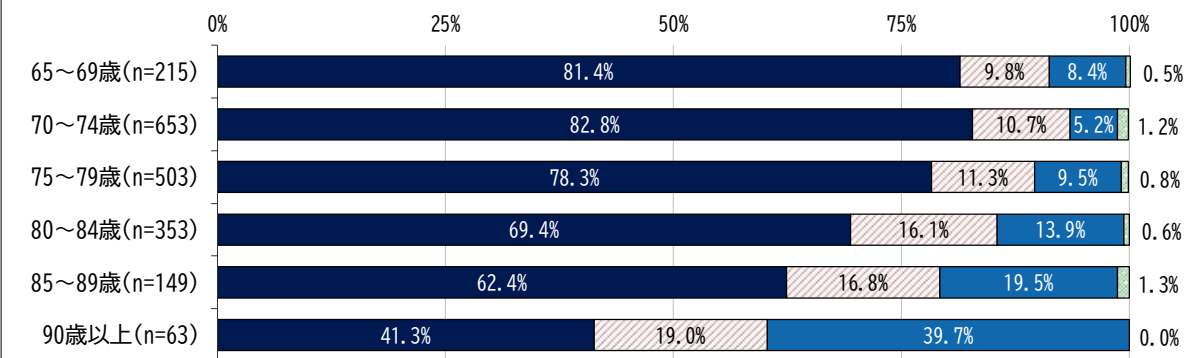
単純集計で見ると、高齢者一般では「できるし、している」の割合が高く、在宅要支援認定者では「できるし、している」と「できるけどしていない」を合わせて約5割が“できる”と回答しています。

年齢別で見ると、高齢者一般は年齢が高くなるにつれて「できるし、している」の割合が低くなり、「できない」の割合が高くなる傾向がみられます。在宅要支援認定者は85歳以降で年齢が高くなるにつれて「できるし、している」の割合が低くなる傾向がみられます。

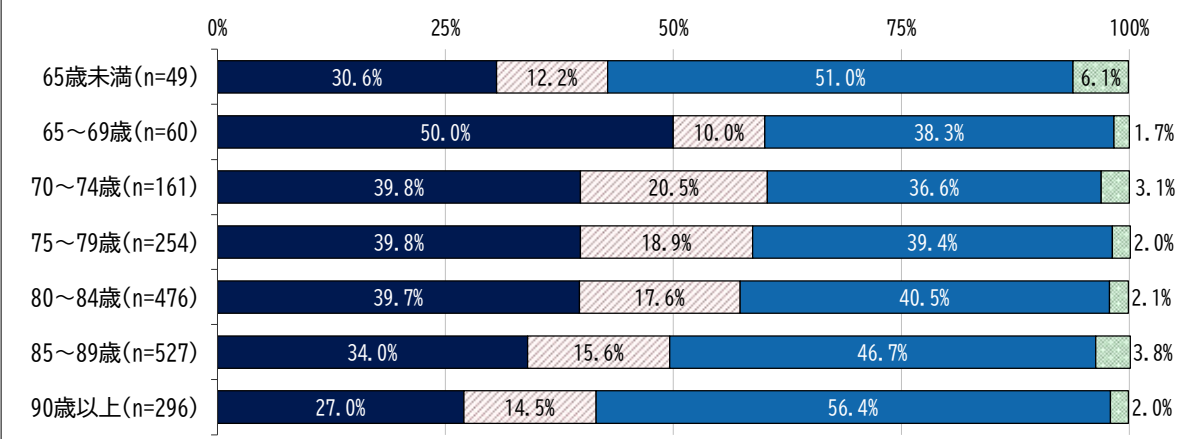
■ できるし、している    ▨ できるけどしていない    ■ できない    □ 無回答

【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



続けるの歩行

15分位続けて歩いていますか。(〇はひとつ)

<高齢者一般調査 問6 ・ 在宅要支援認定者調査 問7>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
できるし、している	1,397	72.2%	832	45.6%
できるけどしていない	390	20.1%	305	16.7%
できない	134	6.9%	633	34.7%
無回答	15	0.8%	53	2.9%
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%

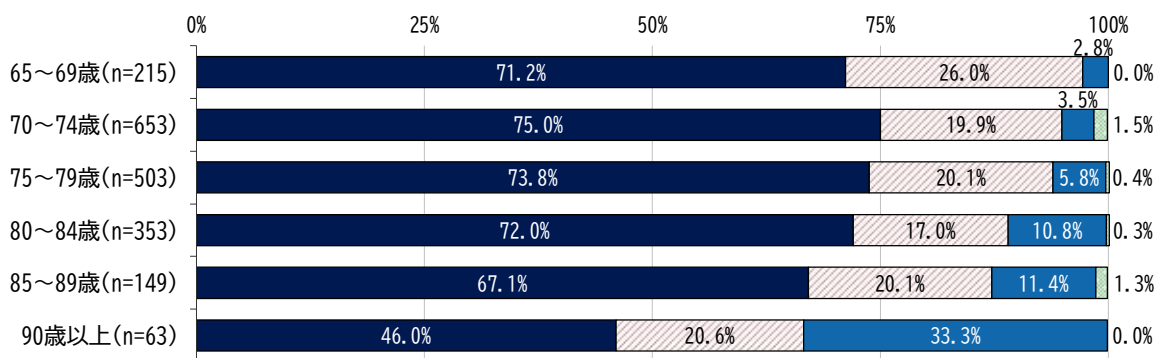
単純集計でみると、高齢者一般では「できるし、している」の割合が高くなっています。在宅要支援認定者では「できるし、している」と「できるけどしていない」を合わせて約6割が“できる”と回答しています。

年齢別でみると、高齢者一般では、年齢が高くなるにつれて「できない」の割合が高くなる傾向がみられます。在宅要支援認定者では、85歳以上は約4割となっています。

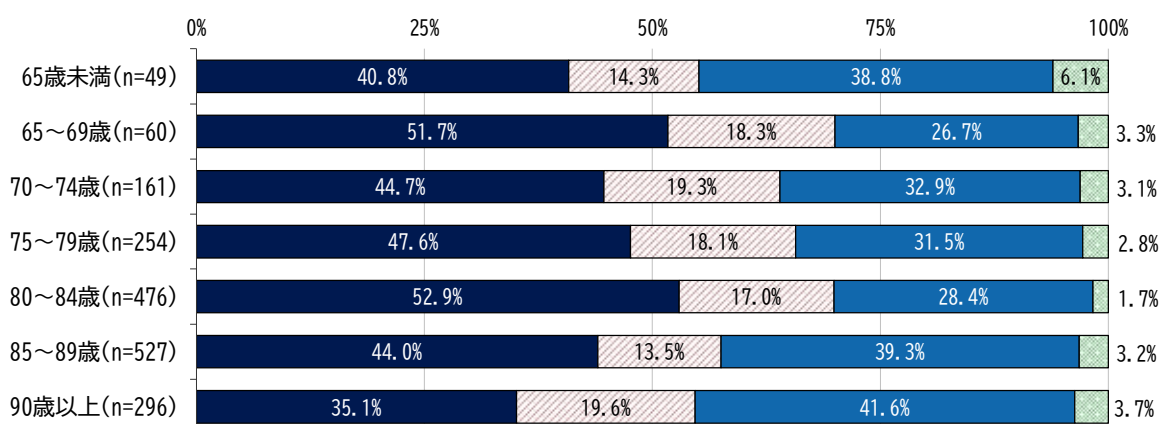
■ できるし、している    ▨ できるけどしていない    ■ できない    □ 無回答

【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



過去1年間の転倒経験

過去1年間に転んだ経験がありますか。(〇はひとつ)

<高齢者一般調査 問7 ・ 在宅要支援認定者調査 問8>

【単純集計】

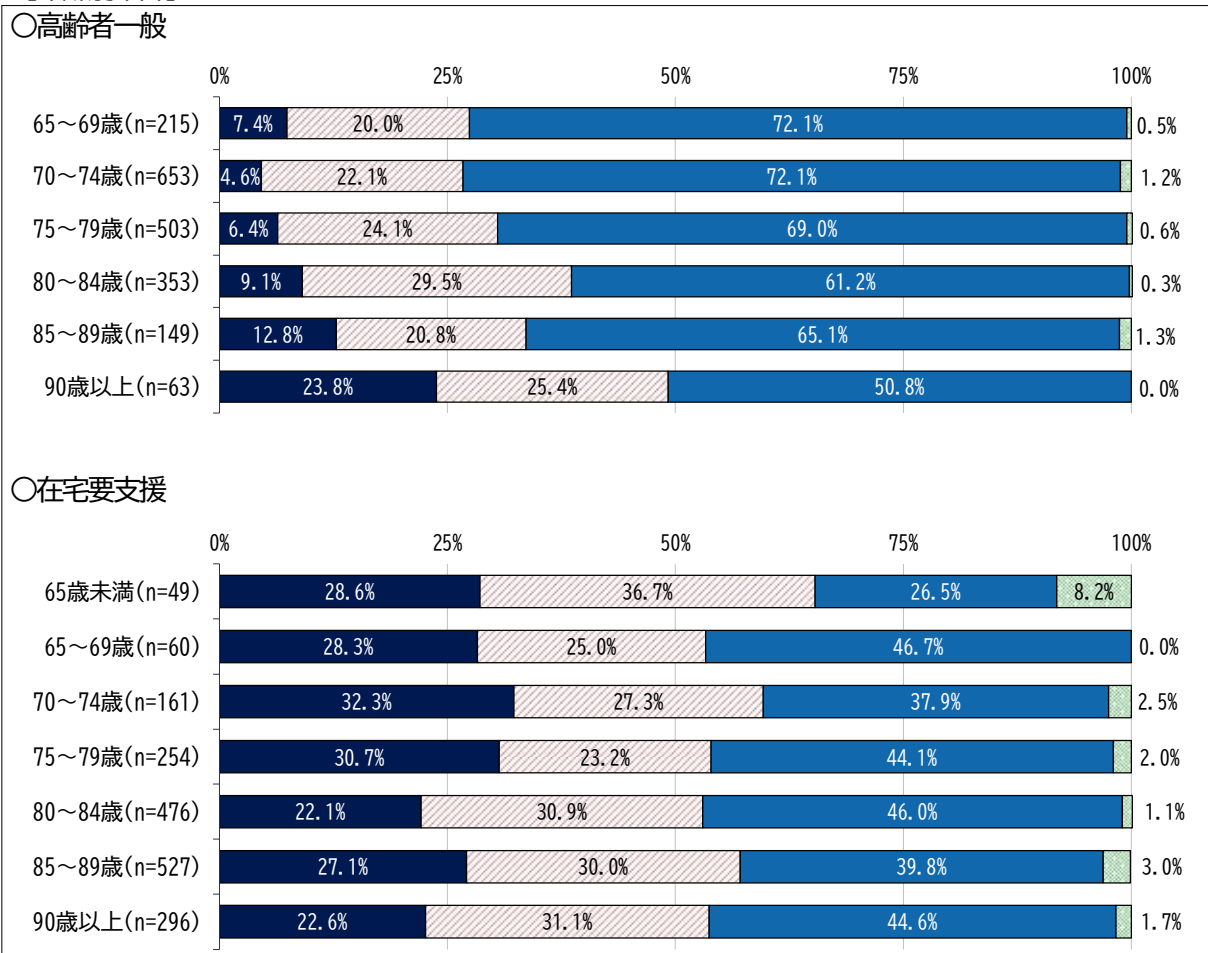
回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
何度もある	144	7.4%	476	26.1%
1度ある	459	23.7%	533	29.2%
ない	1,318	68.1%	775	42.5%
無回答	15	0.8%	39	2.1%
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%

単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに「ない」の割合が高くなっています。

年齢別にみると、高齢者一般では、年齢が高くなるにつれて「何度もある」「1度ある」の割合が高くなる傾向がみられます。在宅要支援認定者では、他の年齢に比べて70歳代は「何度もある」の割合が高く、3割を超えています。

■ 何度もある    ▨ 1度ある    ■ ない    ■ 無回答

【年齢別集計】



転倒に対する不安

転倒に対する不安は大きいですか。(○はひとつ)

<高齢者一般調査 問8 ・ 在宅要支援認定者調査 問9>

【単純集計】

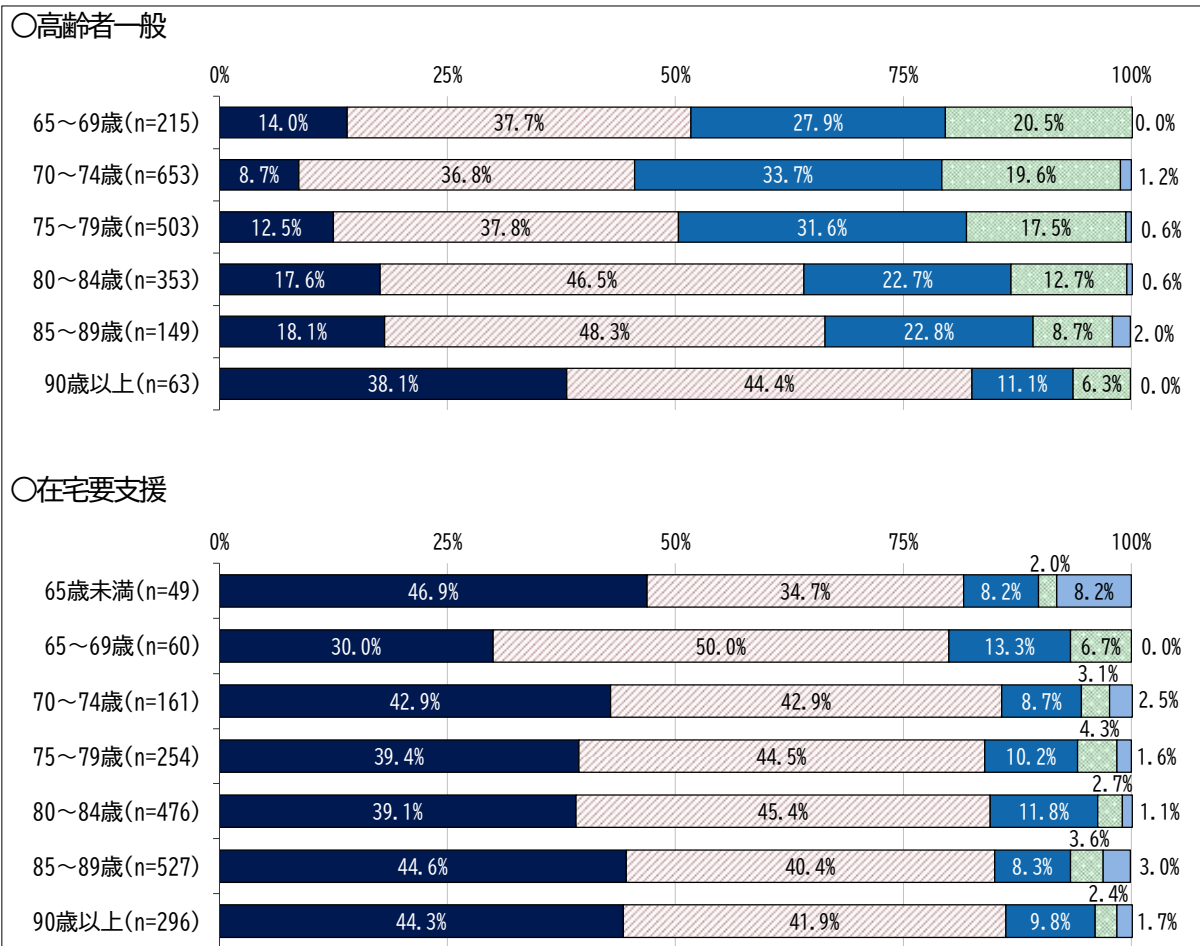
回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
とても不安である	263	13.6%	762	41.8%
やや不安である	775	40.0%	782	42.9%
あまり不安でない	560	28.9%	181	9.9%
不安でない	322	16.6%	60	3.3%
無回答	16	0.8%	38	2.1%
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%

単純集計でみると、高齢者一般では「とても不安である」「やや不安である」をあわせた割合は5割を超えており、在宅要支援認定者では8割を超えています。

年齢別にみると、高齢者一般では、年齢が高くなるにつれて「とても不安である」「やや不安である」の割合が高くなる傾向がみられますが、在宅要支援認定者では、大きな差異はみられません。

■ とても不安である   ■ やや不安である   ■ あまり不安でない   ■ 不安でない   ■ 無回答

【年齢別集計】





外出頻度

週に1回以上は外出(散歩なども含めます)していますか。(○はひとつ)

<高齢者一般調査 問9 ・ 在宅要支援認定者調査 問10>

【単純集計】

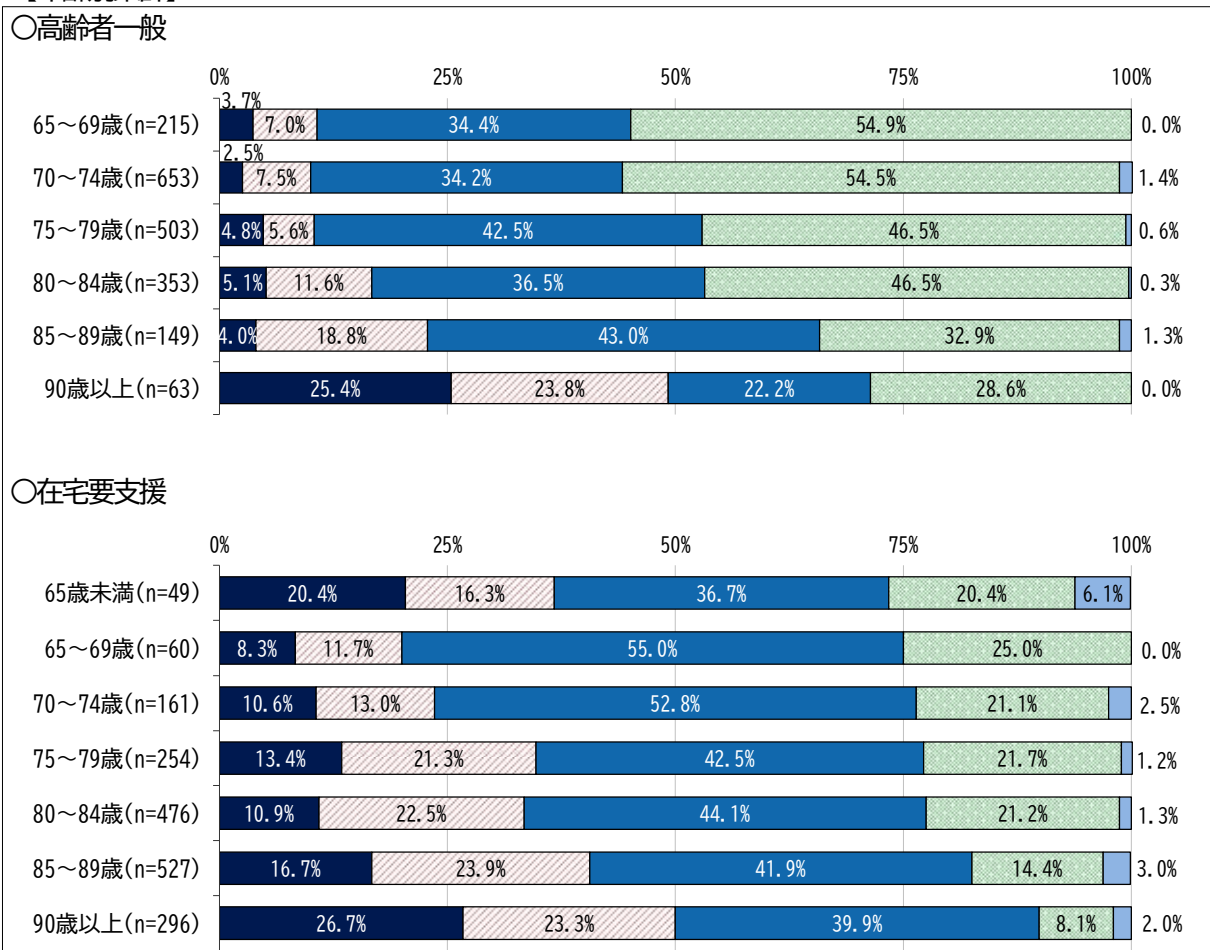
回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
ほとんど外出しない	88	4.5	285	15.6
週1回	176	9.1	392	21.5
週2～4回	718	37.1	793	43.5
週5回以上	939	48.5	315	17.3
無回答	15	0.8	38	2.1
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%

単純集計でみると、高齢者一般では「週5回以上」の割合が高く、在宅要支援認定者では「週2～4回」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、高齢者一般では、年齢が高くなるにつれて「週5回以上」の割合が低くなる傾向がみられ、在宅要支援認定者では、年齢が上がるにつれて「ほとんど外出しない」の割合が高くなる傾向がみられます。



【年齢別集計】



外出回数の昨年比

昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(〇はひとつ)

<高齢者一般調査 問10 ・ 在宅要支援認定者調査 問11>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
とても減っている	87	4.5%	315	17.3%
減っている	476	24.6%	754	41.4%
あまり減っていない	654	33.8%	492	27.0%
減っていない	704	36.4%	228	12.5%
無回答	15	0.8%	34	1.9%
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%

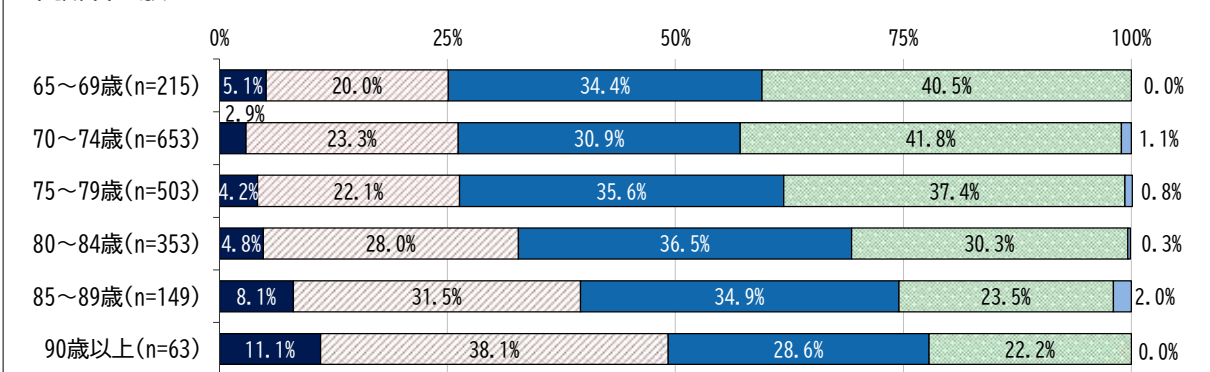
単純集計でみると、高齢者一般では「減っていない」の割合が最も高く、ついで「あまり減っていない」となっています。在宅要支援認定者では「減っている」の割合が最も高く、ついで「あまり減っていない」となっています。

年齢別でみると、高齢者一般では、75歳以降で年齢が高くなるにつれて「とても減っている」「減っている」の割合が高くなる傾向がみられ、在宅要支援認定者では、特に90歳以上で「とても減っている」「減っている」を合わせた“減っている”の割合が6割以上と高くなっています。

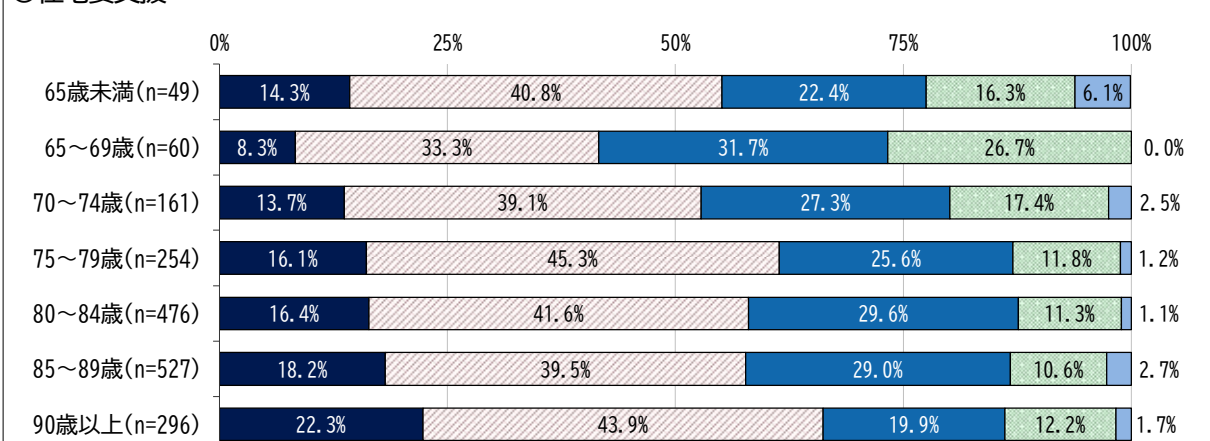
■ とても減っている ■ 減っている ■ あまり減っていない ■ 減っていない ■ 無回答

【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



身長・体重

身長・体重

<高齢者一般調査 問11 ・ 在宅要支援認定者調査 問12>

【単純集計】身長

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
130cm 未満	1	0.1%	2	0.1%
130cm 以上 140cm 未満	12	0.6%	69	3.8%
140cm 以上 150cm 未満	323	16.7%	474	26.0%
150cm 以上 160cm 未満	722	37.3%	560	30.7%
160cm 以上 170cm 未満	616	31.8%	428	23.5%
170cm 以上 180cm 未満	201	10.4%	110	6.0%
180cm 以上	11	0.6%	6	0.3%
無回答	50	2.6%	174	9.5%
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%

【単純集計】体重

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
30kg 未満	2	0.1%	3	0.2%
30kg 以上 40kg 未満	74	3.8%	133	7.3%
40kg 以上 50kg 未満	473	24.4%	541	29.7%
50kg 以上 60kg 未満	698	36.1%	559	30.7%
60kg 以上 70kg 未満	452	23.3%	287	15.7%
70kg 以上 80kg 未満	147	7.6%	107	5.9%
80kg 以上	39	2.0%	38	2.1%
無回答	51	2.6%	155	8.5%
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%

【単純集計】肥満度

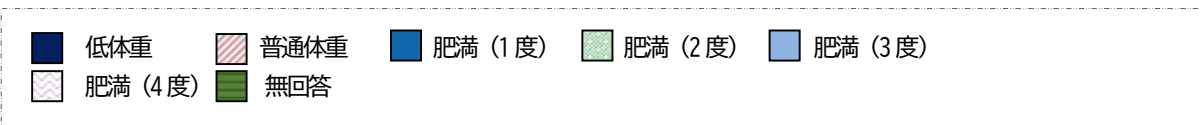
※肥満度=体重÷(身長×身長)

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
低体重 (18.5 未満)	205	10.6%	221	12.1%
普通体重 (18.5 以上 25.0 未満)	1353	69.9%	1,117	61.3%
肥満1度 (25.0 以上 30.0 未満)	295	15.2%	244	13.4%
肥満2度 (30.0 以上 35.0 未満)	19	1.0%	38	2.1%
肥満3度 (35.0 以上 40.0 未満)	2	0.1%	7	0.4%
肥満4度 (40.0 以上)	0	0.0%	2	0.1%
無回答	62	3.2%	194	10.6%
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%



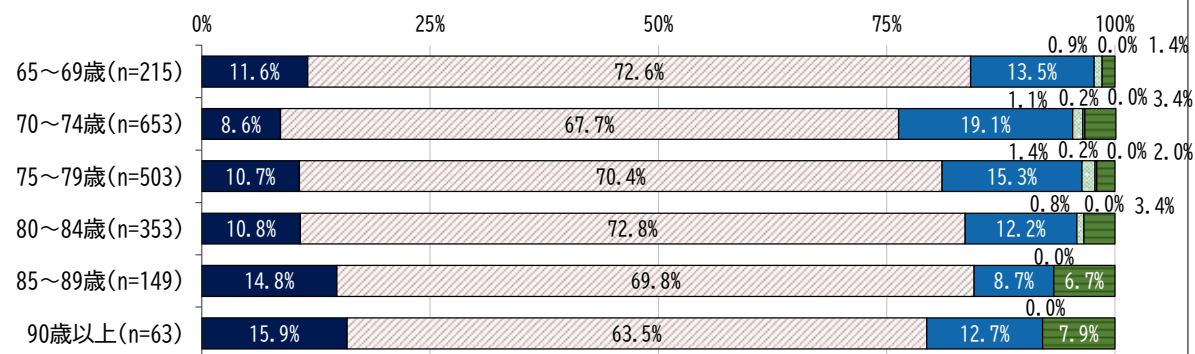
単純集計（肥満度）で見ると、高齢者一般に比べて在宅要支援認定者は低体重の割合が高くなっています。

年齢別（肥満度）で見ると、高齢者一般は年齢が上がるにつれて、低体重が増え、肥満が減る傾向がみられます。

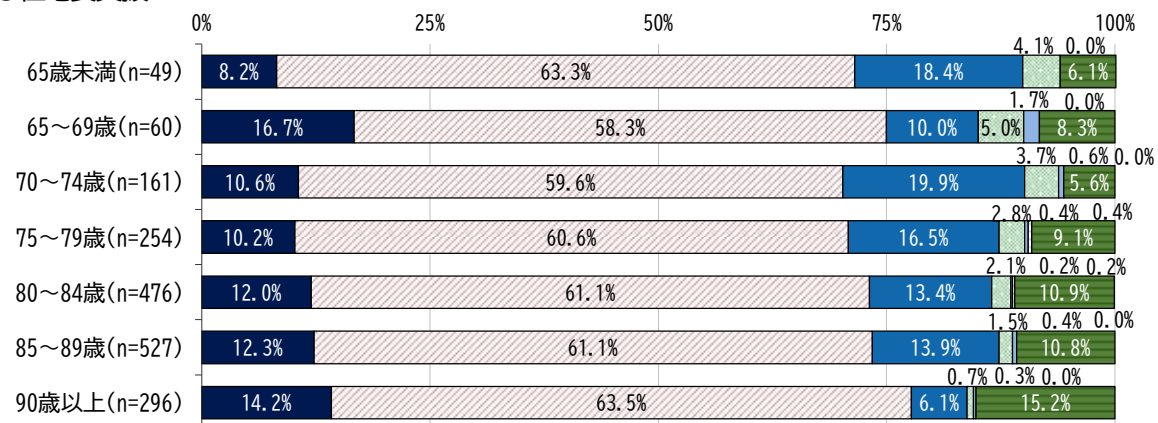


【年齢別集計】肥満度

○高齢者一般



○在宅要支援



固いものの食べにくさ

半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(〇はひとつ)

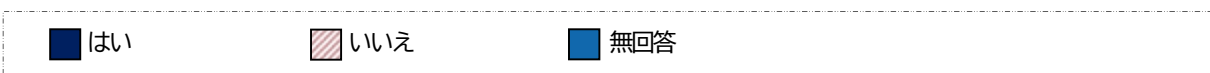
<高齢者一般調査 問12 ・ 在宅要支援認定者調査 問13>

【単純集計】

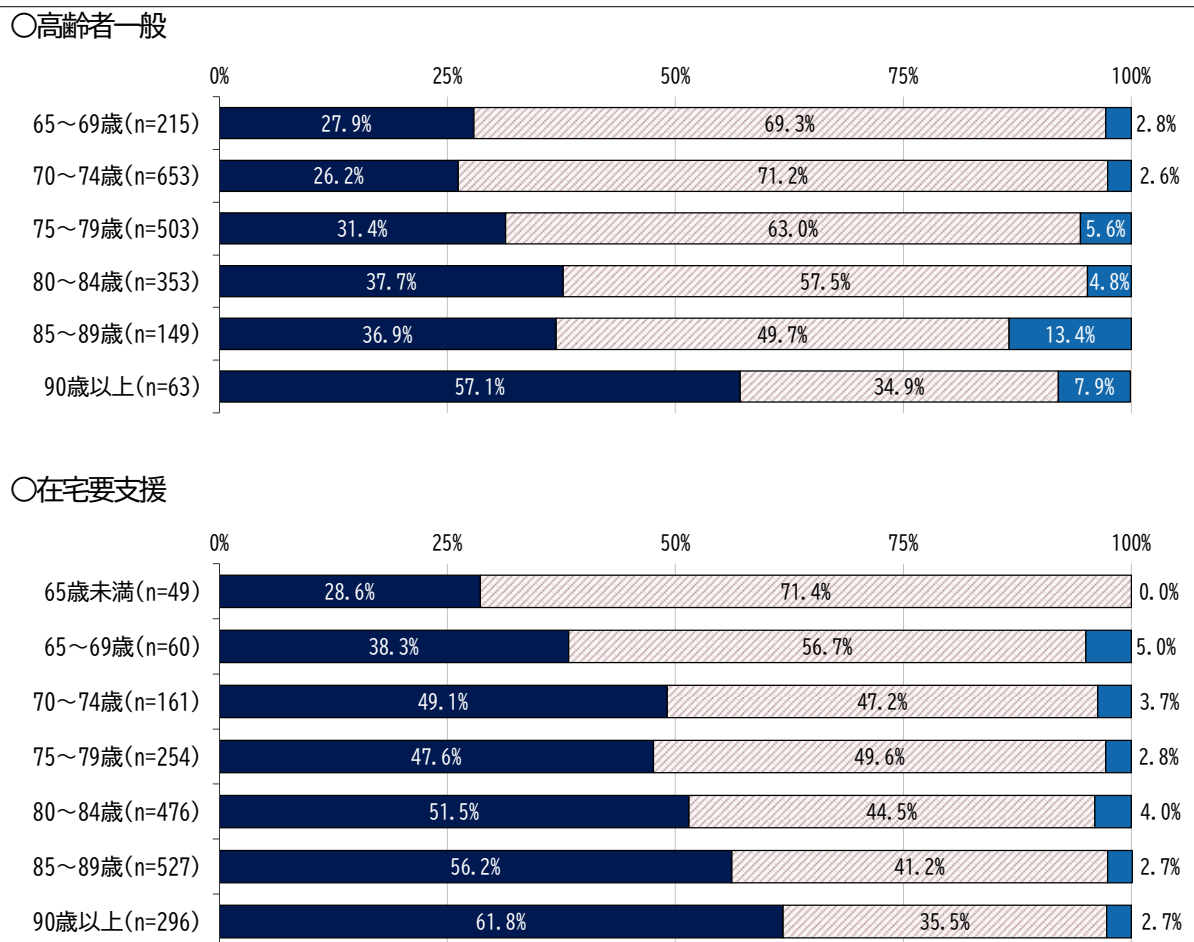
回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
はい	613	31.7%	961	52.7%
いいえ	1,230	63.5%	805	44.2%
無回答	93	4.8%	57	3.1%
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%

単純集計でみると、高齢者一般では「いいえ」の割合が高く、在宅要支援認定者では「はい」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに、年齢が高くなるにつれて「はい」の割合が高くなる傾向がみられます。



【年齢別集計】



歯の数と入れ歯の利用状況

歯の数と入れ歯（部分入れ歯を含みます）の利用状況をお教えてください。

（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。）（○はひとつ）

<高齢者一般調査 問13 ・ 在宅要支援認定者調査 問14>

【単純集計】

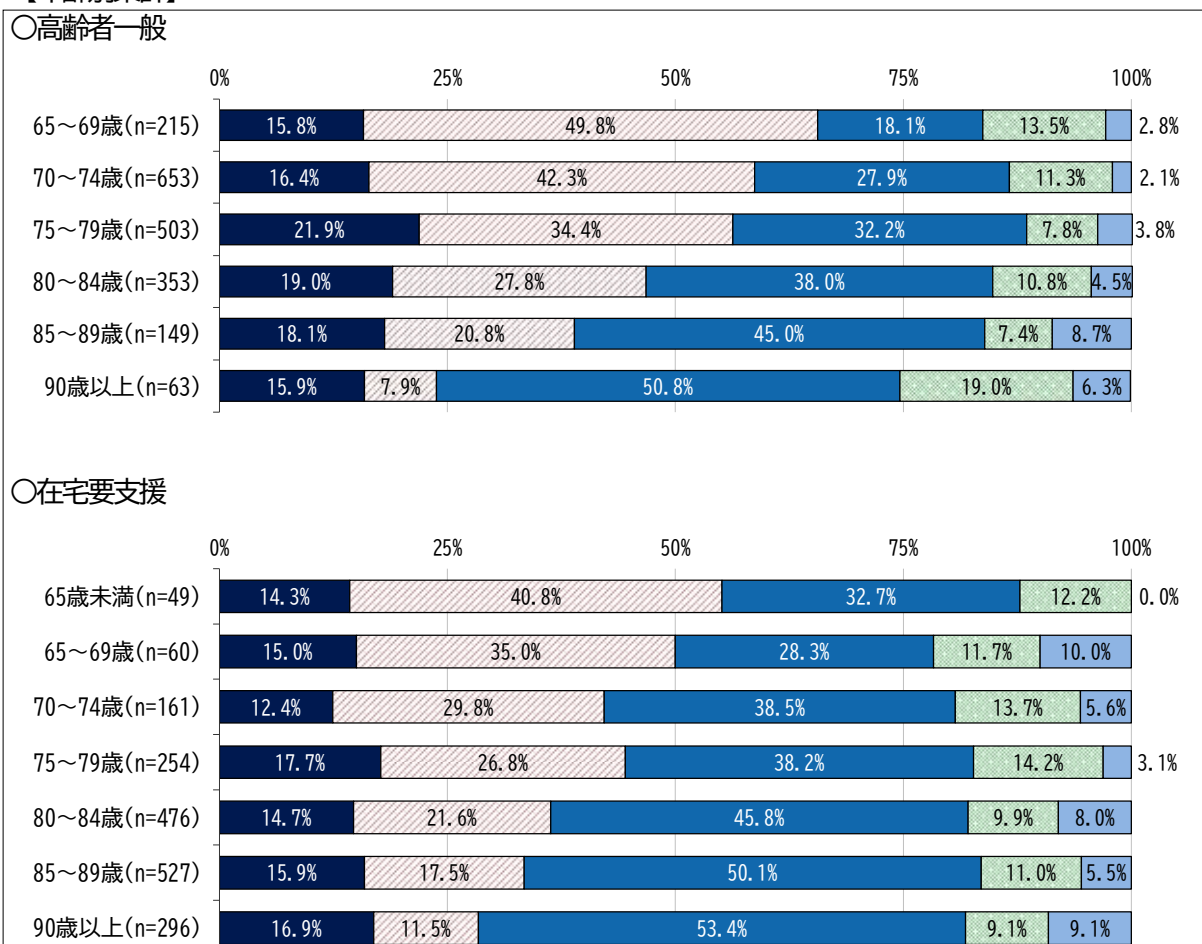
回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	355	18.3%	285	15.6%
自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	690	35.6%	386	21.2%
自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	616	31.8%	832	45.6%
自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	203	10.5%	203	11.1%
無回答	72	3.7%	117	6.4%
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%

単純集計でみると、高齢者一般は「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が高くなっており、在宅要支援認定者は「自分の歯は19本以下で、かつ入れ歯を利用」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに、年齢が高くなるにつれて「自分の歯は19本以下で、かつ入れ歯を利用」の割合が高くなる傾向がみられます。



【年齢別集計】



食事をともにする機会

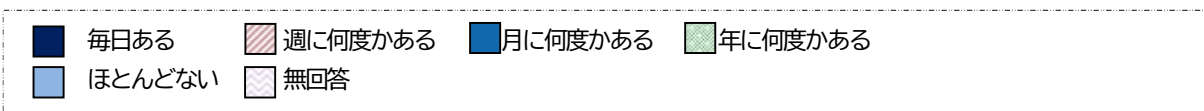
どなたかと食事をともにする機会がありますか。(○はひとつ)

<高齢者一般調査 問14 ・ 在宅要支援認定者調査 問15>

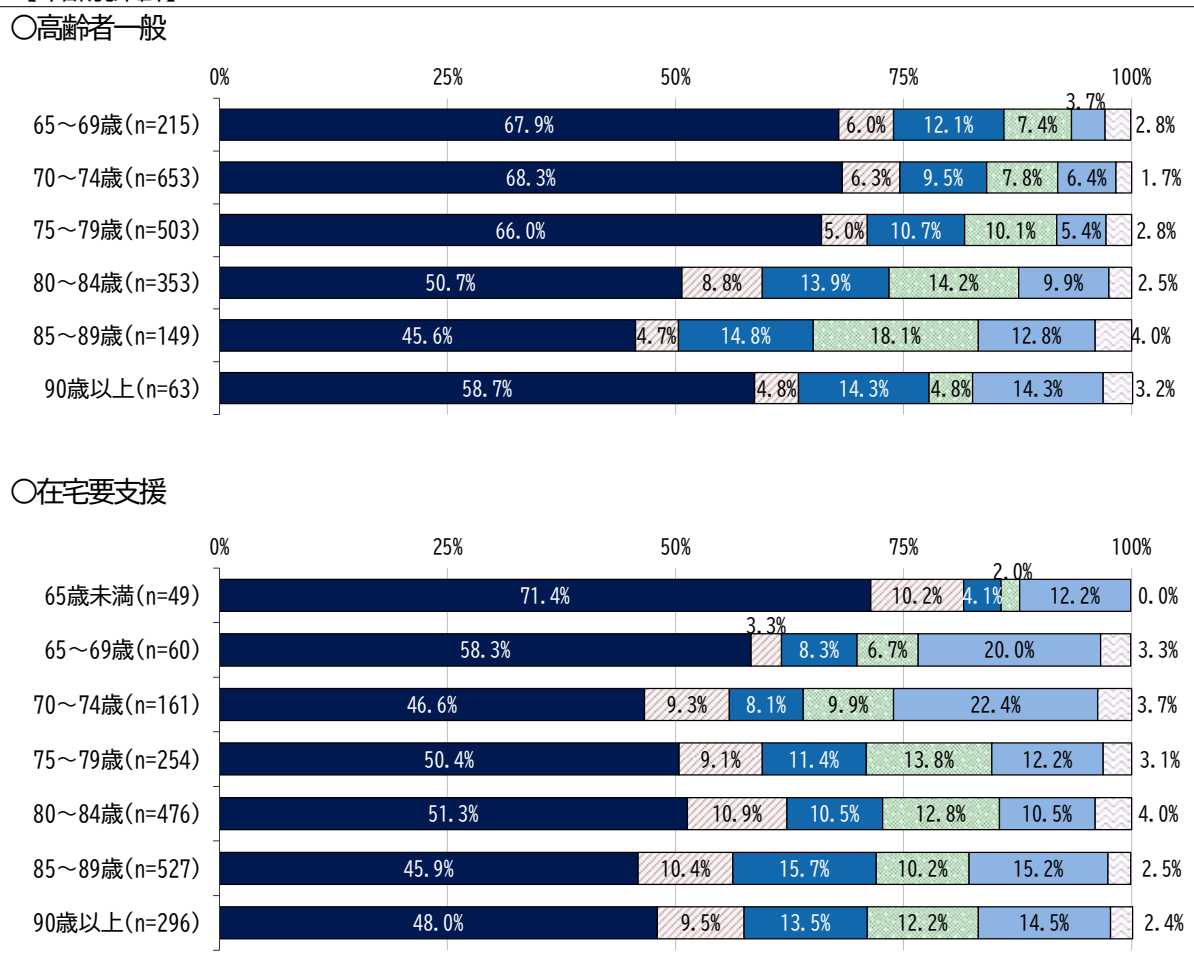
【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
毎日ある	1,208	62.4%	901	49.4%
週に何度かある	120	6.2%	180	9.9%
月に何度かある	222	11.5%	222	12.2%
年に何度かある	198	10.2%	207	11.4%
ほとんどない	140	7.2%	258	14.2%
無回答	48	2.5%	55	3.0%
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%

単純集計で見ると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに、「毎日ある」の割合が高くなっています。年齢別で見ると、高齢者一般では年齢が高くなるにつれて「毎日ある」の割合が減少する傾向にありますが、90歳以上では6割弱と高くなっています。



【年齢別集計】



物忘れ

物忘れが多いと感じますか。(〇はひとつ)

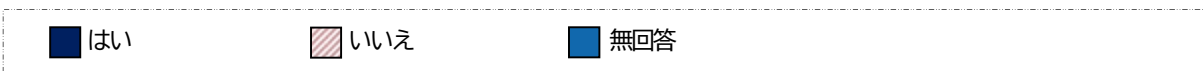
<高齢者一般調査 問15 ・ 在宅要支援認定者調査 問16>

【単純集計】

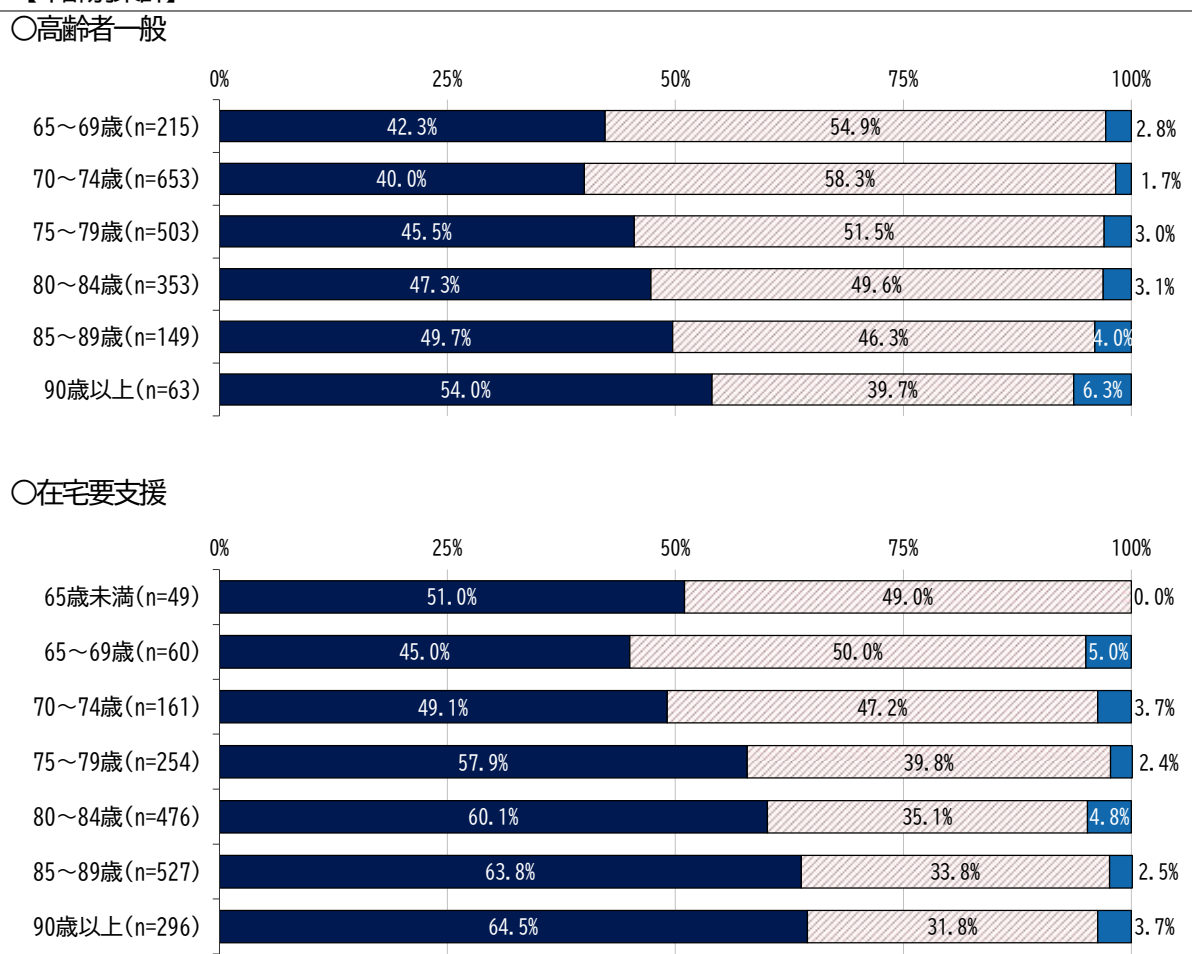
回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
はい	856	44.2%	1,091	59.8%
いいえ	1,027	53.0%	670	36.8%
無回答	53	2.7%	62	3.4%
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%

単純集計でみると、高齢者一般では「いいえ」、在宅要支援認定者では「はい」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに、年齢が高くなるにつれて「はい」の割合が高くなる傾向がみられます。



【年齢別集計】



外出時の移動手段

外出する際の主な移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)

<高齢者一般調査 問16 ・ 在宅要支援認定者調査 問17>

【単純集計】

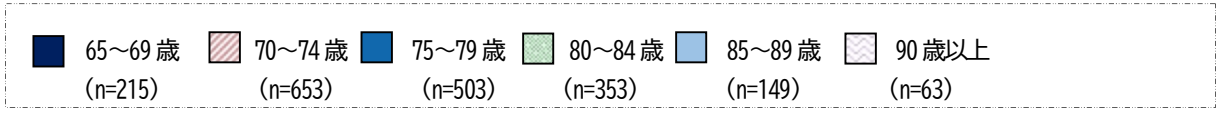
回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
自分で車を運転して移動している	1,271	65.7%	385	21.1%
公共交通機関やタクシーを利用して移動している	358	18.5%	646	35.4%
同居している親族に送迎してもらっている	399	20.6%	730	40.0%
別居している親族に送迎してもらっている	128	6.6%	393	21.6%
地域の方や知り合いに送迎してもらっている	45	2.3%	71	3.9%
その他	170	8.8%	169	9.3%
移動手段が無く、頼る人もいないので困っている	2	0.1%	15	0.8%
無回答	47	2.4%	49	2.7%
回 答 数	1,936	—	1,823	—

単純集計でみると、高齢者一般では「自分で車を運転して移動している」、在宅要支援認定者では「同居している親族に送迎してもらっている」「公共交通機関やタクシーを利用して移動している」の割合が高くなっています。

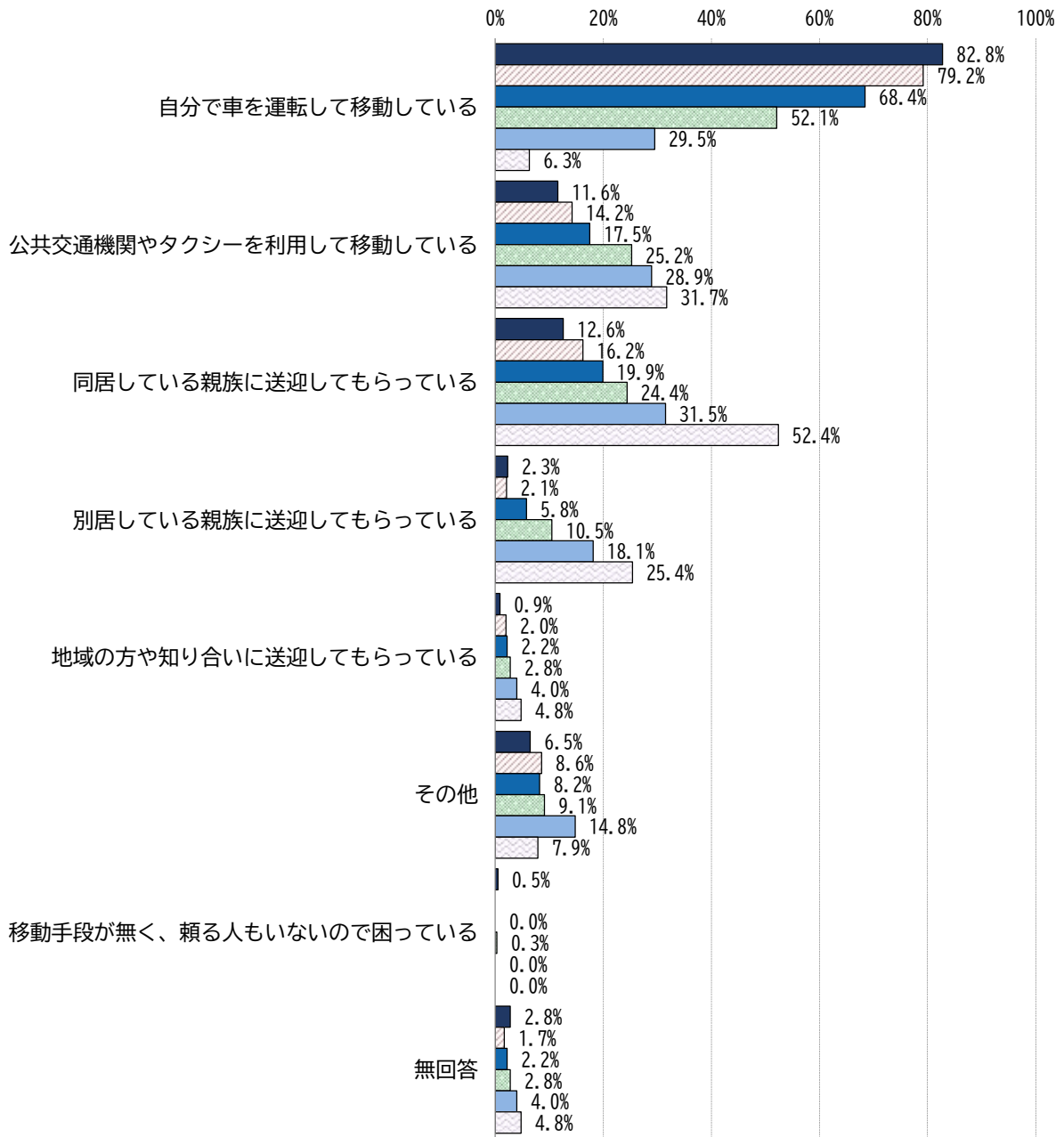
年齢別でみると、高齢者一般では、年齢が高くなるにつれて「自分で車を運転して移動している」の割合が低くなる傾向がみられます。在宅要支援認定者では、「公共交通機関やタクシーを利用して移動している」「同居している親族に送迎してもらっている」の割合がどの年齢層も高くなっています。



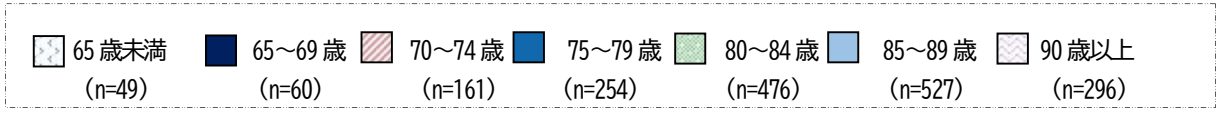
【年齢別集計】



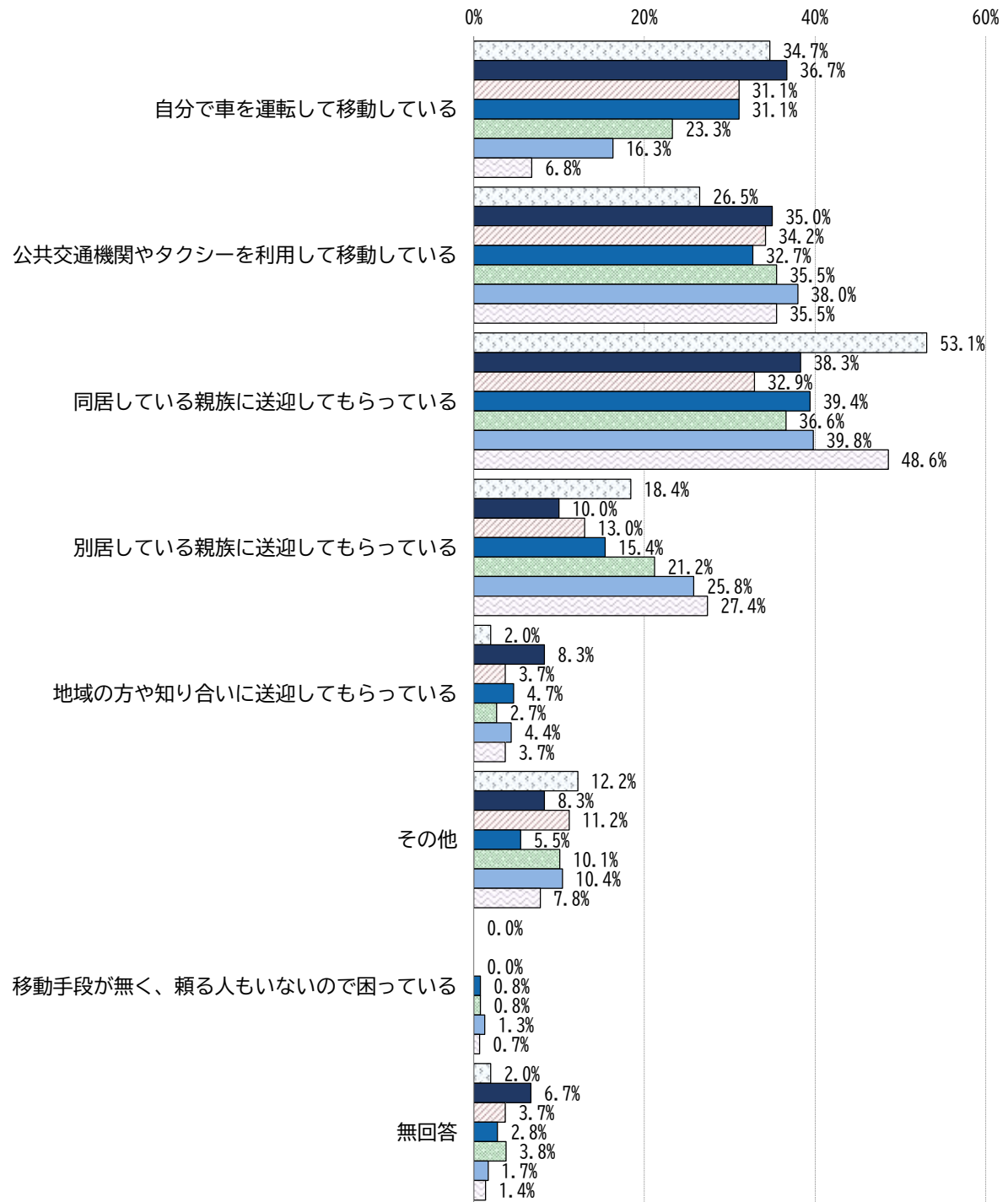
○高齢者一般



【年齢別集計】



○在宅要支援

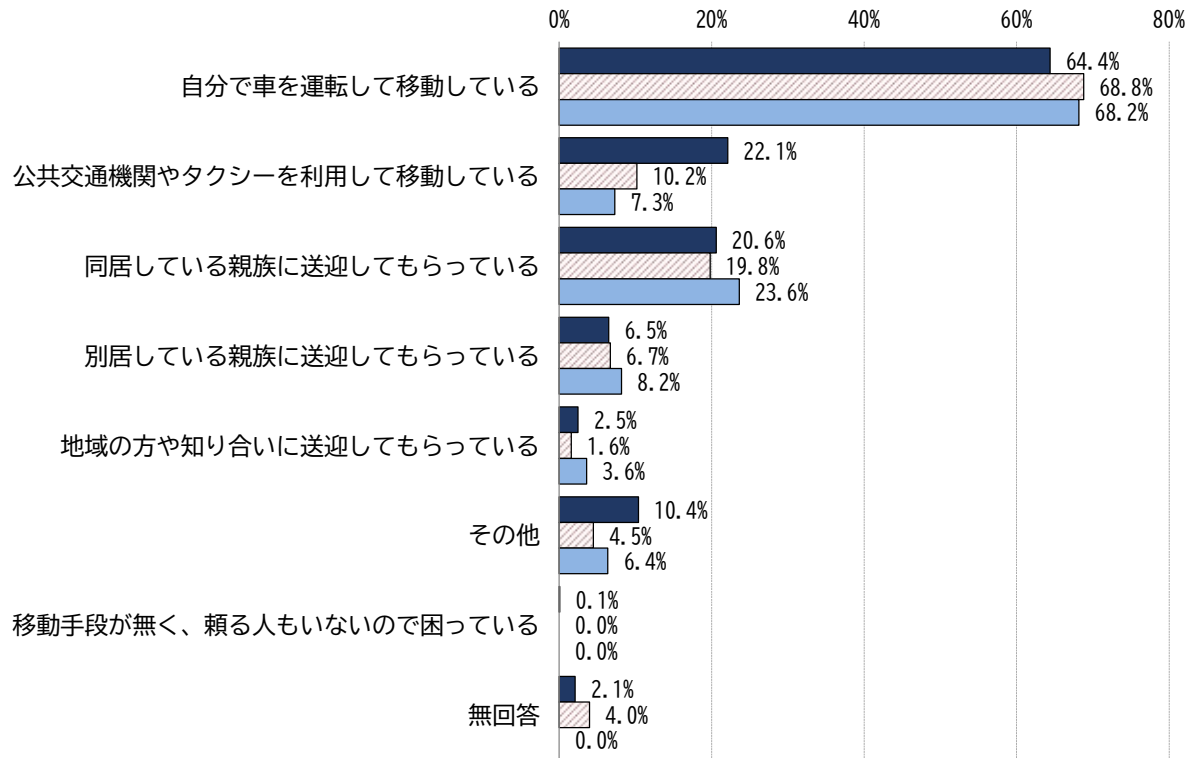




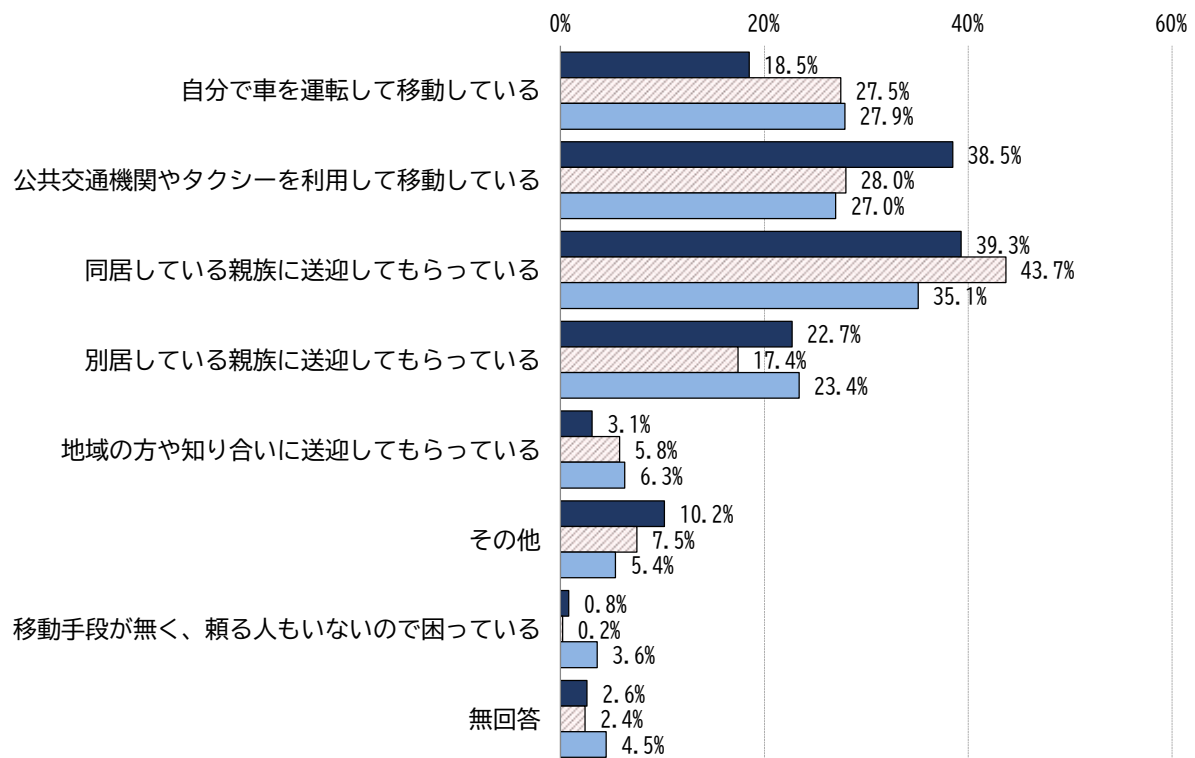
【区別集計】



○高齢者一般



○在宅要支援



ひとりでの外出

バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可) (〇はひとつ)

<高齢者一般調査 問17 ・ 在宅要支援認定者調査 問18>

【単純集計】

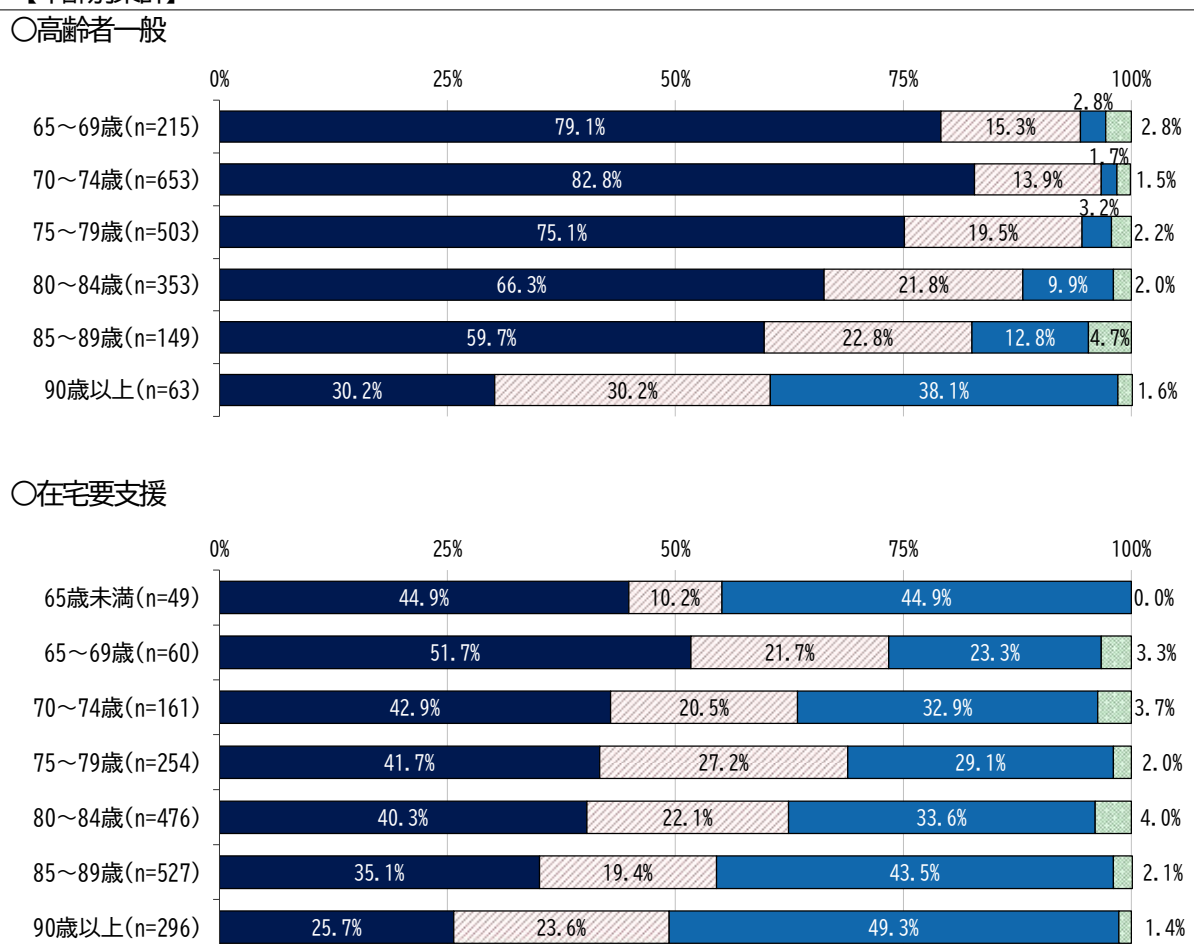
回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
できるし、している	1,431	73.9%	681	37.4%
できるけどしていない	352	18.2%	397	21.8%
できない	111	5.7%	698	38.3%
無回答	42	2.2%	47	2.6%
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%

単純集計でみると、高齢者一般では「できるし、している」の割合が高くなっています。在宅要支援認定者では「できない」の割合が最も高くなっていますが、ついで「できるし、している」の割合も高くなっています。

年齢別でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに、年齢が高くなるにつれて「できるし、している」の割合が低くなる傾向がみられます。

■ できるし、している    ▨ できるけどしていない    ■ できない    □ 無回答

【年齢別集計】



食品・日用品の買物

自分で食品・日用品の買物をしていますか。(〇はひとつ)

<高齢者一般調査 問18 ・ 在宅要支援認定者調査 問19>

【単純集計】

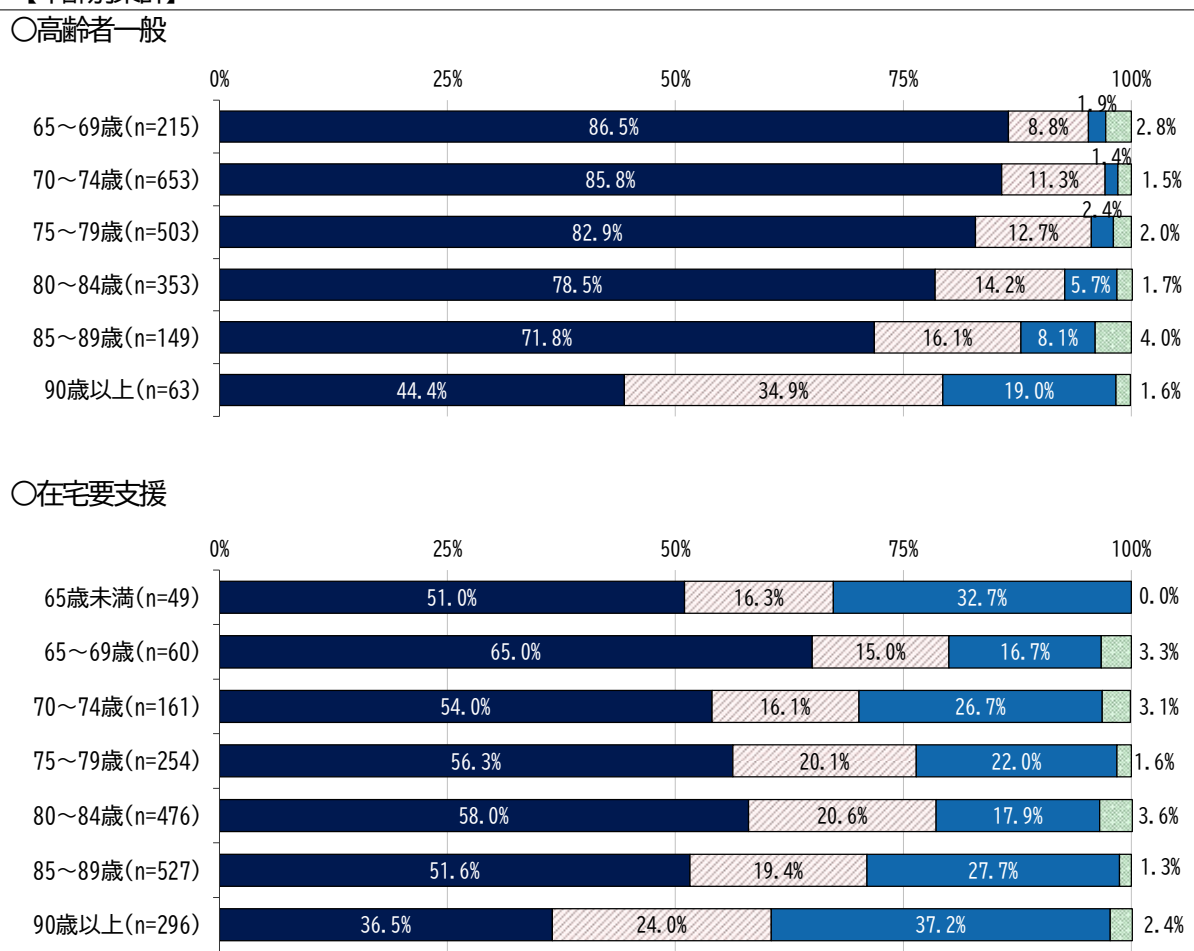
回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
できるし、している	1,575	81.4%	950	52.1%
できるけどしていない	253	13.1%	365	20.0%
できない	69	3.6%	466	25.6%
無回答	39	2.0%	42	2.3%
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%

単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに、「できるし、している」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、高齢者一般では年齢が高くなるにつれて「できるし、している」の割合が低くなる傾向がみられます。在宅要支援認定者では「65～69歳」の割合が最も高く、90歳以上では4割以下となっています。

■ できるし、している    ▨ できるけどしていない    ■ できない    □ 無回答

【年齢別集計】



食事の用意

自分で食事の用意をしていますか。(〇はひとつ)

<高齢者一般調査 問19 ・ 在宅要支援認定者調査 問20>

【単純集計】

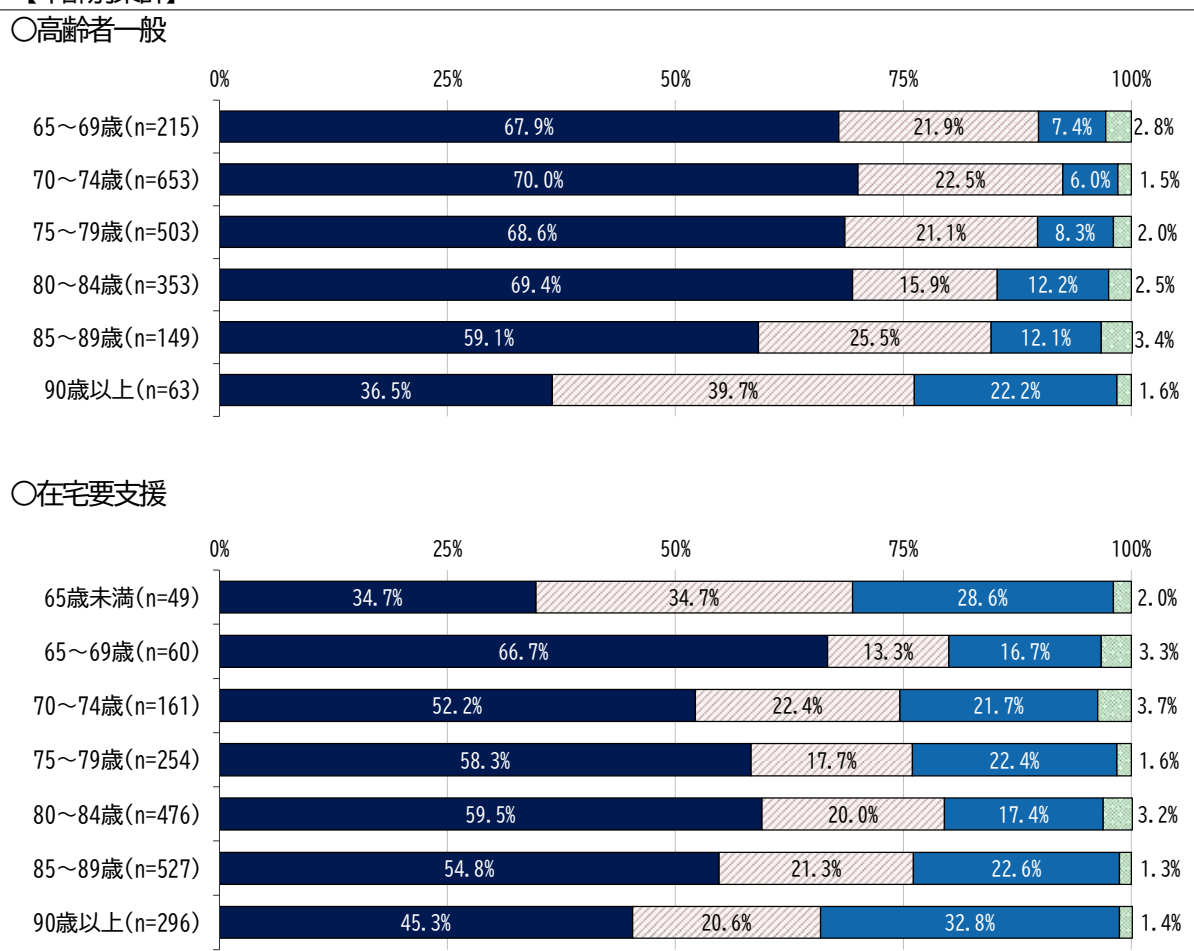
回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
できるし、している	1,304	67.4%	995	54.6%
できるけどしていない	419	21.6%	374	20.5%
できない	172	8.9%	415	22.8%
無回答	41	2.1%	39	2.1%
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%

単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに「できるし、している」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、高齢者一般は 85 歳以上になるとそれ以前より「できるし、している」の割合が低くなる傾向にあります。在宅要支援認定者は、65 歳未満が「できるし、している」の割合が最も低くなっています。

■ できるし、している    ▨ できるけどしていない    ■ できない    ■ 無回答

【年齢別集計】



請求書の支払い

自分で請求書の支払いをしていますか。(〇はひとつ)

<高齢者一般調査 問20 ・ 在宅要支援認定者調査 問21>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
できるし、している	1,566	80.9%	1,109	60.8%
できるけどしていない	255	13.2%	349	19.1%
できない	73	3.8%	321	17.6%
無回答	42	2.2%	44	2.4%
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%

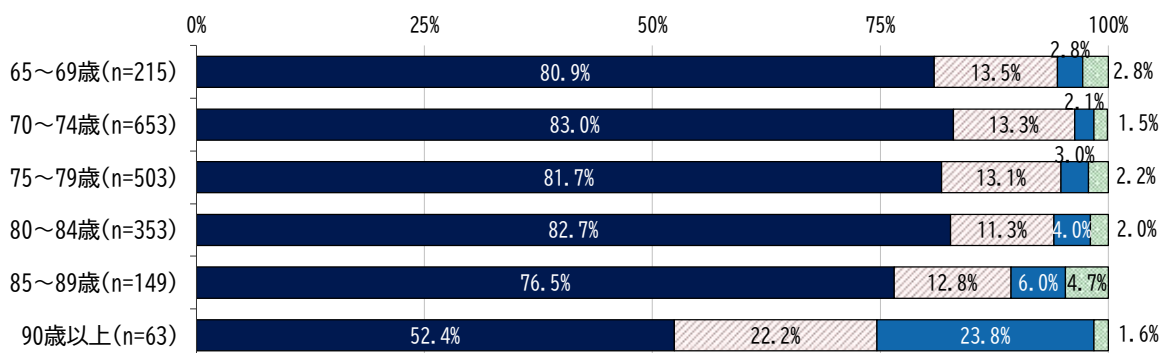
単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに、「できるし、している」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに、90歳以上になるとそれ以前より「できるし、している」の割合が5割程度となっています。

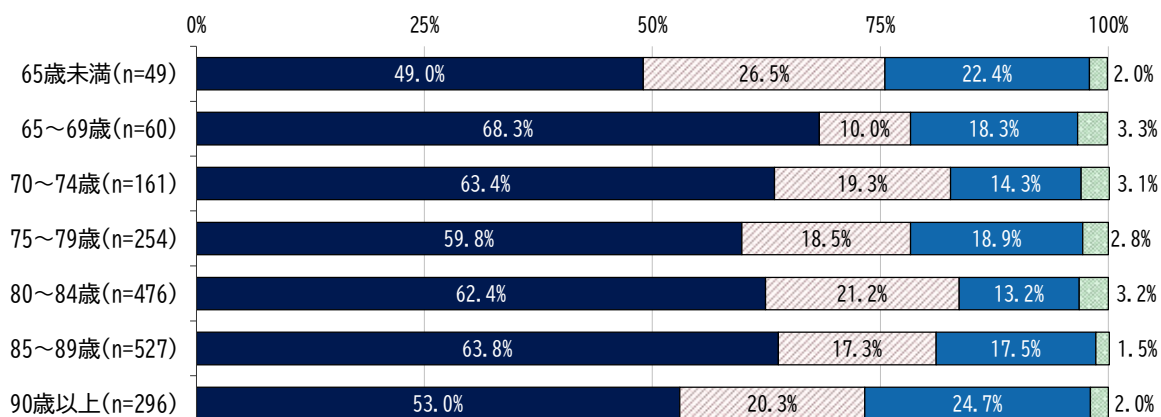
■ できるし、している    ▨ できるけどしていない    ■ できない    ■ 無回答

【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



預貯金の出し入れ

自分で預貯金の出し入れをしていますか。(〇はひとつ)

<高齢者一般調査 問21 ・ 在宅要支援認定者調査 問22>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
できるし、している	1,576	81.4%	1,083	59.4%
できるけどしていない	232	12.0%	383	21.0%
できない	89	4.6%	321	17.6%
無回答	39	2.0%	36	2.0%
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%

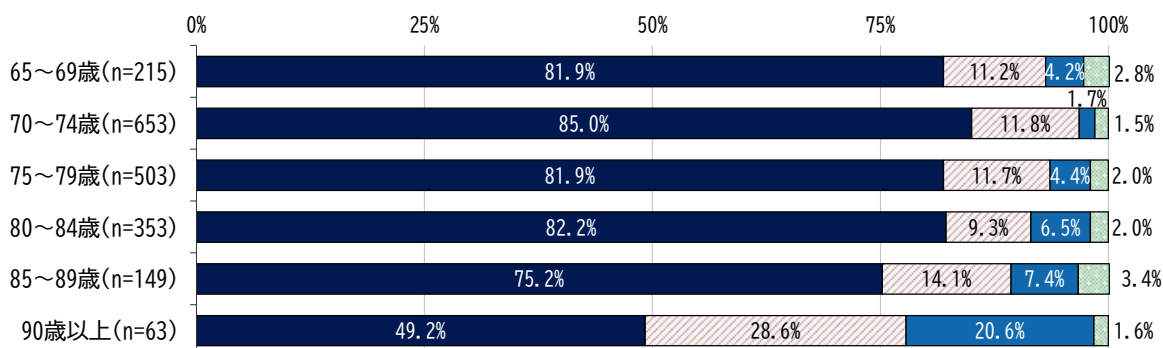
単純集計で見ると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに、「できるし、している」の割合が最も高くなっています。

年齢別で見ると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに、85歳以上になるとそれ以前より「できるし、している」の割合が低くなっています。

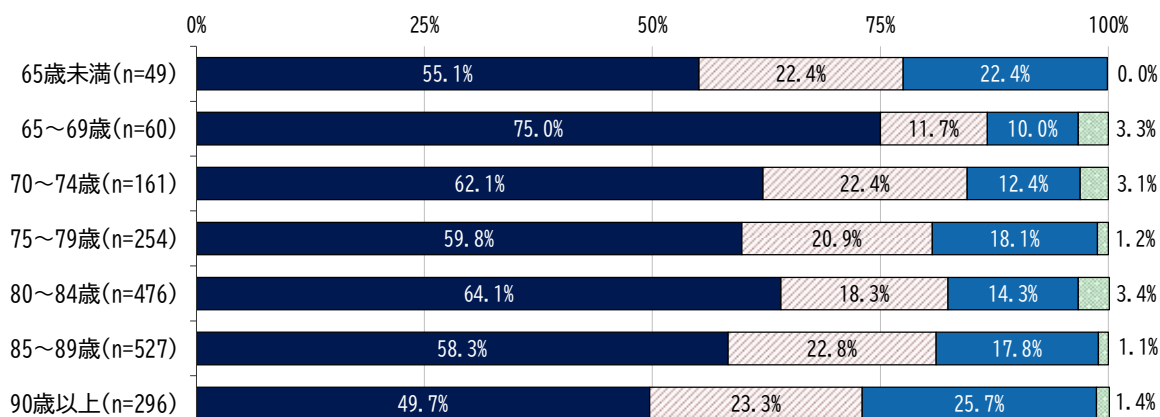
■ できるし、している    ▨ できるけどしていない    ■ できない    ▩ 無回答

【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



## 生きがいの実感

生きがい（喜びや楽しみ）を感じるのどのような時ですか。（〇はいくつでも）

<高齢者一般調査 問22・在宅要支援認定者調査 問23>

## 【単純集計】

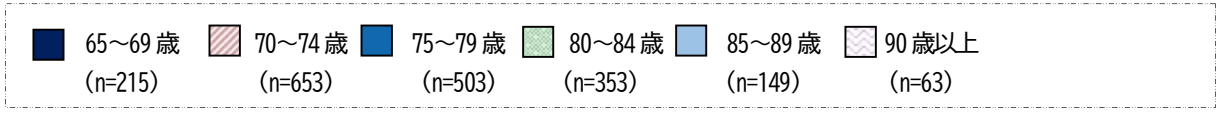
回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
仕事をしているとき（農作業なども含む）	768	39.7%	305	16.7%
教養を身につけること（学習）をしているとき	427	22.1%	267	14.6%
健康づくりやスポーツをしているとき	585	30.2%	369	20.2%
家族との団らんのとき	943	48.7%	737	40.4%
友人や知人と過ごすとき	969	50.1%	719	39.4%
シニアクラブ・老人クラブ活動をしているとき	138	7.1%	245	13.4%
地域活動（町内会、自治会、ボランティア等）に参加しているとき	195	10.1%	107	5.9%
旅行に行っているとき	651	33.6%	248	13.6%
散歩や買い物をしているとき	988	51.0%	675	37.0%
テレビを見たり、ラジオを聞いているとき	1,221	63.1%	1,164	63.9%
パソコン、インターネットをしているとき	333	17.2%	141	7.7%
他人から感謝されたとき	567	29.3%	383	21.0%
収入があったとき	542	28.0%	325	17.8%
おいしいものを食べているとき	1,229	63.5%	1,043	57.2%
若い世代と交流しているとき	401	20.7%	279	15.3%
その他	69	3.6%	102	5.6%
特になし	39	2.0%	86	4.7%
無回答	22	1.1%	44	2.4%
回 答 数	1,936	—	1,823	—

単純集計では、高齢者一般が「おいしいものを食べているとき」、在宅要支援が「テレビを見たり、ラジオを聞いているとき」の回答が最も多くなっています。

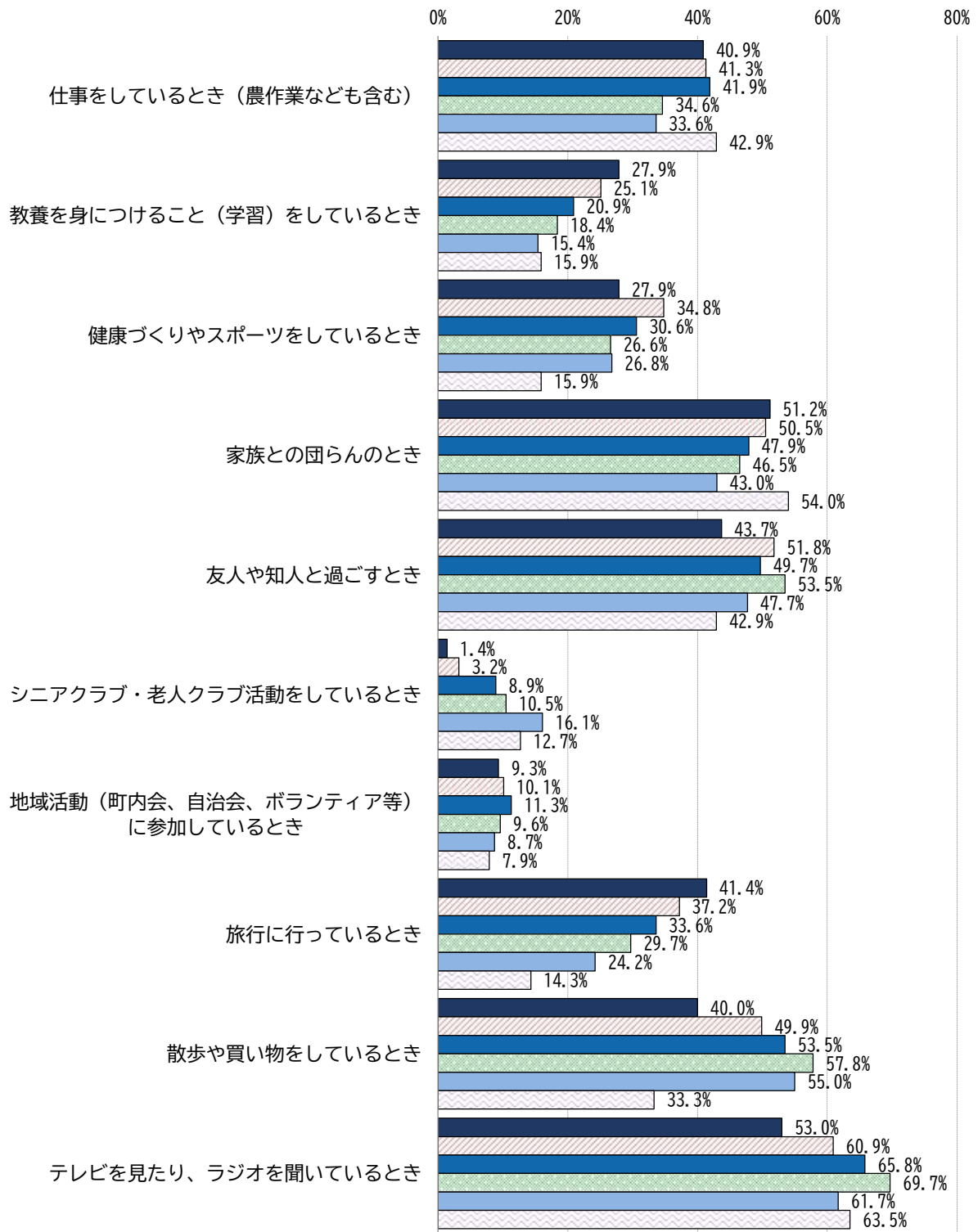
年齢別でみると、高齢者一般では年齢が高くなるにつれて全体的に割合が低くなる傾向がみられます。この中で「仕事をしているとき」「家族との団らんのとき」「若い世代と交流しているとき」については、90歳以上が全年代の中で最も高い割合を占めています。



【年齢別集計】

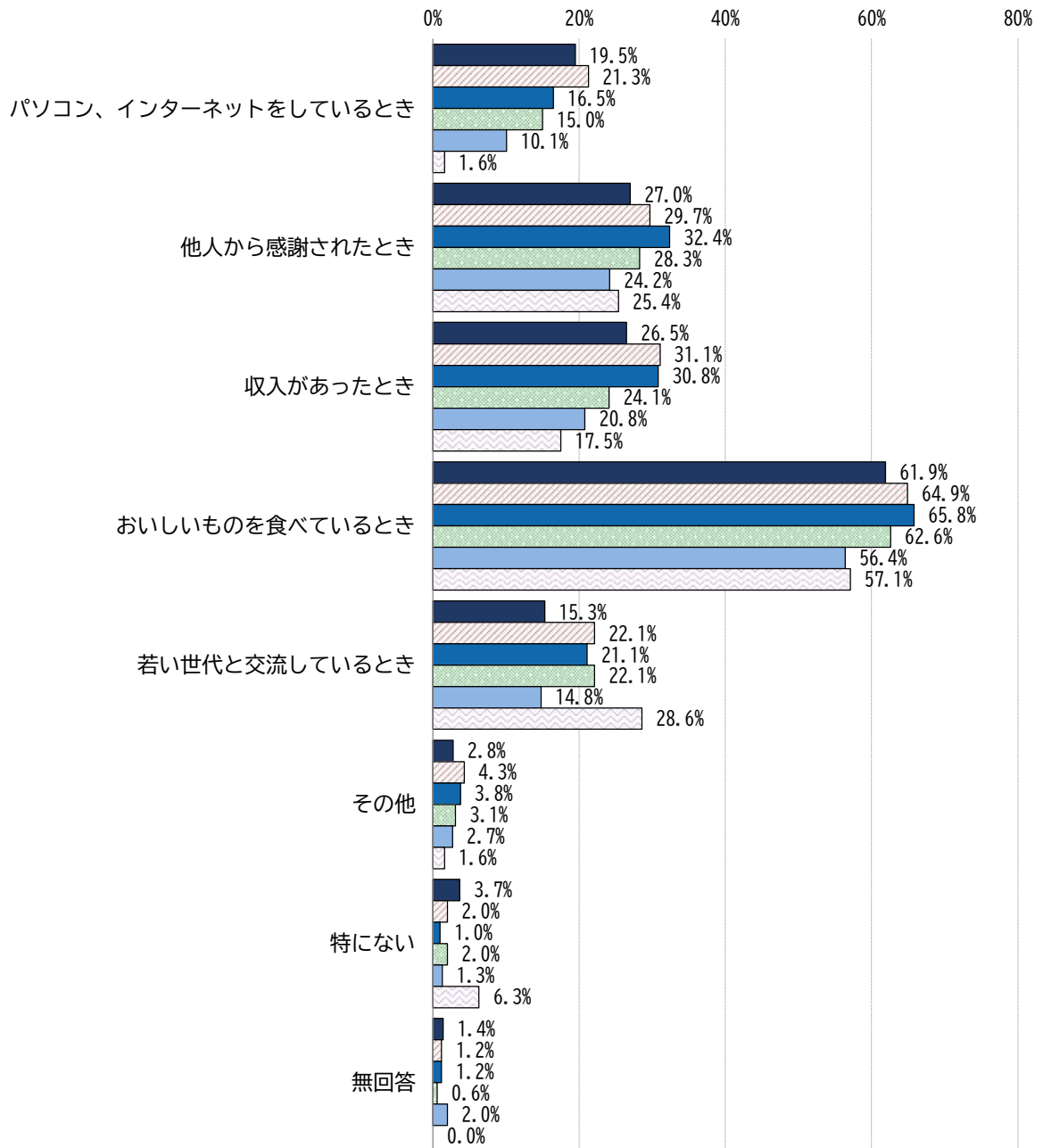


○高齢者一般 (2-1)

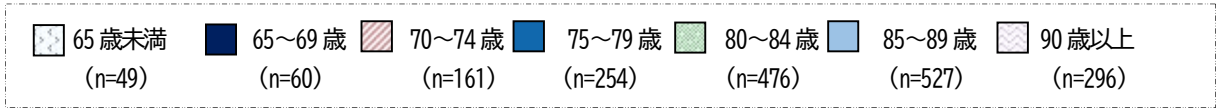




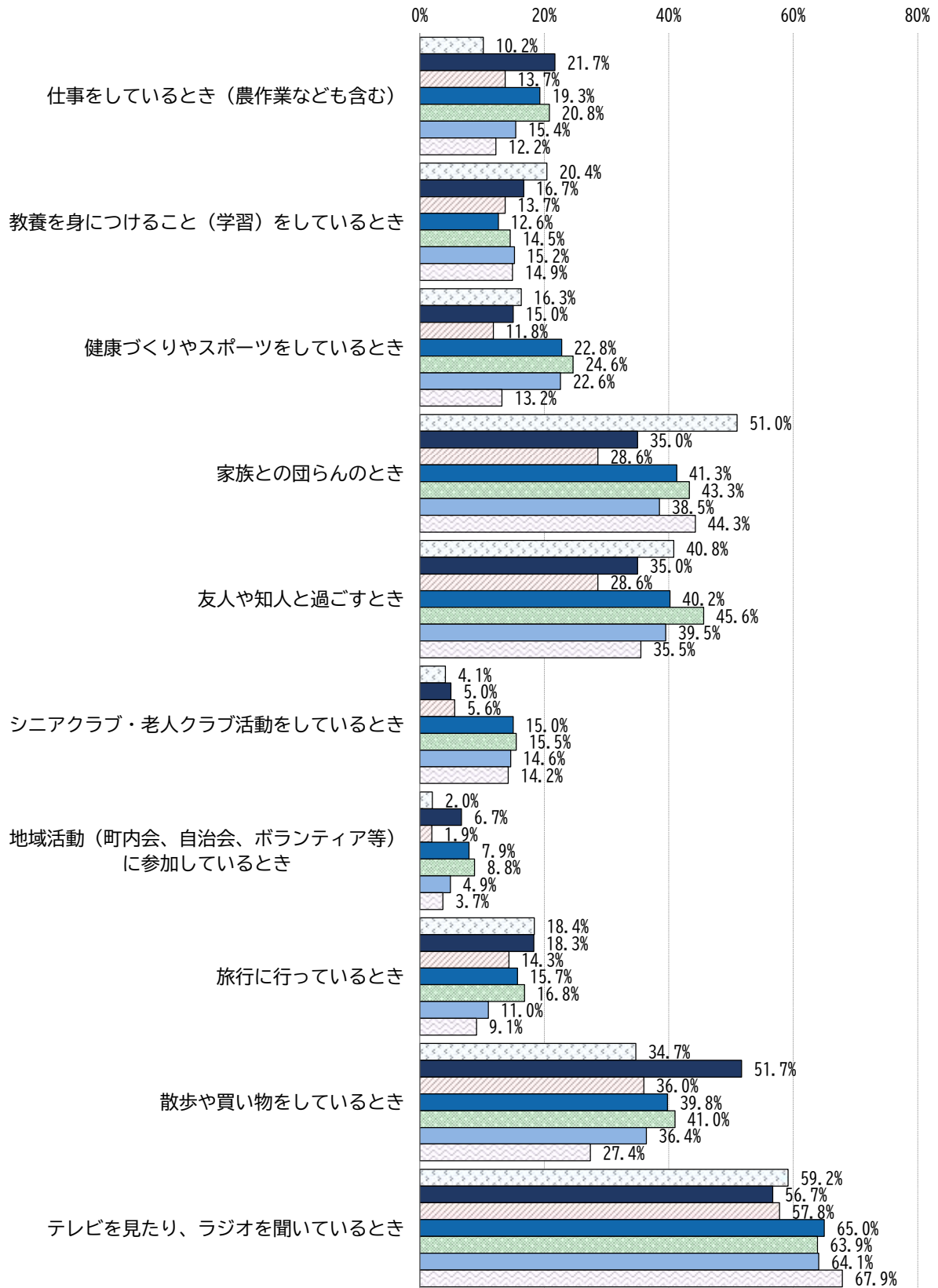
○高齢者一般 (2-2)



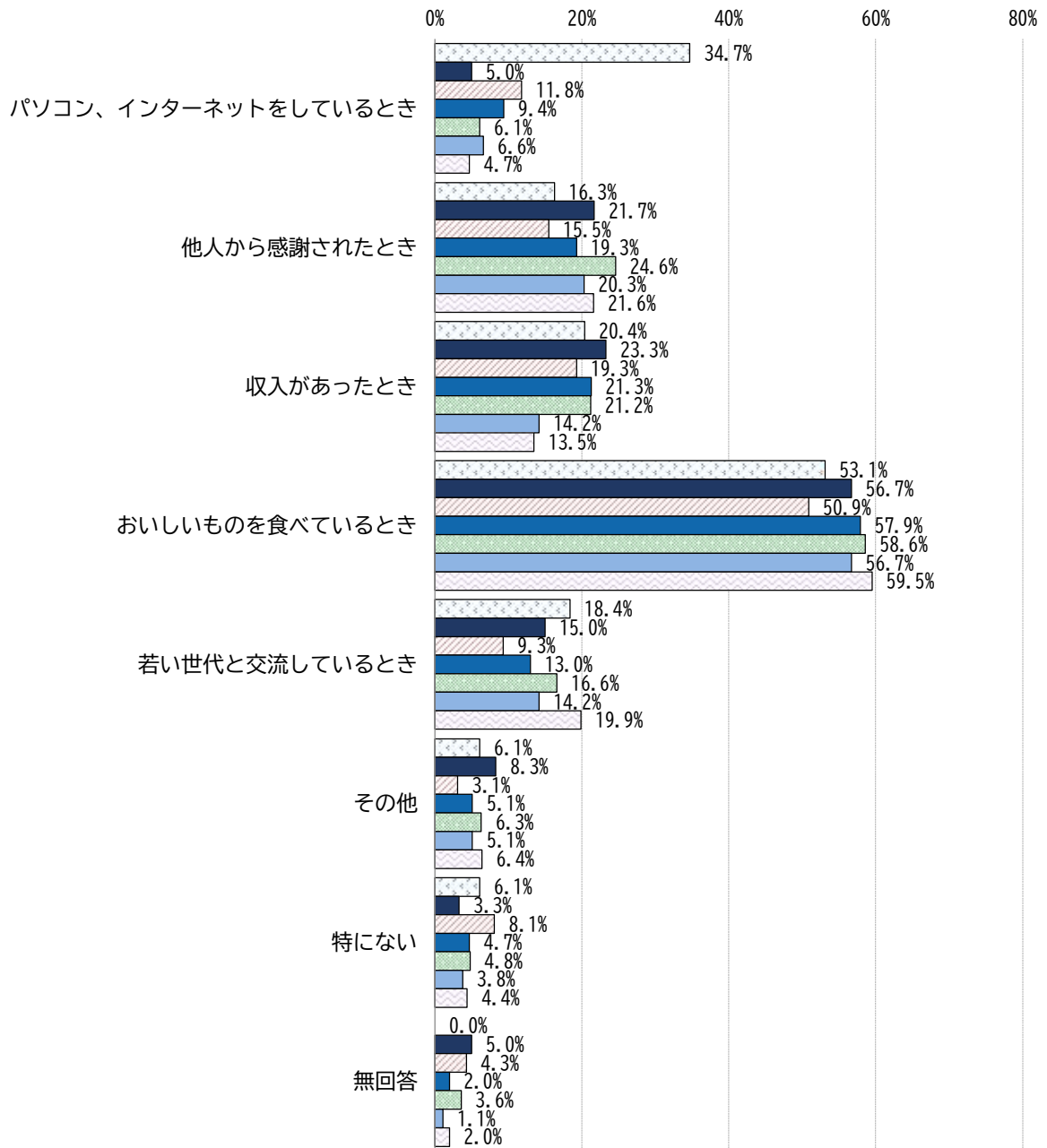
【年齢別集計】



○在宅要支援 (2-1)



○在宅要支援 (2-2)



インターネット環境

日常生活で利用できるインターネット環境はありますか。(○はひとつ)

<高齢者一般調査 問23・在宅要支援認定者調査 問24・在宅要介護認定者調査 問3>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
パソコンでインターネットを使用でき、スマートフォンやタブレットも使用している	503	26.0%	160	8.8%	169	10.8%
パソコンでインターネットを使用できるが、スマートフォンやタブレットは使用していない	114	5.9%	98	5.4%	49	3.1%
パソコンでインターネットは使用できないが、スマートフォンやタブレットを使用している	607	31.4%	335	18.4%	191	12.2%
パソコンでインターネットを使用できず、スマートフォンやタブレットも使用していない	583	30.1%	1,009	55.3%	1,070	68.5%
無回答	129	6.7%	221	12.1%	82	5.3%
回 答 数	1,936	100.0%	1,823	100.0%	1,561	100.0%

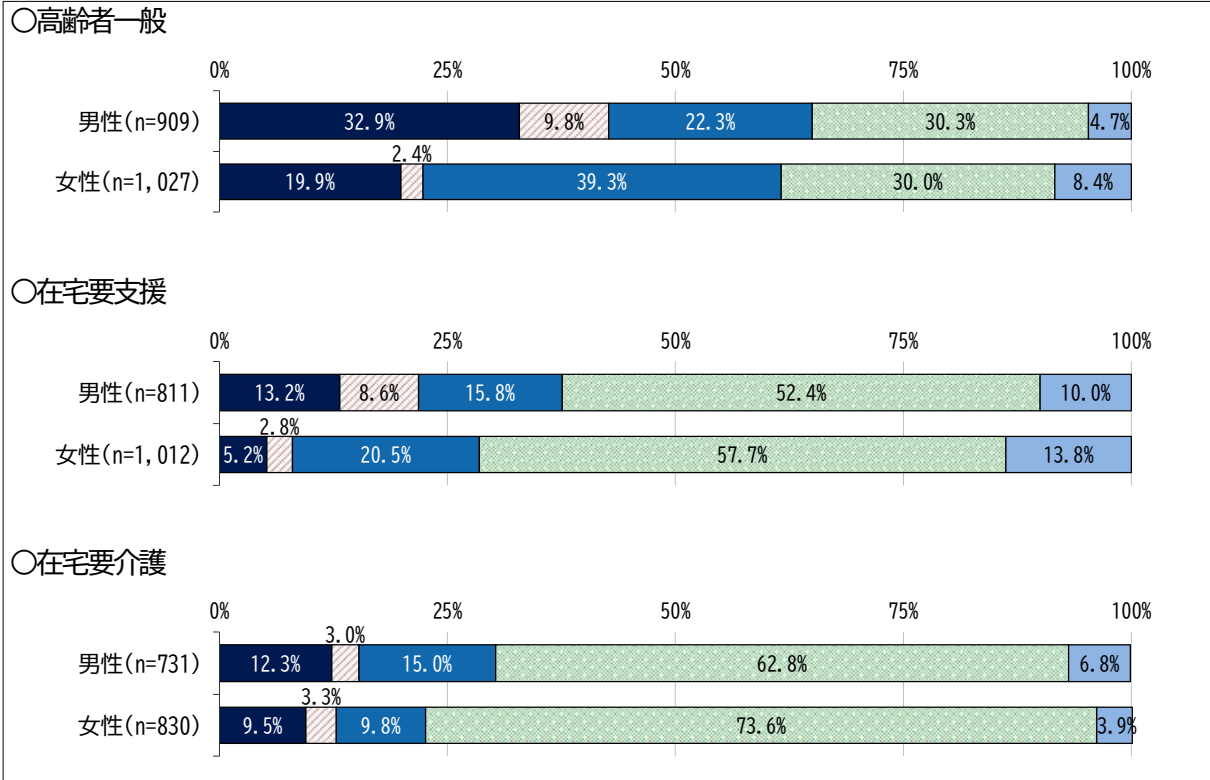
単純集計では、高齢者一般は「パソコンでインターネットは使用できないが、スマートフォンやタブレットを使用している」の回答が最も多くなっています。在宅要支援認定者、在宅要介護認定者では「パソコンでインターネットを使用できず、スマートフォンやタブレットも使用していない」の回答が最も多くなっています。

性別でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者ともに女性に比べて男性は「パソコンでインターネットを使用でき、スマートフォンやタブレットも使用している」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者ともに65歳未満で「パソコンでインターネットを使用でき、スマートフォンやタブレットも使用している」の割合が4割程度となっていますが、年齢が高くなるにつれて割合が低くなる傾向がみられます。

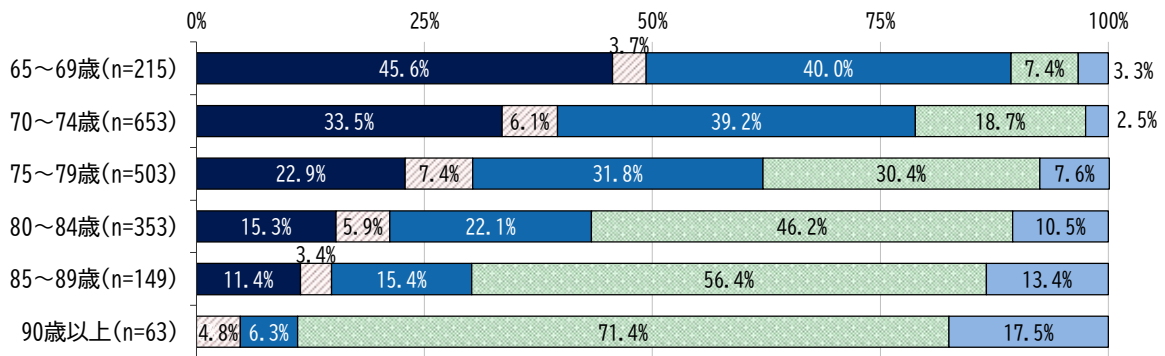
- パソコンでインターネットを使用でき、スマートフォンやタブレットも使用している
- ▨ パソコンでインターネットを使用できるが、スマートフォンやタブレットは使用していない
- パソコンでインターネットは使用できないが、スマートフォンやタブレットを使用している
- パソコンでインターネットを使用できず、スマートフォンやタブレットも使用していない
- 無回答

【性別集計】

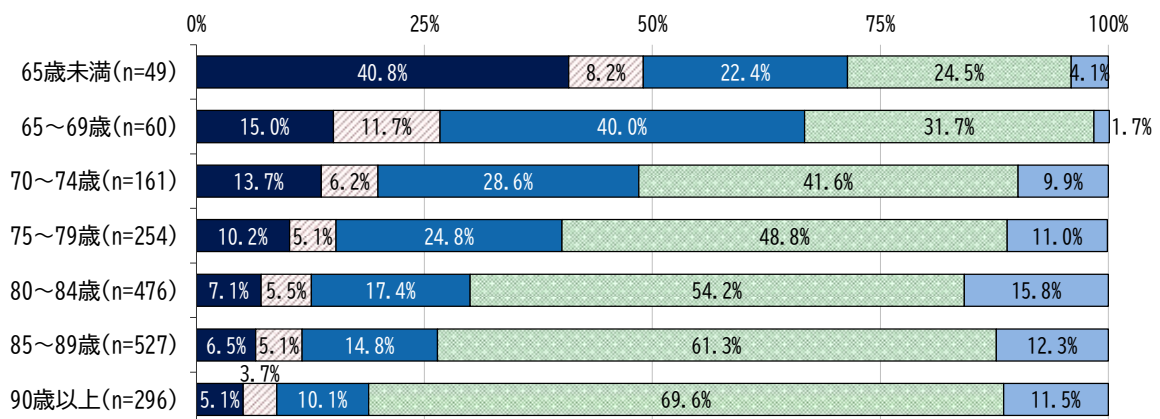


【年齢別集計】

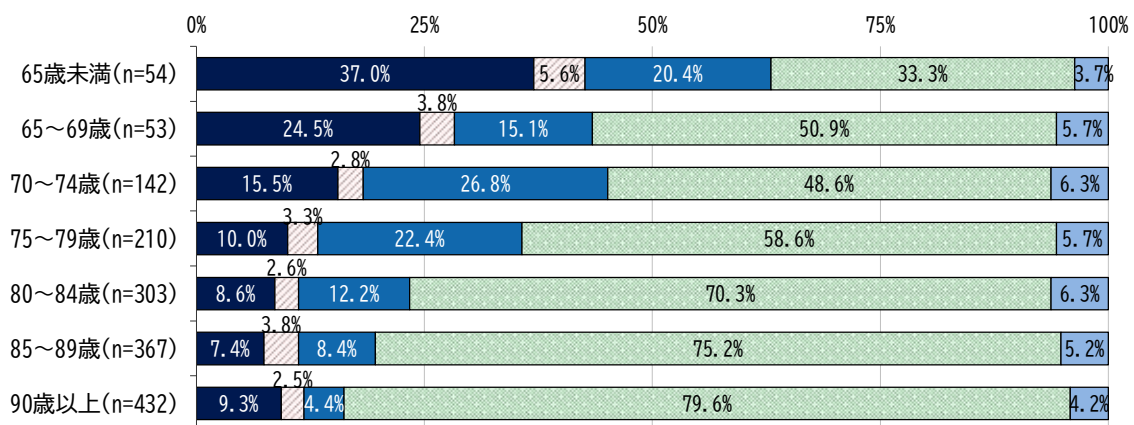
○高齢者一般



○在宅要支援



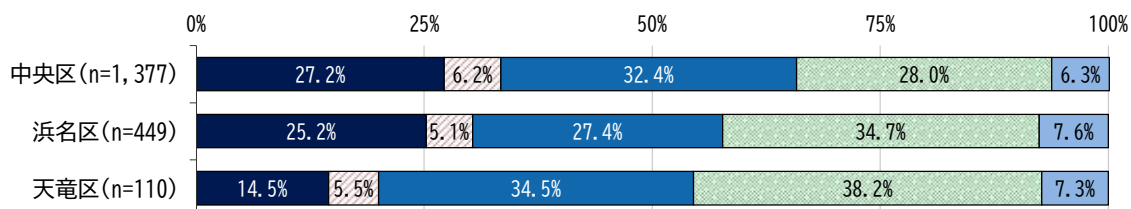
○在宅要介護



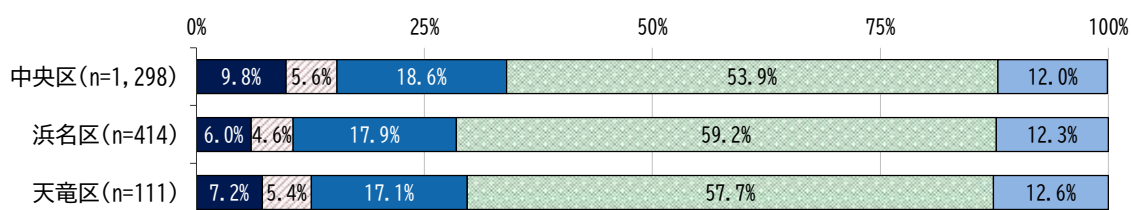
- パソコンでインターネットを使用でき、スマートフォンやタブレットも使用している
- ▨ パソコンでインターネットを使用できるが、スマートフォンやタブレットは使用していない
- パソコンでインターネットは使用できないが、スマートフォンやタブレットを使用している
- ▨ パソコンでインターネットを使用できず、スマートフォンやタブレットも使用していない
- 無回答

【区別集計】

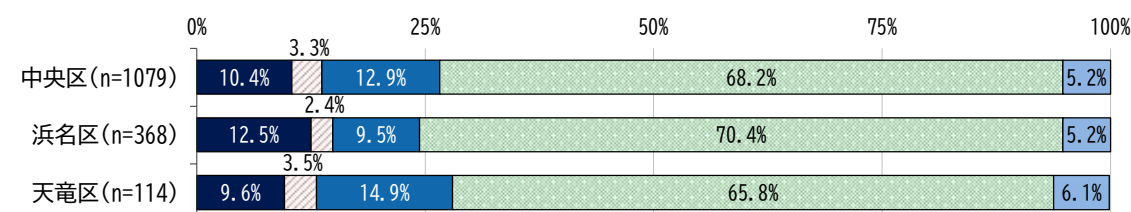
○高齢者一般



○在宅要支援



○在宅要介護



パソコン等の使用内容

前問で「1」「2」「3」と回答した方にお聞きます。パソコン・スマートフォン・タブレットをどのようなことに使用していますか。(〇はいくつでも)

<高齢者一般調査 問24・在宅要支援認定者調査 問25・在宅要介護認定者調査 問4>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
通話	1,060	86.6%	443	74.7%	324	79.2%
メール	961	78.5%	366	61.7%	272	66.5%
情報検索	870	71.1%	307	51.8%	244	59.7%
SNS (ライン、フェイスブック、インスタグラムなど)	424	34.6%	146	24.6%	135	33.0%
地図・ナビゲーション	543	44.4%	150	25.3%	147	35.9%
動画や音楽視聴	342	27.9%	143	24.1%	138	33.7%
ネットショッピング(アマゾンなど)	222	18.1%	80	13.5%	113	27.6%
電子書籍	44	3.6%	29	4.9%	14	3.4%
ゲーム	181	14.8%	85	14.3%	57	13.9%
電子決済(PayPay、auPAYなど)	242	19.8%	51	8.6%	56	13.7%
無回答	8	0.7%	16	2.7%	10	2.4%
回 答 数	1,224	—	593	—	409	—

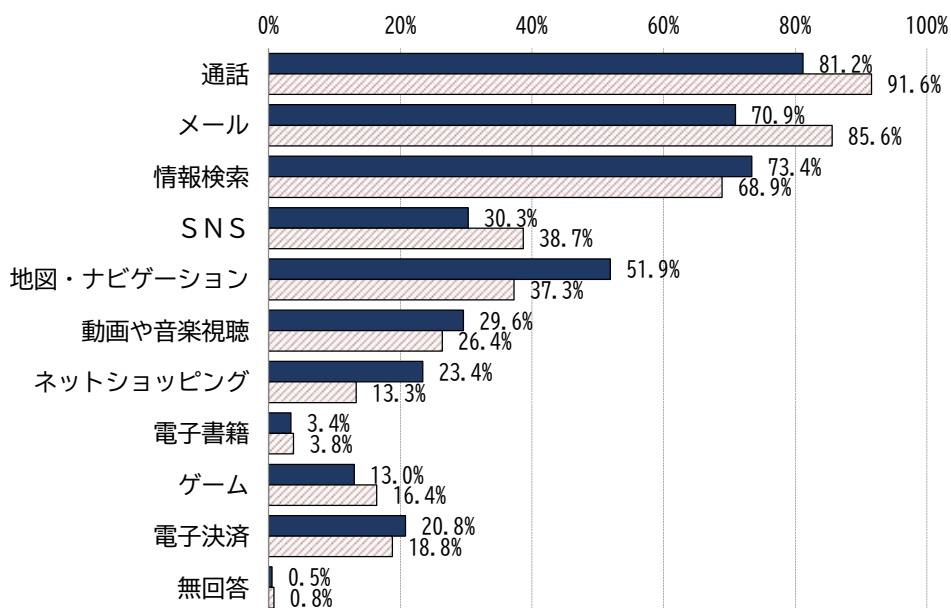
単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援、在宅要介護とも「通話」の割合が最も高く、これに「メール」が続いています。

年齢別でみると、高齢者一般では、「メール」「情報検索」は年齢が高くなるにしたがい、減少傾向にあります。

【性別集計】



○高齢者一般

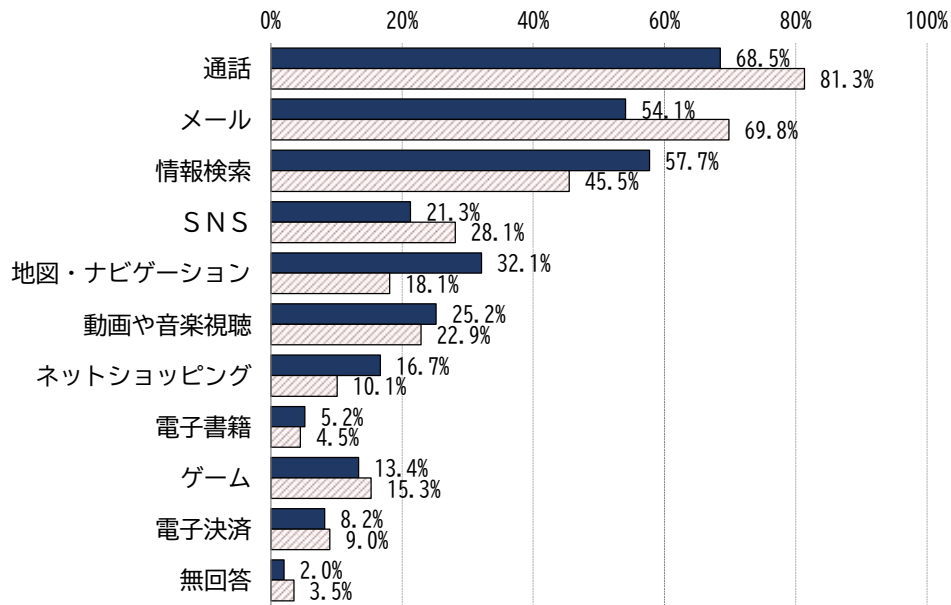




【性別集計】

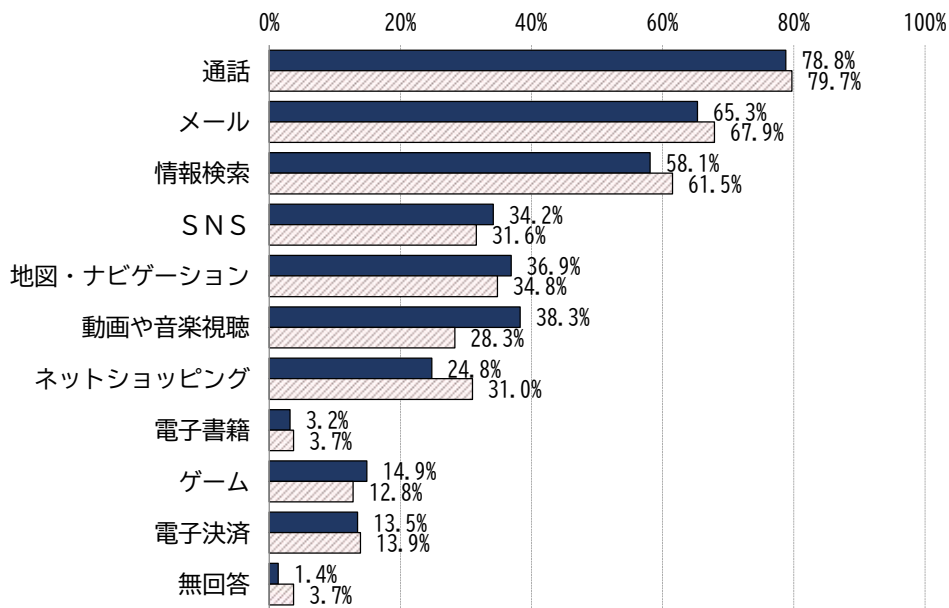
■ 男性 (n=305)    ▨ 女性(n=288)

○在宅要支援

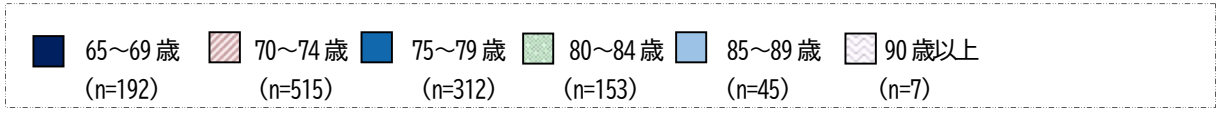


■ 男性 (n=222)    ▨ 女性(n=187)

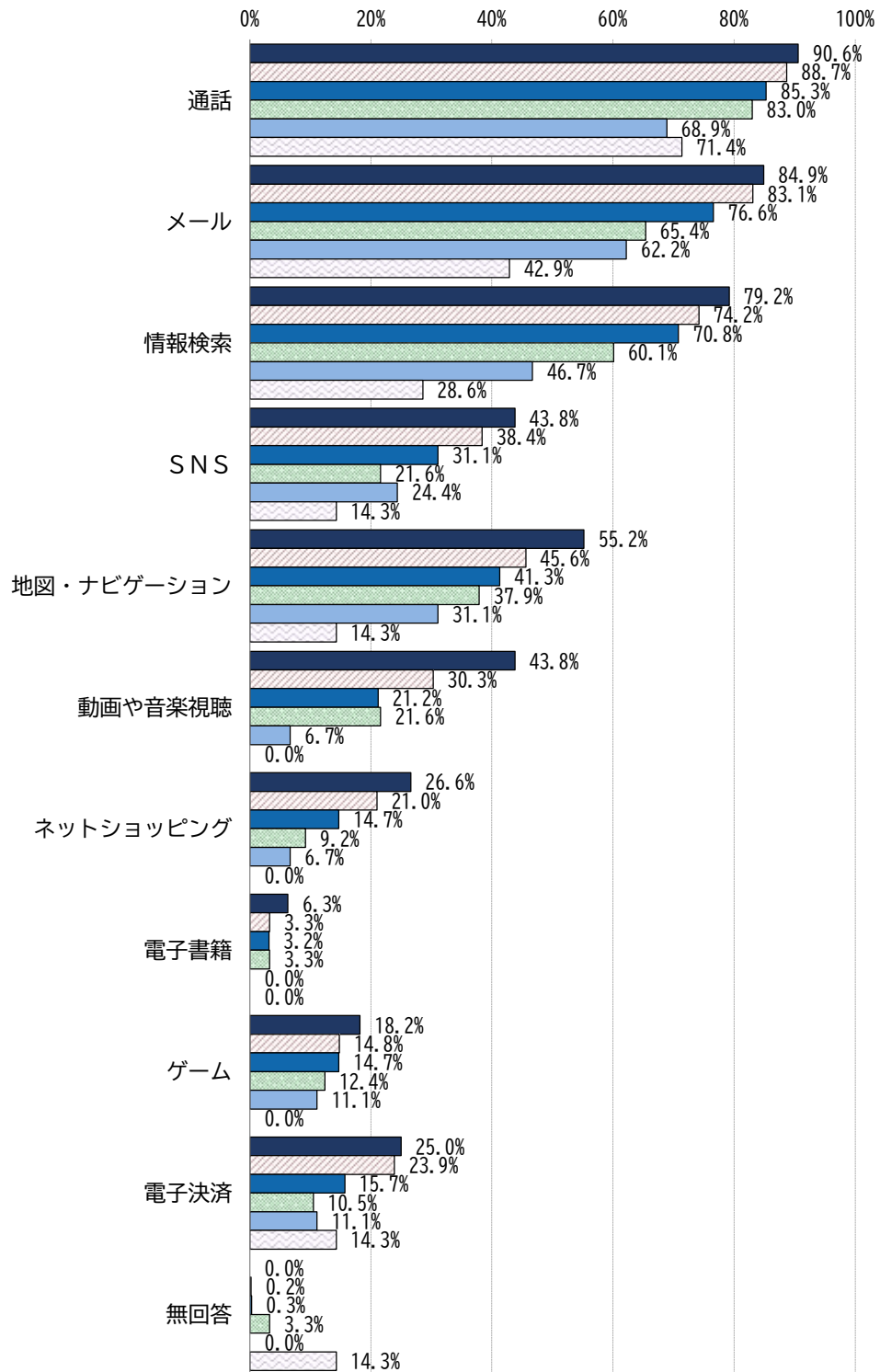
○在宅要介護



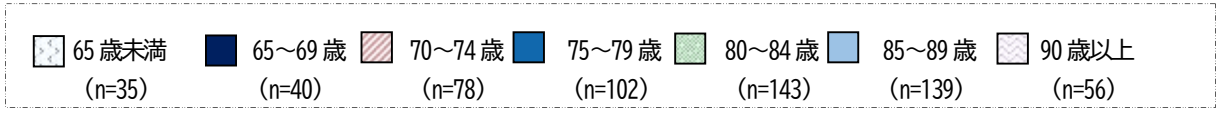
【年齢別集計】



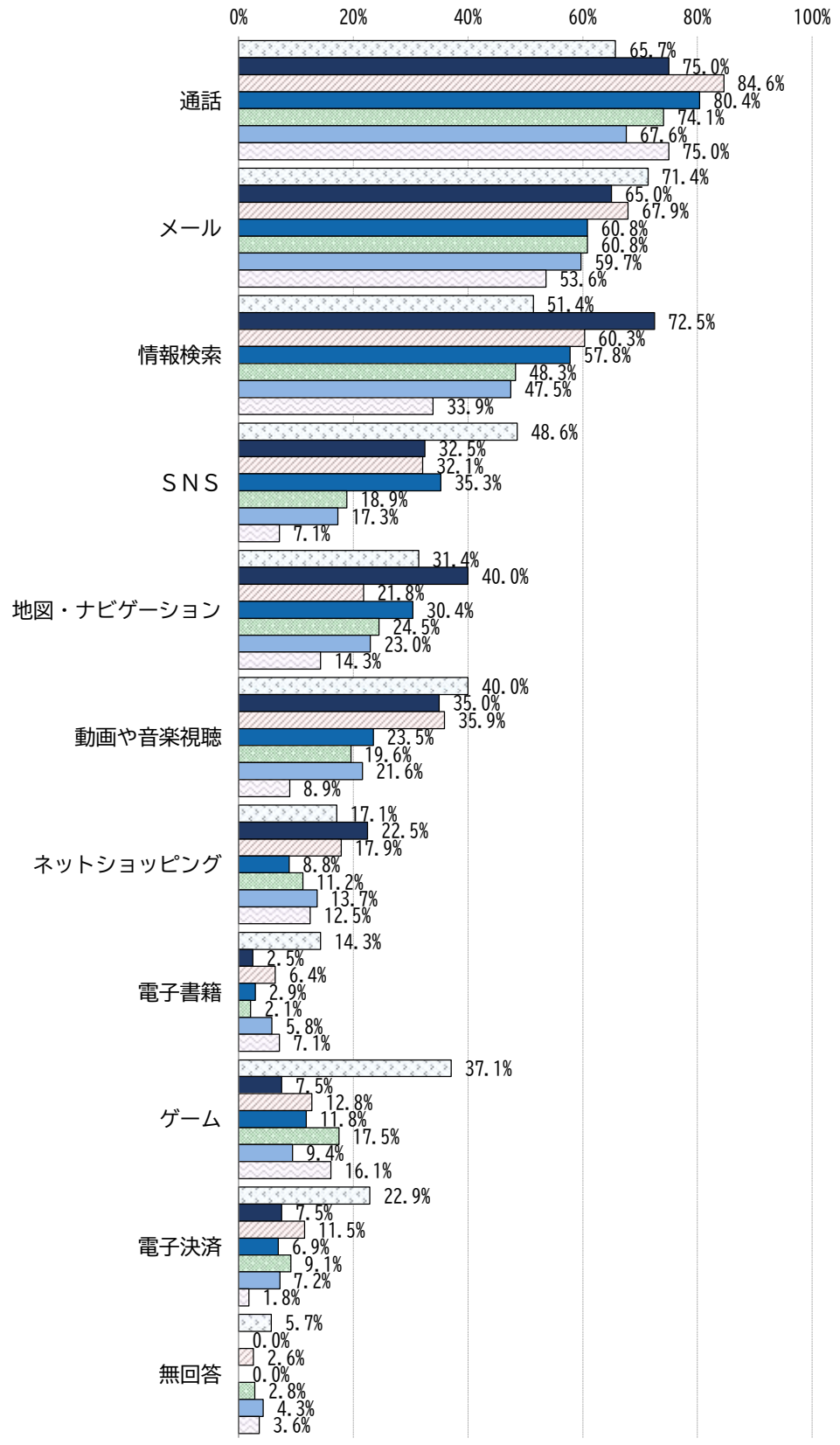
○高齢者一般



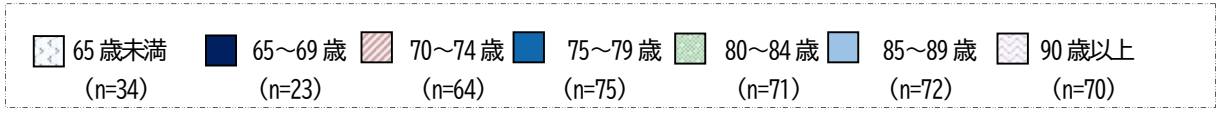
【年齢別集計】



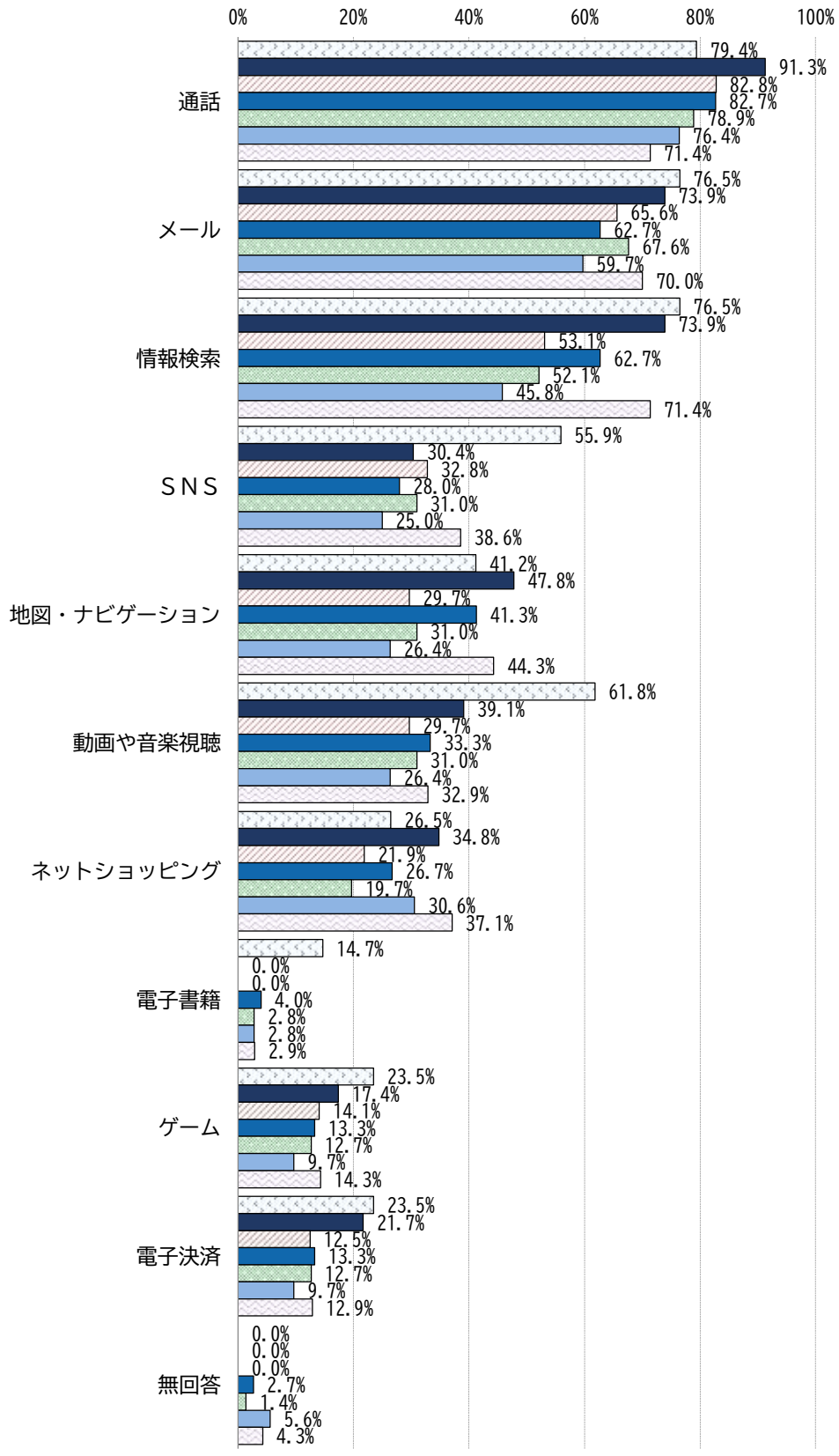
○在宅要支援



【年齢別集計】



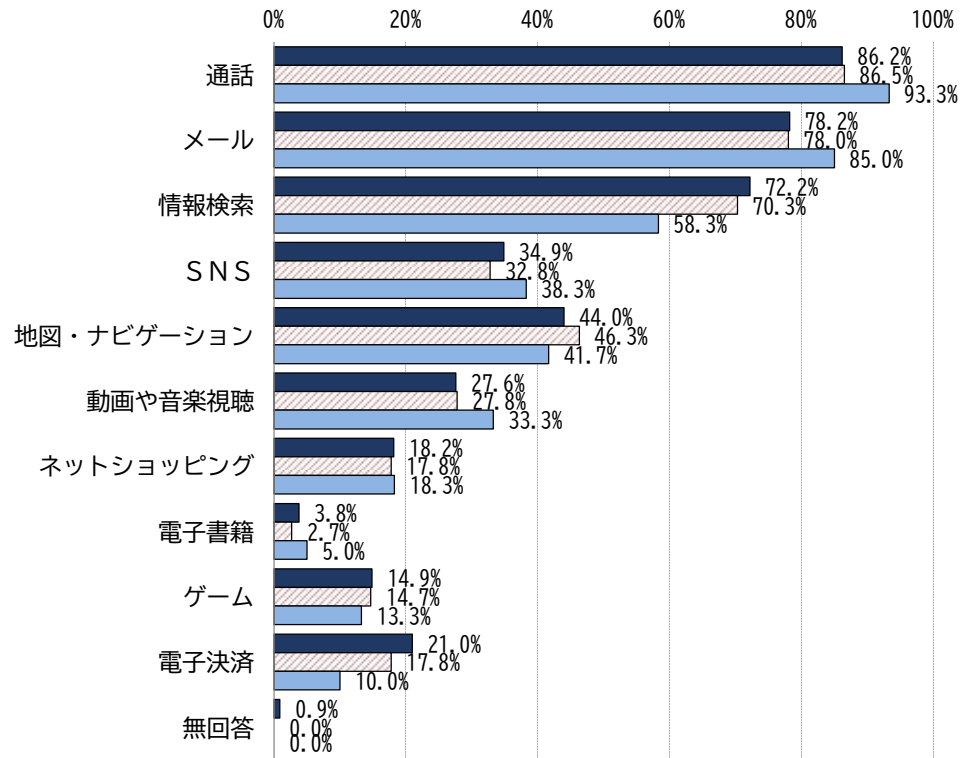
○在宅要介護



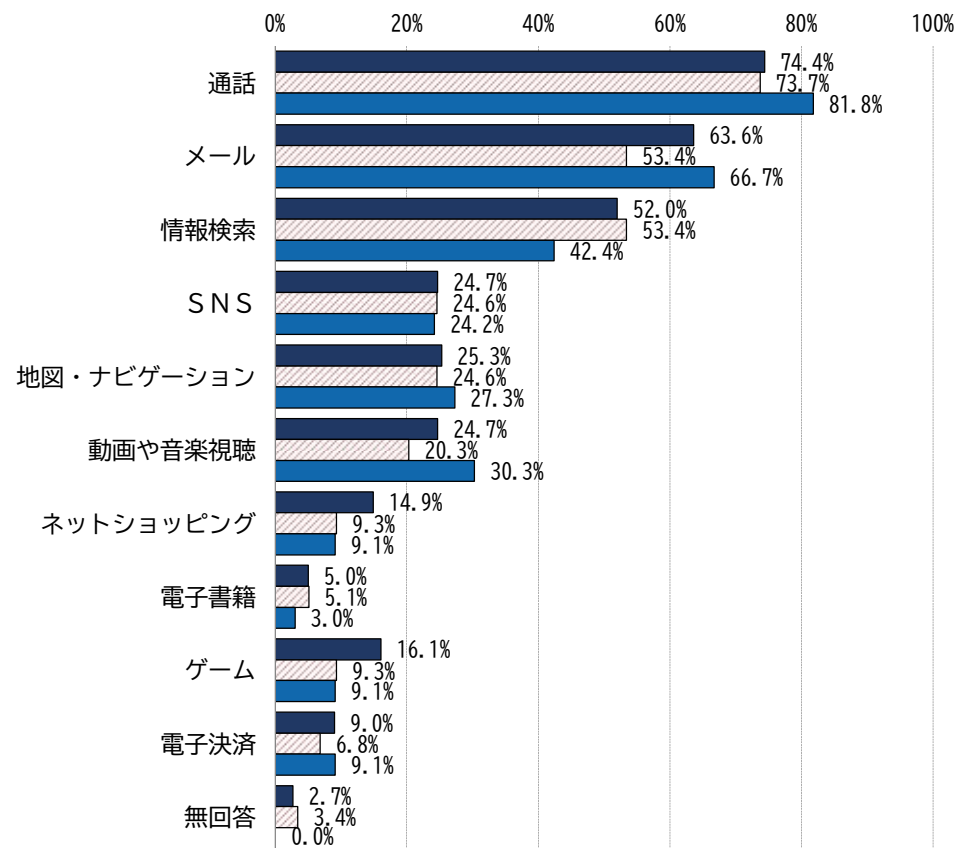
【区別集計】



○高齢者一般



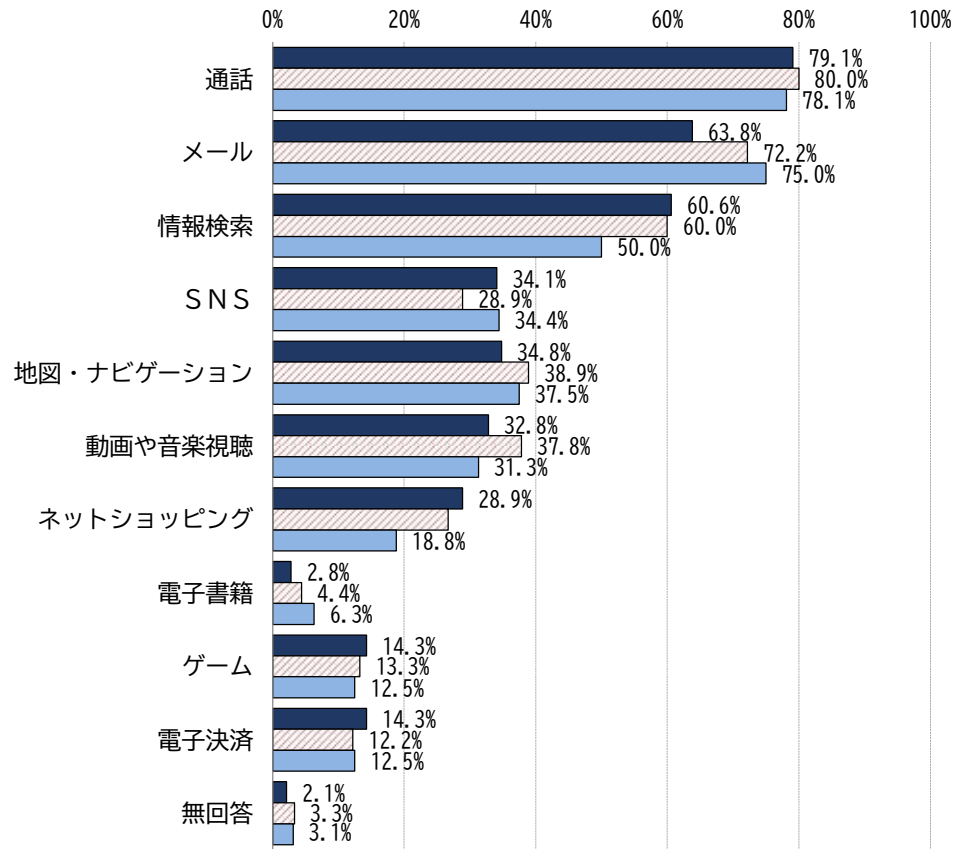
○在宅要支援



【区別集計】



○在宅要介護



ボランティアのグループへの参加頻度

以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

① ボランティアのグループ

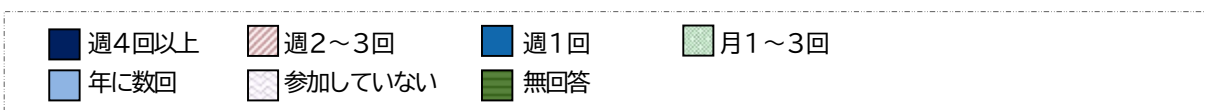
<高齢者一般調査 問25① ・ 在宅要支援認定者調査 問26①>

【単純集計】

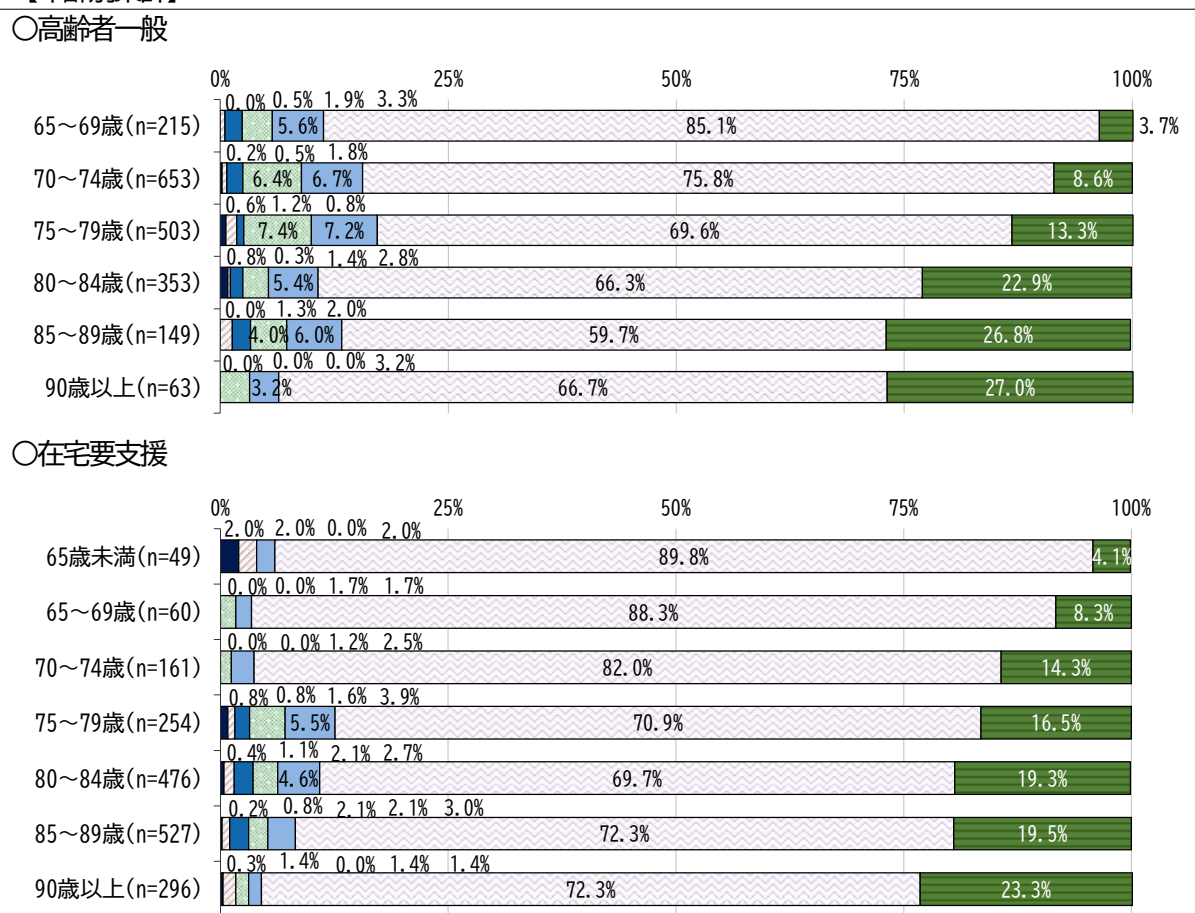
回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
週4回以上	7	0.4%	7	0.4%
週2～3回	13	0.7%	16	0.9%
週1回	28	1.4%	25	1.4%
月1～3回	104	5.4%	41	2.2%
年に数回	122	6.3%	62	3.4%
参加していない	1,393	72.0%	1,336	73.3%
無回答	269	13.9%	336	18.4%
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%

単純集計で見ると、高齢者一般の「参加していない」人の割合は、高齢者一般、在宅要支援認定者とも7割強となっています。

年齢別で見ると、高齢者一般、在宅要支援認定者とも、75～79歳で「参加している」の割合が他の年代と比べてやや高くなっています。



【年齢別集計】





スポーツ関係のグループ やクラブへの参加頻度

以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

② スポーツ関係のグループ やクラブ

<高齢者一般調査 問25② ・ 在宅要支援認定者調査 問26②>

【単純集計】

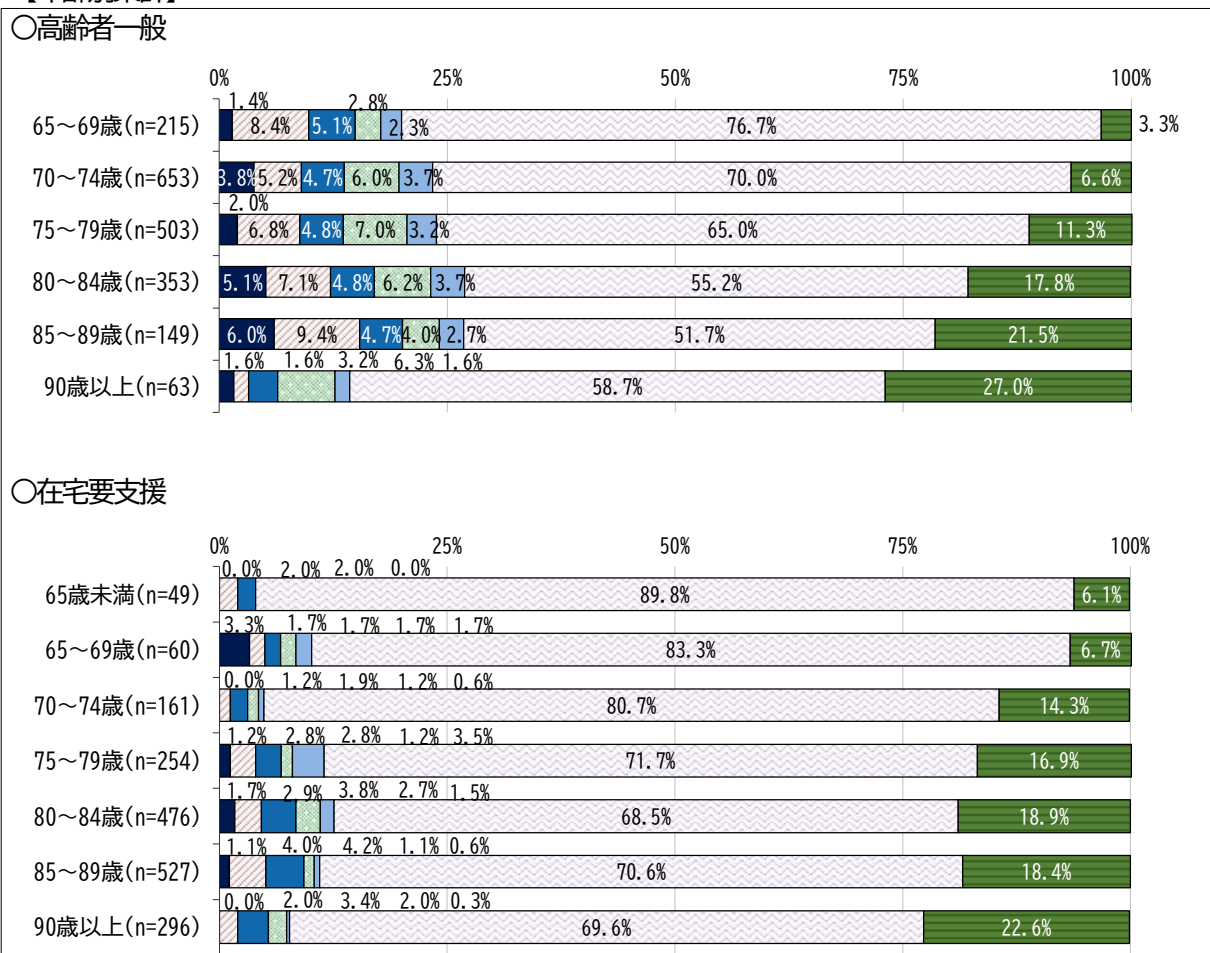
回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
週4回以上	66	3.4%	19	1.0%
週2～3回	126	6.5%	52	2.9%
週1回	92	4.8%	62	3.4%
月1～3回	112	5.8%	31	1.7%
年に数回	63	3.3%	22	1.2%
参加していない	1,258	65.0%	1,310	71.9%
無回答	219	11.3%	327	17.9%
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%

単純集計で見ると、高齢者一般の「参加していない」の割合は6割半ば、在宅要支援では7割となっています。

年齢別で見ると、高齢者一般では、90歳以上になると参加する人の割合が低くなっています。



【年齢別集計】





趣味関係のグループへの参加頻度

以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

③ 趣味関係のグループ

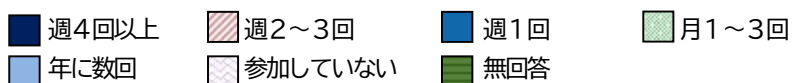
<高齢者一般調査 問25③ ・ 在宅要支援認定者調査 問26③>

【単純集計】

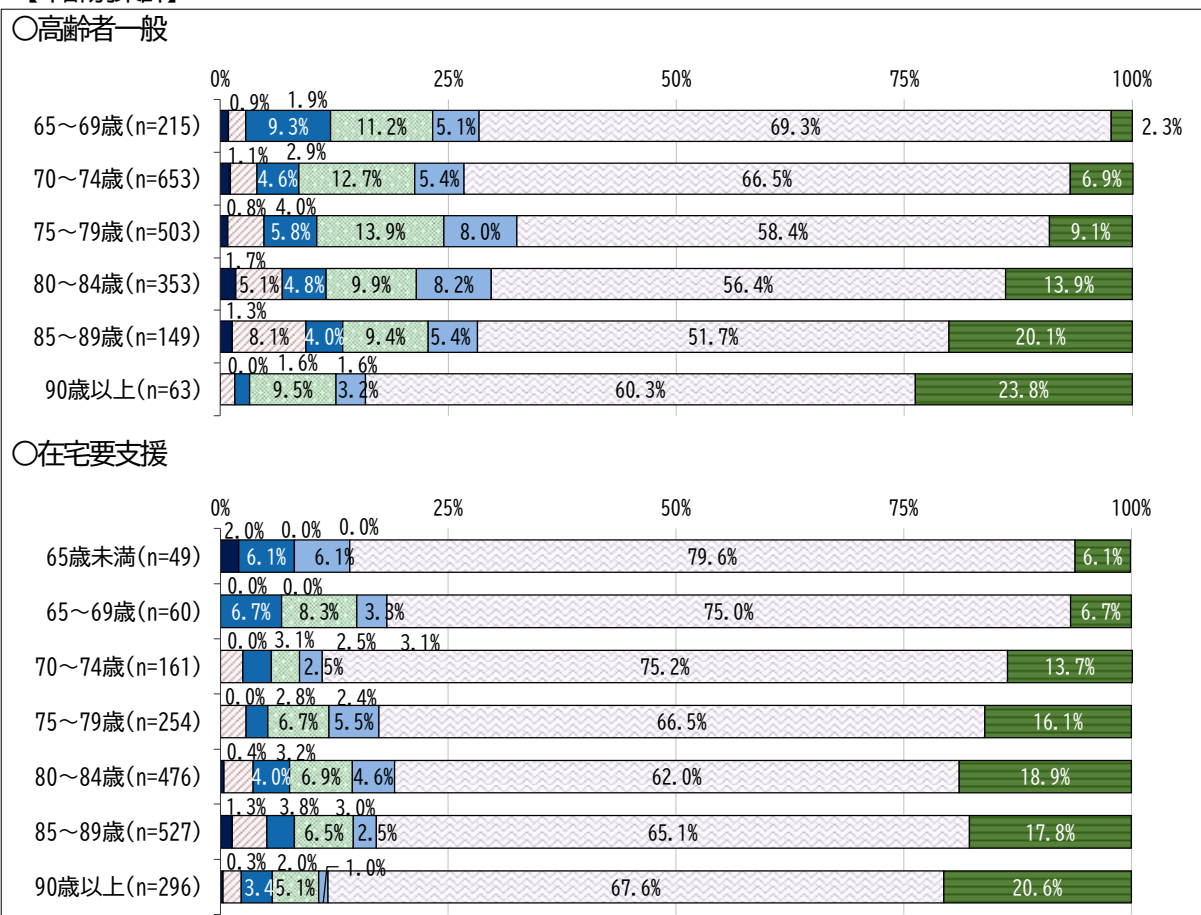
回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
週4回以上	21	1.1%	11	0.6%
週2～3回	74	3.8%	52	2.9%
週1回	103	5.3%	63	3.5%
月1～3回	232	12.0%	109	6.0%
年に数回	125	6.5%	61	3.3%
参加していない	1,191	61.5%	1,212	66.5%
無回答	190	9.8%	315	17.3%
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%

単純集計でみると、高齢者一般の「参加していない」の割合は6割、在宅要支援では6割半ばとなっています。

年齢別でみると、高齢者一般では、90歳以上になると参加する人の割合が低くなっています。



【年齢別集計】



学習・教養サークルへの参加頻度

以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

④ 学習・教養サークル

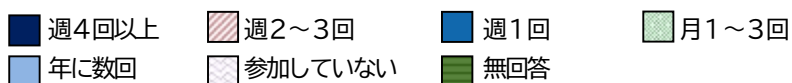
<高齢者一般調査 問25④ ・ 在宅要支援認定者調査 問26④>

【単純集計】

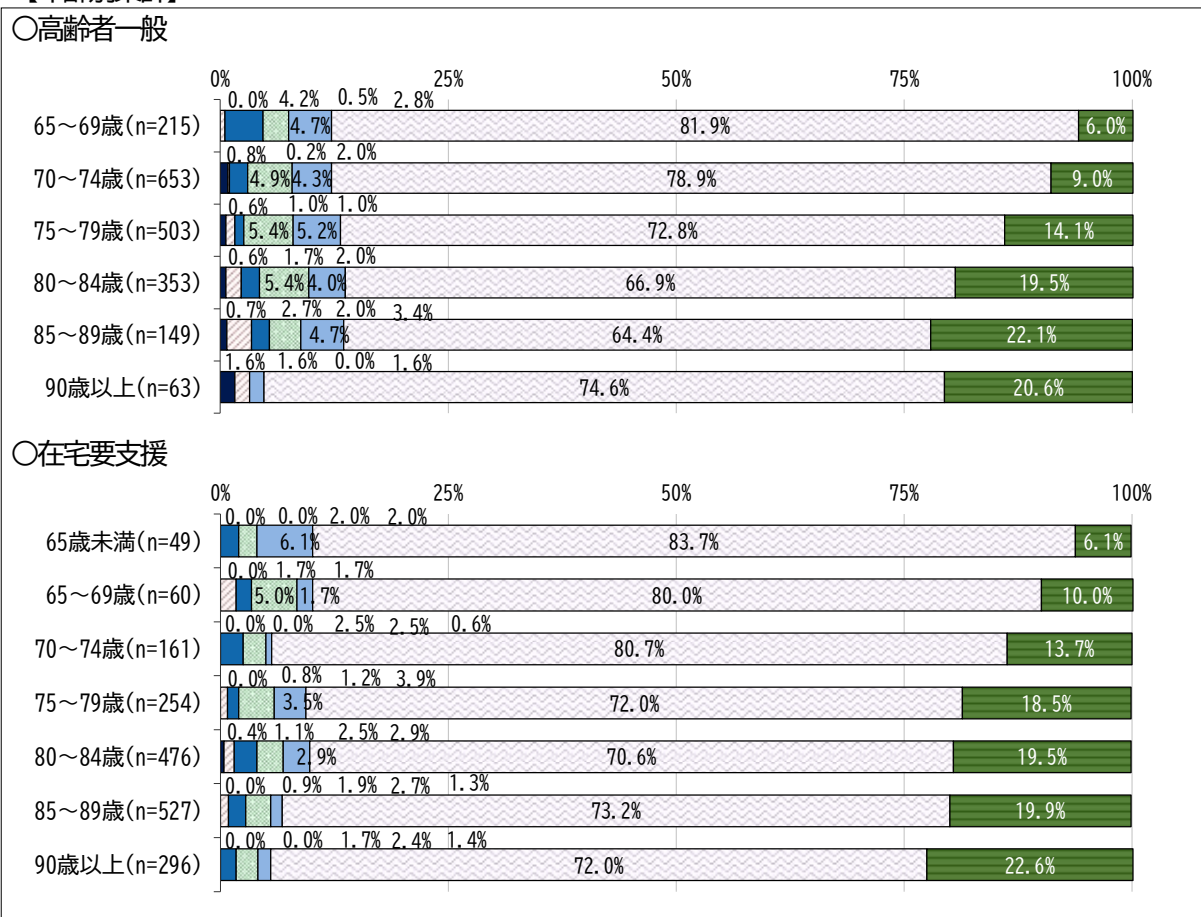
回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
週4回以上	12	0.6%	2	0.1%
週2～3回	18	0.9%	13	0.7%
週1回	37	1.9%	36	2.0%
月1～3回	89	4.6%	53	2.9%
年に数回	86	4.4%	39	2.1%
参加していない	1,436	74.2%	1,337	73.3%
無回答	258	13.3%	343	18.8%
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%

単純集計で見ると、「参加していない」人の割合は、高齢者一般、在宅要支援認定者とも7割強となっています。

年齢別で見ると、高齢者一般では、90歳以上になると参加する人の割合が低くなっています。



【年齢別集計】



介護予防のための通いの場への参加頻度

以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

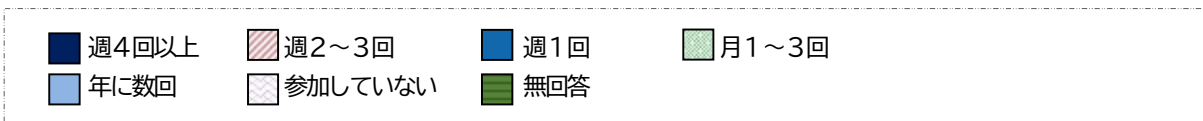
- ⑤ 介護予防のための通いの場 (ロコトレサロン (ロコモーショントレーニング事業)、地域の高齢者サロン など)  
 <高齢者一般調査 問25⑤ ・ 在宅要支援認定者調査 問26⑤>

【単純集計】

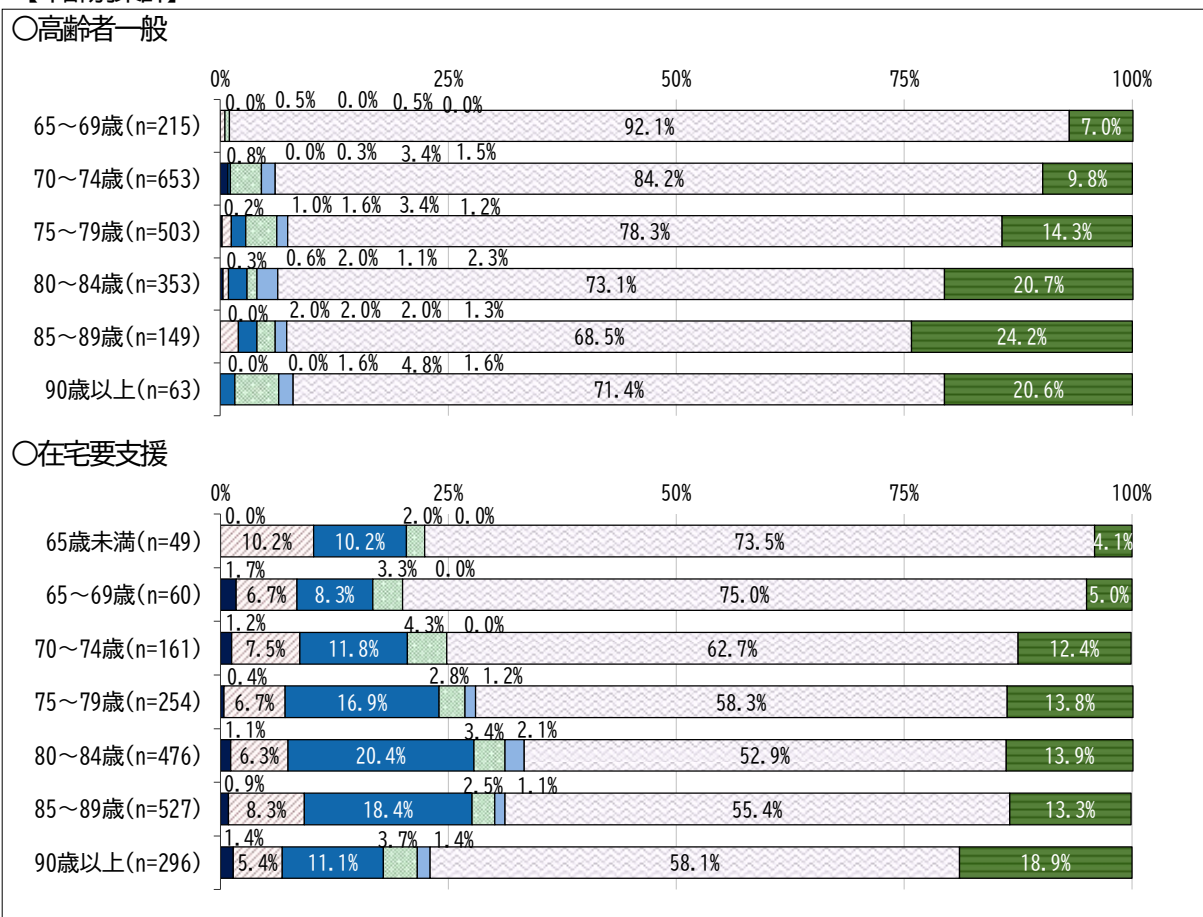
回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
週4回以上	7	0.4%	18	1.0%
週2～3回	11	0.6%	128	7.0%
週1回	21	1.1%	299	16.4%
月1～3回	50	2.6%	57	3.1%
年に数回	27	1.4%	23	1.3%
参加していない	1,547	79.9%	1,046	57.4%
無回答	273	14.1%	252	13.8%
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%

単純集計でみると、「参加していない」人の割合は、高齢者一般では8割弱、在宅要支援認定者では6割弱となっています。

年齢別でみると、在宅要支援認定者では、年齢が高くなるにつれて参加する人の割合が高くなっていますが、90歳以上になると参加する人の割合が低くなっています。



【年齢別集計】



シニアクラブ・老人クラブへの参加頻度

以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

⑥ シニアクラブ・老人クラブ

<高齢者一般調査 問25⑥ ・ 在宅要支援認定者調査 問26⑥>

【単純集計】

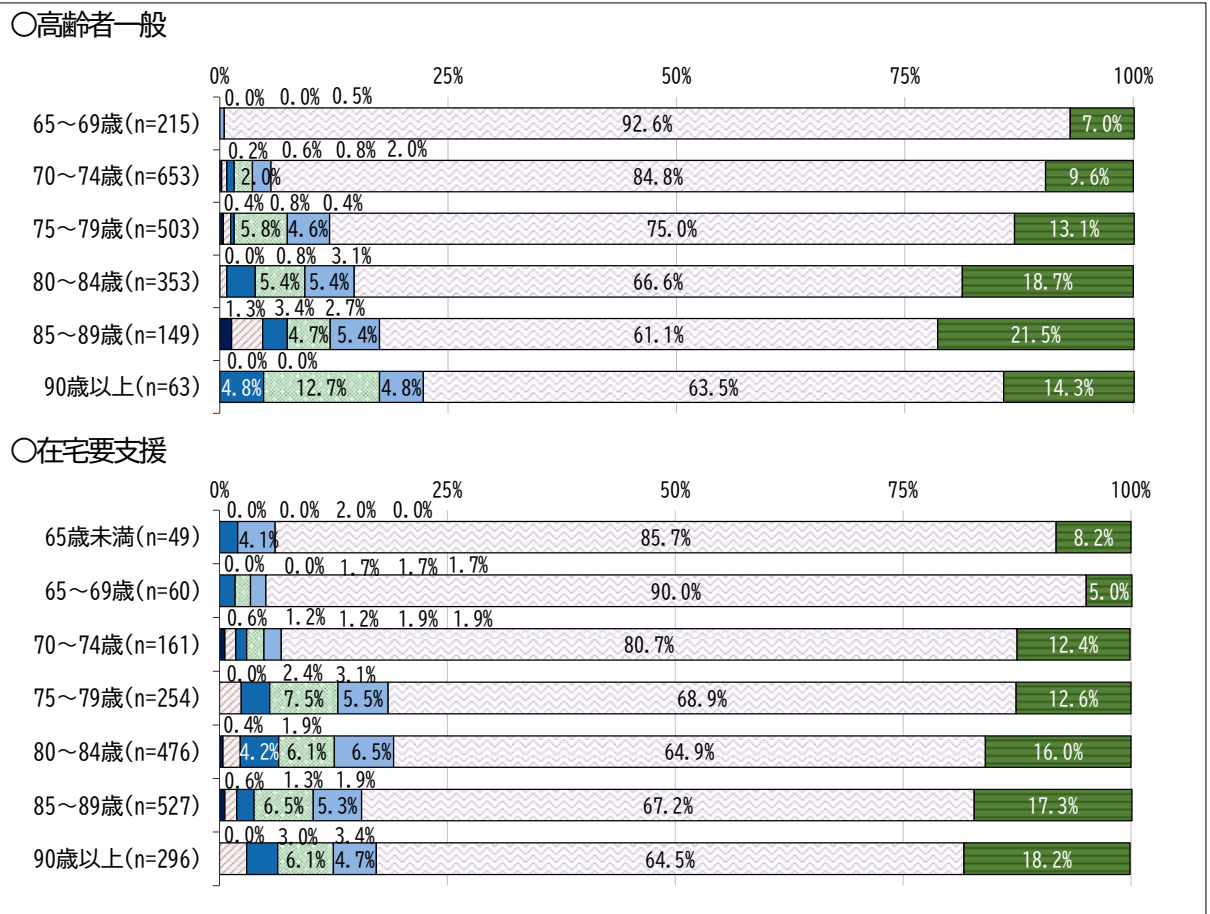
回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
週4回以上	5	0.3%	6	0.3%
週2～3回	16	0.8%	33	1.8%
週1回	25	1.3%	52	2.9%
月1～3回	76	3.9%	104	5.7%
年に数回	67	3.5%	93	5.1%
参加していない	1,496	77.3%	1,255	68.8%
無回答	251	13.0%	280	15.4%
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%

単純集計で見ると、「参加していない」人の割合は、高齢者一般では7割半ば、在宅要支援認定者では7割弱となっています。

年齢別で見ると、高齢者一般では、年齢が高くなるにつれて参加する人の割合が高くなっています。



【年齢別集計】





町内会・自治会への参加頻度

以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

⑦ 町内会・自治会

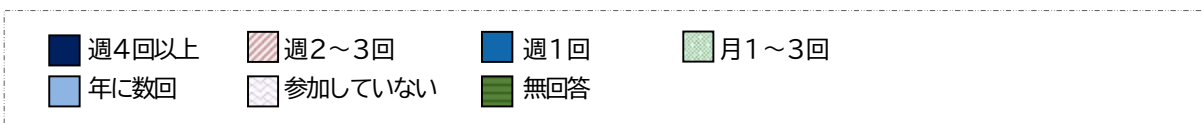
<高齢者一般調査 問25⑦ ・ 在宅要支援認定者調査 問26⑦>

【単純集計】

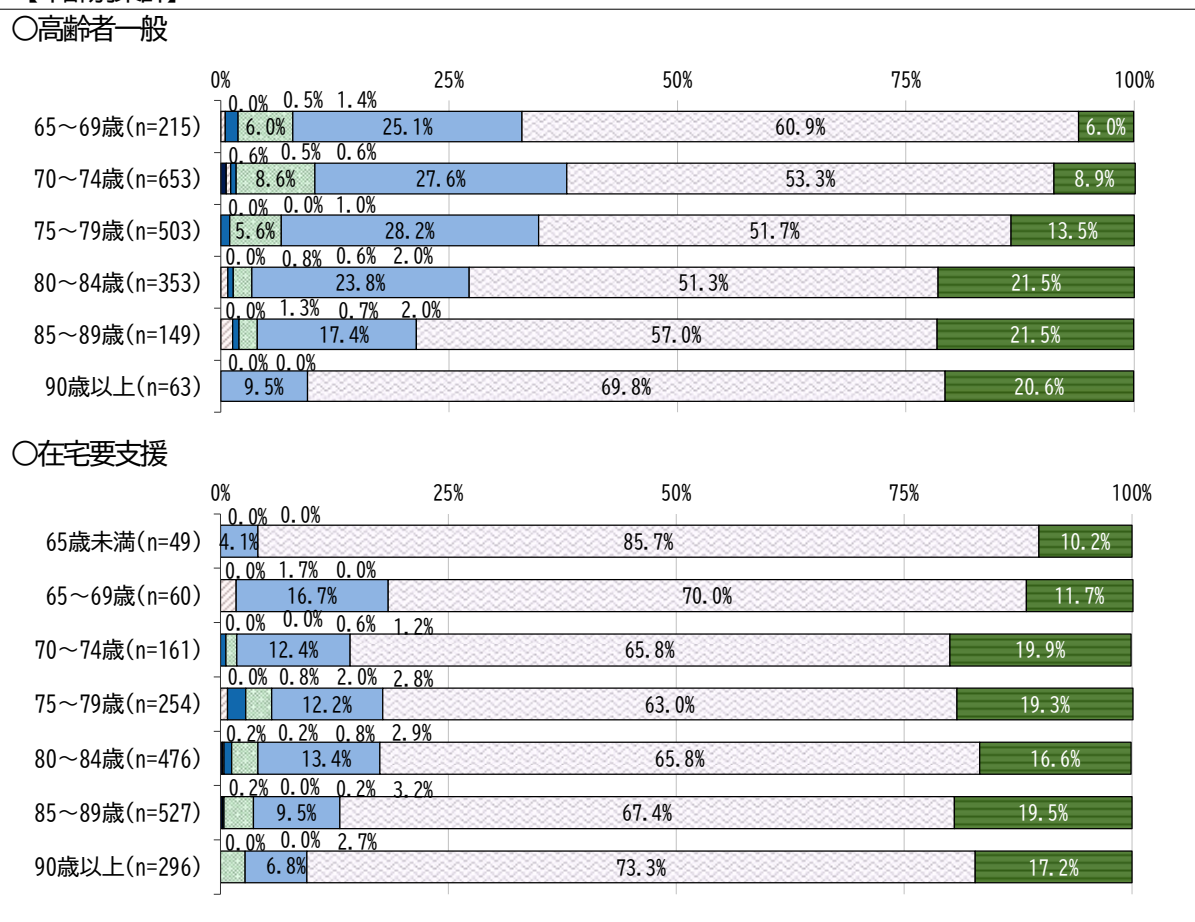
回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
週4回以上	4	0.2%	2	0.1%
週2～3回	9	0.5%	4	0.2%
週1回	15	0.8%	11	0.6%
月1～3回	107	5.5%	48	2.6%
年に数回	492	25.4%	197	10.8%
参加していない	1,049	54.2%	1,235	67.7%
無回答	260	13.4%	326	17.9%
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%

単純集計で見ると、「参加していない」人の割合は、高齢者一般では5割半ば、在宅要支援認定者では6割半ばとなっています。

年齢別で見ると、高齢者一般では、80歳以上になるとそれ以下と比べて、参加する人の割合が減少しています。



【年齢別集計】



収入のある仕事への参加頻度

以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

⑧ 収入のある仕事

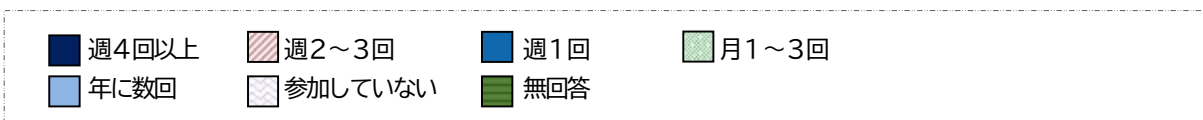
<高齢者一般調査 問25⑧ ・ 在宅要支援認定者調査 問26⑧>

【単純集計】

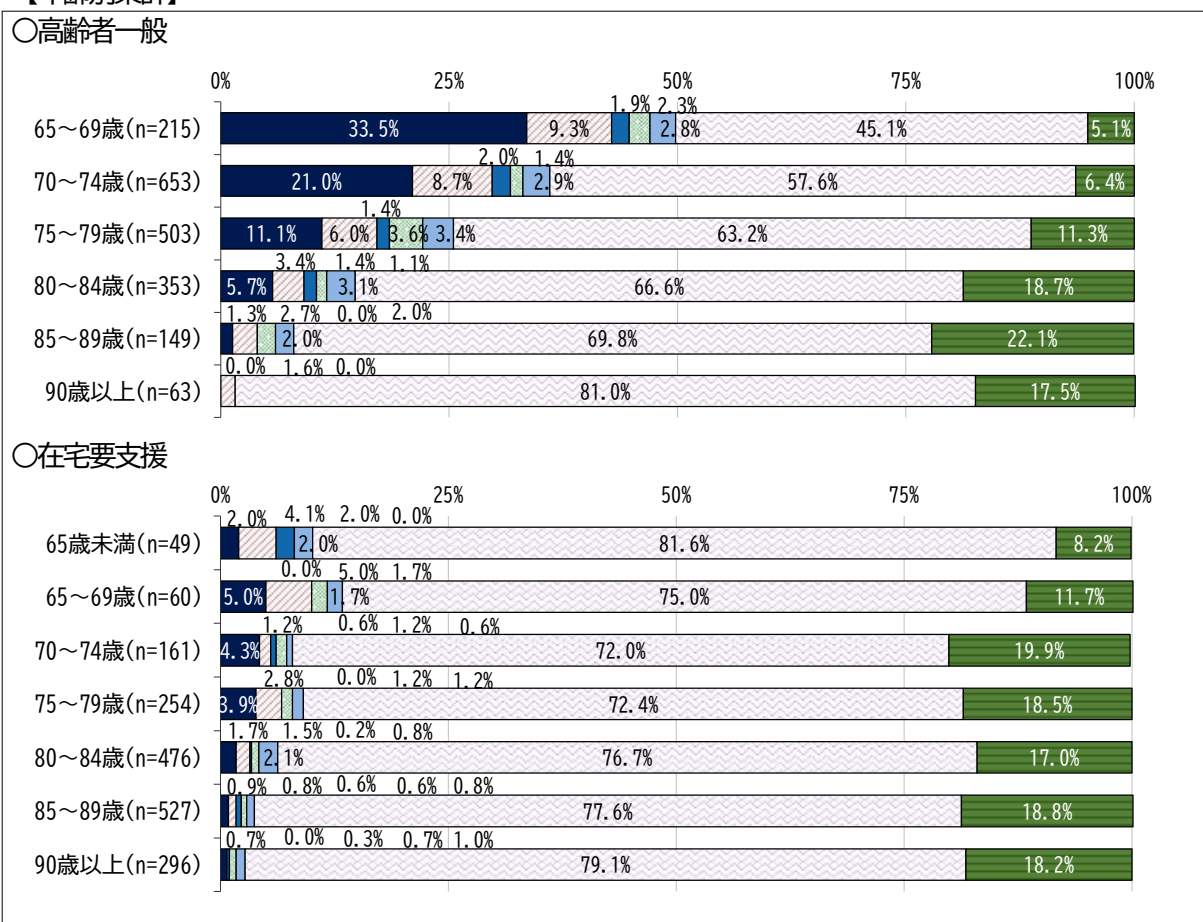
回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
週4回以上	287	14.8%	36	2.0%
週2～3回	124	6.4%	25	1.4%
週1回	29	1.5%	7	0.4%
月1～3回	39	2.0%	15	0.8%
年に数回	56	2.9%	23	1.3%
参加していない	1,181	61.0%	1,393	76.4%
無回答	220	11.4%	324	17.8%
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%

単純集計で見ると、「参加していない」人の割合は、高齢者一般では6割強、在宅要支援認定者では7割半ばとなっています。

年齢別で見ると、高齢者一般では、高齢になるにつれて「参加していない」人の割合は増加する傾向にあります。



【年齢別集計】



地域住民グループでの健康づくり・趣味活動等へ参加者として参加希望

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇はひとつ)

<高齢者一般調査 問26 ・ 在宅要支援認定者調査 問27>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
是非参加したい	140	7.2%	110	6.0%
参加してもよい	868	44.8%	595	32.6%
参加したくない	704	36.4%	842	46.2%
既に参加している	110	5.7%	82	4.5%
無回答	114	5.9%	194	10.6%
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%

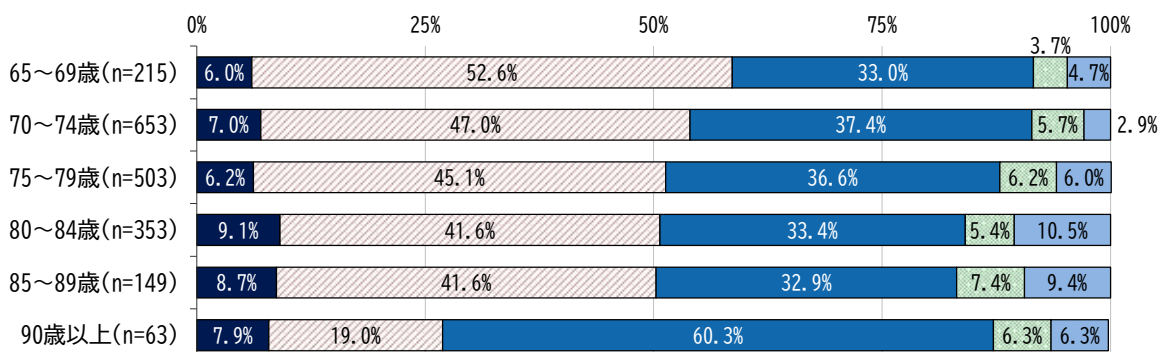
単純集計でみると、高齢者一般では「参加してもよい」の割合が高くなっています。在宅要支援認定者では「参加したくない」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、高齢者一般では「是非参加したい」「参加してもよい」の割合の合計は、89歳以下で5割を超えているのに対し、在宅要支援認定者では「是非参加したい」「参加してもよい」の割合が3割から4割となっています。

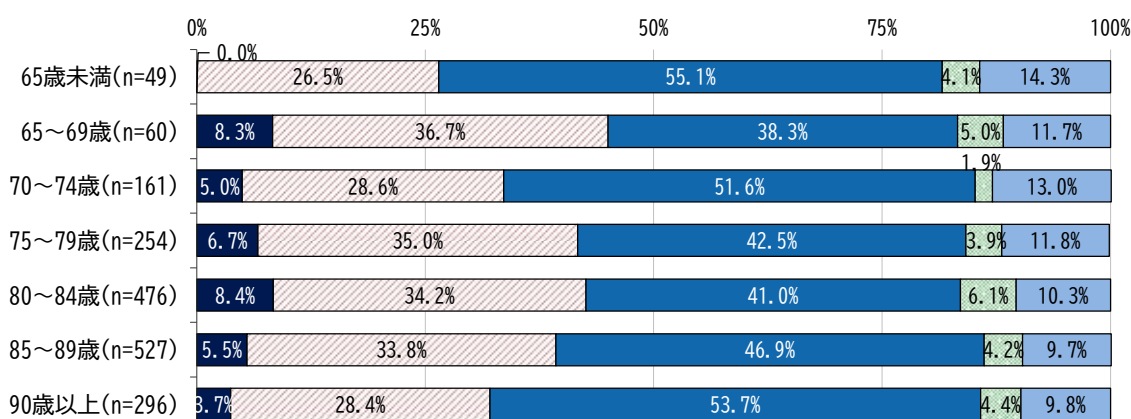
■ 是非参加したい    ■ 参加してもよい    ■ 参加したくない    ■ 既に参加している    ■ 無回答

【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



地域住民グループでの健康づくり・趣味活動等へ世話役として参加希望

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（〇はひとつ）

<高齢者一般調査 問27 ・ 在宅要支援認定者調査 問28>

【単純集計】

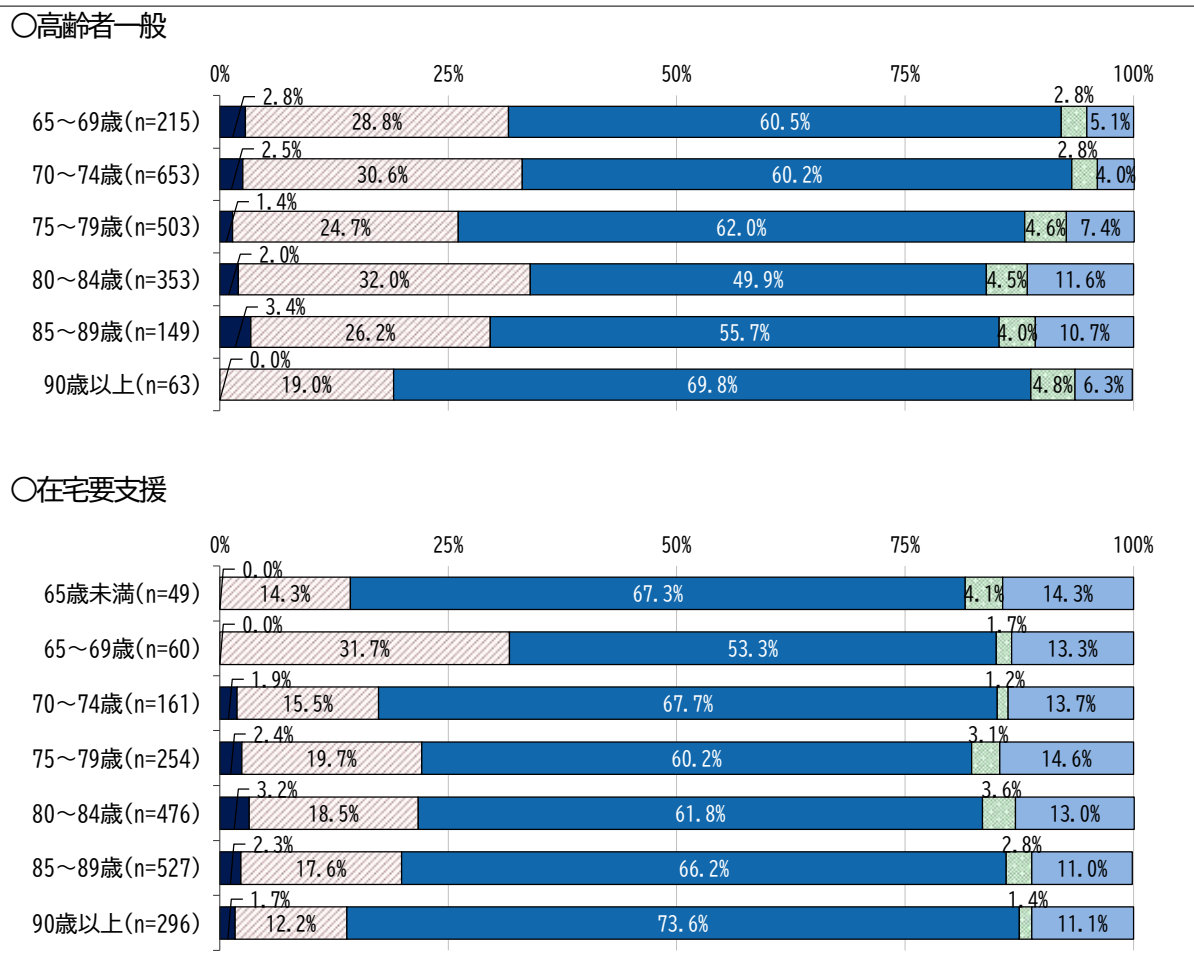
回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
是非参加したい	41	2.1%	41	2.2%
参加してもよい	550	28.4%	318	17.4%
参加したくない	1,138	58.8%	1,188	65.2%
既に参加している	72	3.7%	49	2.7%
無回答	135	7.0%	227	12.5%
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%

単純集計でみると、「参加したくない」の割合が高齢者一般では6割弱、在宅要支援認定者では6割半ばとなっています。

年齢別でみると、高齢者一般では「是非参加したい」「参加してもよい」の割合の合計は、80～84歳が最も高く、在宅要支援認定者では、65～69歳が最も高くなっています。

■ 是非参加したい    ▨ 参加してもよい    ■ 参加したくない    ▤ 既に参加している    ■ 無回答

【年齢別集計】





地域住民による支え合い活動の担い手としての参加希望

地域住民による支え合い活動（掃除や洗濯などの家事援助、交流や運動などの通いの場づくり）の担い手として参加してみたいと思いますか。（○はひとつ）

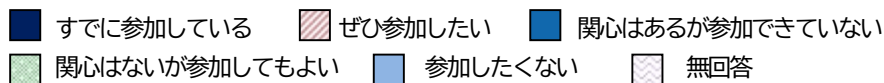
<高齢者一般調査 問28>

【単純集計】

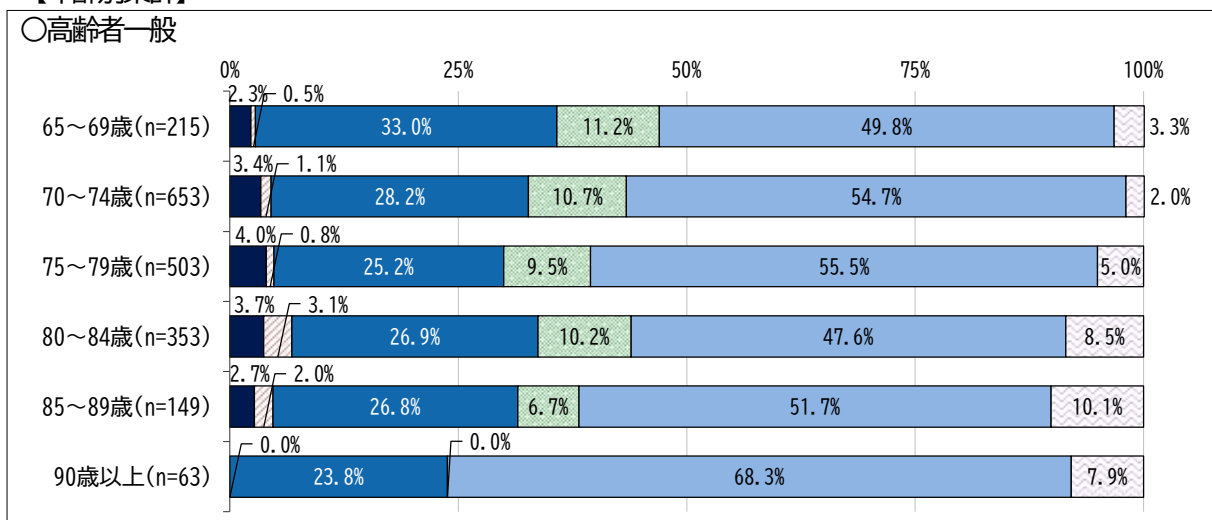
回 答	高齢者一般	
	件数	割合
すでに参加している	64	3.3%
ぜひ参加したい	26	1.3%
関心はあるが参加できていない	532	27.5%
関心はないが参加してもよい	188	9.7%
参加したくない	1,031	53.3%
無回答	95	4.9%
合 計	1,936	100.0%

単純集計で見ると、「参加したくない」の割合は5割強となっています。

年齢別で見ると、「すでに参加している」「ぜひ参加したい」の割合の合計は、80～84歳が最も高くなっています。



【年齢別集計】



地域住民による支え合い活動で自身にできそうな活動

前問で「すでに参加している」「ぜひ参加したい」「関心はあるが参加できていない」「関心はないが参加してもよい」と回答した方にお聞きします。

地域住民による支え合い活動（掃除や洗濯などの家事援助、交流や運動などの通いの場づくり）を行うとしたらご自身にできそうなことはありますか。（〇はいくつでも）

<高齢者一般調査 問29>

【単純集計】

回 答	高齢者一般	
	件数	割合
掃除（ゴミ出し含む）	362	44.7%
洗濯	186	23.0%
電球の交換	185	22.8%
家具の移動	113	14.0%
草取り	456	56.3%
買い物や薬の受け取り	259	32.0%
病院やスーパーなどへの送迎	180	22.2%
交流や運動などの通いの場の運営	78	9.6%
病院やスーパーなどへの送迎用車両の提供	58	7.2%
その他	42	5.2%
無回答	56	6.9%
回 答 数	810	—

単純集計でみると、「草取り」が最も高く、これに「掃除（ゴミ出し含む）」「買い物や薬の受け取り」が続いています。

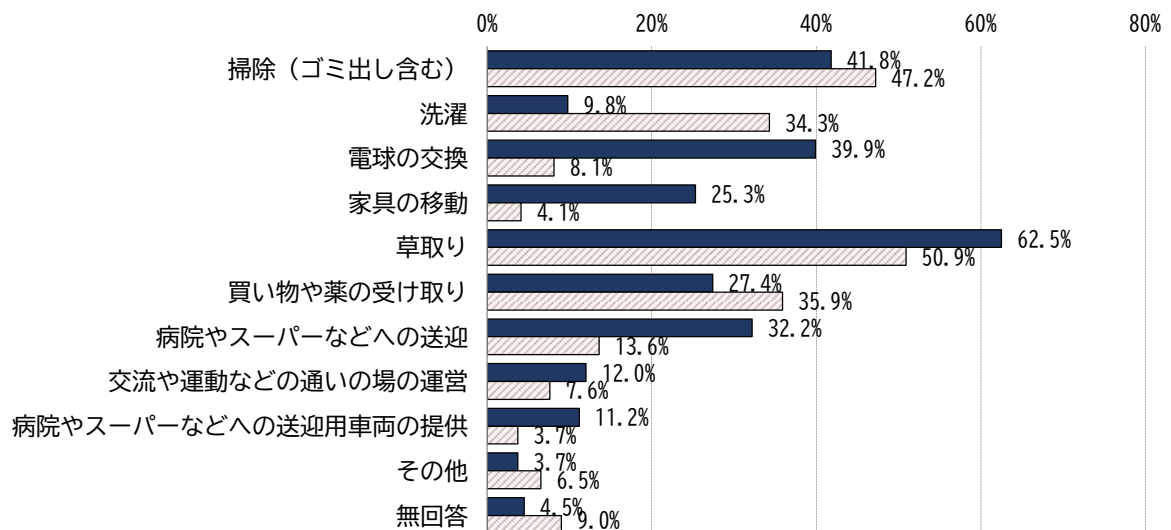
性別でみると、「掃除（ゴミ出し含む）」「洗濯」「買い物や薬の受け取り」が女性の方が高くなっており、「電球の交換」「家具の移動」「病院やスーパーなどへの送迎」は男性の方が高くなっています。

年齢別でみると、「草取り」の割合は80代が他の年代より高くなっています。「買い物や薬の受け取り」「病院やスーパーなどへの送迎」は74歳以下の割合が高くなっています。

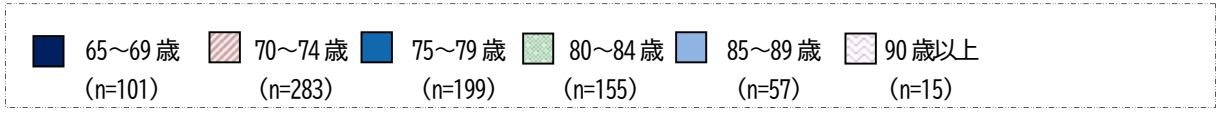
【性別集計】



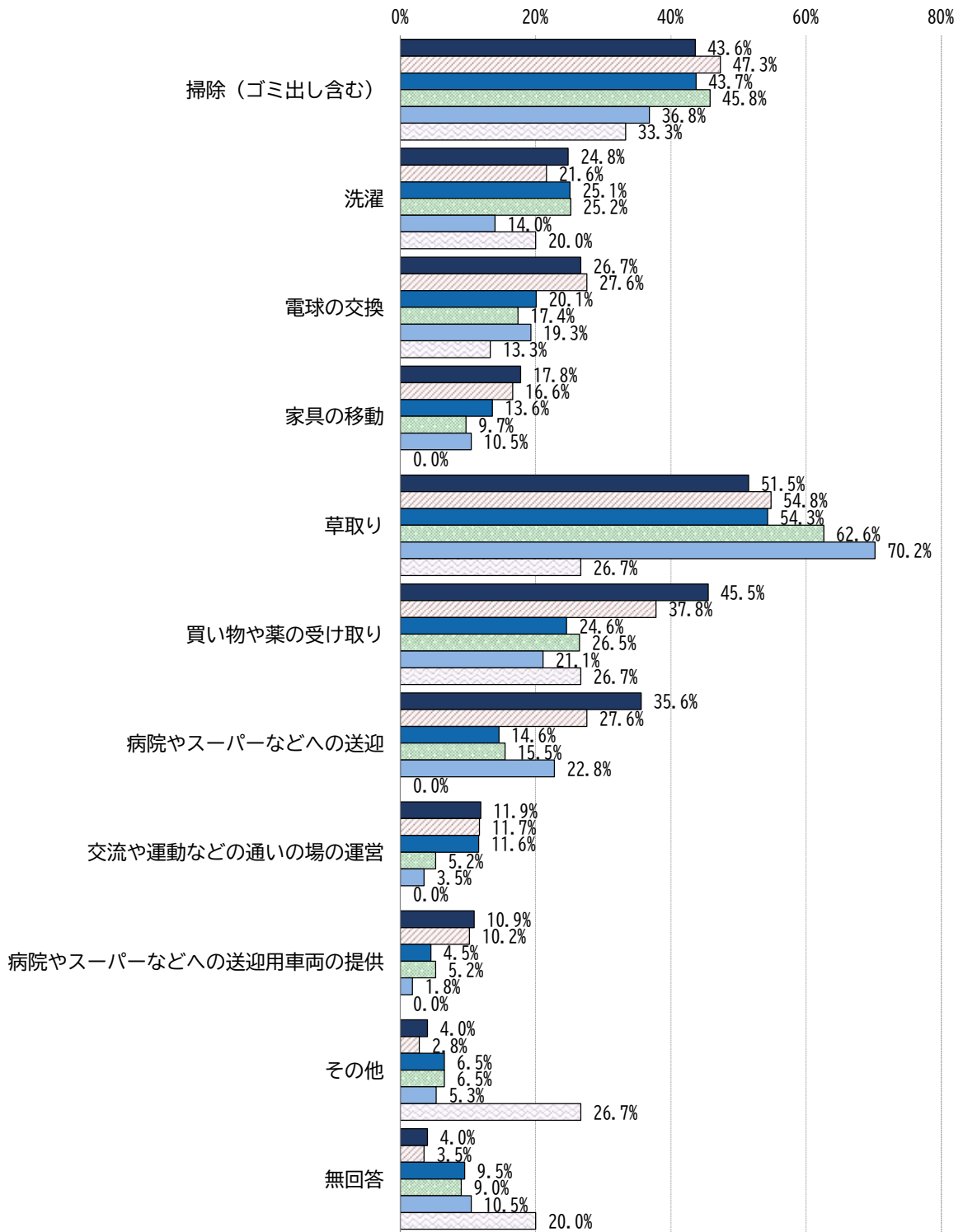
○高齢者一般



【年齢別集計】



○高齢者一般



## 地域住民による支え合い活動に参加しない理由

問28で「参加したくない」と回答した方にお聞きします。地域住民による支え合い活動（掃除や洗濯などの家事援助、交流や運動などの通いの場づくり）に参加しない理由は何ですか。（〇はいくつでも）

<高齢者一般調査 問30>

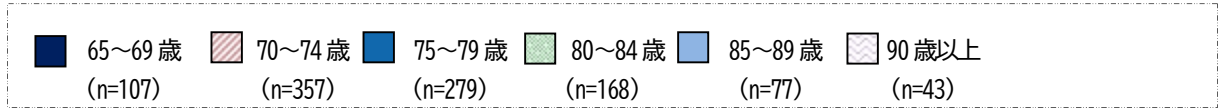
## 【単純集計】

回 答	高齢者一般	
	件数	割合
仕事や家事などをしているため時間がない	321	31.1%
どこでどのような活動をおこなっているのかわからない	128	12.4%
支え合い活動に興味がない	107	10.4%
自身の健康状態がよくない	318	30.8%
自身の生活に余裕がない	223	21.6%
経験不足などの理由で活動に参加する自信がない	190	18.4%
その他	110	10.7%
無回答	53	5.1%
回 答 数	1,031	—

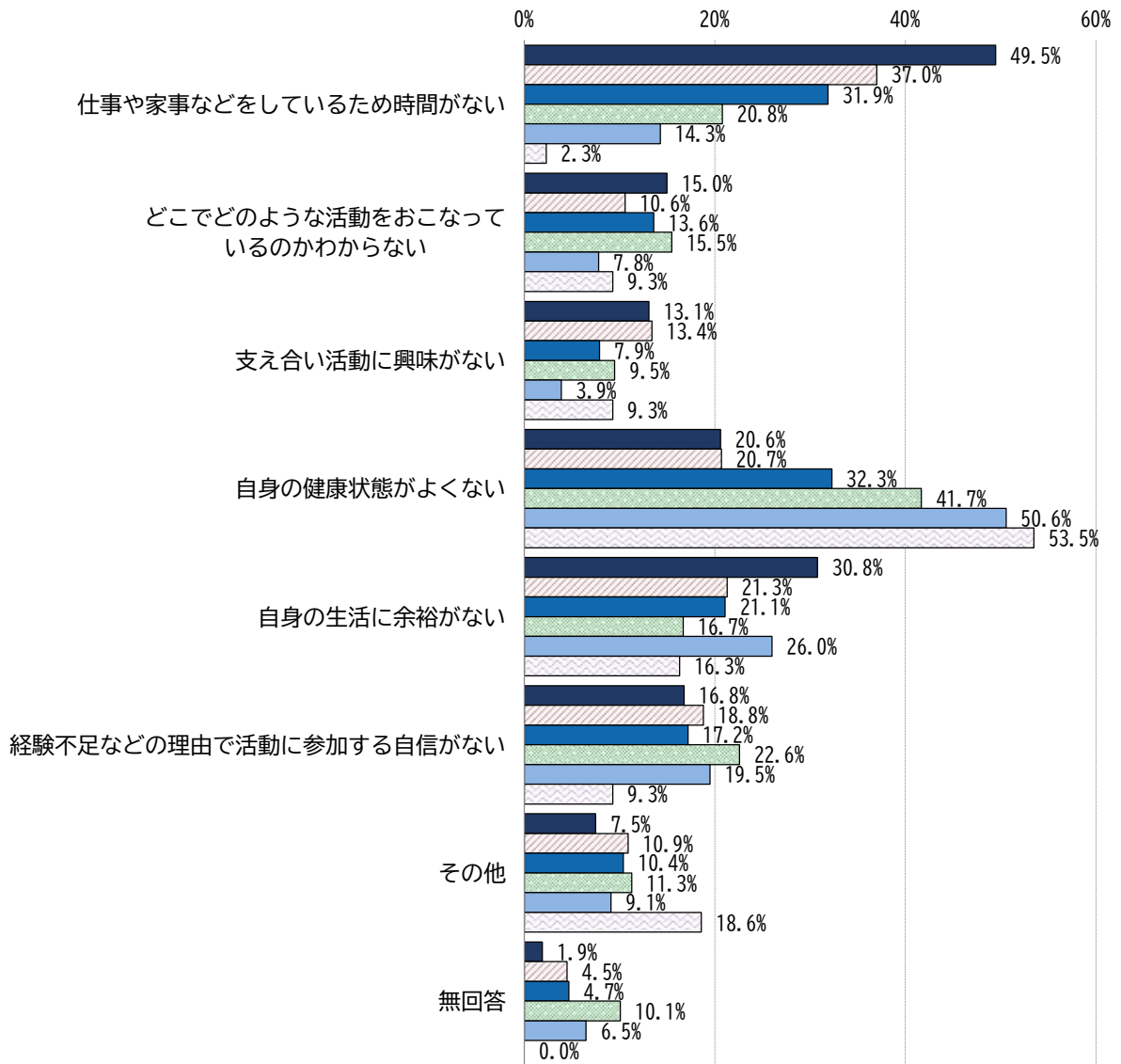
単純集計でみると、「仕事や家事などをしているため時間がない」が最も高く、これに「自身の健康状態がよくない」「自身の生活に余裕がない」が続いています。

年齢別でみると、「仕事や家事などをしているため時間がない」の割合は年齢が上がるにつれて低くなる傾向にありますが、「自身の健康状態がよくない」は逆に高くなる傾向にあります。

【年齢別集計】



○高齢者一般



地域住民による支え合い活動で利用したいサービス

地域住民による支え合い活動（掃除や洗濯などの家事援助、交流や運動などの通いの場）のうち利用したいサービスはありますか。（〇は3つまで）

<高齢者一般調査 問31 ・ 在宅要支援認定者調査 問29>

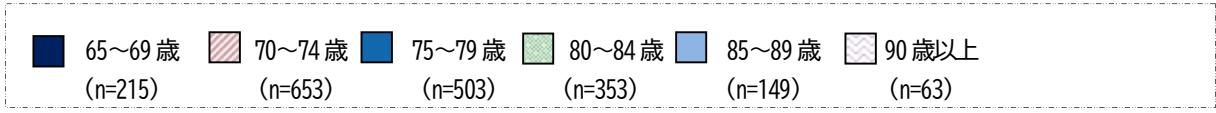
【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
掃除（ゴミ出し含む）	124	6.4%	239	13.1%
洗濯	36	1.9%	63	3.5%
電球の交換	86	4.4%	108	5.9%
家具の移動	65	3.4%	73	4.0%
草取り	247	12.8%	313	17.2%
買い物や薬の受け取り	68	3.5%	115	6.3%
病院やスーパーなどへの送迎	128	6.6%	242	13.3%
交流や運動などの通いの場	94	4.9%	106	5.8%
その他	61	3.2%	38	2.1%
利用したいものはない	1,142	59.0%	902	49.5%
無回答	250	12.9%	245	13.4%
回 答 数	1,936	—	1,823	—

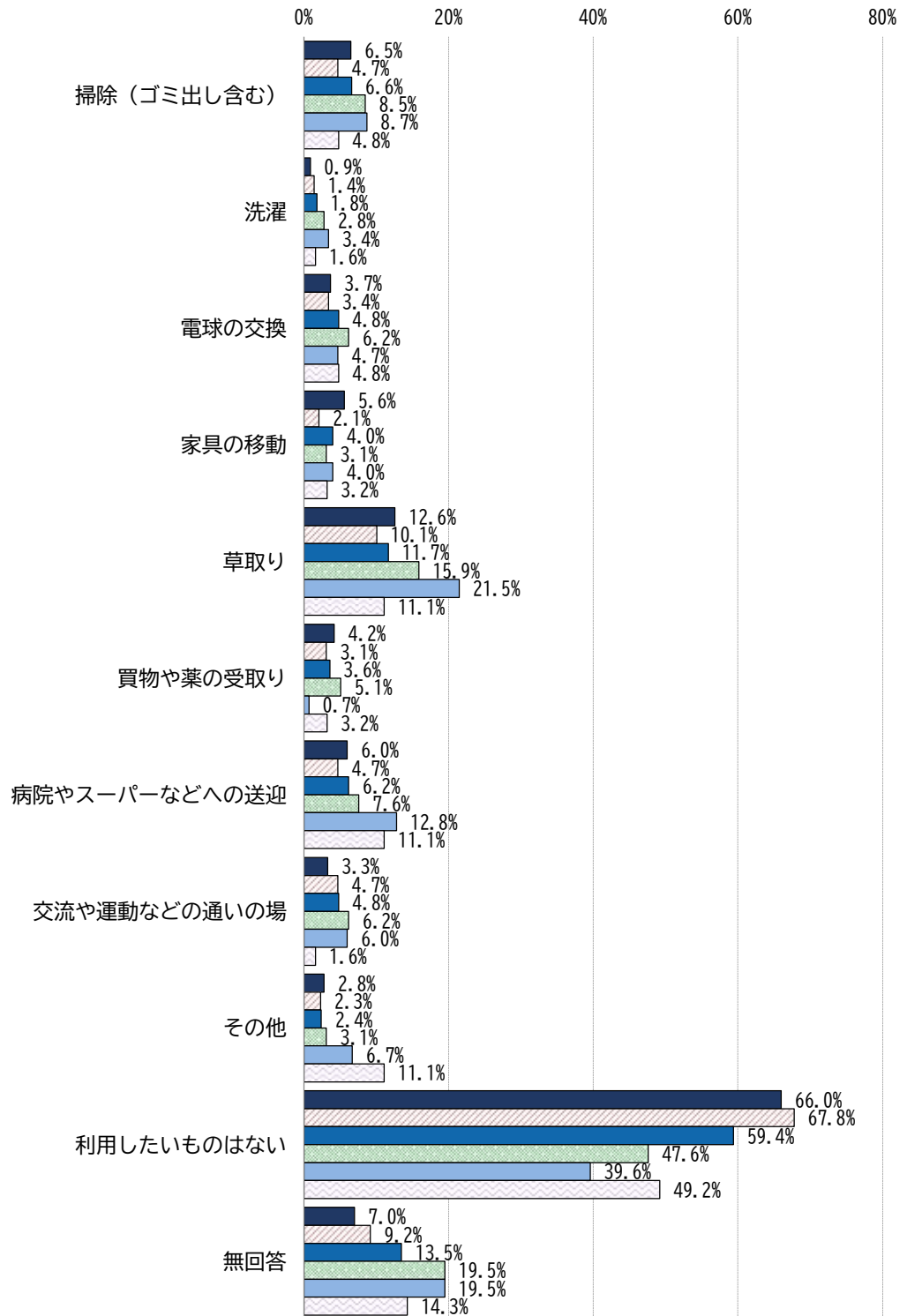
単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者とも「利用したいものはない」が最も高く、これに「草取り」「病院やスーパーなどへの送迎」「掃除（ゴミ出し含む）」が続いています。

年齢別でみると、高齢者一般では「草取り」は85～89歳が他の年齢層よりも高くなっています。

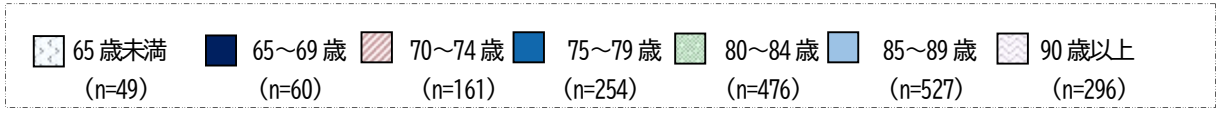
【年齢別集計】



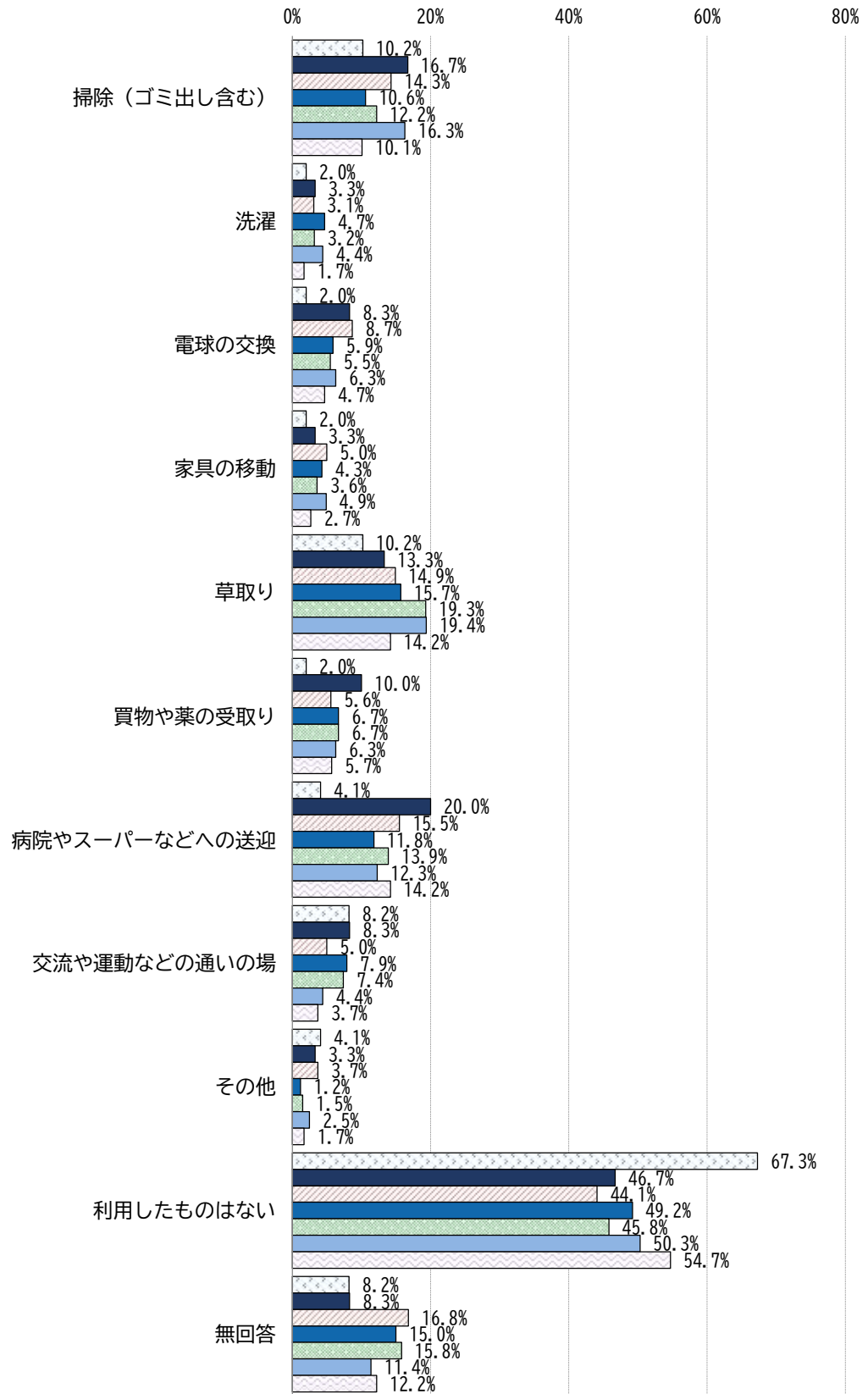
○高齢者一般



【年齢別集計】



○在宅要支援





「ささえあいポイント事業」で行ってみたいボランティア活動

浜松市では、高齢者のボランティア活動を奨励し、地域貢献や介護予防につなげていただくことを目的として、「ささえあいポイント事業」を実施しています。これは、介護施設や地域でのサロン運営、配食などのボランティア活動にポイントをつけ、そのポイントをお金に換えたり、寄付ができたりする制度です。

あなたは、このような特典ポイントがつくボランティア活動として、どのような活動を行ってみたいと思いますか。(〇はいくつでも)

<高齢者一般調査 問32>

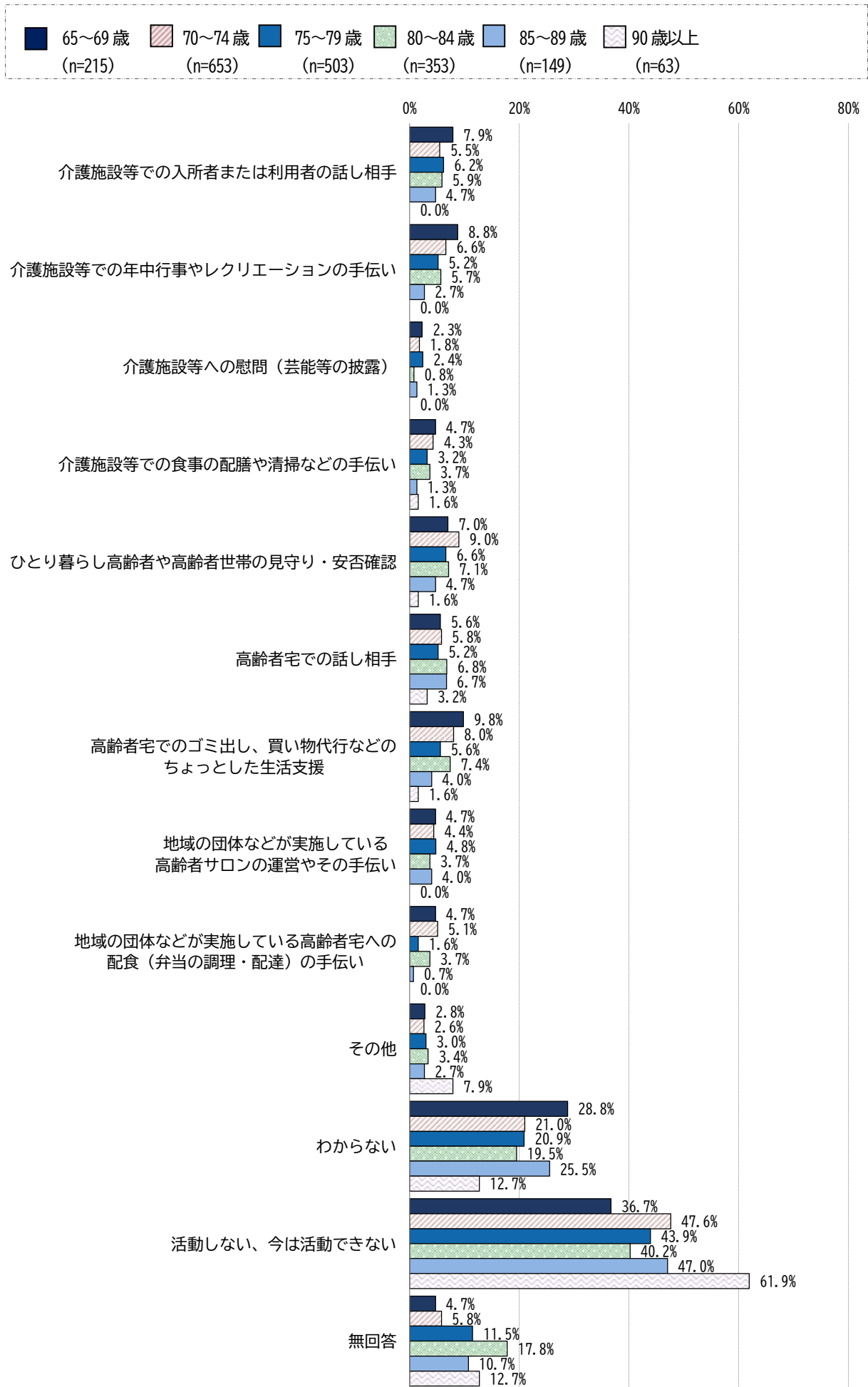
【単純集計】

回 答	高齢者一般	
	件数	割合
介護施設での入所者または利用者の話し相手	112	5.8%
介護施設での年中行事やレクリエーションの手伝い	112	5.8%
介護施設への慰問（芸能等の披露）	34	1.8%
介護施設での食事の配膳や清掃などの手伝い	70	3.6%
ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯の見守り・安否確認	140	7.2%
高齢者宅での話し相手	112	5.8%
高齢者宅でのゴミ出し、買い物代行などのちょっとした生活支援	134	6.9%
地域の団体などが実施している高齢者サロンの運営やその手伝い	82	4.2%
地域の団体などが実施している高齢者宅への配食（弁当の調理・配達）の手伝い	65	3.4%
その他	59	3.0%
わからない	419	21.6%
活動しない、今は活動できない	862	44.5%
無回答	193	10.0%
回 答 数	1,936	—

単純集計で「わからない」「活動しない、今は活動できない」を除いてみると、「ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯の見守り・安否確認」が最も高く、ついで「高齢者宅でのゴミ出し、買い物代行などのちょっとした生活支援」が高くなっています。

年齢別で見ると、多くの活動は年齢が高くなるにつれて割合が減少していく傾向にあります。

【年齢別集計】



(あなたとまわりの人の「たすけあい」について)

心配ごとや愚痴(ぐち)を聞いてくれる人

あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(〇はいくつでも)

<高齢者一般調査 問33 ・ 在宅要支援認定者調査 問30>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
配偶者	1,098	56.7%	618	33.9%
同居の子ども	449	23.2%	467	25.6%
別居の子ども	739	38.2%	694	38.1%
兄弟姉妹・親戚・親・孫	638	33.0%	501	27.5%
近隣	246	12.7%	244	13.4%
友人	849	43.9%	570	31.3%
その他	40	2.1%	64	3.5%
そのような人はいない	82	4.2%	109	6.0%
無回答	67	3.5%	109	6.0%
回 答 数	1,936	—	1,823	—

単純集計でみると、高齢者一般では「配偶者」の割合が最も高く、ついで「友人」の割合も高くなっています。在宅要支援認定者では「別居の子ども」の割合が最も高く、ついで「配偶者」の割合が高くなっています。

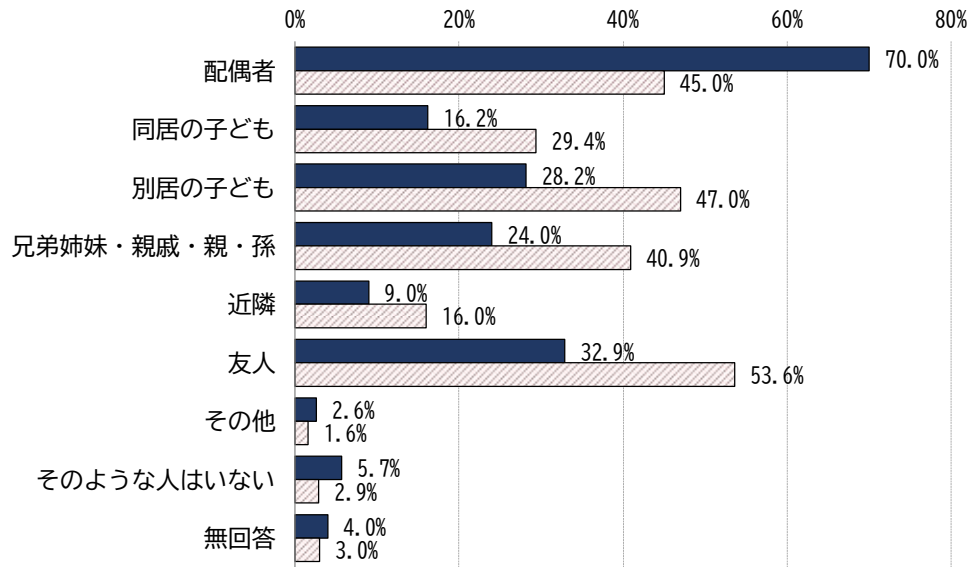
性別でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに、「配偶者」「友人」の男女差が大きくなっています。

年齢別でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに、年齢が高くなるにつれて「配偶者」「友人」の割合が低くなる傾向がみられます。

【性別集計】

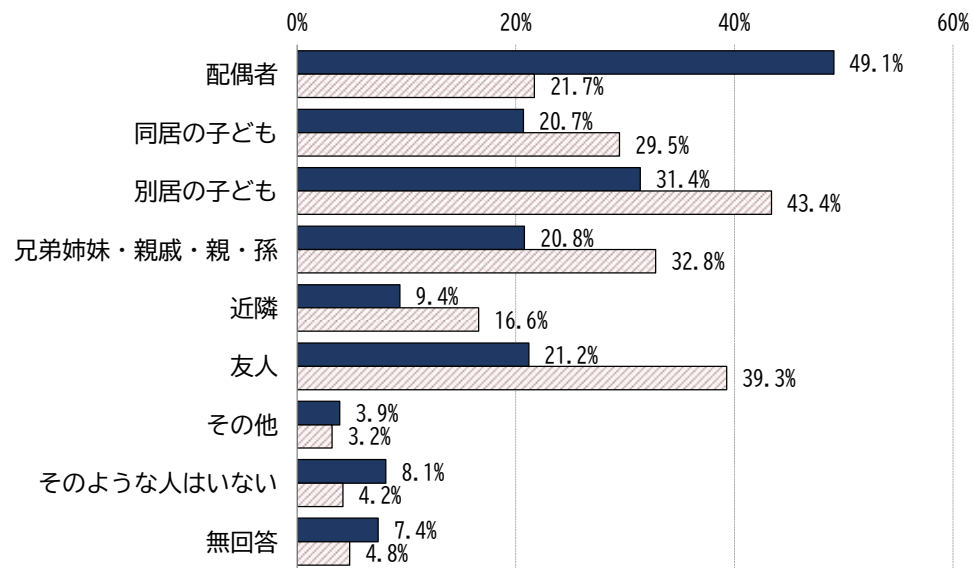
■ 男性 (n=909)    ▨ 女性(n=1,027)

○高齢者一般

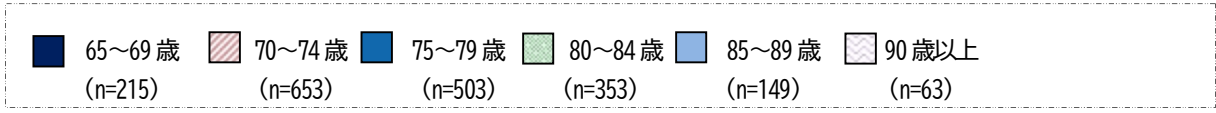


■ 男性 (n=811)    ▨ 女性(n=1,012)

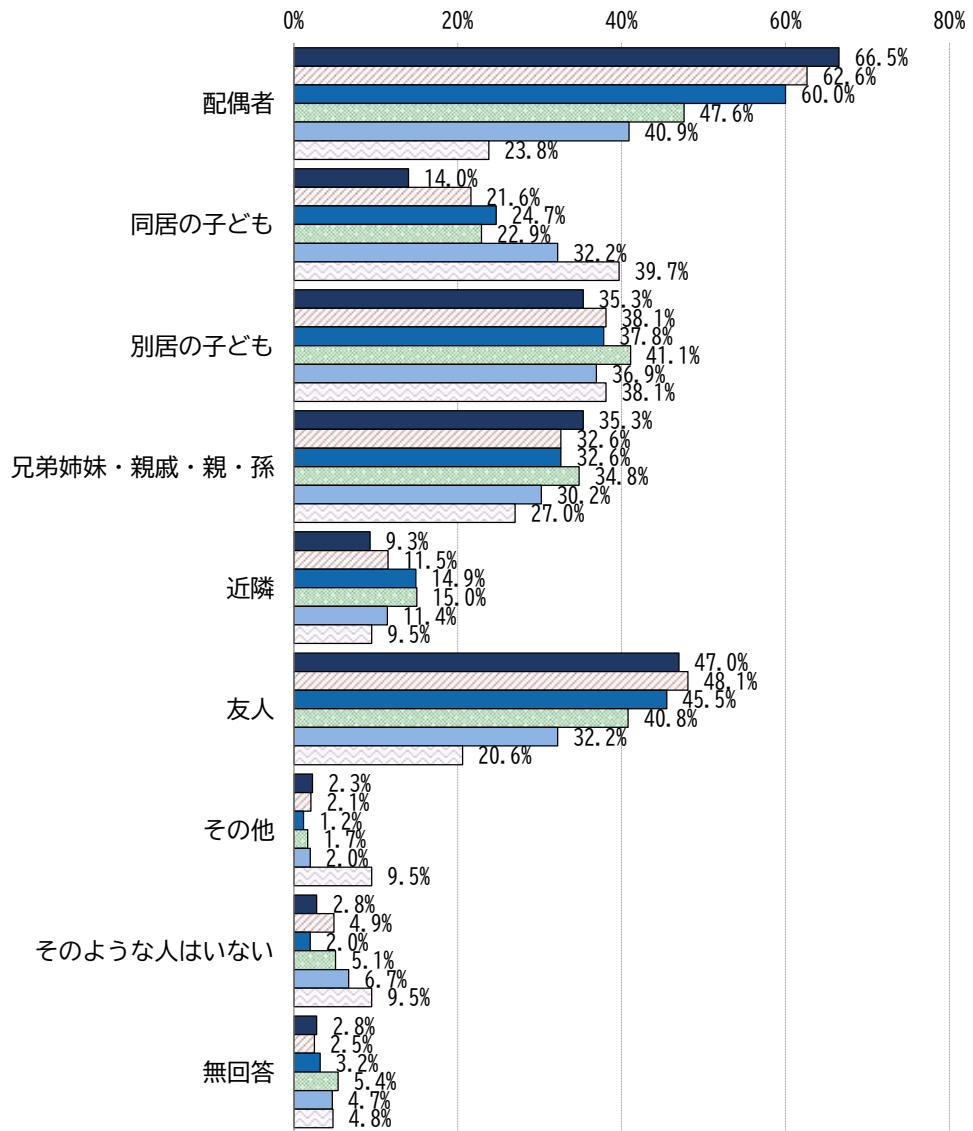
○在宅要支援



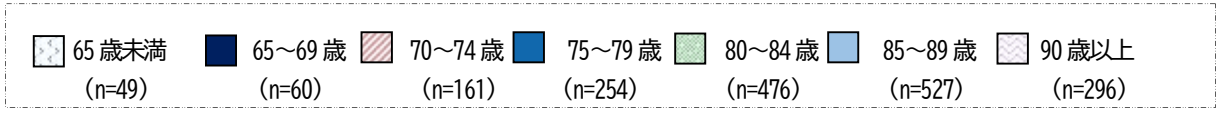
【年齢別集計】



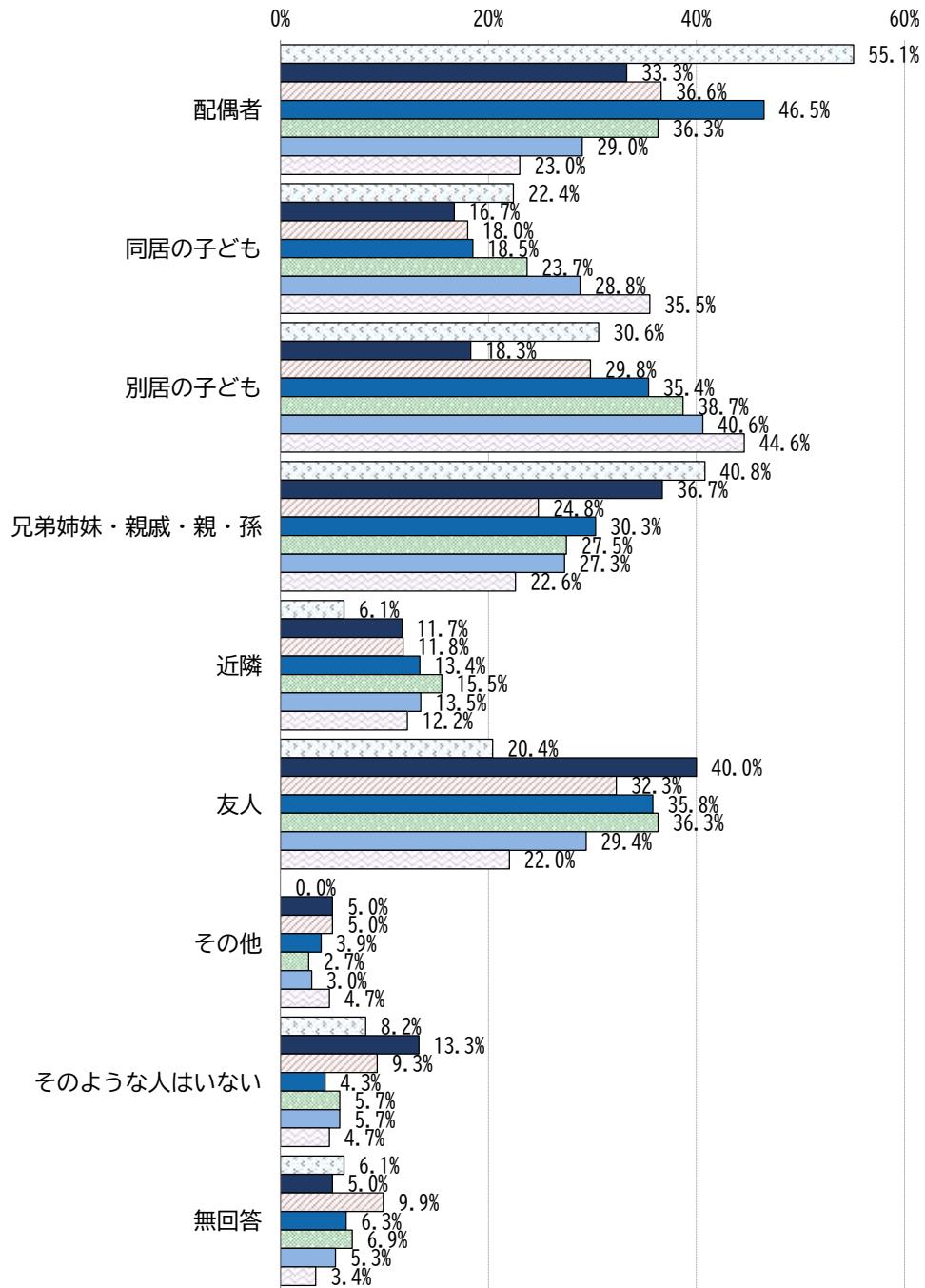
○高齢者一般



【年齢別集計】



○在宅要支援



(あなたとまわりの人の「たすけあい」について)

心配ごとや愚痴（ぐち）を聞いてあげる人

反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（〇はいくつでも）

<高齢者一般調査 問34 ・ 在宅要支援認定者調査 問31>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
配偶者	1,074	55.5%	541	29.7%
同居の子ども	393	20.3%	305	16.7%
別居の子ども	694	35.8%	463	25.4%
兄弟姉妹・親戚・親・孫	702	36.3%	477	26.2%
近隣	325	16.8%	239	13.1%
友人	866	44.7%	554	30.4%
その他	21	1.1%	30	1.6%
そのような人はいない	118	6.1%	282	15.5%
無回答	77	4.0%	145	8.0%
回 答 数	1,936	—	1,823	—

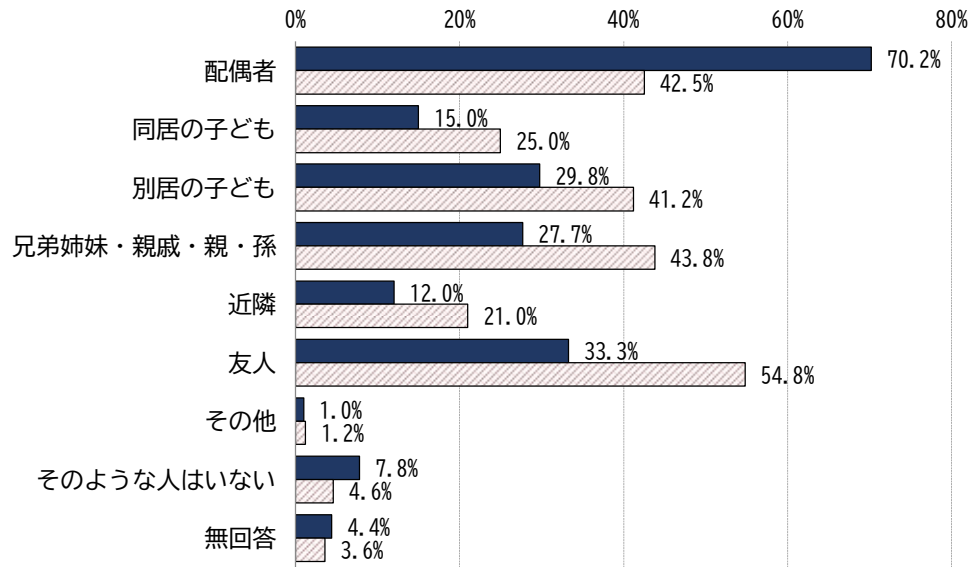
単純集計でみると、高齢者一般では、「配偶者」の割合が最も高く、在宅要支援認定者では「友人」の割合が最も高くなっています。

性別でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに、男性は「配偶者」の割合が高く、女性は「友人」の割合が高くなっています。

【性別集計】

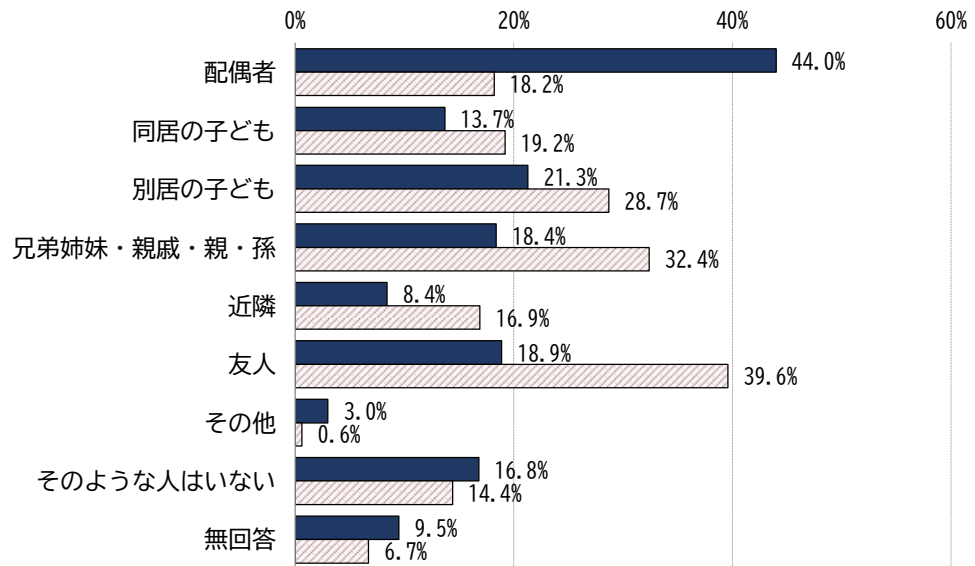
■ 男性 (n=909)    ▨ 女性(n=1,027)

○高齢者一般



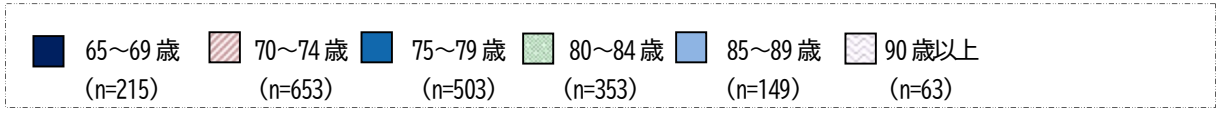
■ 男性 (n=811)    ▨ 女性(n=1,012)

○在宅要支援

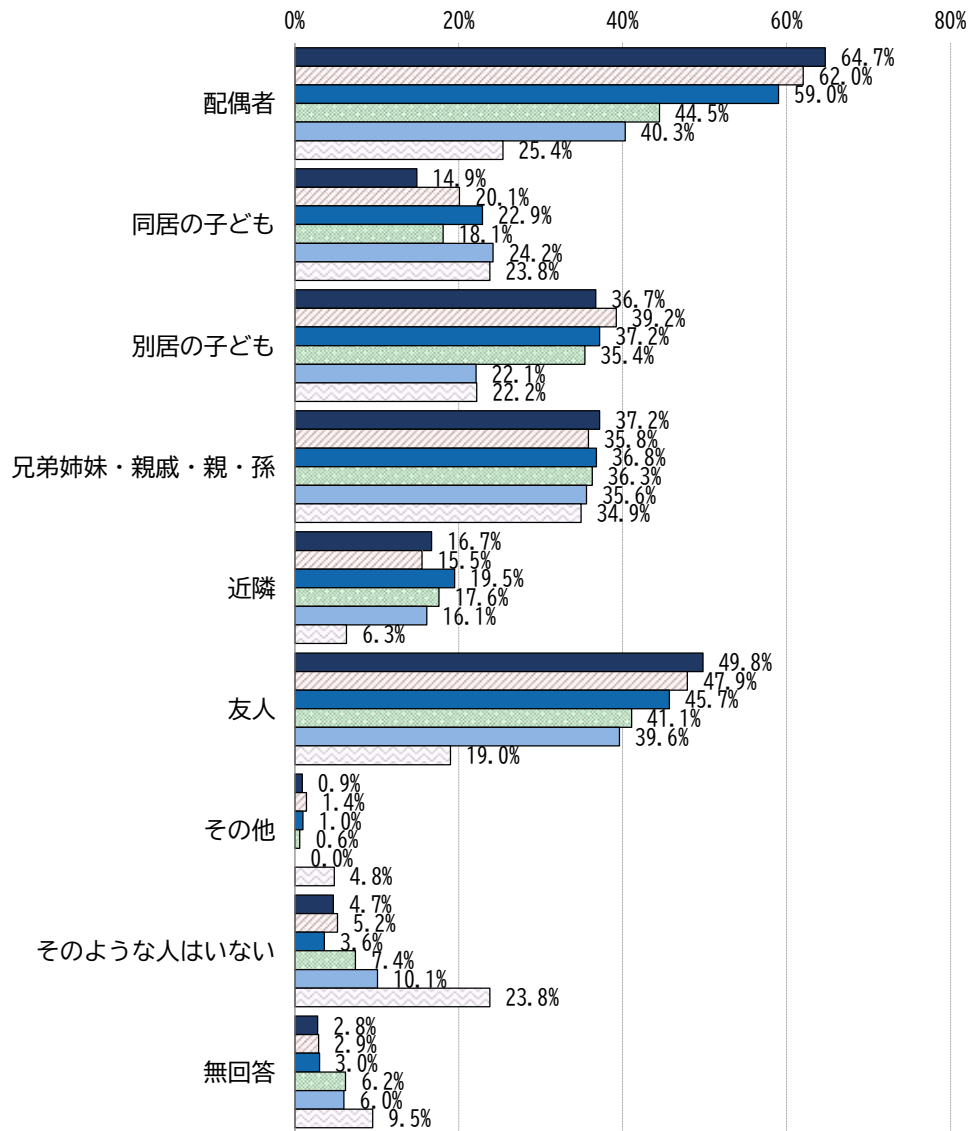




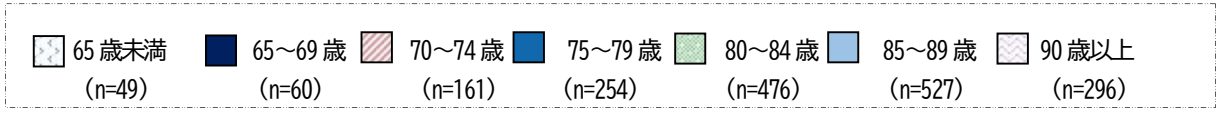
【年齢別集計】



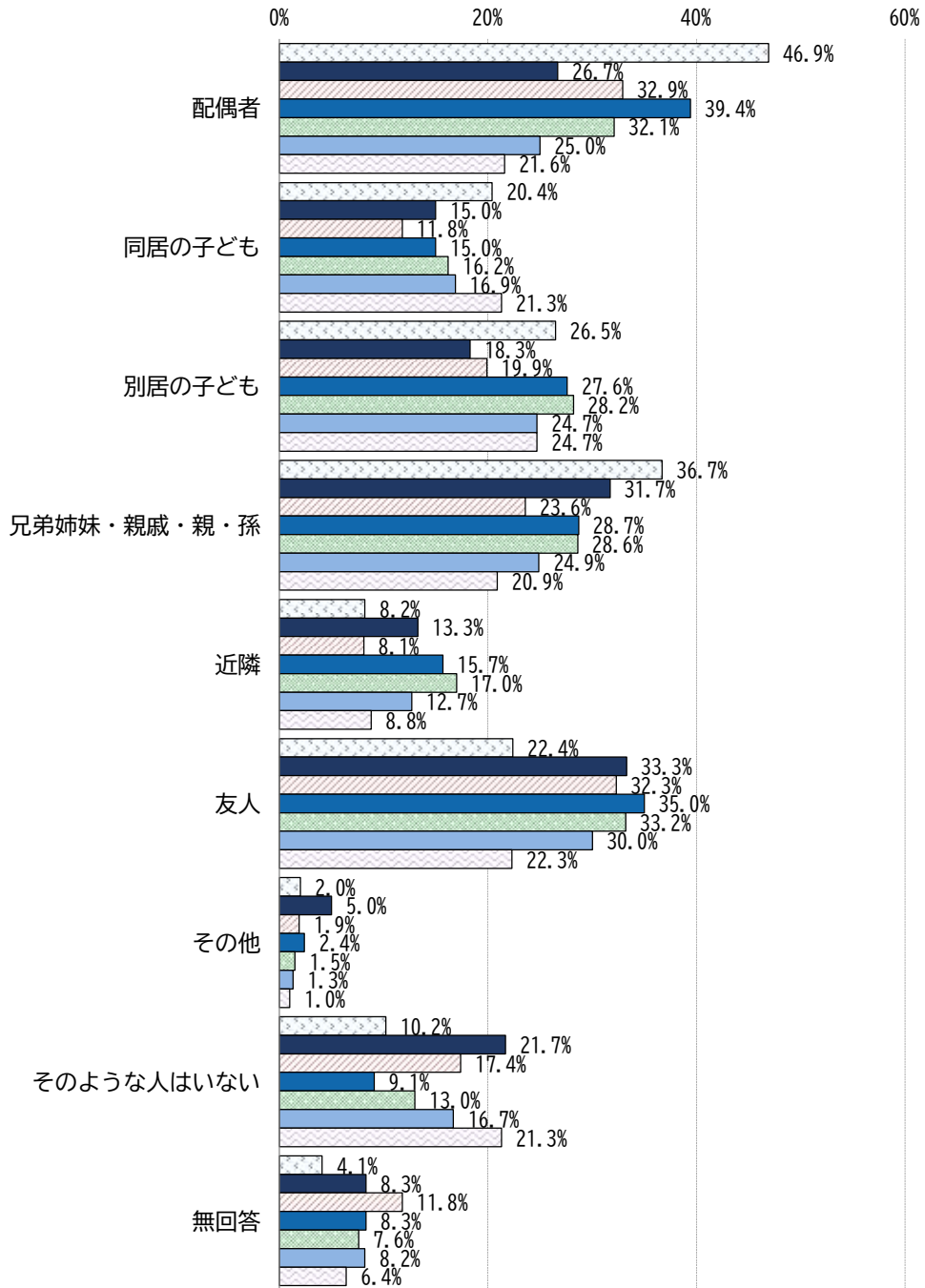
○高齢者一般



【年齢別集計】



○在宅要支援



(あなたとまわりの人の「たすけあい」について)

看病や世話をしてくれる人

あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (〇はいくつでも)

<高齢者一般調査 問35 ・ 在宅要支援認定者調査 問32>

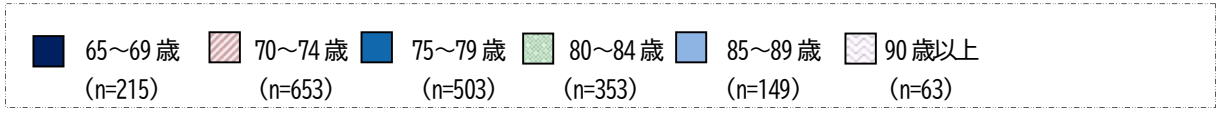
【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
配偶者	1,210	62.5%	668	36.6%
同居の子ども	635	32.8%	637	34.9%
別居の子ども	651	33.6%	637	34.9%
兄弟姉妹・親戚・親・孫	268	13.8%	237	13.0%
近隣	43	2.2%	42	2.3%
友人	104	5.4%	62	3.4%
その他	30	1.5%	65	3.6%
そのような人はいない	109	5.6%	152	8.3%
無回答	60	3.1%	103	5.7%
回 答 数	1,936	—	1,823	—

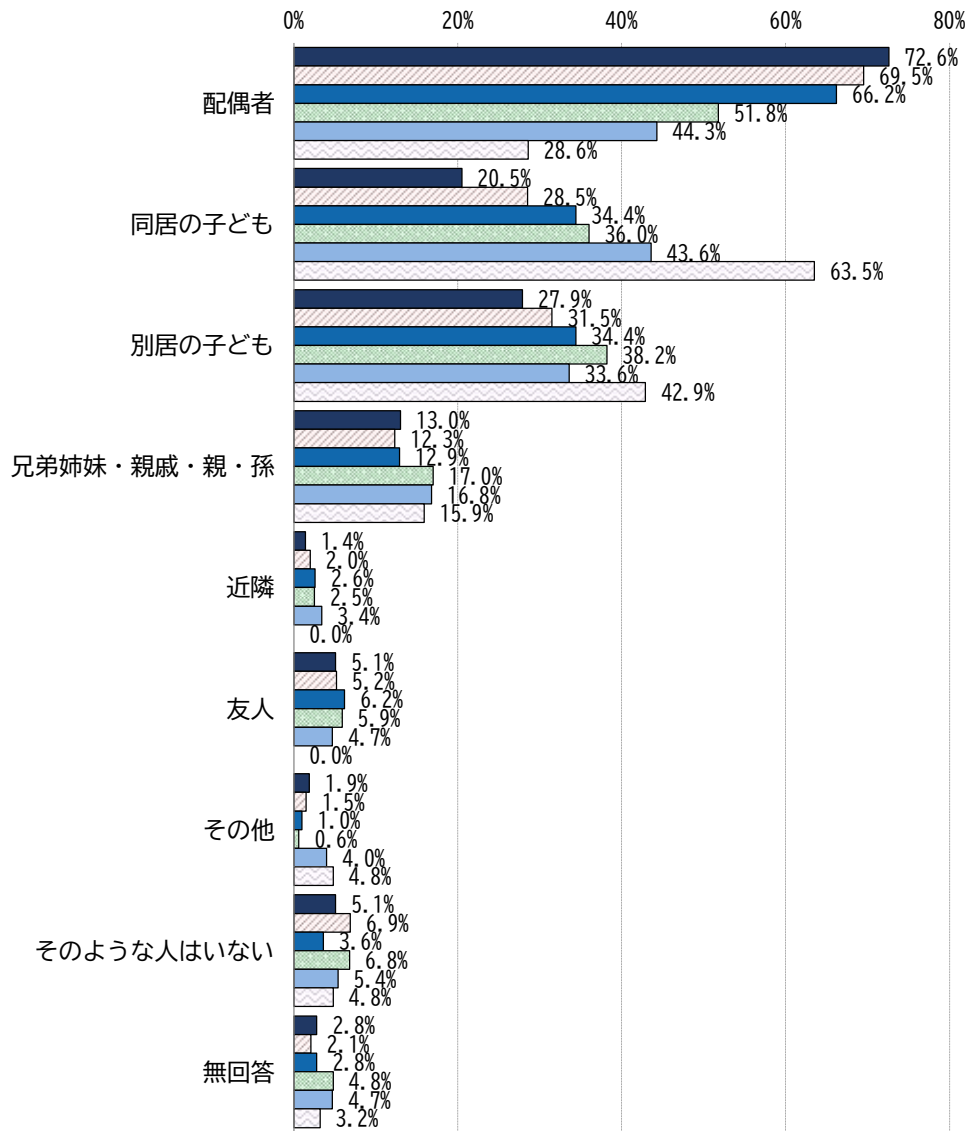
単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに、「配偶者」の割合が最も高く、ついで「別居の子ども」「同居の子ども」の割合も高くなっています。

年齢別でみると、高齢者一般では、年齢が高くなるにつれて「配偶者」の割合が低くなり、「同居の子ども」「別居の子ども」の割合が高くなる傾向がみられます。

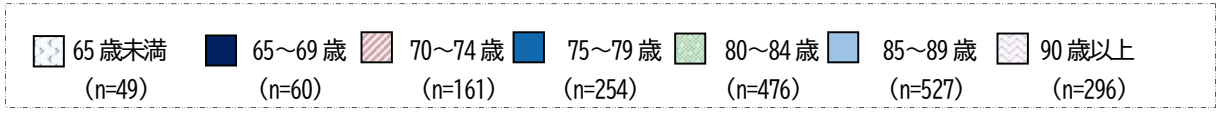
【年齢別集計】



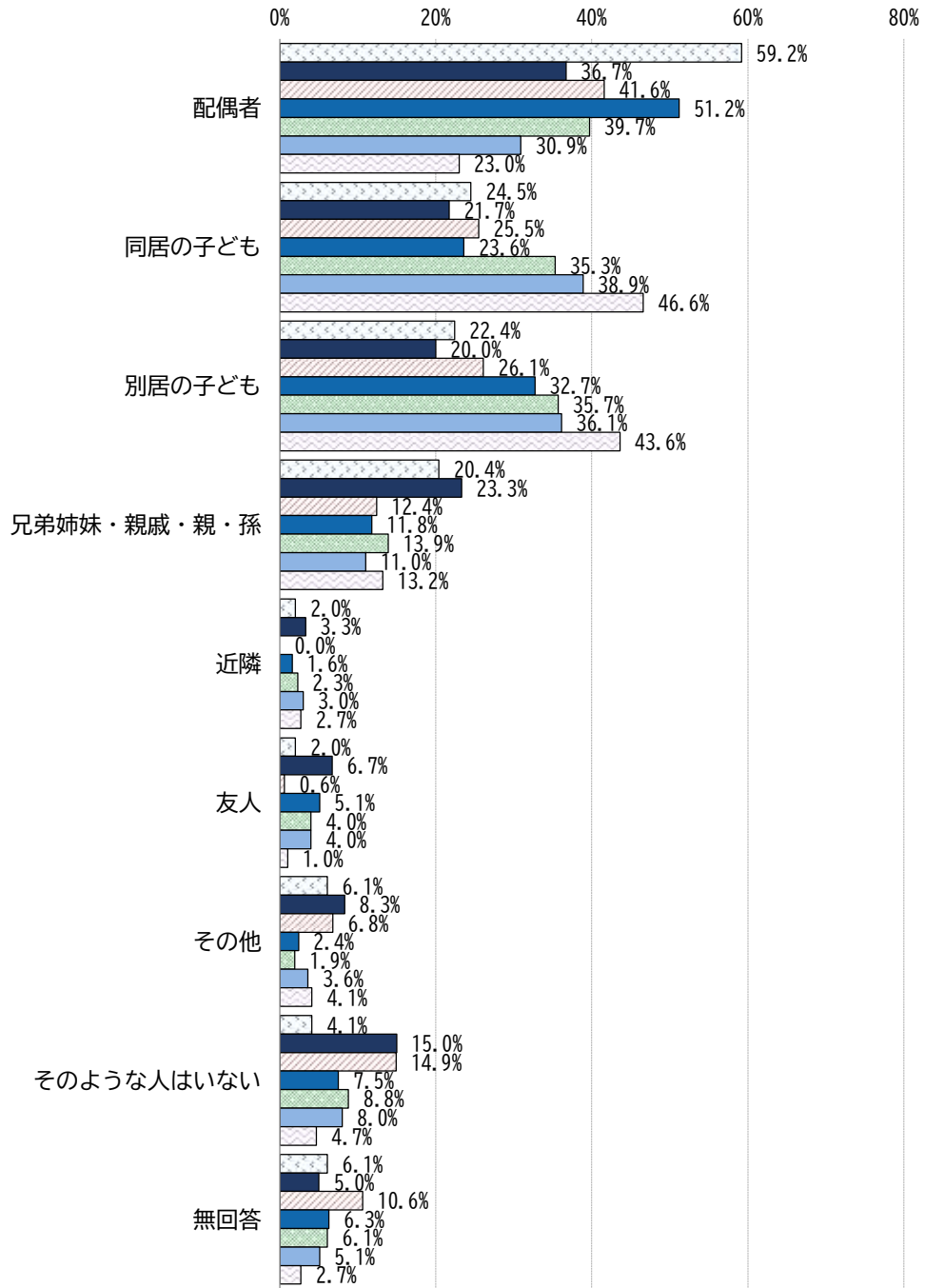
○高齢者一般



【年齢別集計】



○在宅要支援



(あなたとまわりの人の「たすけあい」について)

看病や世話をしあける人

反対に、看病や世話をしあける人 (〇はいくつでも)

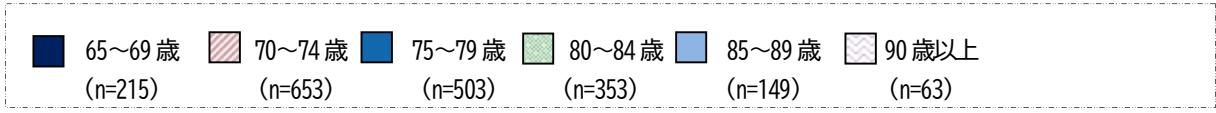
<高齢者一般調査 問36 ・ 在宅要支援認定者調査 問33>

【単純集計】

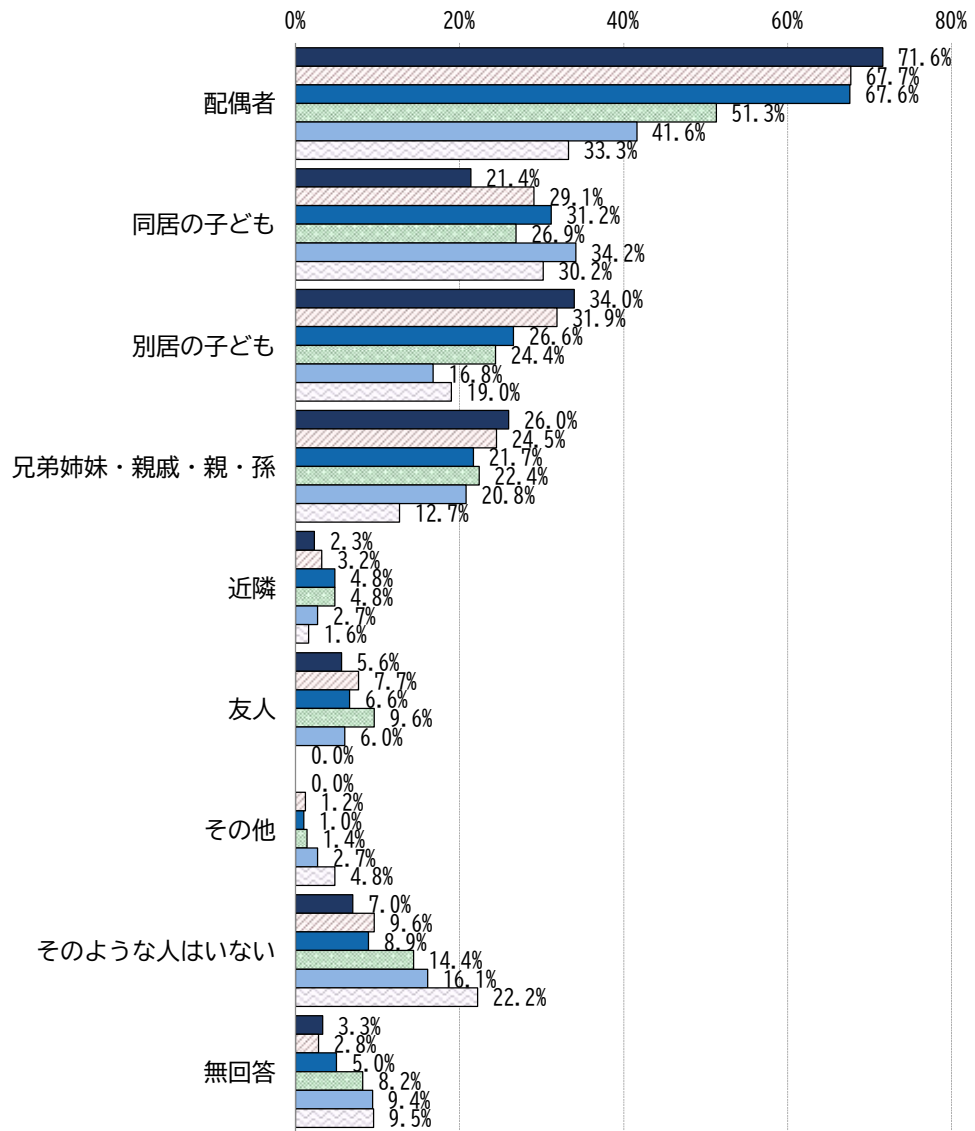
回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
配偶者	1,200	62.0%	644	35.3%
同居の子ども	558	28.8%	326	17.9%
別居の子ども	538	27.8%	237	13.0%
兄弟姉妹・親戚・親・孫	443	22.9%	178	9.8%
近隣	72	3.7%	48	2.6%
友人	138	7.1%	75	4.1%
その他	25	1.3%	71	3.9%
そのような人はいない	212	11.0%	568	31.2%
無回答	99	5.1%	187	10.3%
回 答 数	1,936	—	1,823	—

単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに、「配偶者」の割合が最も高くなっています。  
 年齢別でみると、高齢者一般は、年齢が高くなるにつれて「配偶者」の割合が低くなり、「そのような人はいない」の割合が高くなる傾向がみられます。

【年齢別集計】

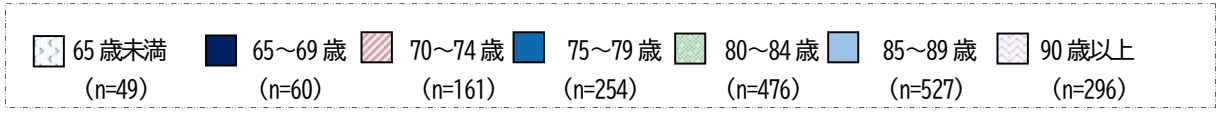


○高齢者一般

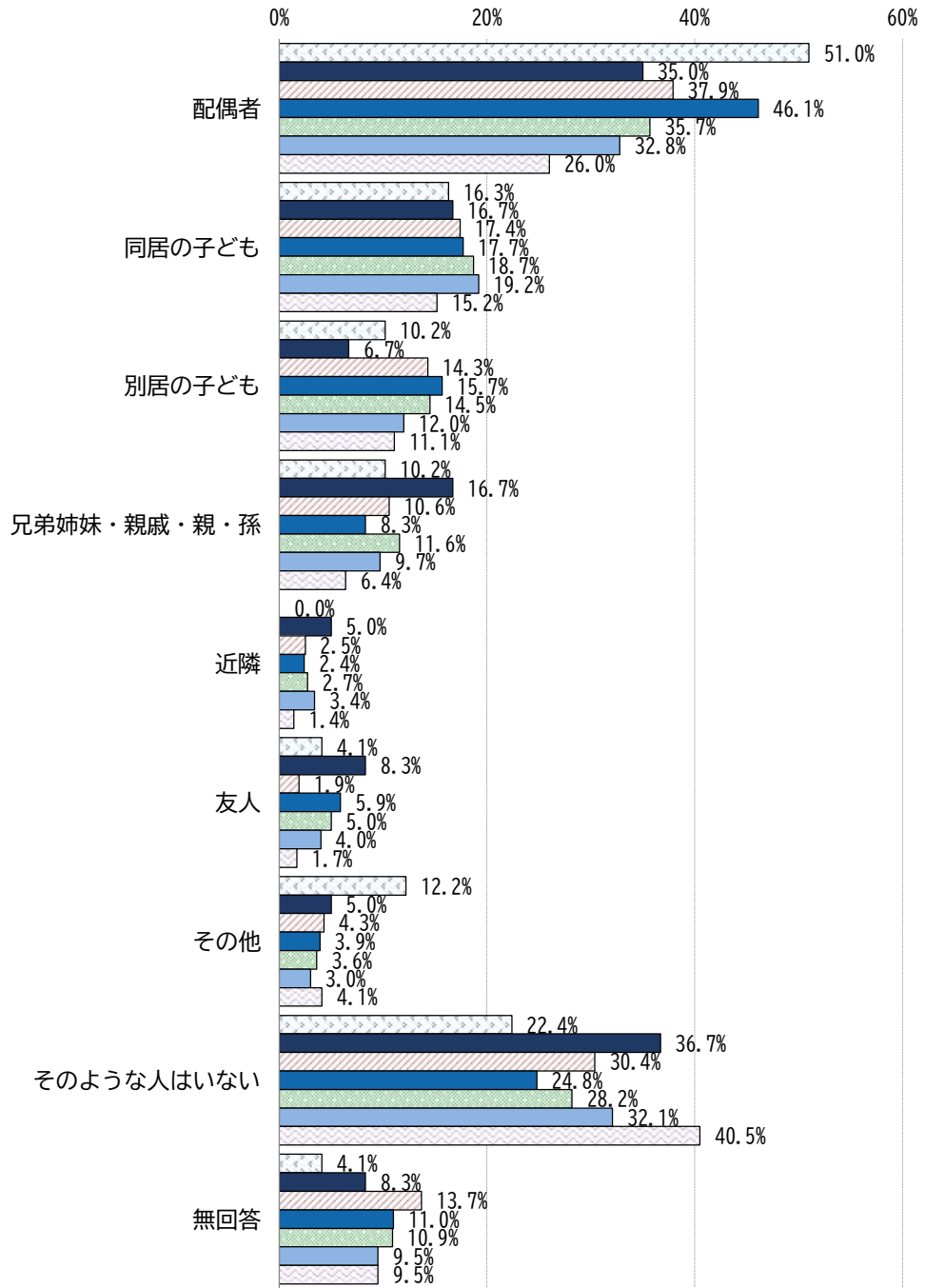




【年齢別集計】



○在宅要支援



現在の健康状態

現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○はひとつ)

<高齢者一般調査 問37 ・ 在宅要支援認定者調査 問34>

【単純集計】

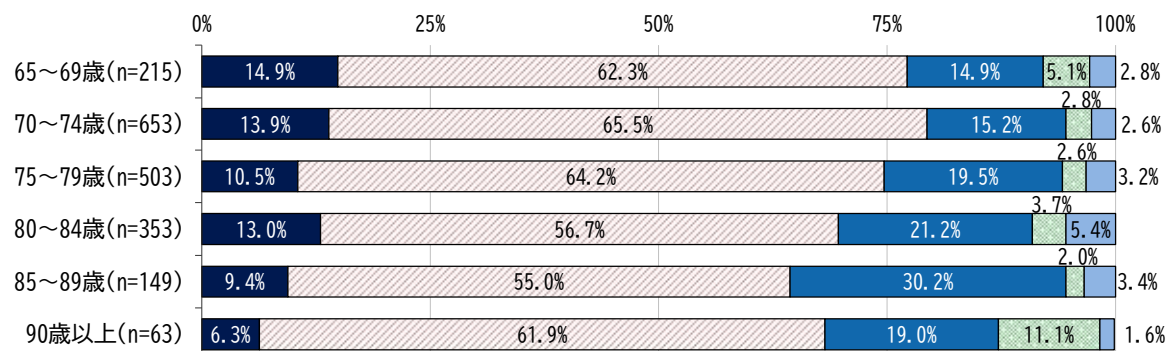
回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
とてもよい	240	12.4%	53	2.9%
まあよい	1,206	62.3%	843	46.2%
あまりよくない	361	18.6%	688	37.7%
よくない	65	3.4%	175	9.6%
無回答	64	3.3%	64	3.5%
回 答 数	1,936	100.0%	1,823	100.0%

単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに、「まあよい」の割合が高くなっています。年齢別でみると、高齢者一般では85～89歳で「とてもよい」「まあよい」の割合が最も低くなっています。

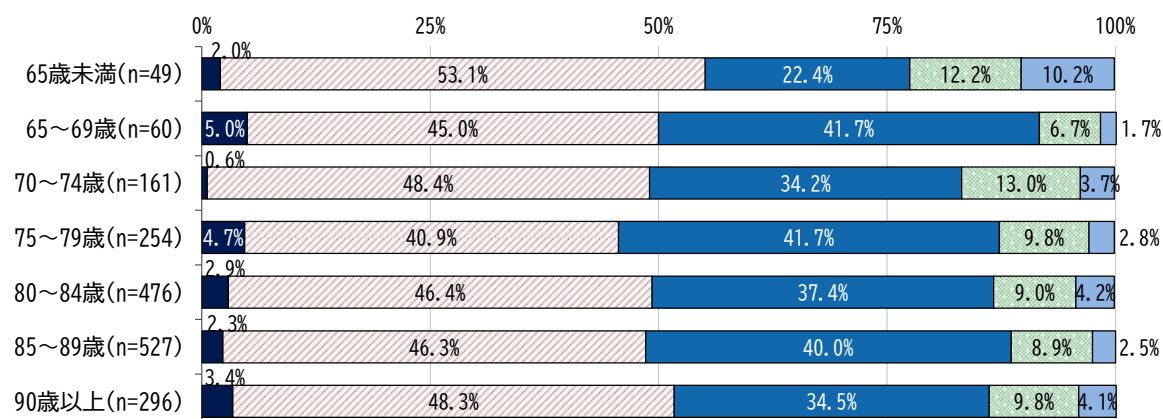
■ とてもよい    ▨ まあよい    ■ あまりよくない    ■ よくない    ■ 無回答

【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



健康のために心がけていること

ご自分の健康のためにどんなことを心がけていますか。(〇は3つまで)

<高齢者一般調査 問38 ・ 在宅要支援認定者調査 問35>

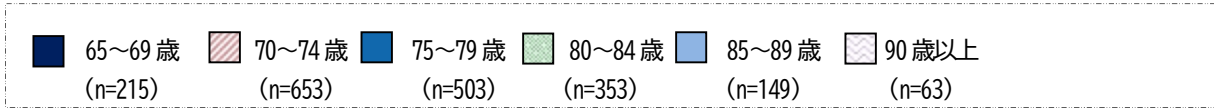
【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
休養や睡眠を十分にとる	1,062	54.9	964	52.9
食事に気をつける(栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど)	1,158	59.8	927	50.9
歯や口の中を清潔に保つ	646	33.4	600	32.9
健康診断などを定期的に受ける	767	39.6	590	32.4
酒、タバコを控える	104	5.4	91	5.0
散歩やスポーツをする	629	32.5	362	19.9
地域の活動に参加する	59	3.0	48	2.6
教養や学習活動などの楽しみを持つ	118	6.1	92	5.0
気持ちをなるべく明るく持つ	371	19.2	409	22.4
身の回りのことはなるべく自分で行う	801	41.4	1,077	59.1
仕事をする	337	17.4	88	4.8
その他	19	1.0	21	1.2
特に心がけていない	23	1.2	40	2.2
無回答	57	2.9	58	3.2
回 答 数	1,936	—	1,823	—

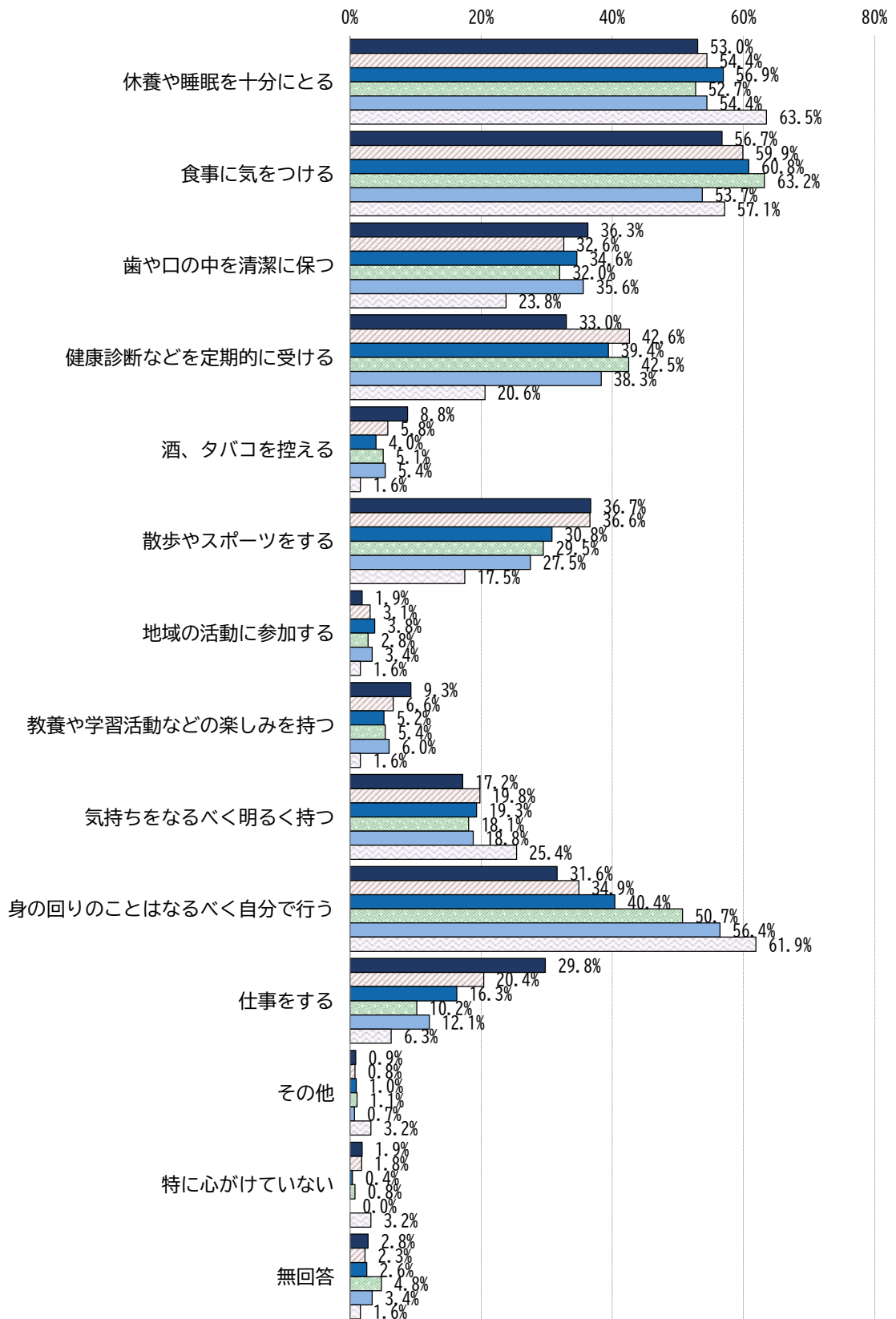
単純集計でみると、高齢者一般では「食事に気をつける(栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど)」が最も高く、ついで「休養や睡眠を十分にとる」が高くなっています。在宅要支援認定者では「身の回りのことはなるべく自分で行う」が最も高く、ついで「休養や睡眠を十分にとる」が高くなっています。

年齢別でみると、高齢者一般では年齢が高くなるにつれて「身の回りのことはなるべく自分で行う」の割合が高くなり、「散歩やスポーツをする」の割合が低くなっています。

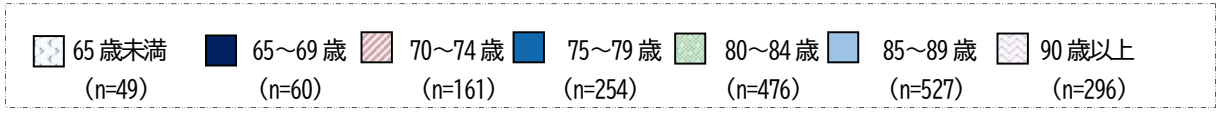
【年齢別集計】



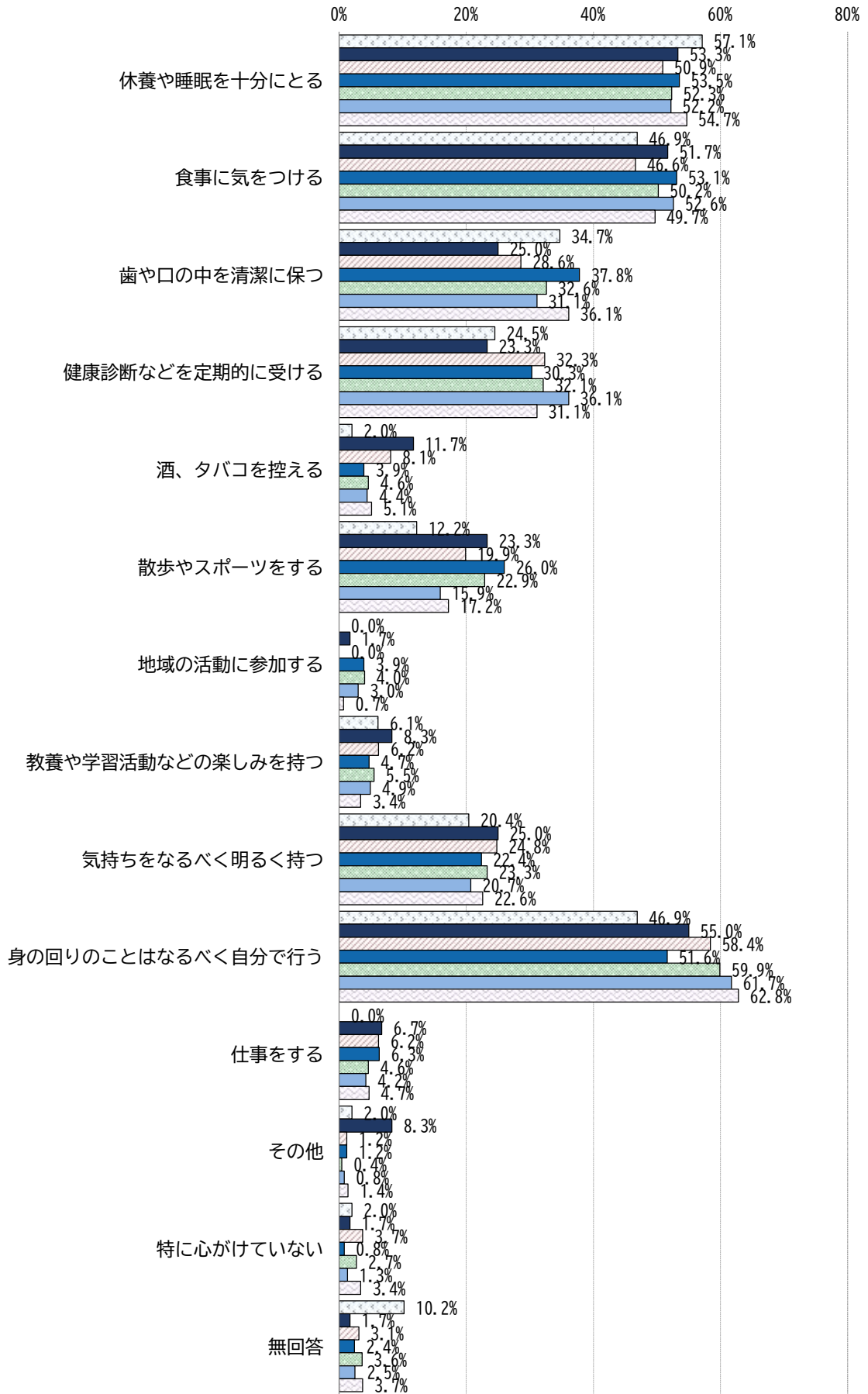
○高齢者一般



【年齢別集計】



○在宅要支援



健康について知りたいこと

健康についてどのようなことが知りたいですか。(〇は3つまで)

<高齢者一般調査 問39 ・ 在宅要支援認定者調査 問36>

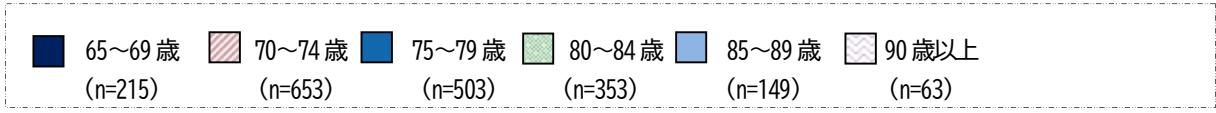
【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
がんや生活習慣病（高血圧など）にならないための工夫について	743	38.4%	500	27.4%
望ましい食生活について	658	34.0%	590	32.4%
運動の方法について	354	18.3%	372	20.4%
健康診断・各種検診の内容や受け方などについて	207	10.7%	192	10.5%
寝たきりや介護の予防について	457	23.6%	600	32.9%
歯の健康について	185	9.6%	183	10.0%
認知症の予防について	991	51.2%	878	48.2%
うつ病の予防について	131	6.8%	124	6.8%
その他	56	2.9%	52	2.9%
無回答	233	12.0%	235	12.9%
回 答 数	1,936	—	1,823	—

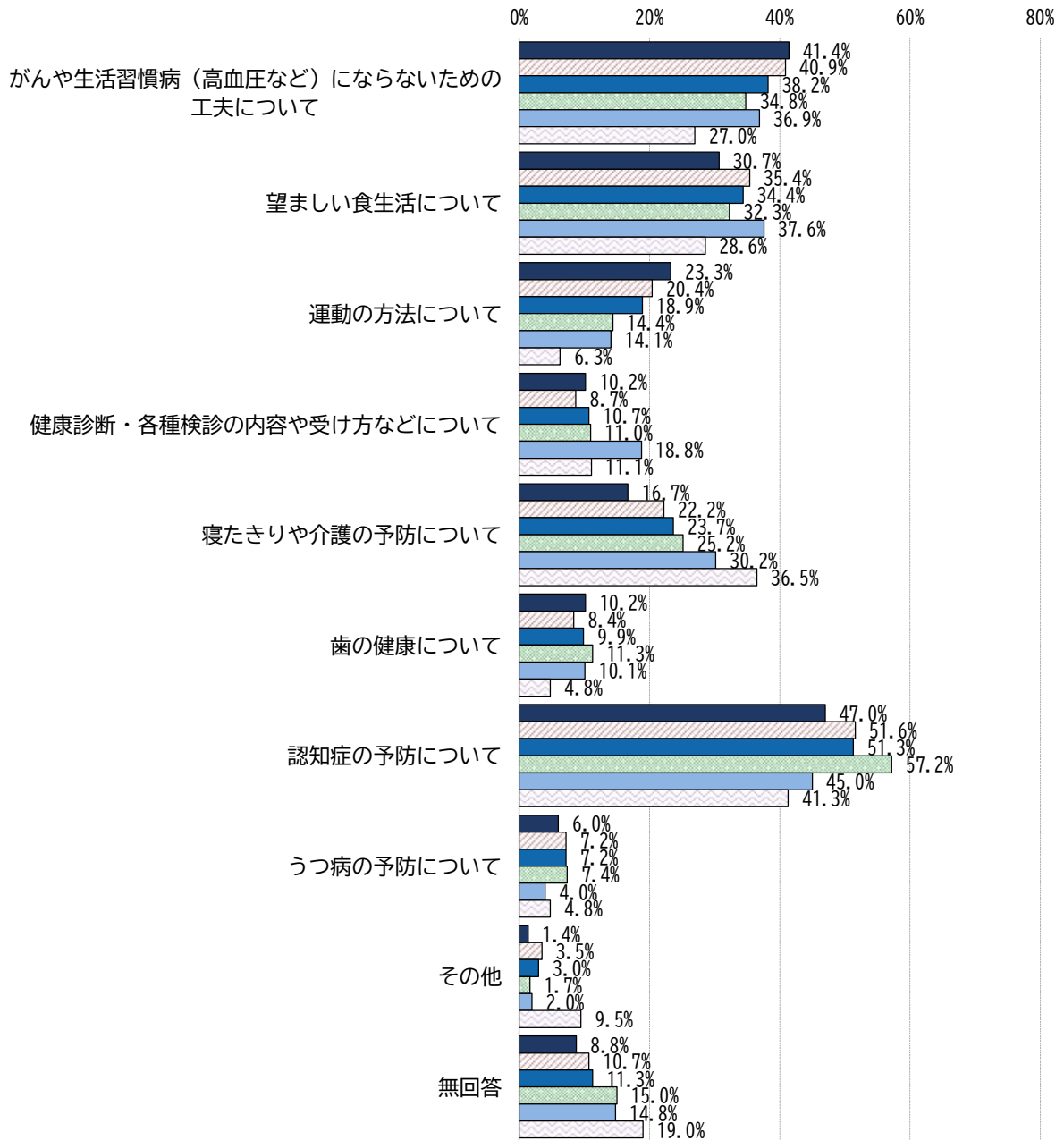
単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者とも「認知症の予防について」の割合が最も高くなっています。高齢者一般では、次いで「がんや生活習慣病（高血圧など）にならないための工夫について」が高く、在宅要支援認定者では、次いで「寝たきりや介護の予防について」が高くなっています。

年齢別でも「認知症の予防について」の割合が最も高くなっています。

【年齢別集計】

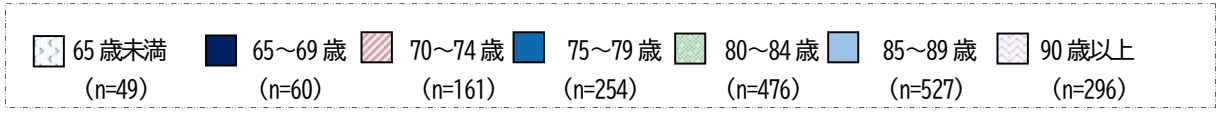


○高齢者一般

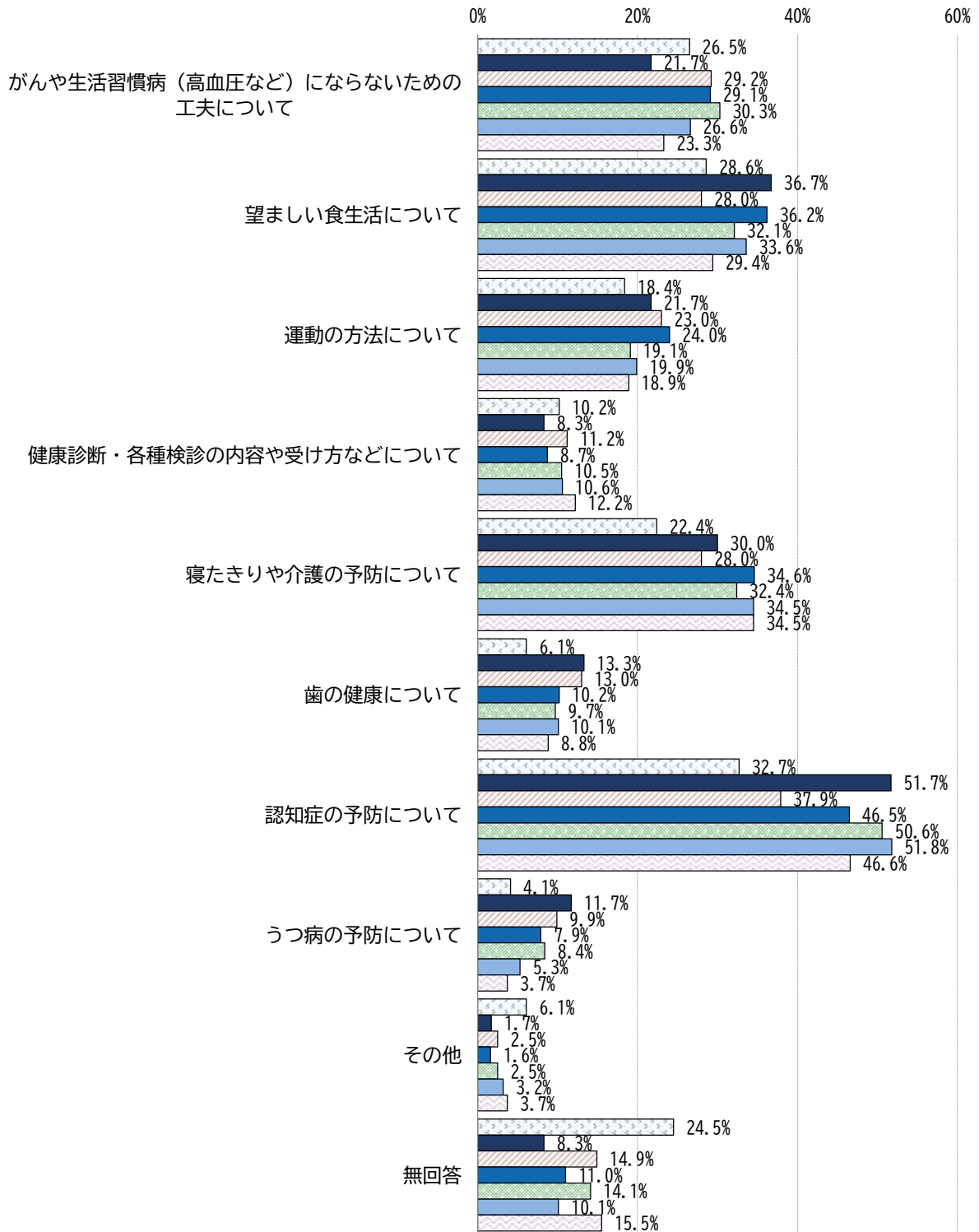




【年齢別集計】



○在宅要支援



幸福度

あなたは、現在どの程度幸せですか。(〇はひとつ)  
 (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点としてご記入ください。)  
 <高齢者一般調査 問40 ・ 在宅要支援認定者調査 問37>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
とても不幸 0点	4	0.2%	12	0.7%
1点	4	0.2%	13	0.7%
2点	17	0.9%	28	1.5%
3点	41	2.1%	90	4.9%
4点	65	3.4%	84	4.6%
5点	280	14.5%	376	20.6%
6点	163	8.4%	195	10.7%
7点	303	15.7%	249	13.7%
8点	518	26.8%	359	19.7%
9点	228	11.8%	126	6.9%
とても幸せ10点	226	11.7%	179	9.8%
無回答	87	4.5%	112	6.1%
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%

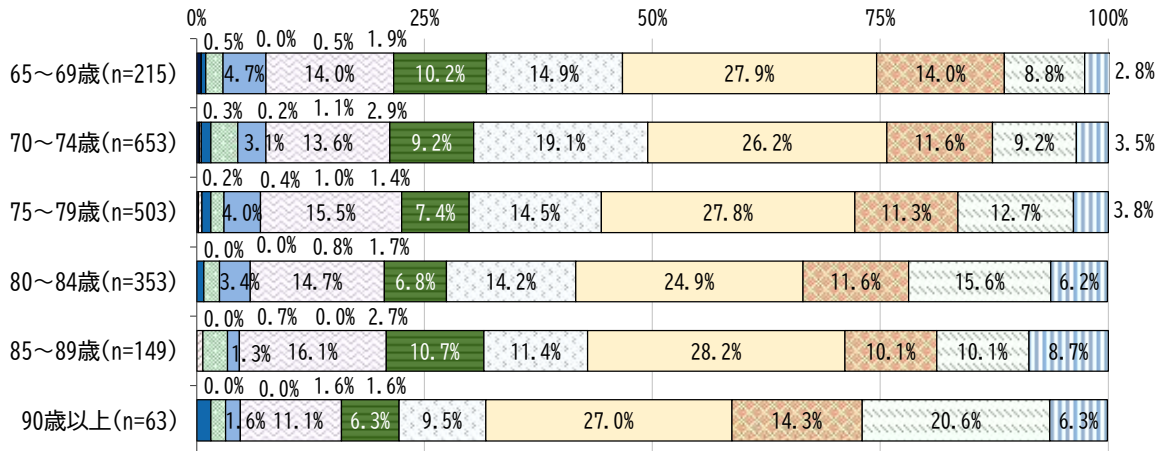
単純集計でみると、高齢者一般では「8点」の割合が最も高く、ついで「7点」が高くなっています。在宅要支援認定者では「5点」の割合が最も高く、ついで「8点」が高くなっています。

年齢別でみると、高齢者一般では「10点」の割合は年齢が高くなるにつれて高くなる傾向にあります。高齢者一般の平均値は「7.2点」、在宅要支援認定者の平均値は「6.6点」となっています。

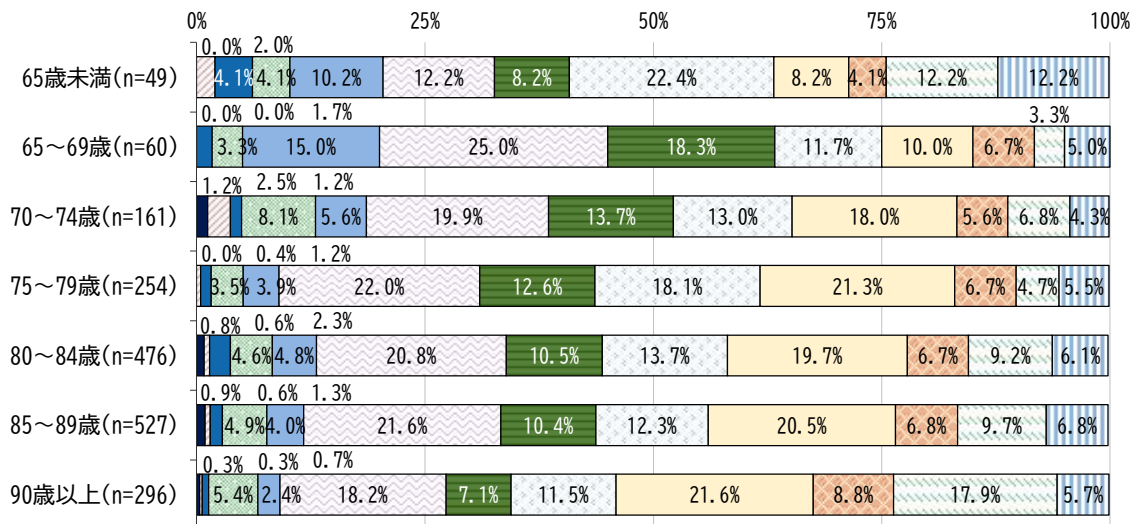


【年齢別集計】

○高齢者一般

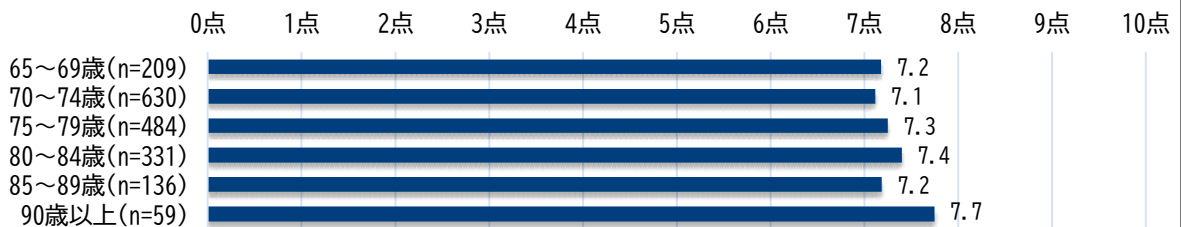


○在宅要支援

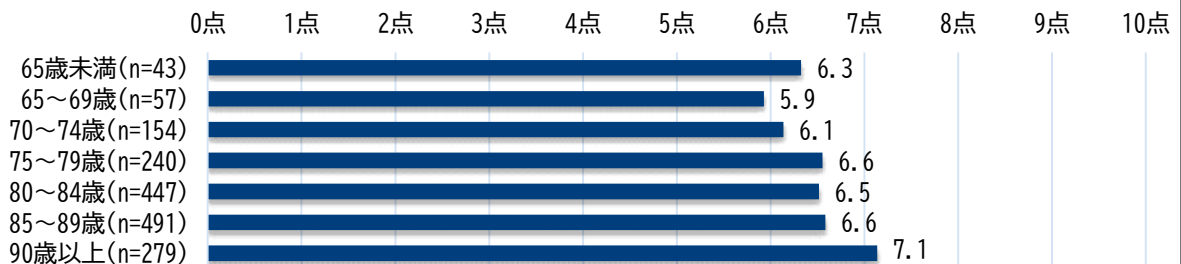


【年齢別集計 (平均)】

○高齢者一般



○在宅要支援



気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになることがあるか

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○はひとつ)

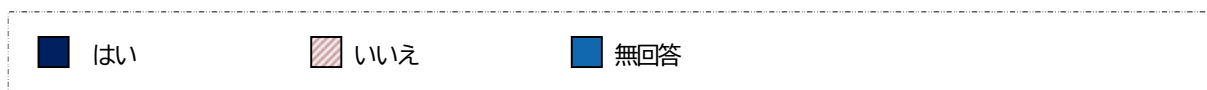
<高齢者一般調査 問41 ・ 在宅要支援認定者調査 問38>

【単純集計】

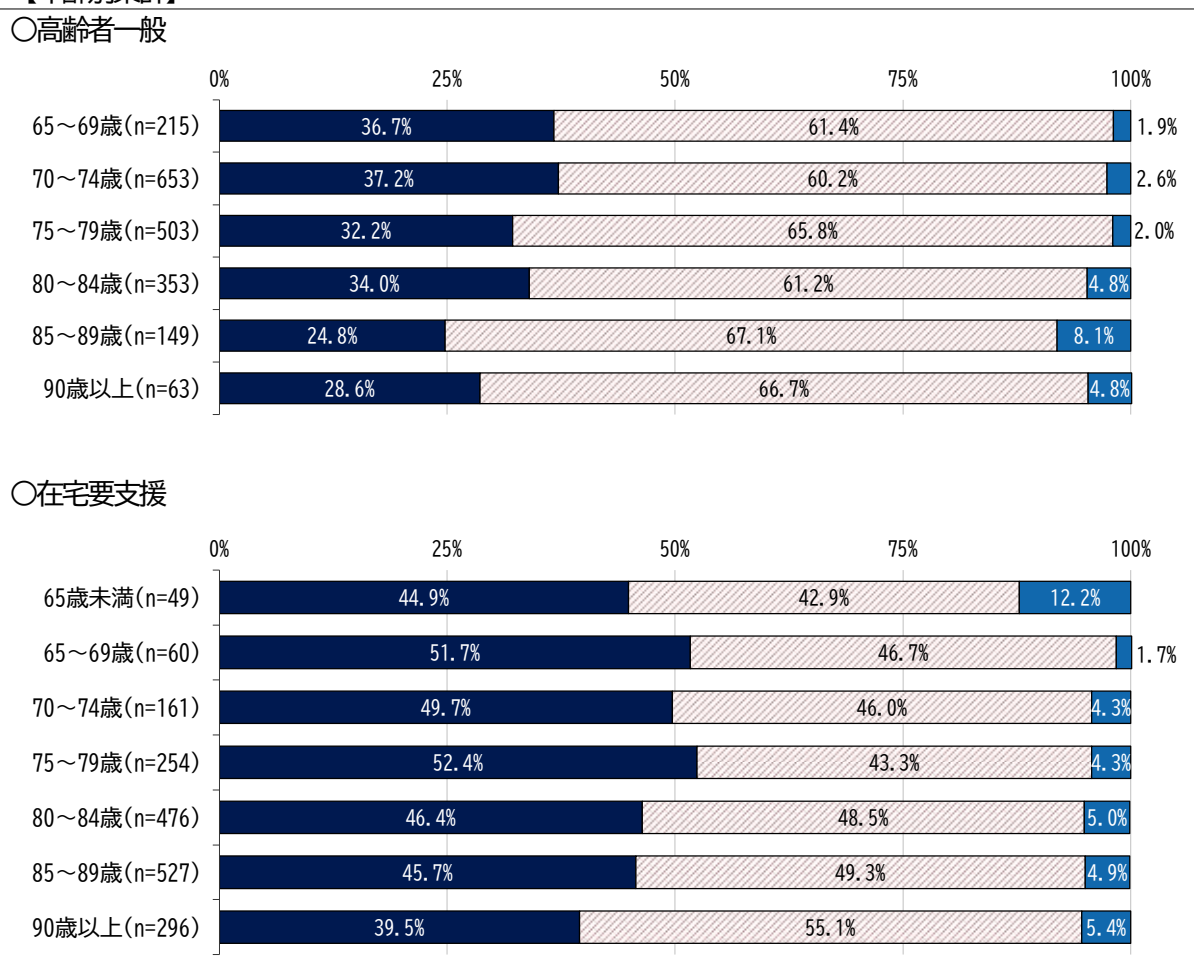
回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
はい	659	34.0%	845	46.4%
いいえ	1,214	62.7%	887	48.7%
無回答	63	3.3%	91	5.0%
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%

単純集計で見ると、高齢者一般では「いいえ」の割合が高く、在宅要支援認定者では「はい」と「いいえ」の割合が拮抗しています。

年齢別で見ると、在宅要支援認定者では、「はい」の割合は75～79歳が最も高くなっています。



【年齢別集計】



物事に興味がわかない、楽しめない感じがあるか

この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(〇はひとつ)

<高齢者一般調査 問42 ・ 在宅要支援認定者調査 問39>

【単純集計】

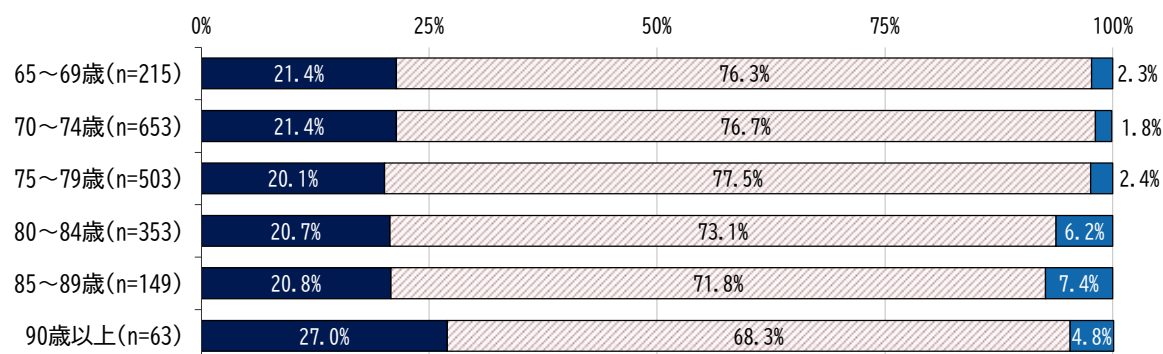
回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
はい	408	21.1%	669	36.7%
いいえ	1,463	75.6%	1,050	57.6%
無回答	65	3.4%	104	5.7%
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%

単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者とも「いいえ」が高くなっています。  
年齢別でみると、在宅要支援認定者では、「はい」の割合は65～69歳が最も高くなっています。

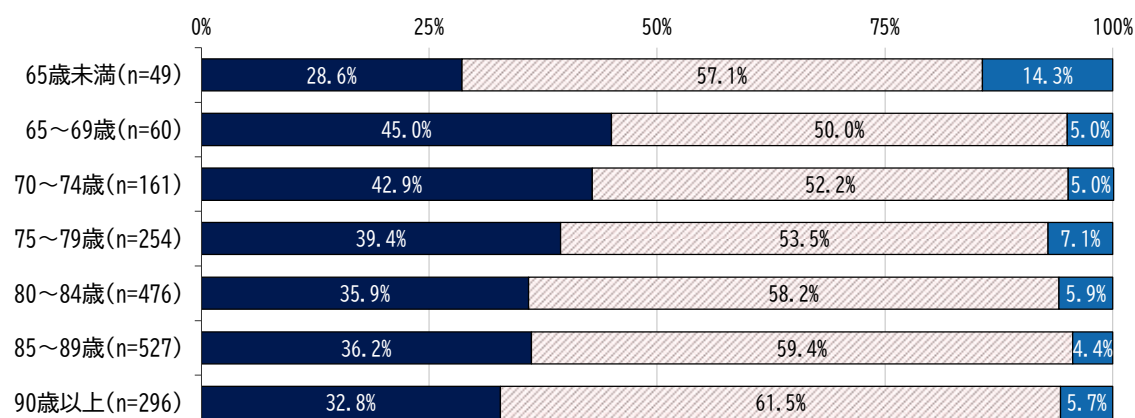


【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援





喫煙の有無

タバコは吸っていますか。(〇はひとつ)

<高齢者一般調査 問43 ・ 在宅要支援認定者調査 問40>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
ほぼ毎日吸っている	110	5.7%	60	3.3%
時々吸っている	22	1.1%	16	0.9%
吸っていたがやめた	612	31.6%	518	28.4%
もともと吸っていない	1,141	58.9%	1,157	63.5%
無回答	51	2.6%	72	3.9%
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%

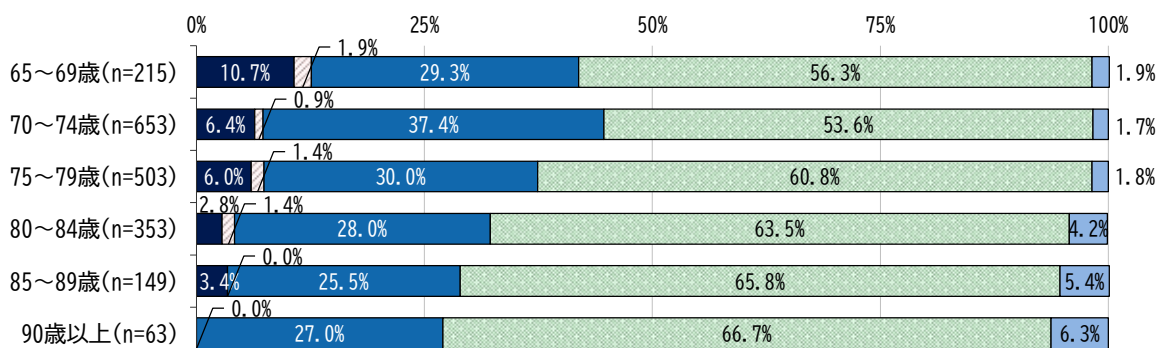
単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに「もともと吸っていない」が高くなっています。

年齢別でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに、年齢が高くなるにつれて「ほぼ毎日吸っている」の割合が低くなっています。

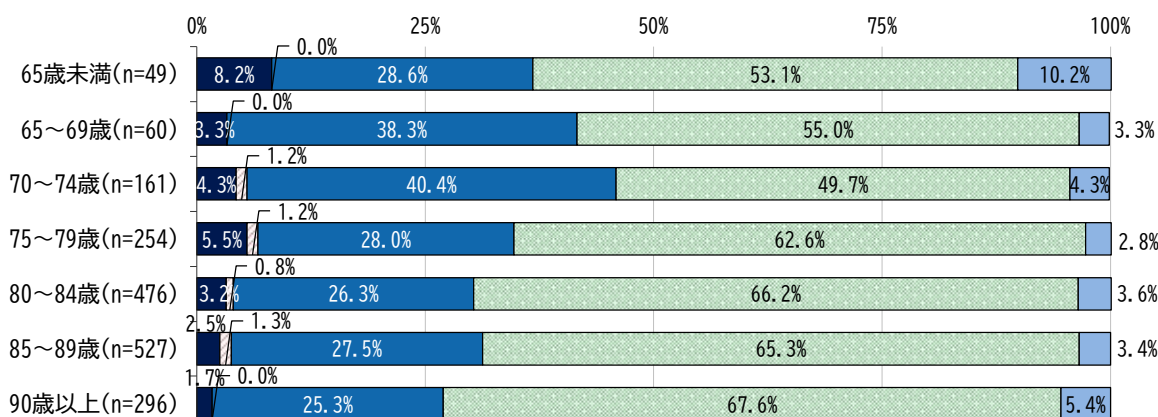
■ ほぼ毎日吸っている    ▨ 時々吸っている    ■ 吸っていたがやめた    ▨ もともと吸っていない    ■ 無回答

【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



治療中・後遺症のある病気

現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)

<高齢者一般調査 問44 ・ 在宅要支援認定者調査 問41>

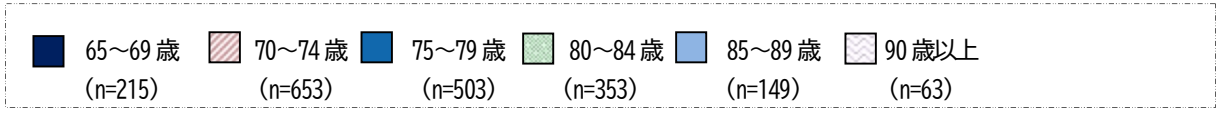
【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
ない	278	14.4%	75	4.1%
高血圧	847	43.8%	934	51.2%
脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	65	3.4%	232	12.7%
心臓病	203	10.5%	328	18.0%
糖尿病	280	14.5%	341	18.7%
高脂血症(脂質異常)	300	15.5%	214	11.7%
呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	137	7.1%	208	11.4%
胃腸・肝臓・胆のうの病気	143	7.4%	167	9.2%
腎臓・前立腺の病気	221	11.4%	254	13.9%
筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)	263	13.6%	436	23.9%
外傷(転倒・骨折等)	75	3.9%	199	10.9%
がん(悪性新生物)	100	5.2%	105	5.8%
血液・免疫の病気	30	1.5%	51	2.8%
うつ病	16	0.8%	39	2.1%
認知症(アルツハイマー病等)	12	0.6%	79	4.3%
パーキンソン病	9	0.5%	37	2.0%
目の病気	385	19.9%	487	26.7%
耳の病気	133	6.9%	213	11.7%
その他	180	9.3%	190	10.4%
無回答	71	3.7%	70	3.8%
回 答 数	1,936	—	1,823	—

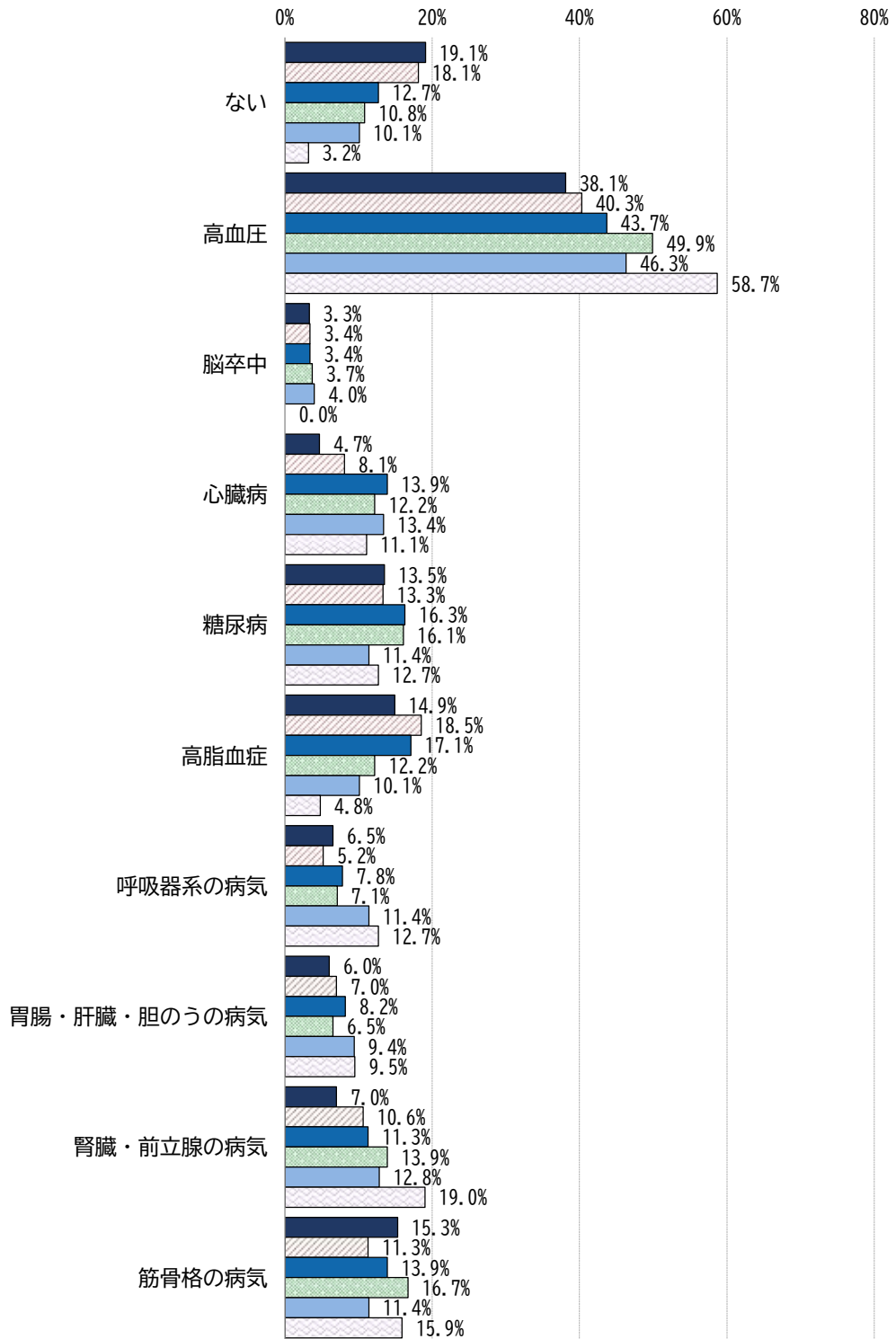
単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに「高血圧」の割合が最も高く、ついで「目の病気」となっています。

年齢別でみると、高齢者一般では「目の病気」は85～89歳の割合が高くなっています。

【年齢別集計】

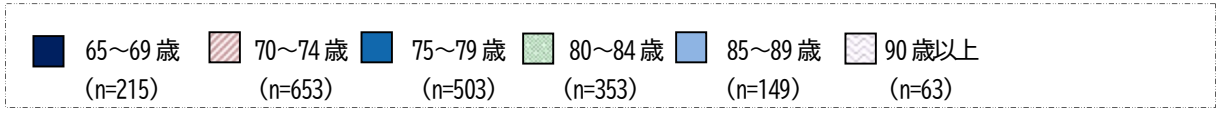


○高齢者一般 (2-1)

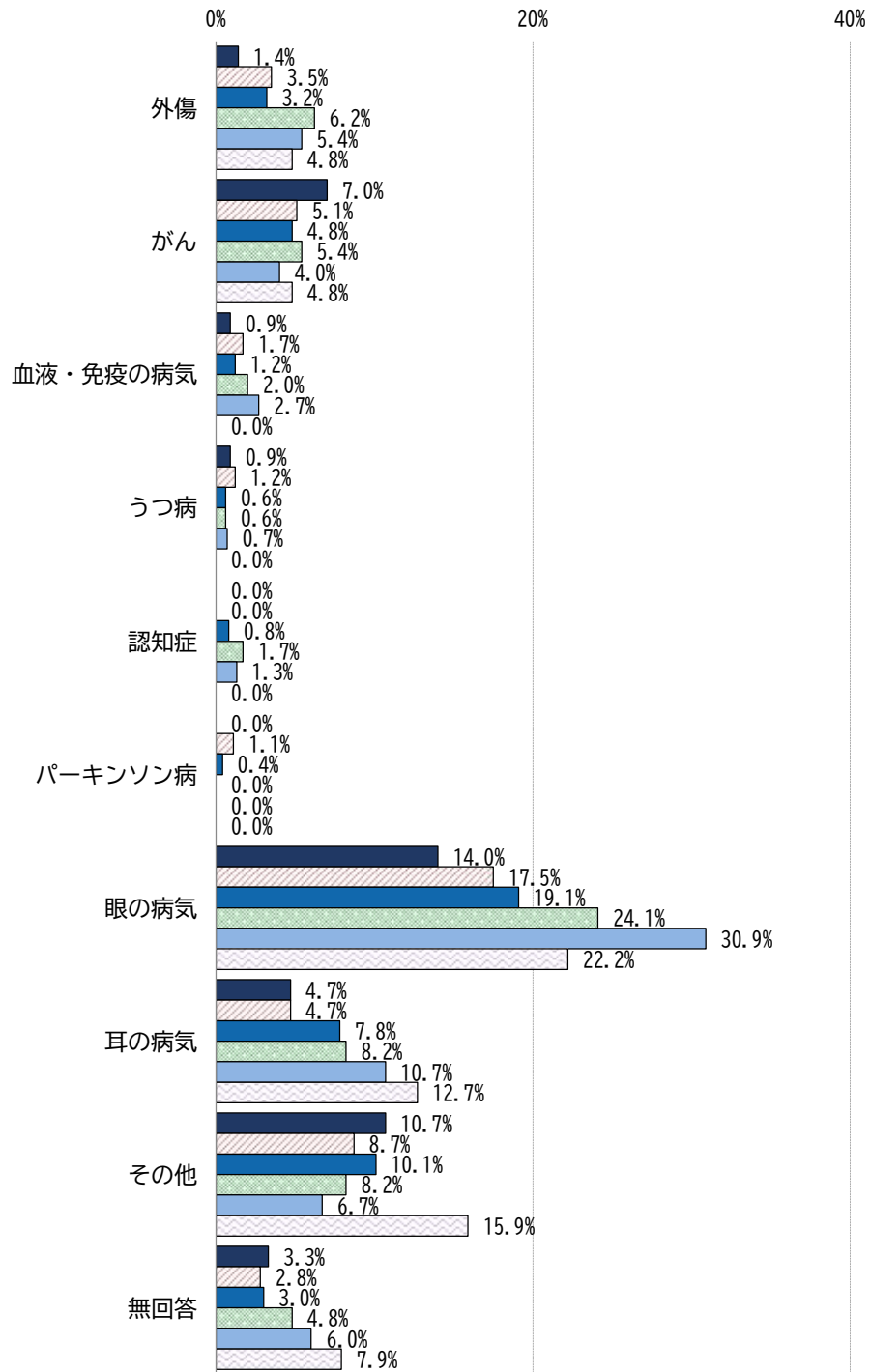




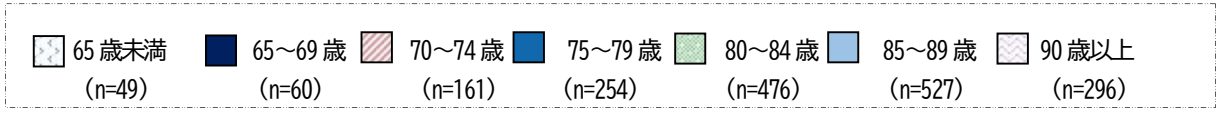
【年齢別集計】



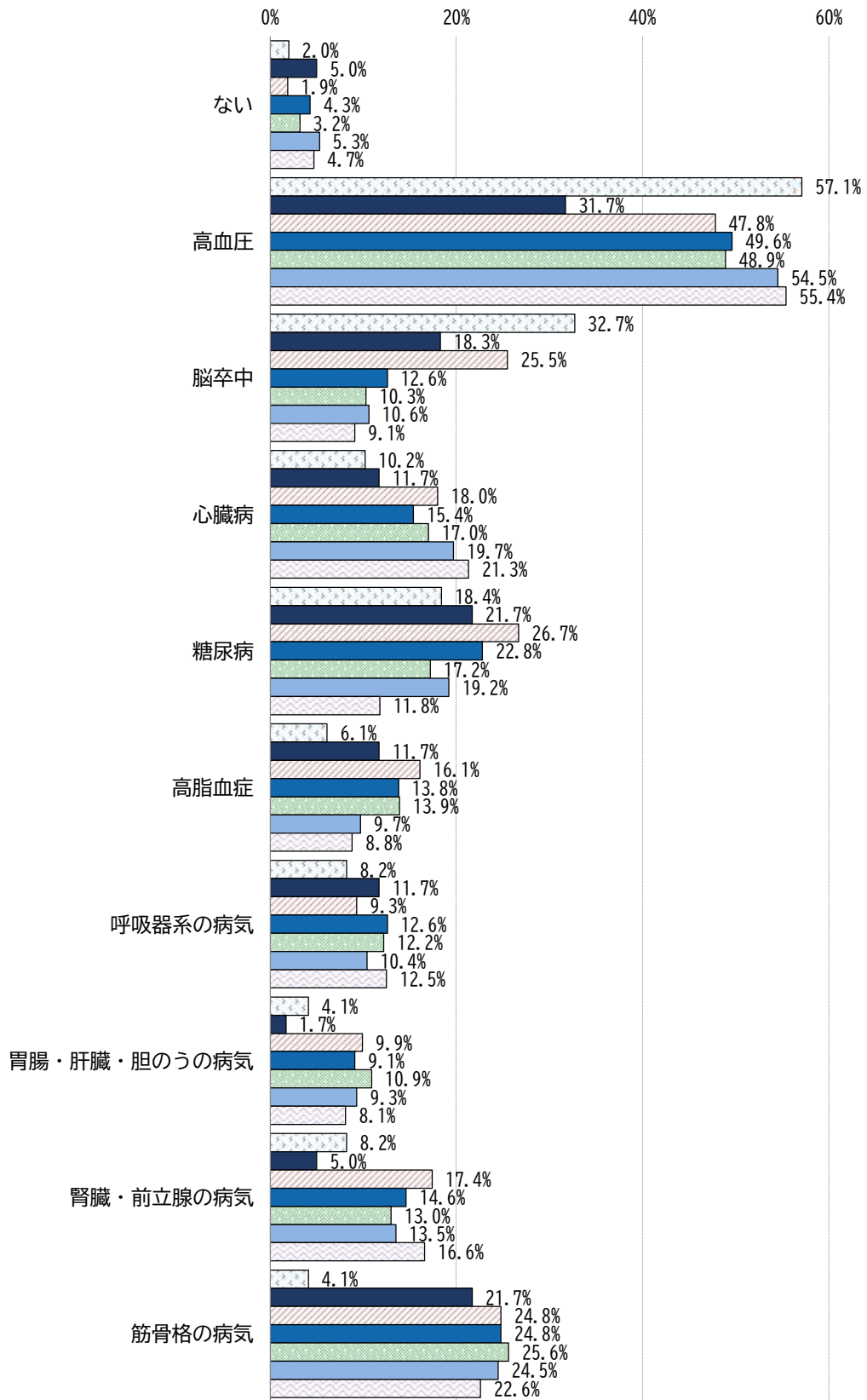
○高齢者一般 (2-2)



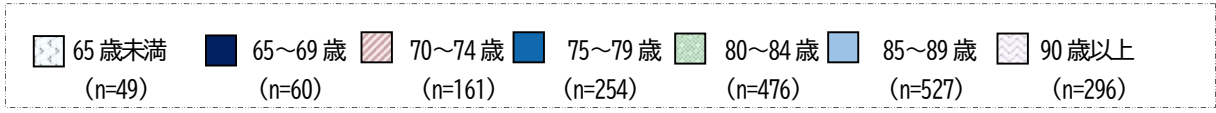
【年齢別集計】



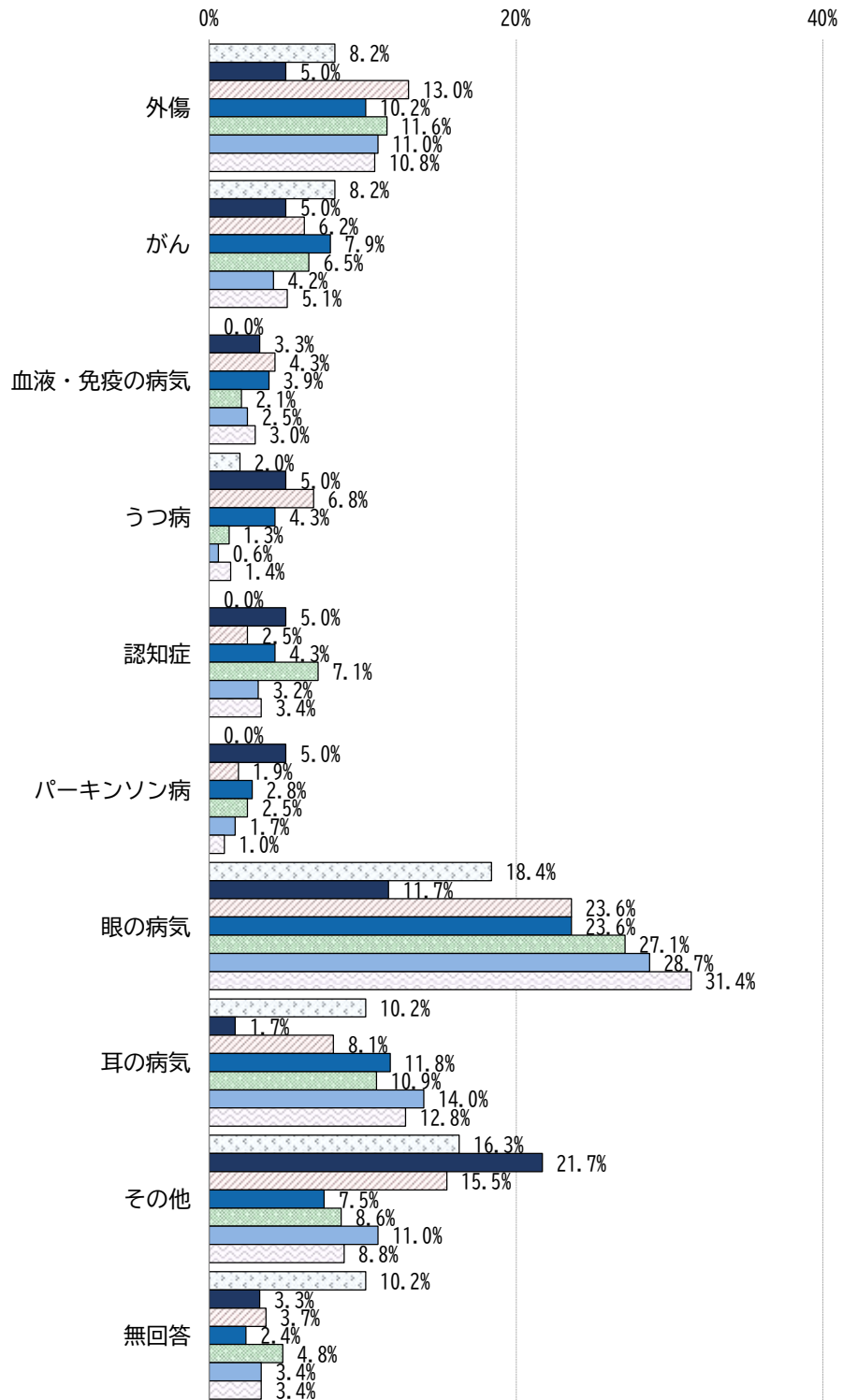
○在宅要支援 (2-1)



【年齢別集計】



○在宅要支援 (2-2)



「フレイル」の認知度

「フレイル」という言葉を聞いたことがありますか。(○はひとつ)

<高齢者一般調査 問45・在宅要支援認定者調査 問42・在宅要介護認定者調査 問7>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
初めて聞いた	1,139	58.8%	1,185	65.0%	1,165	74.6%
聞いたことがある	435	22.5%	378	20.7%	242	15.5%
意味も知っている	210	10.8%	160	8.8%	95	6.1%
無回答	152	7.9%	100	5.5%	59	3.8%
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%	1,561	100.0%

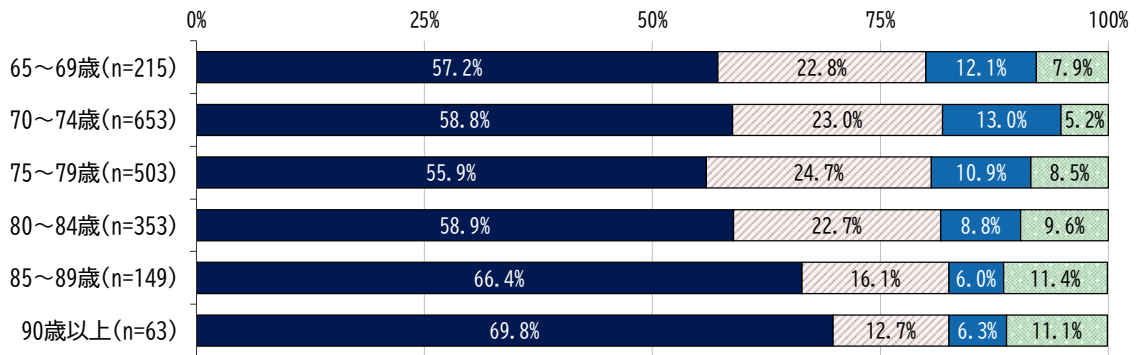
単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者ともに「初めて聞いた」の割合が最も高く、在宅要介護認定者では7割を超えています。

年齢別でみると、「聞いた事がある」「意味も知っている」を合わせた割合は、高齢者一般では70歳代が最も高くなっています。

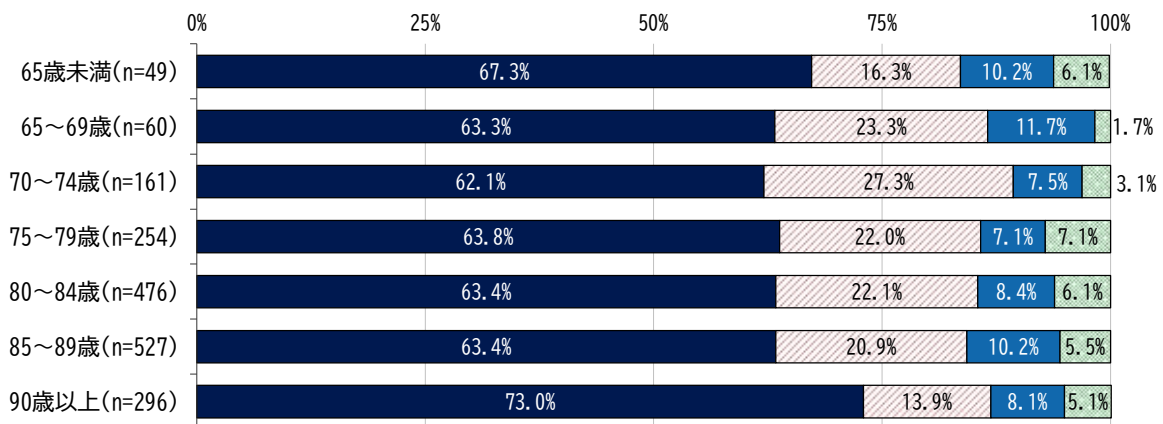
初めて聞いた
  聞いたことがある
  意味も知っている
  無回答

【年齢別集計】

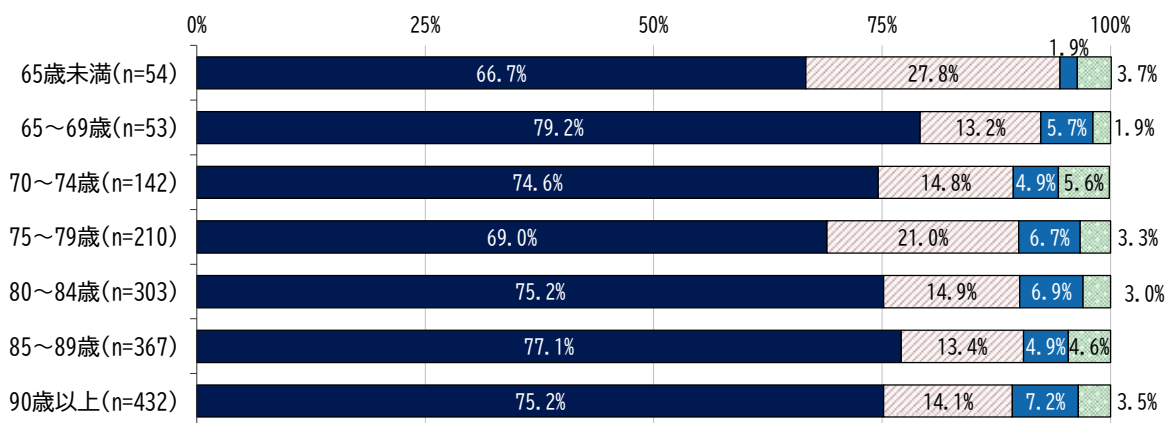
○高齢者一般



○在宅要支援



○在宅要介護



ロコモーショントレーニングの取組状況

浜松市では、介護予防のためロコモーショントレーニング（通称：ロコトレ）の取り組みを推進しています。あなたのロコトレへの取り組み状況についてお聞かせください。（〇はいくつでも）

<高齢者一般調査 問46・在宅要支援認定者調査 問43・在宅要介護認定者調査 問8>

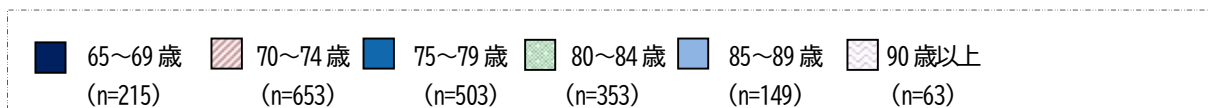
【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
ロコトレを知らない	1,123	58.0%	992	54.4%	1,102	70.6%
ロコトレを知っているが、取り組む必要性を感じない	210	10.8%	94	5.2%	59	3.8%
ロコトレに取り組んでみたいが、取り組めていない	178	9.2%	178	9.8%	71	4.5%
地域のサロンやデイサービス事業所等で、ロコトレに取り組んでいる	96	5.0%	414	22.7%	242	15.5%
個人的にロコトレに取り組んでいる	177	9.1%	130	7.1%	54	3.5%
無回答	192	9.9%	141	7.7%	82	5.3%
回 答 数	1,936	-	1,823	-	1,561	-

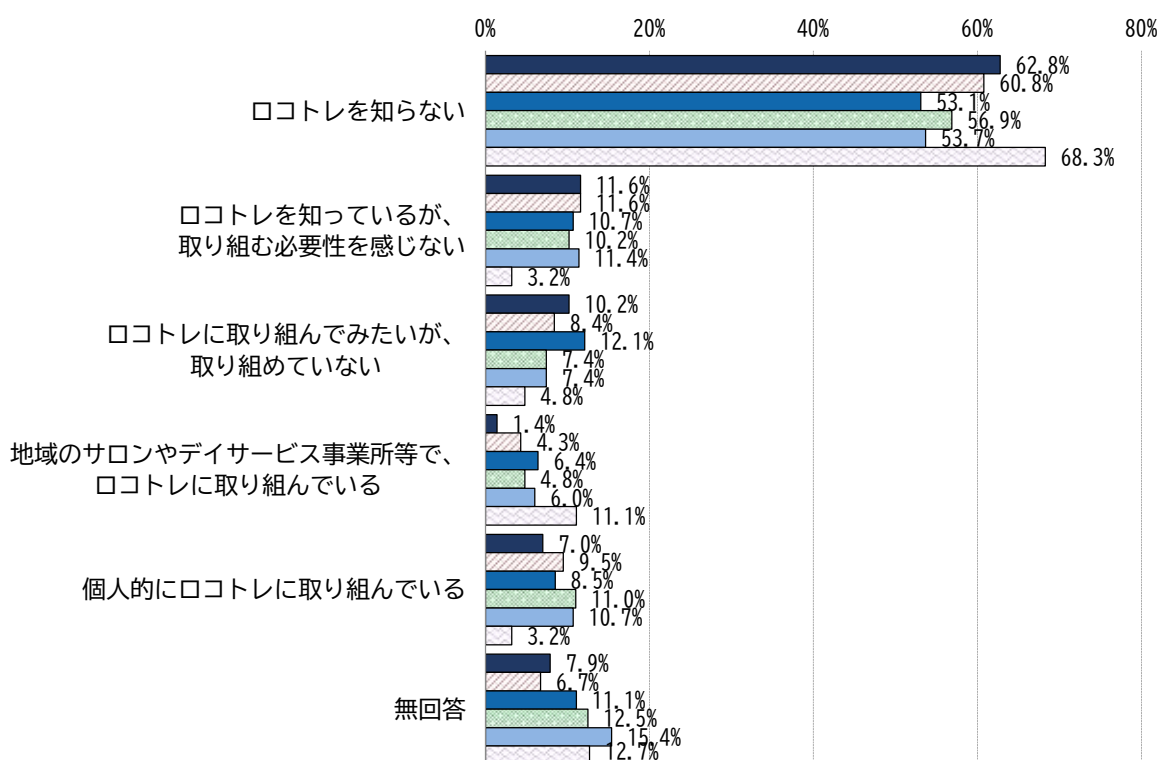
単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者ともに「ロコトレを知らない」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、「取り組んでいる」は、高齢者一般では90歳以上在宅要支援認定者では80～84歳の割合が高くなっています。

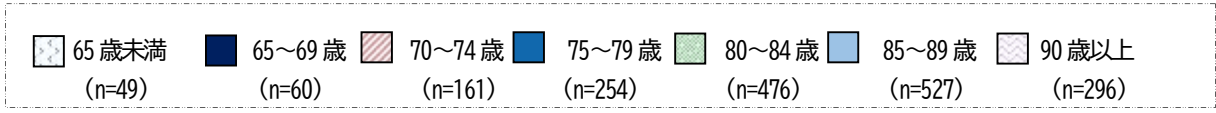
【年齢別集計】



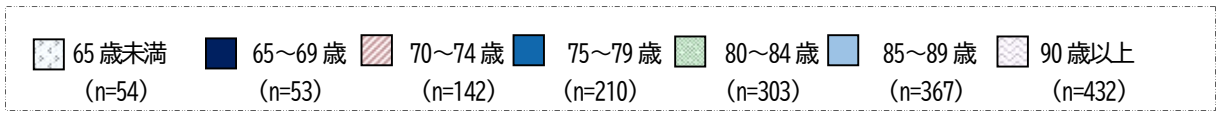
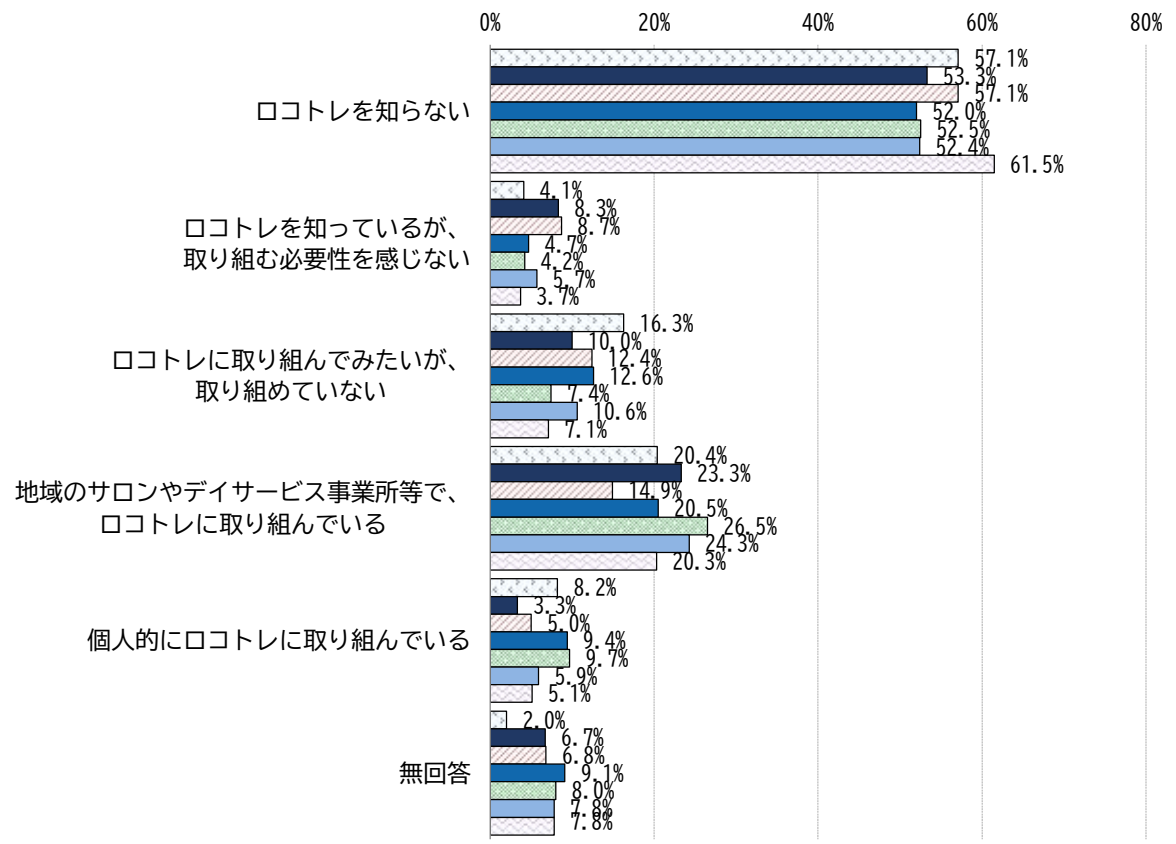
○高齢者一般



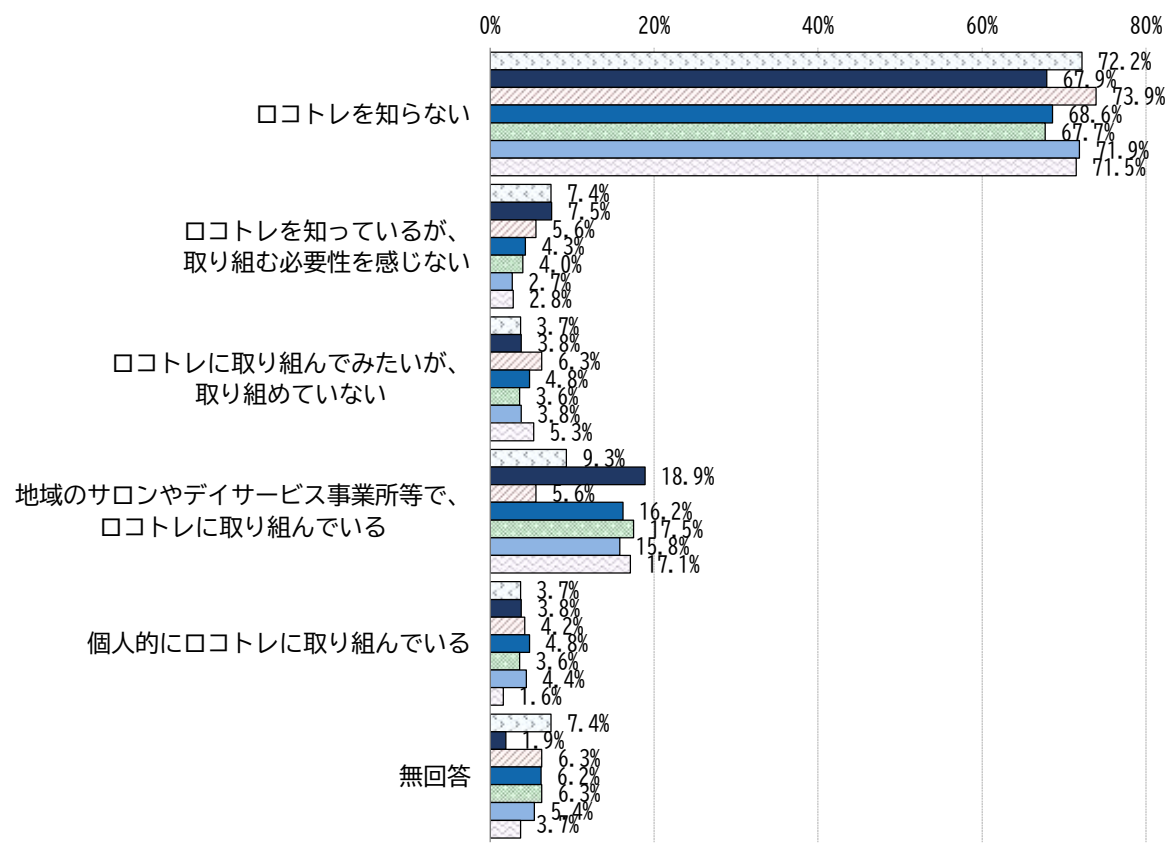
【年齢別集計】



○在宅要支援



○在宅要介護



耳の聞こえについて

日常生活の中で耳の聞こえに関して困っていることはありますか (〇はいくつでも)

<高齢者一般調査 問47・在宅要支援認定者調査 問44・在宅要介護認定者調査 問5>

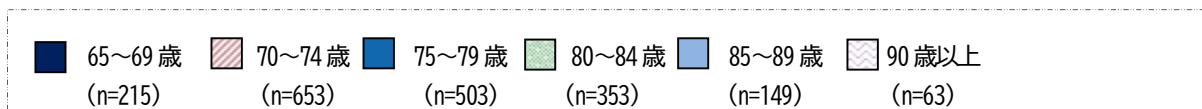
【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
人の話を聞き間違える	415	21.4%	608	33.4%	511	32.7%
人との会話がままならずストレスを感じている	143	7.4%	332	18.2%	379	24.3%
出かけて用事を済ませたり人と会ったりするのをためらってしまう	50	2.6%	137	7.5%	168	10.8%
その他	98	5.1%	130	7.1%	163	10.4%
困っていることはない	1,185	61.2%	822	45.1%	600	38.4%
無回答	186	9.6%	143	7.8%	94	6.0%
回 答 数	1,936	—	1,823	—	1,561	—

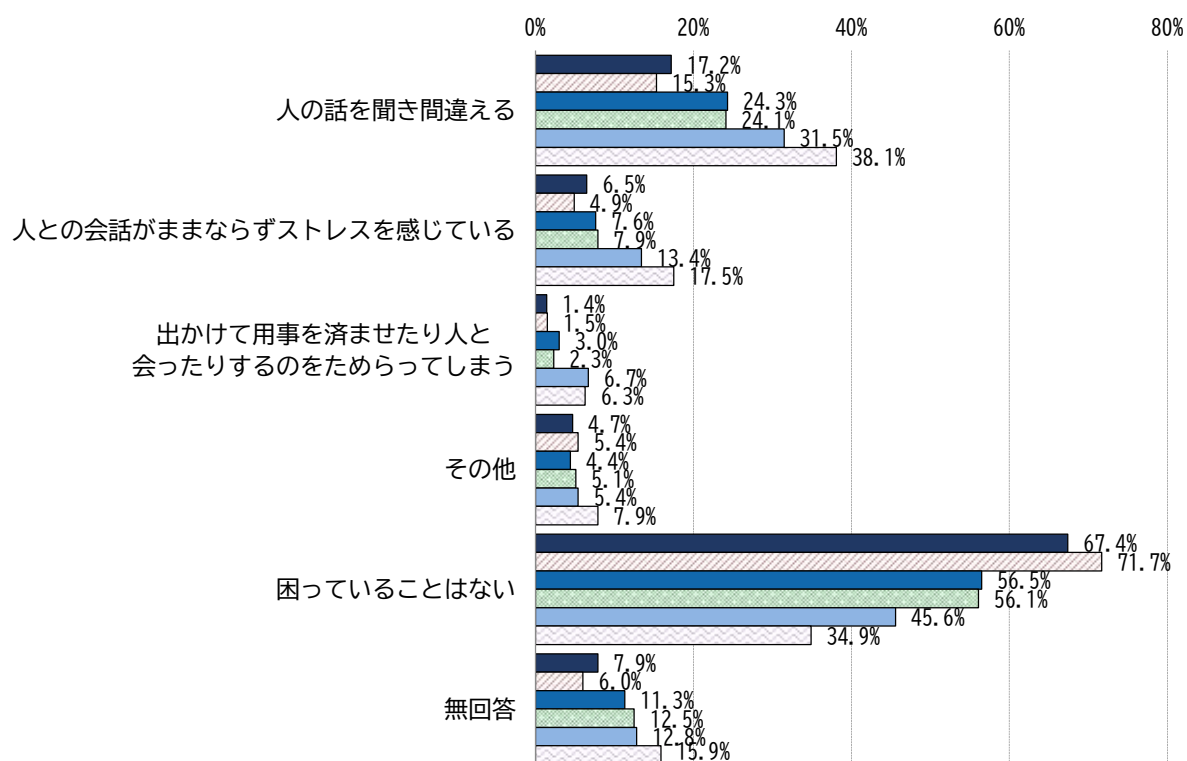
単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者ともに「困っていることはない」の割合が最も高く、ついで「人の話を聞き間違える」となっています。

年齢別でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者とも「困っていることはない」の割合は年齢が高くなるにつれて減少し、「人の話を聞き間違える」「人との会話がままならずストレスを感じている」は増加傾向にあります。

【年齢別集計】

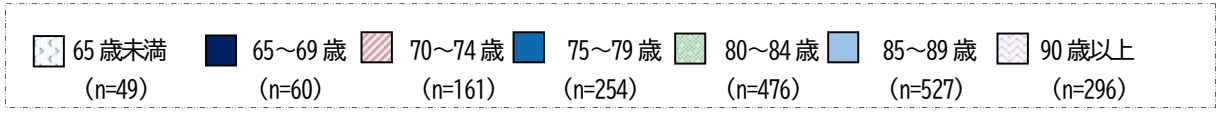


○高齢者一般

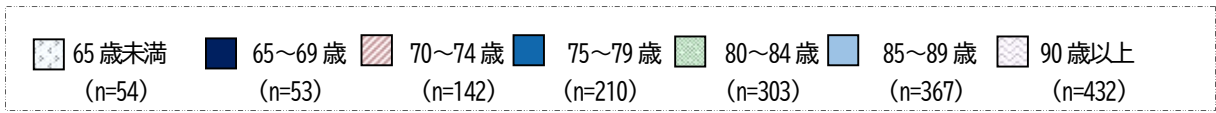
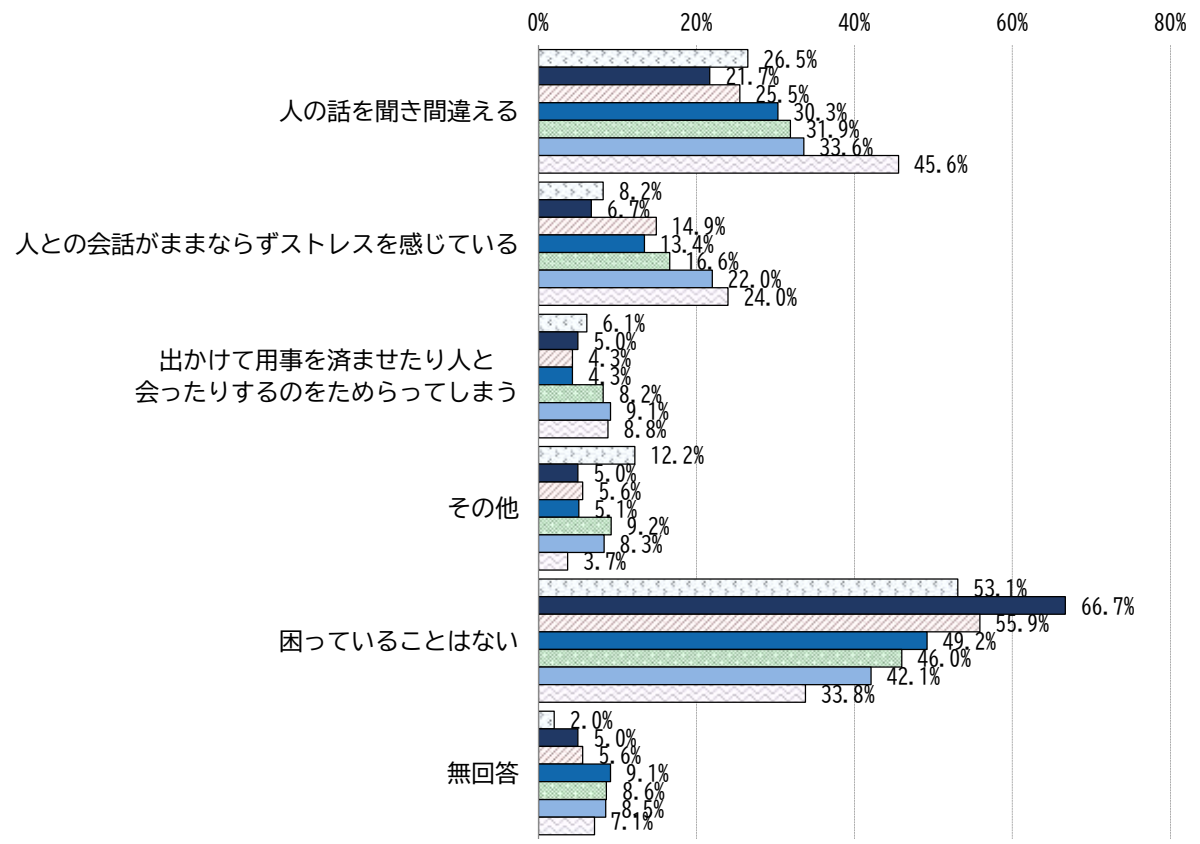




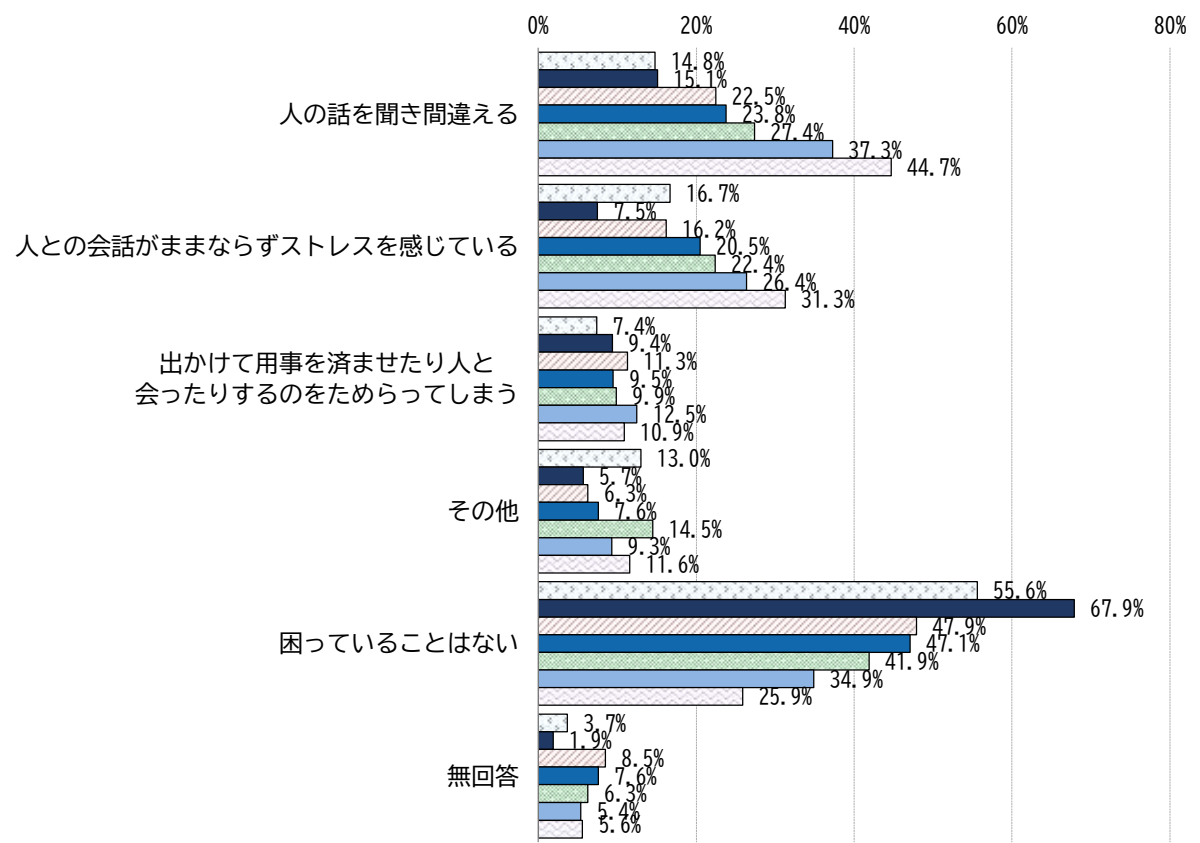
【年齢別集計】



○在宅要支援



○在宅要介護



補聴器の使用有無

補聴器を使用していますか。(○はひとつ)

<高齢者一般調査 問48・在宅要支援認定者調査 問45・在宅要介護認定者調査 問6>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
使用している	111	5.7%	247	13.5%	150	9.6%
使用していない	1,584	81.8%	1,337	73.3%	1,286	82.4%
使用していないが必要と感じる	90	4.6%	143	7.8%	73	4.7%
無回答	151	7.8%	96	5.3%	52	3.3%
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%	1,561	100.0%

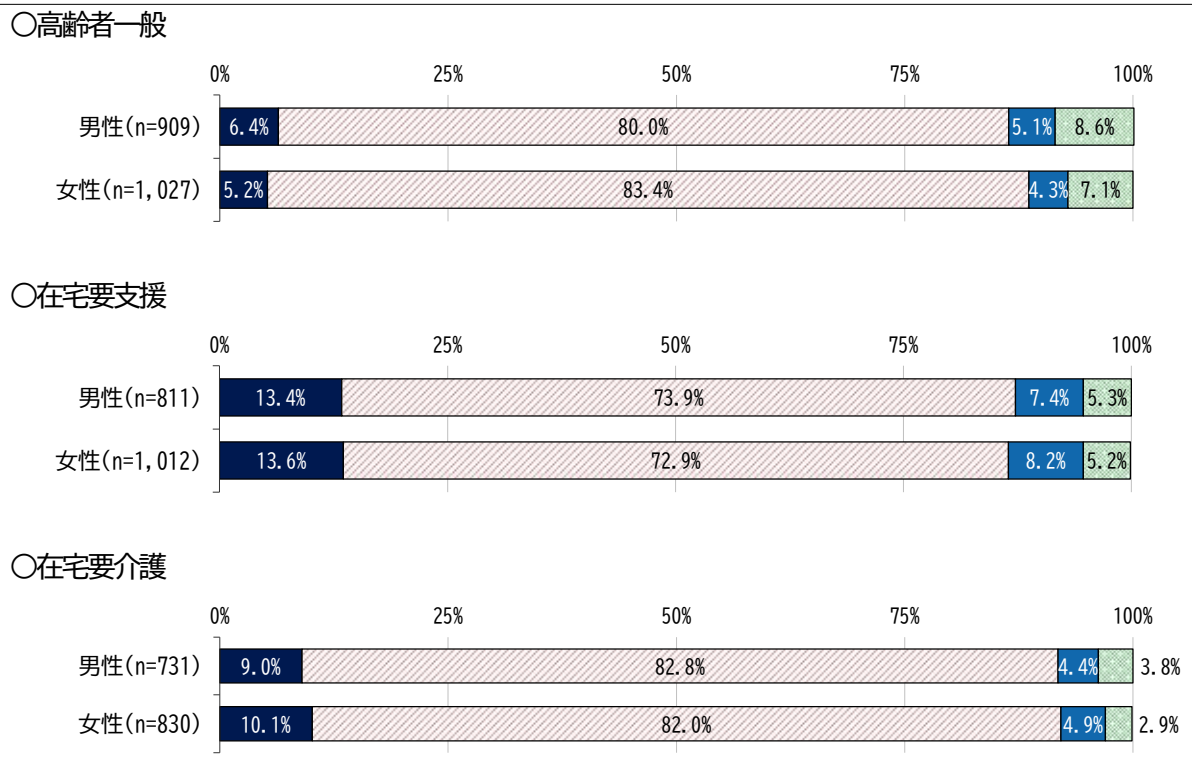
単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者ともに「使用していない」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者とも「使用している」の割合は年齢が高くなるにつれて増加傾向にあります。

日常生活上の耳の聞こえに関する困りごと別集計では、「人との会話がままならずストレスを感じている」「出かけて用事を済ませたり人と会ったりするのをためらってしまう」で使用しているの割合が高くなっています。



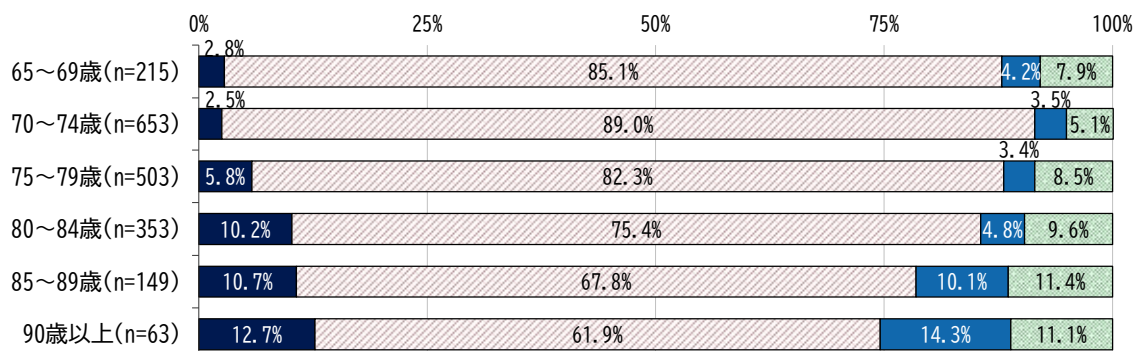
【年齢別集計】



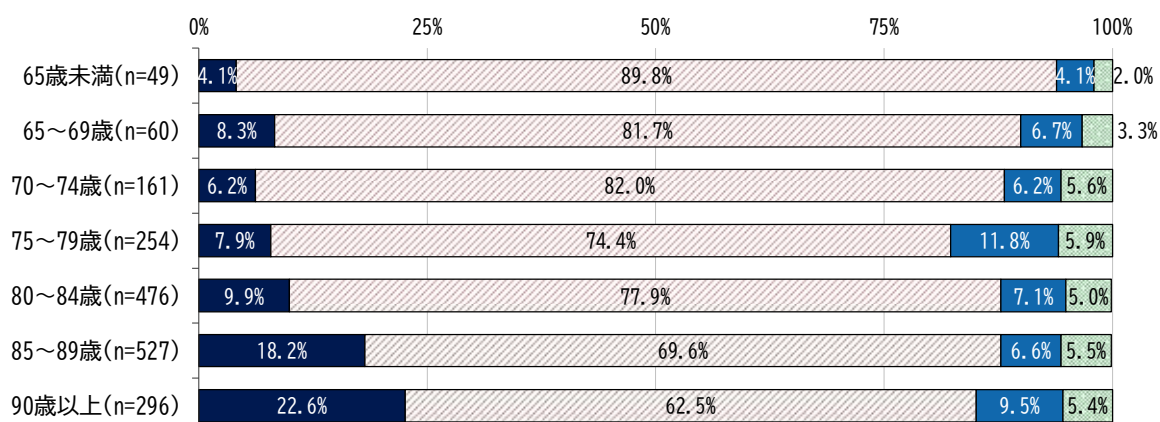
■ 使用している    ■ 使用していない    ■ 使用していないが必要と感じる    ■ 無回答

【年齢別集計】

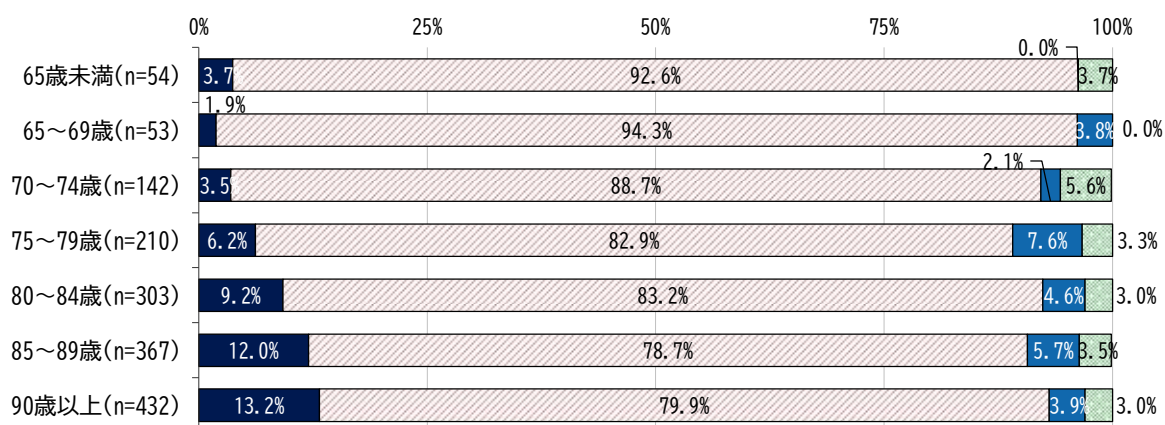
○高齢者一般



○在宅要支援



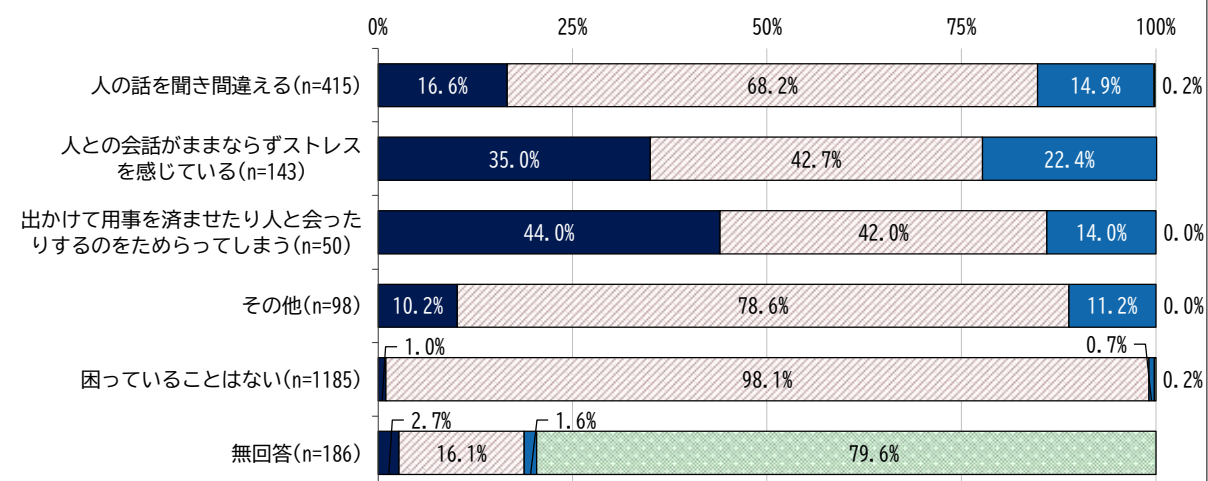
○在宅要介護



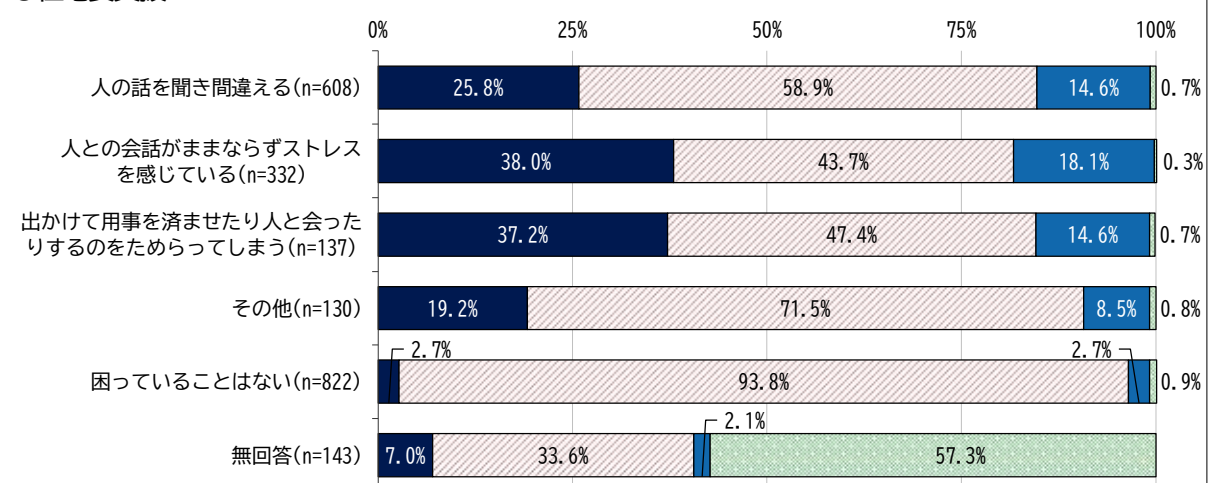
■ 使用している    ▨ 使用していない    ■ 使用していないが必要と感じる    ■ 無回答

【日常生活上の耳の聞こえに関する困りごと別集計】

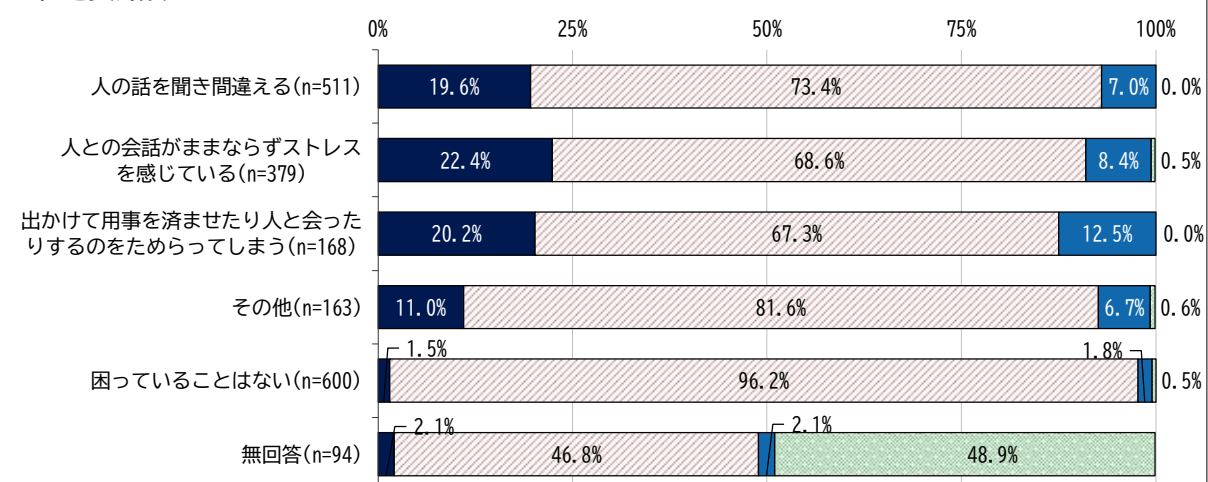
○高齢者一般



○在宅要支援



○在宅要介護



今後やってみたいこと

今後やってみたいと思うものは何ですか。(〇はいくつでも)

<高齢者一般調査 問49 ・ 在宅要支援認定者調査 問46>

【単純集計】

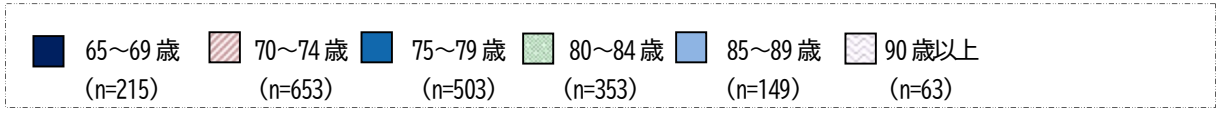
回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
働くこと	289	14.9%	129	7.1%
学習や教養を高めるための活動	296	15.3%	179	9.8%
健康づくりやスポーツ	565	29.2%	369	20.2%
趣味の活動	616	31.8%	380	20.8%
シニアクラブ・老人クラブ活動	101	5.2%	167	9.2%
社会奉仕活動（ボランティア、高齢者の生活支援など）	78	4.0%	40	2.2%
町内会、自治会の活動	62	3.2%	49	2.7%
その他	34	1.8%	55	3.0%
特にない	616	31.8%	881	48.3%
無回答	188	9.7%	121	6.6%
回 答 数	1,936	—	1,823	—

単純集計でみると、高齢者一般では「趣味の活動」「特にない」が、在宅要支援認定者では「特にない」の割合が最も高くなっています。

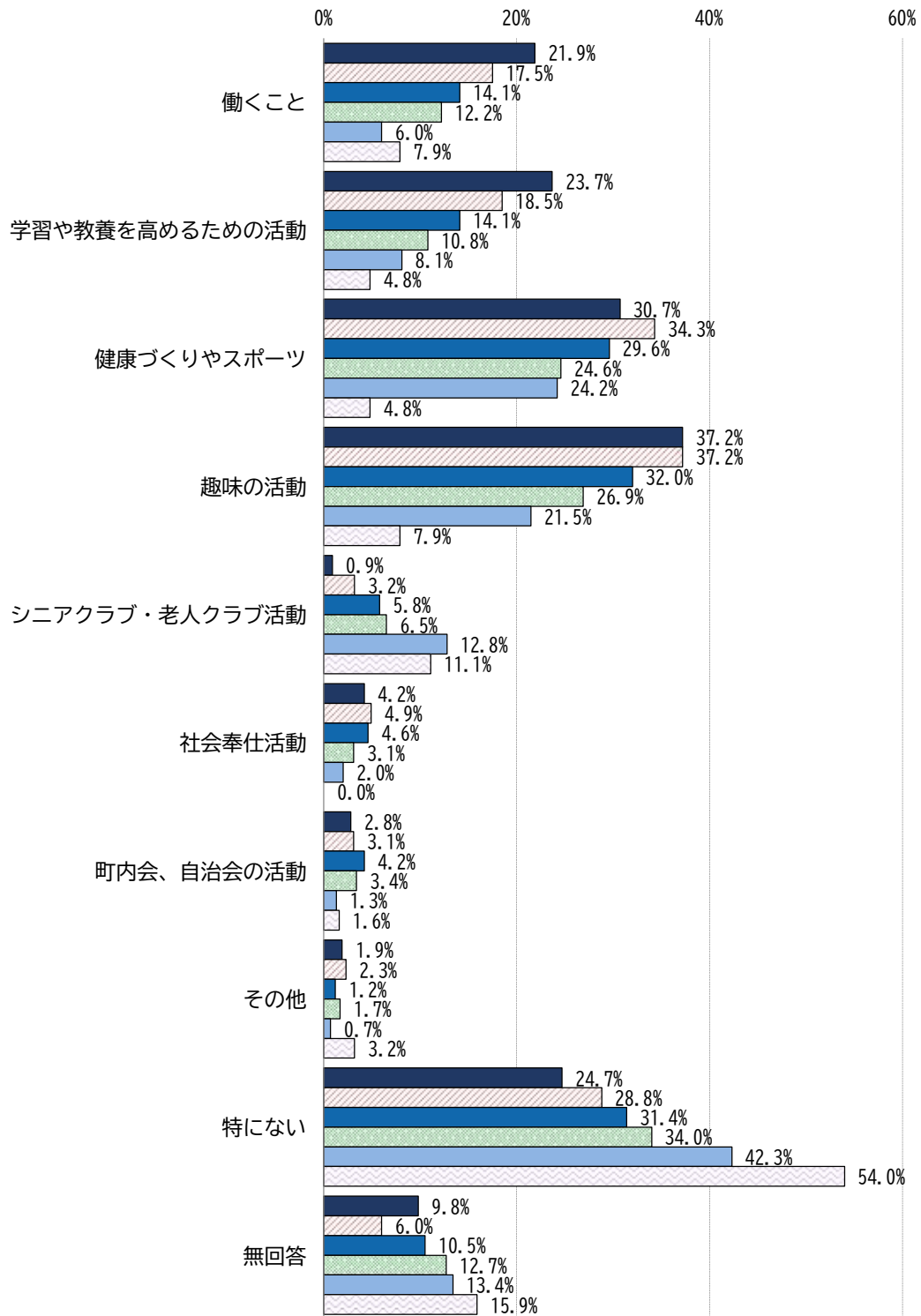
年齢別でみると、高齢者一般では「働くこと」「学習や教養を高めるための活動」「健康づくりやスポーツ」「趣味の活動」は年齢が高くなるにつれて割合が低くなり、「特にない」は、年齢が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にあります。



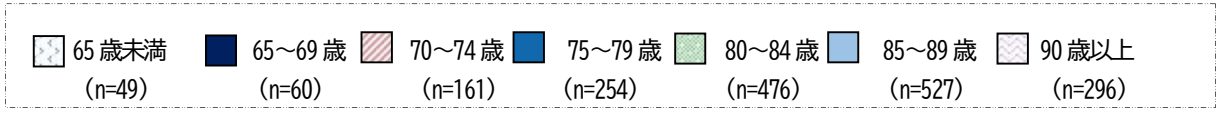
【年齢別集計】



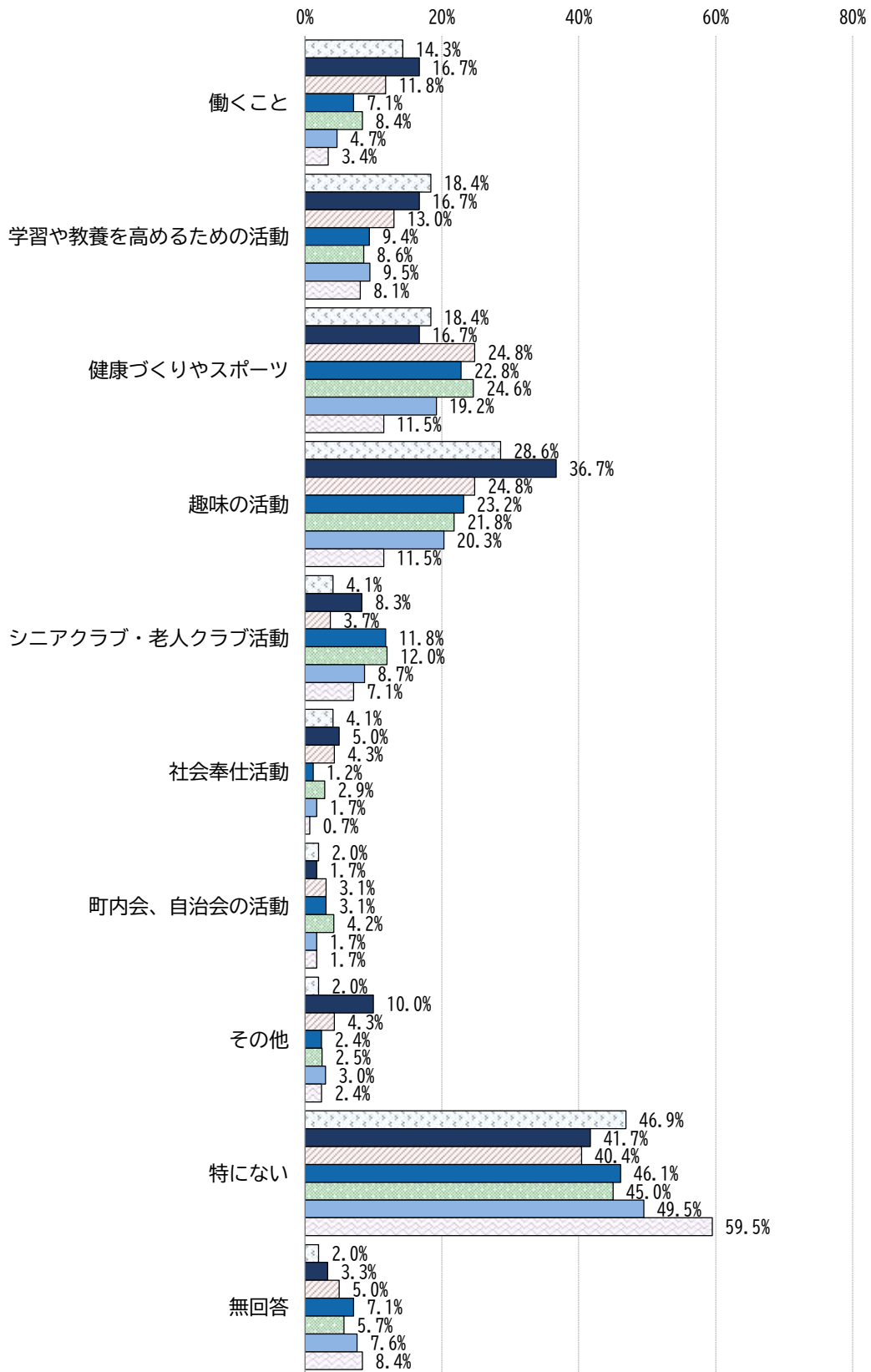
○高齢者一般



【年齢別集計】



○在宅要支援



あなたはどこで介護を受けたいか

あなたが介護が必要となった場合、どこで介護を受けたいと思いますか。(〇はひとつ)

&lt;高齢者一般調査 問50&gt;

## 【単純集計】

回 答	高齢者一般	
	件数	割合
なるべく家族のみで、自宅で介護してほしい	324	16.7
介護保険サービス（デイサービスや短期の宿泊サービスなど）や福祉サービス（緊急通報サービスなど）を使いながら自宅で介護してほしい	751	38.8
特別養護老人ホームや介護付き有料老人ホームなどの施設に入所したい	356	18.4
その他	21	1.1
わからない	332	17.1
無回答	152	7.9
合 計	1,936	100.0%

単純集計でみると、「介護保険サービス（デイサービスや短期の宿泊サービスなど）や福祉サービス（緊急通報サービスなど）を使いながら自宅で介護してほしい」の割合が最も高くなっていますが、ついで「特別養護老人ホームや介護付き有料老人ホームなどの施設に入所したい」「わからない」「なるべく家族のみで、自宅で介護してほしい」が同程度の割合となっています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「なるべく家族のみで、自宅で介護してほしい」の割合が高くなる傾向があります。

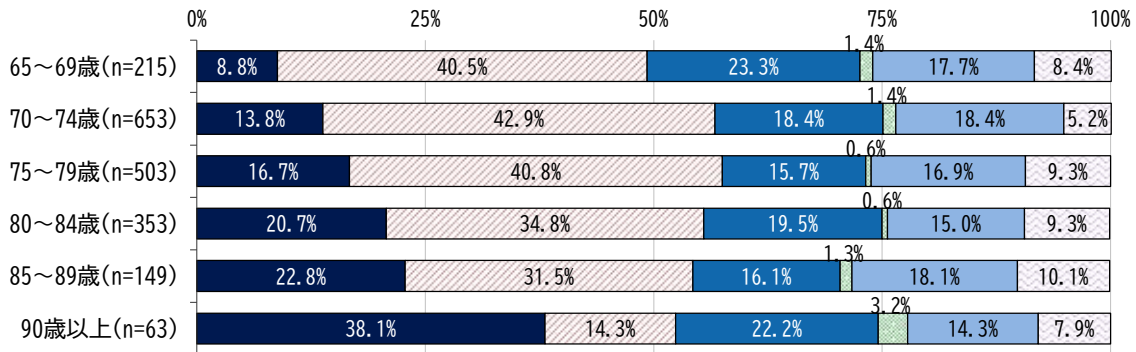
家族構成別でみると、息子・娘との2世帯と夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）で「なるべく家族のみで、自宅で介護してほしい」「介護保険サービス（デイサービスや短期の宿泊サービスなど）や福祉サービス（緊急通報サービスなど）を使いながら自宅で介護してほしい」の割合が高くなっています。



- なるべく家族のみで、自宅で介護してほしい
- 介護保険サービスや福祉サービスを使いながら自宅で介護してほしい
- 特別養護老人ホームや介護付き有料老人ホームなどの施設に入所したい
- その他
- わからない
- 無回答

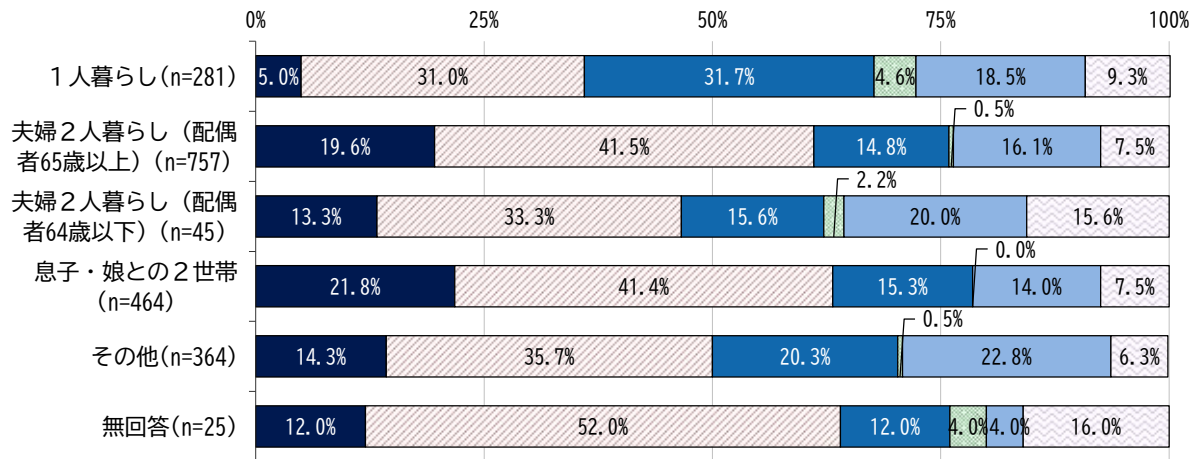
【年齢別集計】

○高齢者一般



【家族構成別集計】

○高齢者一般



家族をどのように介護したいか

あなたの家族に介護が必要となった場合、どのように介護したいと思いますか。(〇はひとつ)

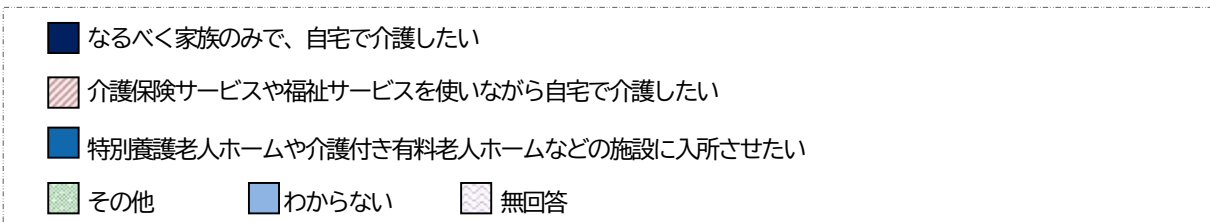
<高齢者一般調査 問51>

【単純集計】

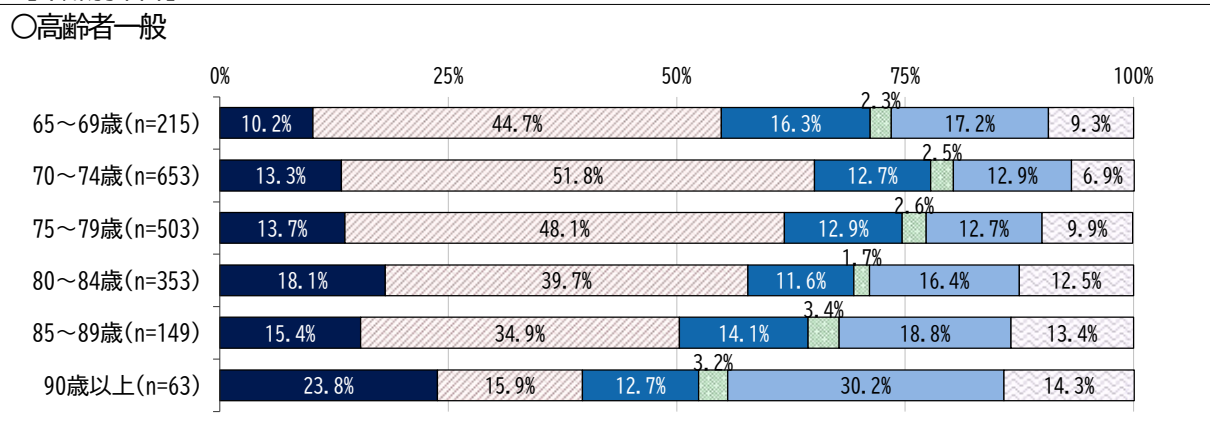
回 答	高齢者一般	
	件数	割合
なるべく家族のみで、自宅で介護したい	280	14.5%
介護保険サービス（デイサービスや短期の宿泊サービスなど）や福祉サービス（緊急通報サービスなど）を使いながら自宅で介護したい	878	45.4%
特別養護老人ホームや介護付き有料老人ホームなどの施設に入所させたい	253	13.1%
その他	47	2.4%
わからない	290	15.0%
無回答	188	9.7%
合 計	1,936	100.0%

単純集計でみると、「介護保険サービス（デイサービスや短期の宿泊サービスなど）や福祉サービス（緊急通報サービスなど）を使いながら自宅で介護したい」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「なるべく家族のみで、自宅で介護したい」の割合が高くなる傾向があります。



【年齢別集計】



介護保険サービスの充実と費用負担

介護保険料の額は、3年に1度見直すこととなっており、お住まいの浜松市において、介護保険のサービスを利用する人の数が増えたり、1人あたりのサービス額が増えたりすると、保険料の額は高くなります。また、実際に介護保険のサービスを受ける場合は、原則として保険対象サービス費用の1割～3割を利用者が負担しています。

超高齢社会を迎え、介護保険サービスを充実させるために、費用負担が増えることについてどう思いますか。(○はひとつ)

<高齢者一般調査 問52・在宅要支援認定者調査 問60・在宅要介護認定者調査 問20>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
介護保険サービスを充実させるために、保険料や利用料などの負担がその分増えてもやむを得ない	251	13.0%	283	15.5%	205	13.1%
介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担がその分増えることはやむを得ないが、利用料の負担は現状程度とするのがよい	379	19.6%	428	23.5%	410	26.3%
介護保険サービスを充実させるために、利用料の負担が増えることはやむを得ないが、保険料の負担は現状程度とするのがよい	560	28.9%	489	26.8%	381	24.4%
保険料や利用料の負担は現状程度とし、介護保険サービス利用者の増加により、介護保険サービス量が低下してもやむを得ない	97	5.0%	67	3.7%	75	4.8%
保険料や利用料の負担を減らし、介護保険サービスの充実は望まない	76	3.9%	45	2.5%	53	3.4%
わからない	380	19.6%	353	19.4%	369	23.6%
無回答	193	10.0%	158	8.7%	68	4.4%
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%	1,561	100.0%

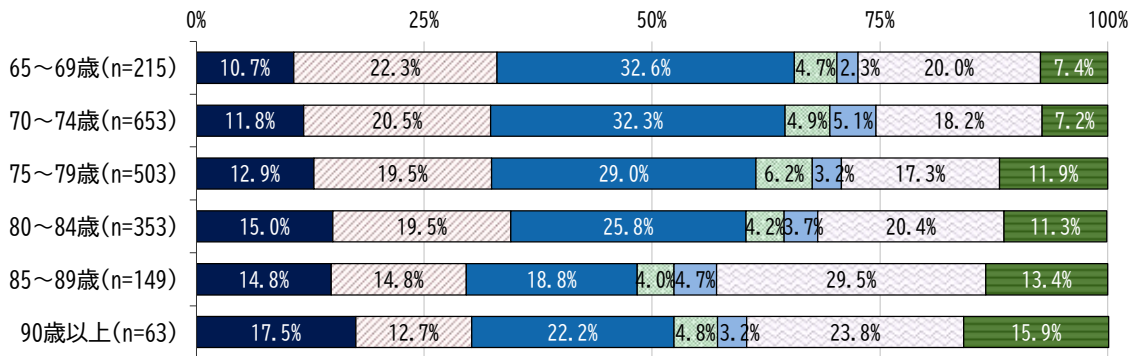
単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者では「介護保険サービスを充実させるために、利用料の負担が増えることはやむを得ないが、保険料の負担は現状程度とするのがよい」の割合が高く、在宅要介護認定者では「介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担がその分増えることはやむを得ないが、利用料の負担は現状程度とするのがよい」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、「介護保険サービスを充実させるために、保険料や利用料などの負担がその分増えてもやむを得ない」の割合は、高齢者一般、在宅要介護では90歳以上が、在宅要支援は65～69歳で高くなっています。

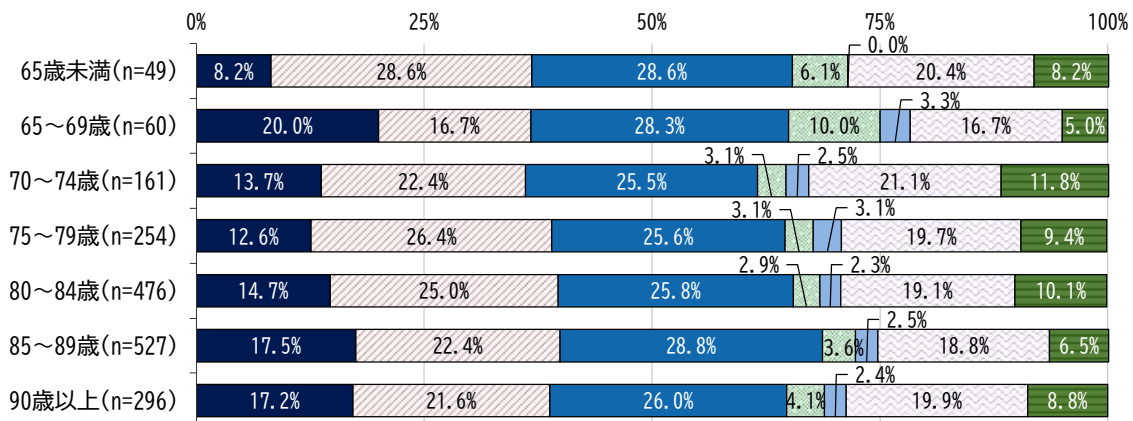
- 介護保険サービスを充実させるために、保険料や利用料などの負担がその分増えてもやむを得ない
- 介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担がその分増えることはやむを得ないが、利用料の負担は現状程度とするのがよい
- 介護保険サービスを充実させるために、利用料の負担が増えることはやむを得ないが、保険料の負担は現状程度とするのがよい
- 保険料や利用料の負担は現状程度とし、介護保険サービス利用者の増加により、介護保険サービス量が低下してもやむを得ない
- 保険料や利用料の負担を減らし、介護保険サービスの充実は望まない
- わからない
- 無回答

【年齢別集計】

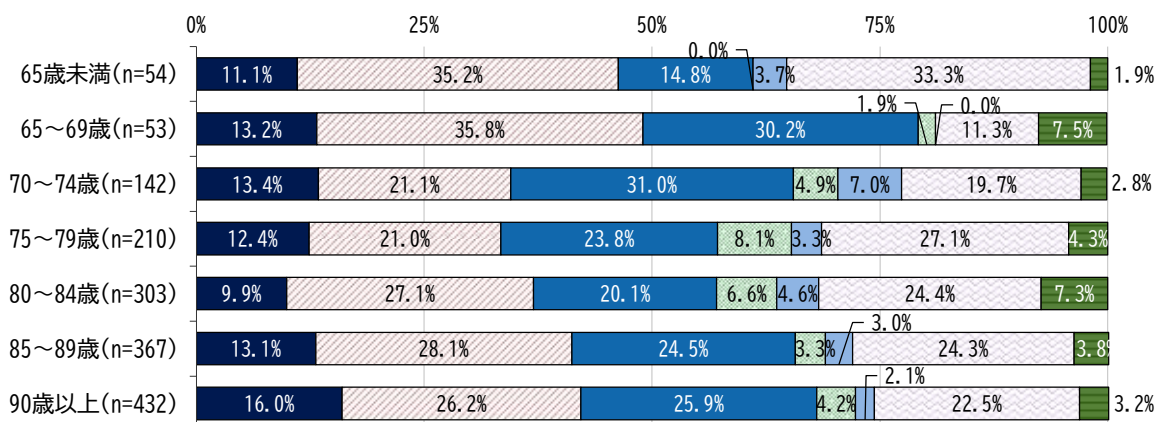
○高齢者一般



○在宅要支援



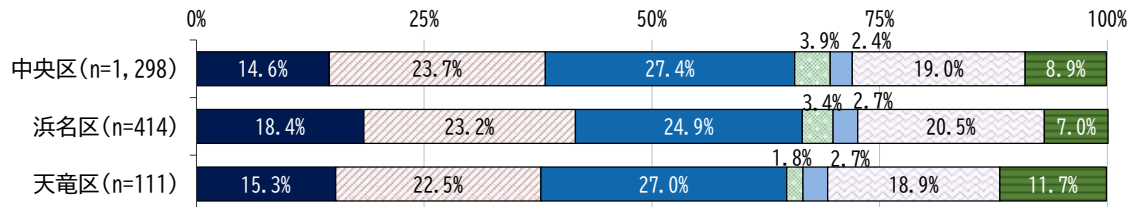
○在宅要介護



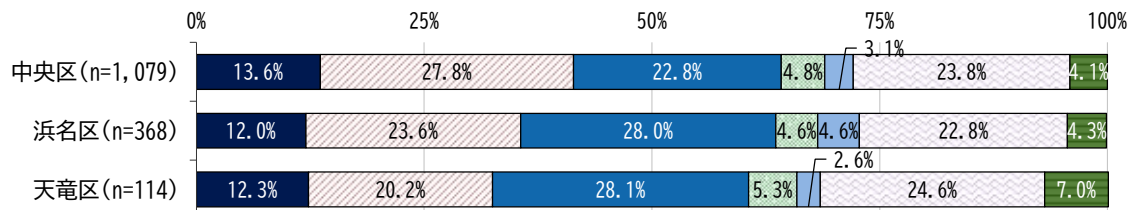
- 介護保険サービスを充実させるために、保険料や利用料などの負担がその分増えてもやむを得ない
- 介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担がその分増えることはやむを得ないが、利用料の負担は現状程度とするのがよい
- 介護保険サービスを充実させるために、利用料の負担が増えることはやむを得ないが、保険料の負担は現状程度とするのがよい
- 保険料や利用料の負担は現状程度とし、介護保険サービス利用者の増加により、介護保険サービス量が低下してもやむを得ない
- 保険料や利用料の負担を減らし、介護保険サービスの充実は望まない
- わからない
- 無回答

【区別集計】

○在宅要支援

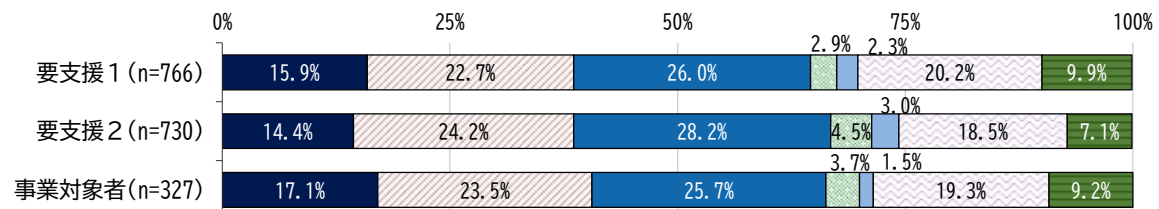


○在宅要介護

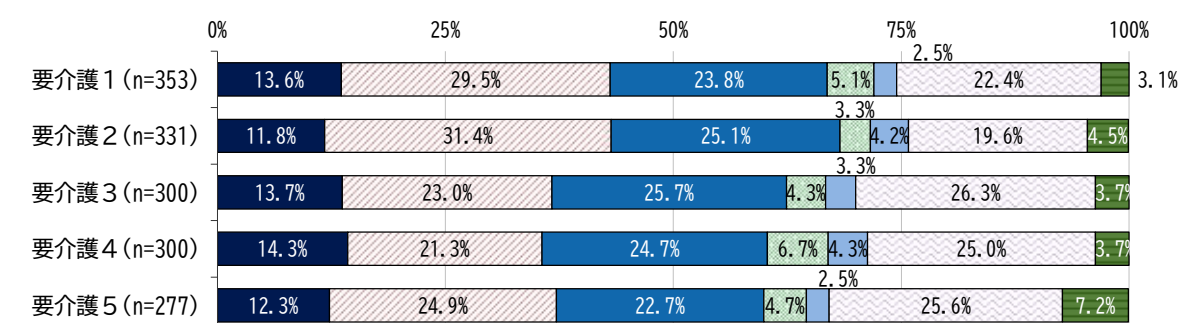


【要介護度別集計】

○在宅要支援



○在宅要介護



(今後の暮らしについて)

地域包括支援センター（高齢者相談センター）の認知度

地域包括支援センター（高齢者相談センター）は、高齢者の方々が住みなれた地域で安心して暮らしていけるよう、介護・福祉・健康など様々な面から総合的に支援する機関で、市内に22か所設置されています。地域包括支援センター（高齢者相談センター）の役割を知っていますか。（○はひとつ）

<高齢者一般調査 問53・在宅要支援認定者調査 問47・在宅要介護認定者調査 問9>

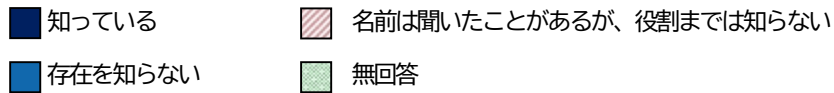
【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
知っている	500	25.8%	1,049	57.5%	622	39.8%
名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない	843	43.5%	463	25.4%	537	34.4%
存在を知らない	455	23.5%	209	11.5%	355	22.7%
無回答	138	7.1%	102	5.6%	47	3.0%
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%	1,561	100.0%

単純集計でみると、高齢者一般では「名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない」の割合が最も高くなっています。一方、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者では「知っている」の割合が最も高く、「名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない」の割合を合わせると約8割となっています。

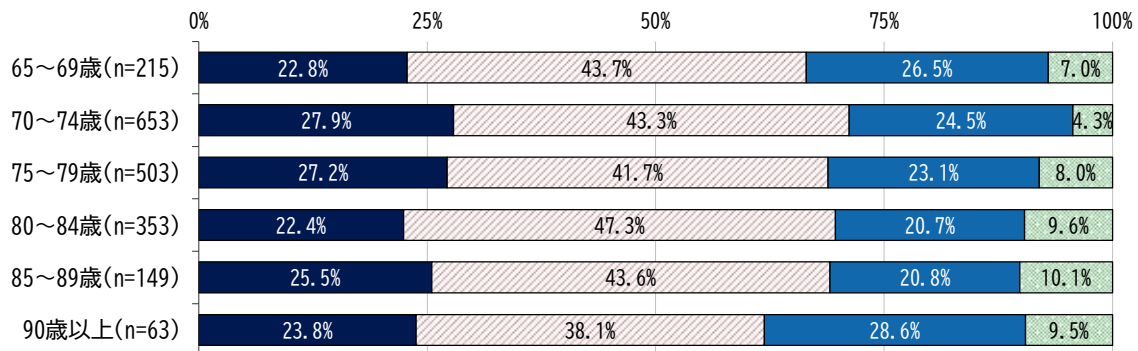
地域包括支援センター別でみると、「知っている」の割合について、最も高い地域包括支援センターと、最も低い地域包括支援センターでは、高齢者一般では約2.2倍の差、在宅要支援認定者では約1.5倍の差があります。



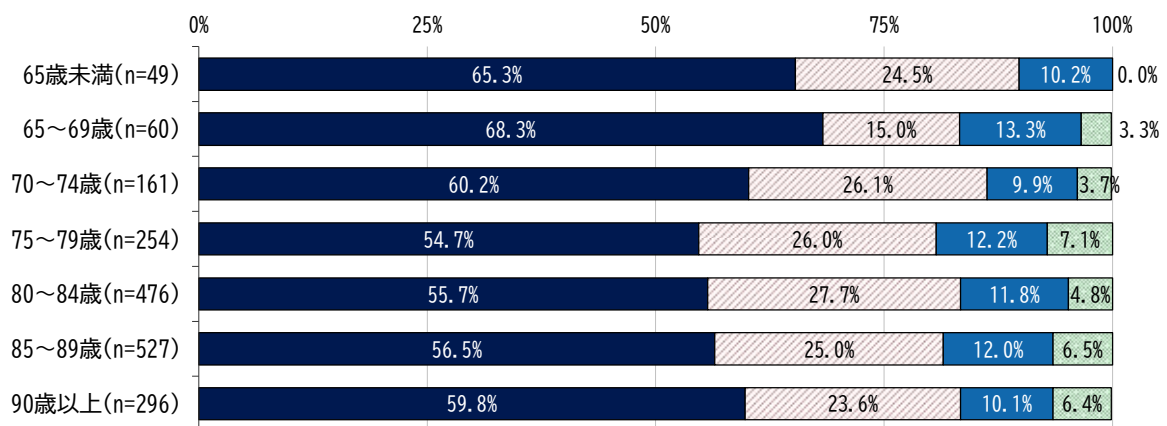


【年齢別集計】

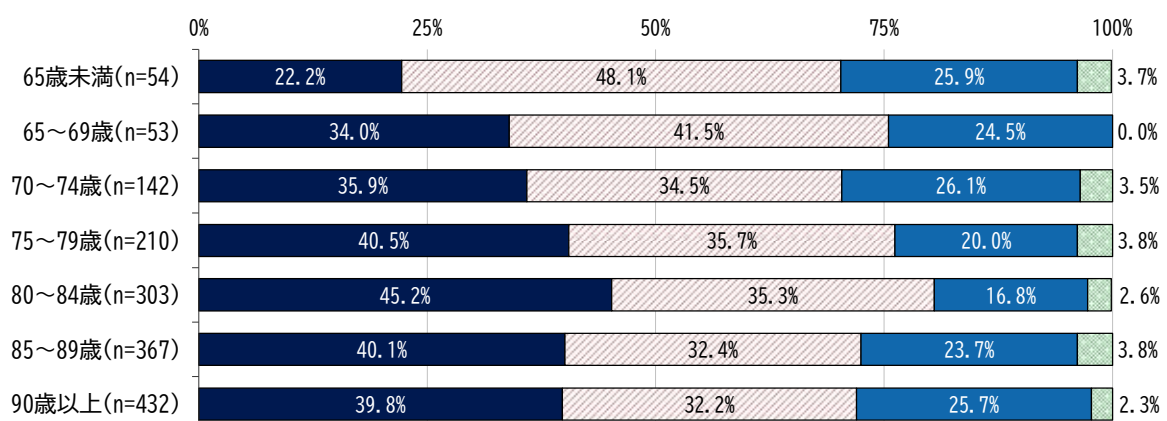
○高齢者一般



○在宅要支援

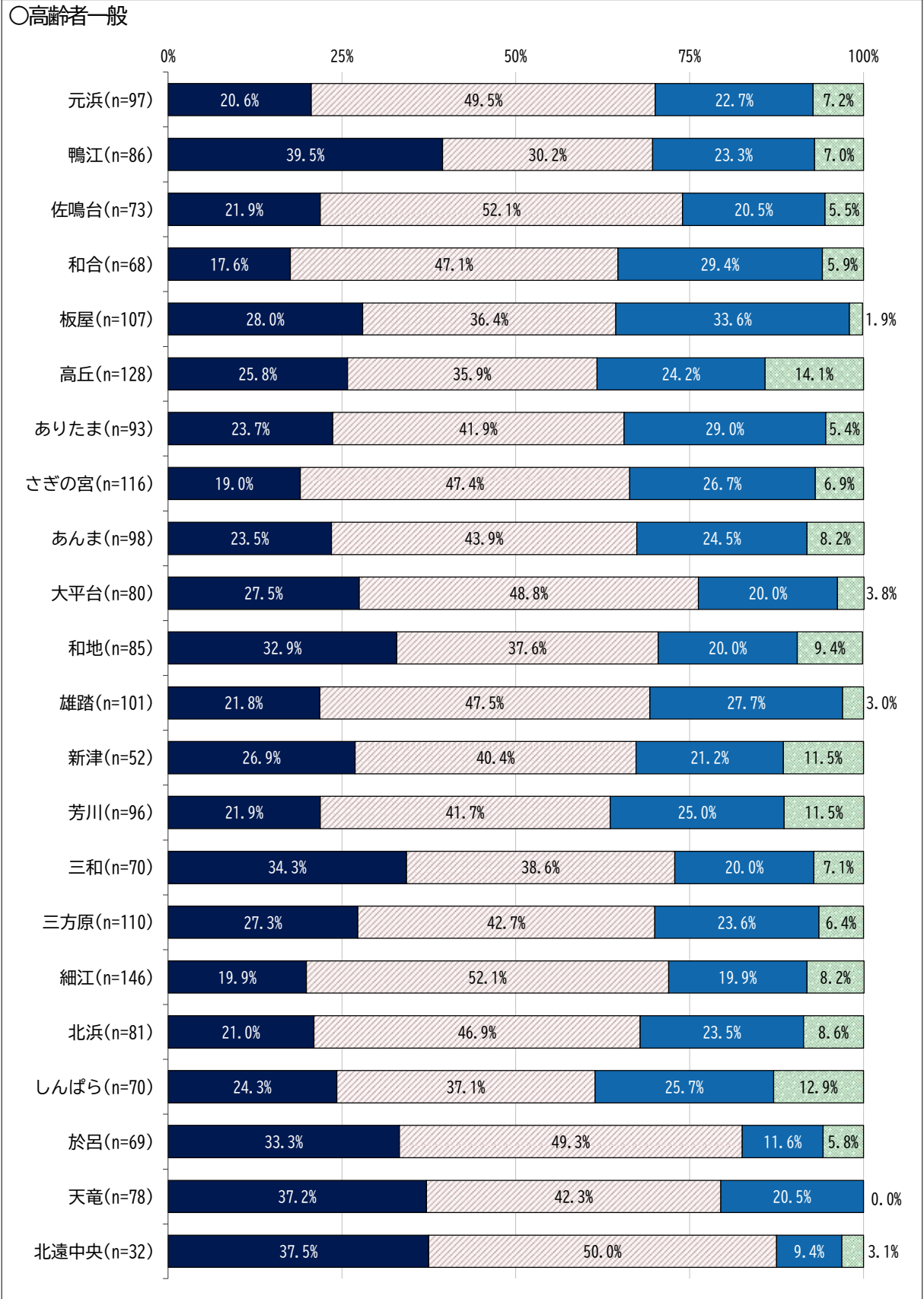


○在宅要介護





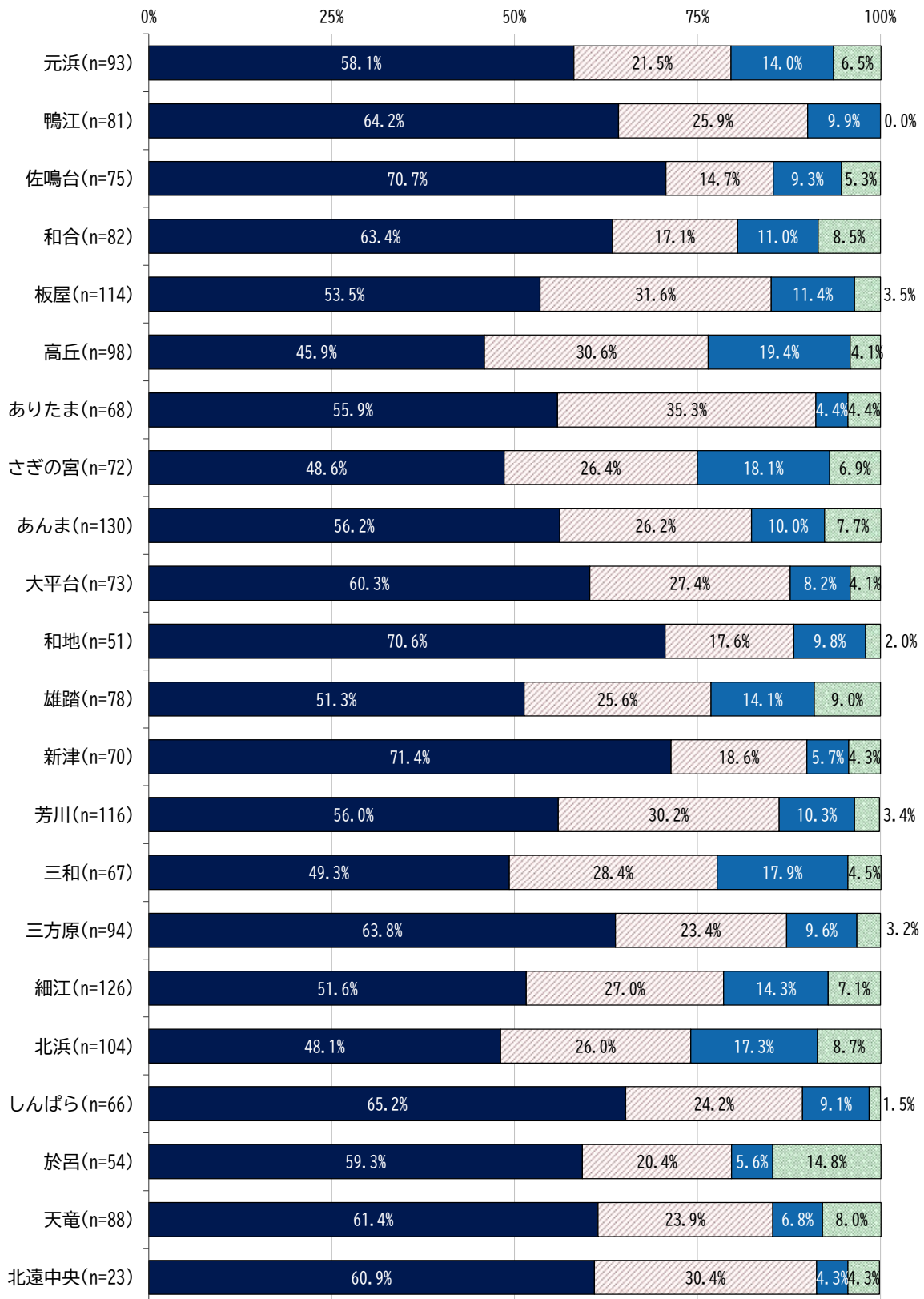
【地域包括支援センター別集計】





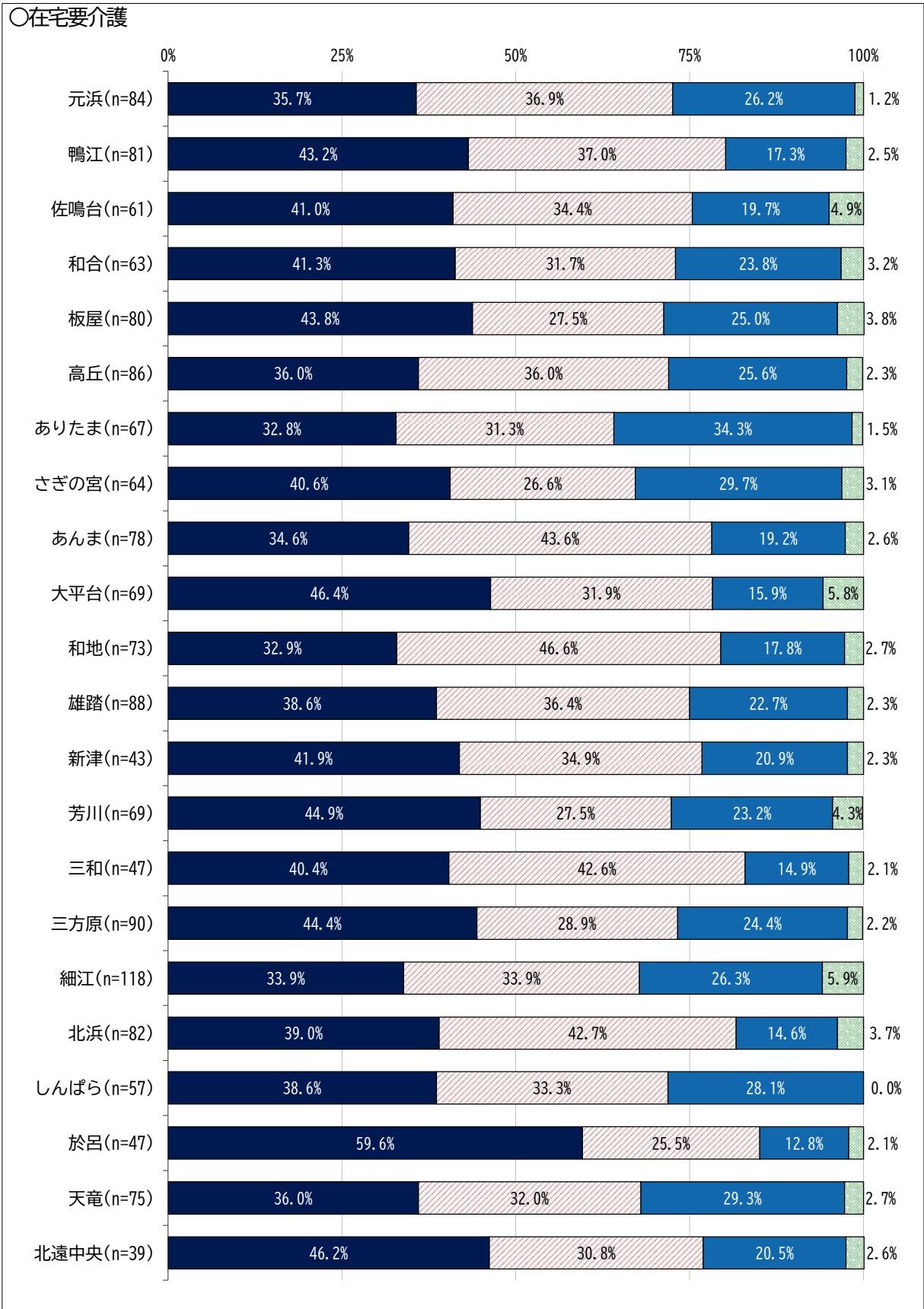
【地域包括支援センター別集計】

○在宅要支援





【地域包括支援センター別集計】



認知症の有無

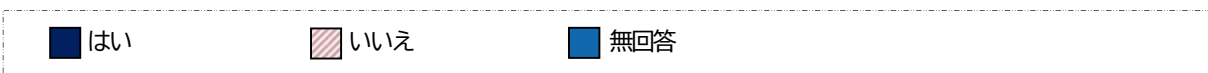
認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○はひとつ)

<高齢者一般調査 問54 ・ 在宅要支援認定者調査 問48>

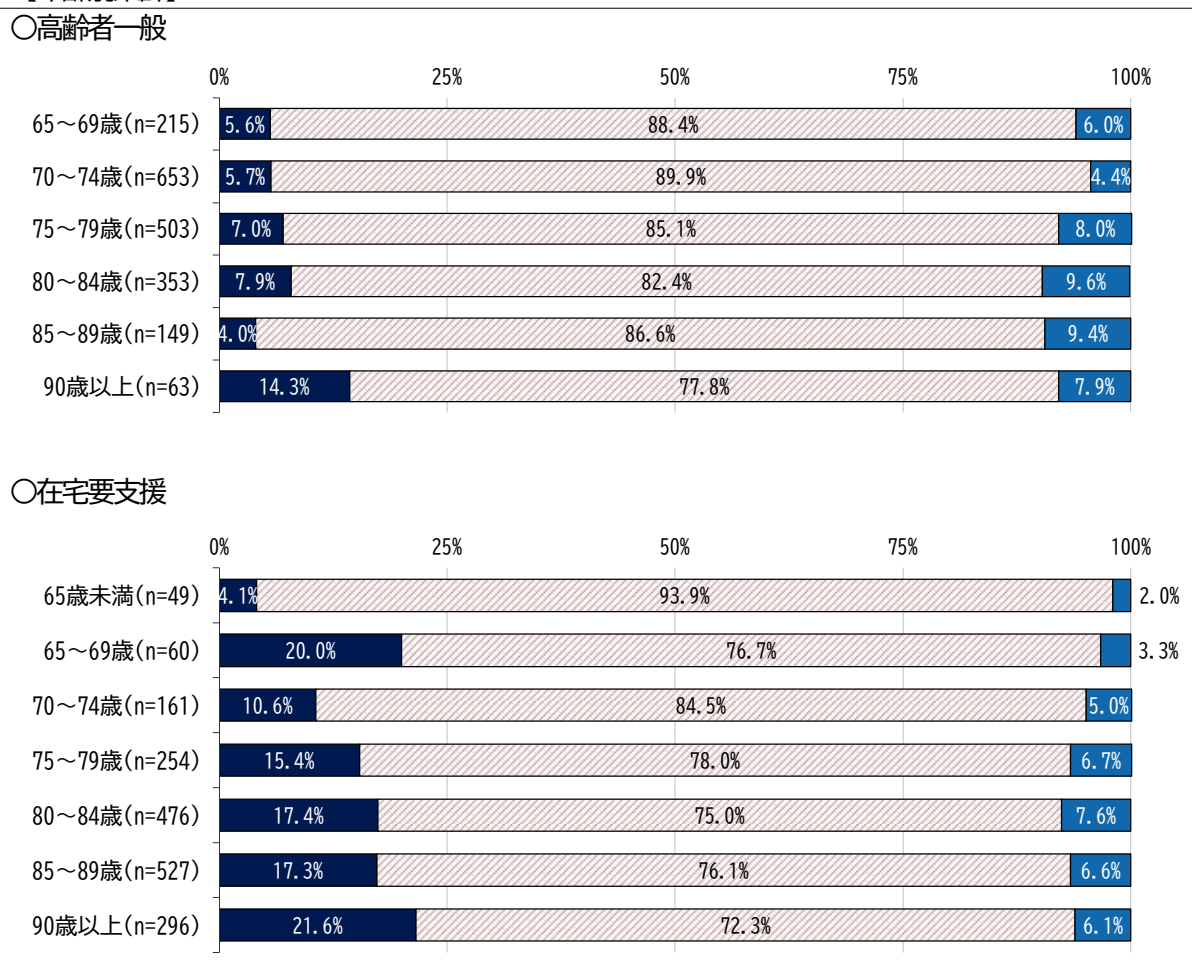
【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
はい	127	6.6%	308	16.9%
いいえ	1,674	86.5%	1,398	76.7%
無回答	135	7.0%	117	6.4%
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%

単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者とも「いいえ」の割合が高くなっています。年齢別でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに90歳以上で「はい」の割合が最も高くなっています。



【年齢別集計】



認知症に関する相談窓口の認知度

認知症に関する相談窓口を知っていますか。(〇はひとつ)

<高齢者一般調査 問55 ・ 在宅要支援認定者調査 問49>

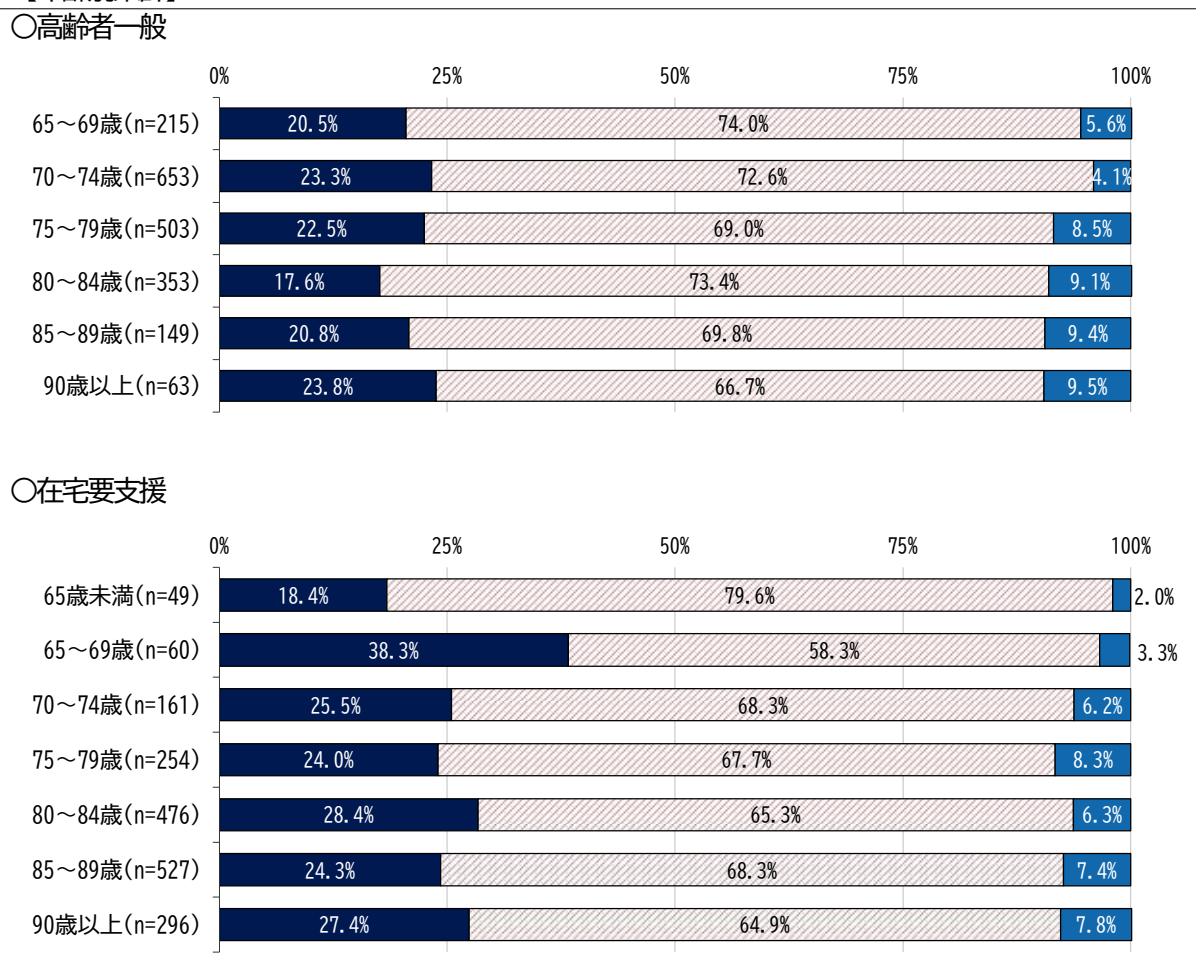
【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
はい	417	21.5%	478	26.2%
いいえ	1,385	71.5%	1,219	66.9%
無回答	134	6.9%	126	6.9%
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%

単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに「いいえ」の割合が高くなっています。年齢別でみると、在宅要支援認定者では65～69歳で「はい」の割合が最も高くなっています。



【年齢別集計】



認知症等により判断能力が低下した場合に使える制度について

認知症等により判断能力が低下し、金銭管理や日常生活の様々な手続きが難しくなった場合に使える制度で知っているものはありますか。(〇はいくつでも)

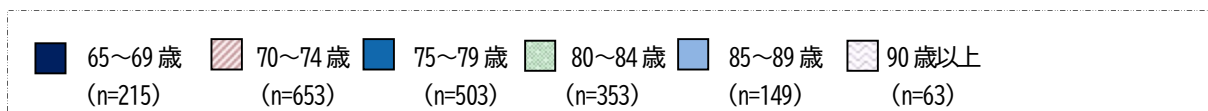
<高齢者一般調査 問56・在宅要支援認定者調査 問50・在宅要介護認定者調査 問10>

【単純集計】

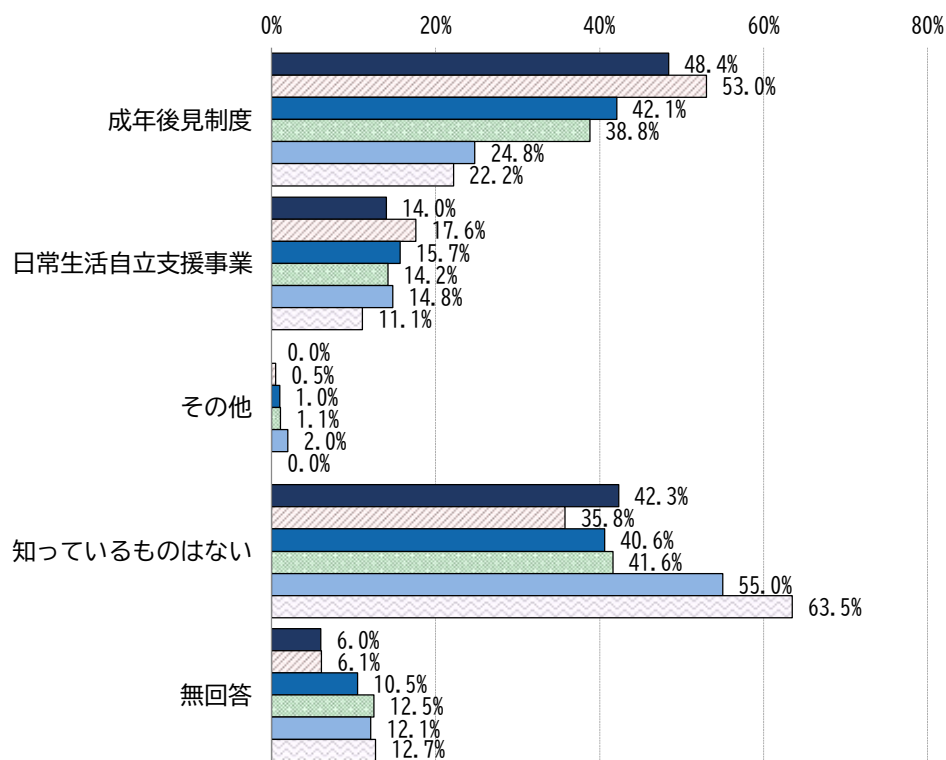
回 答	高齢者一般		在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
成年後見制度	850	43.9%	611	33.5%	523	33.5%
日常生活自立支援事業	303	15.7%	355	19.5%	237	15.2%
その他	15	0.8%	46	2.5%	37	2.4%
知っているものはない	798	41.2%	819	44.9%	815	52.2%
無回答	176	9.1%	181	9.9%	98	6.3%
回 答 数	1,936	-	1,823	-	1,561	-

単純集計でみると、高齢者一般では、「成年後見制度」の割合が最も高くなっています。在宅要支援認定者、在宅要介護認定者では「知っているものはない」の割合が高く、特に在宅要介護認定者では5割を超えています。

【年齢別集計】

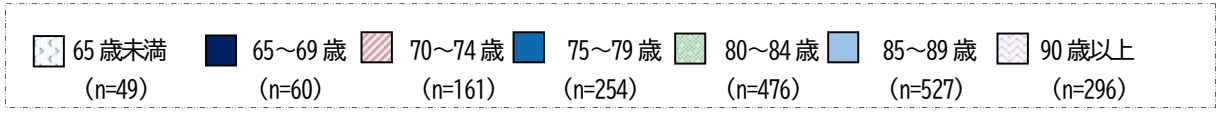


○高齢者一般

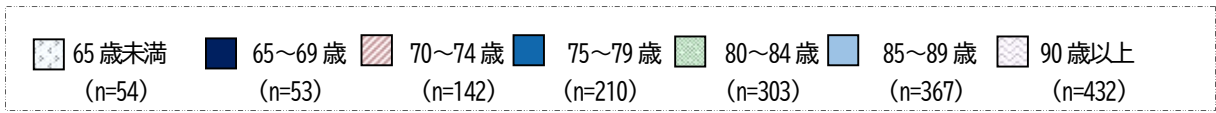
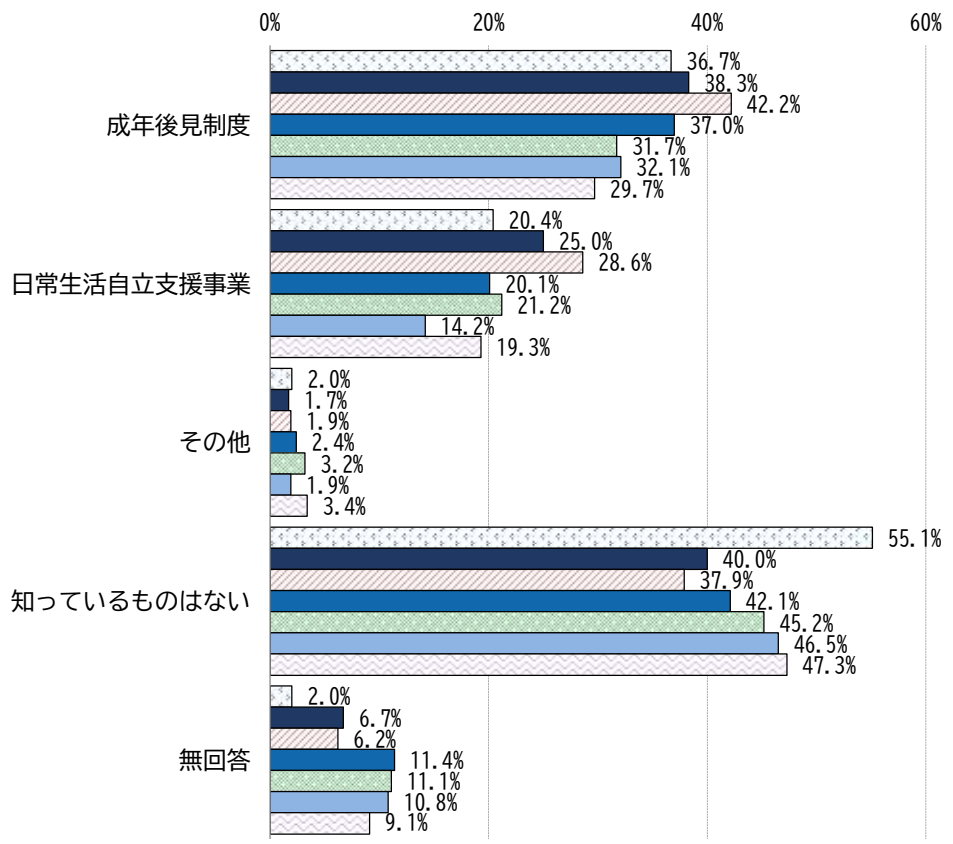




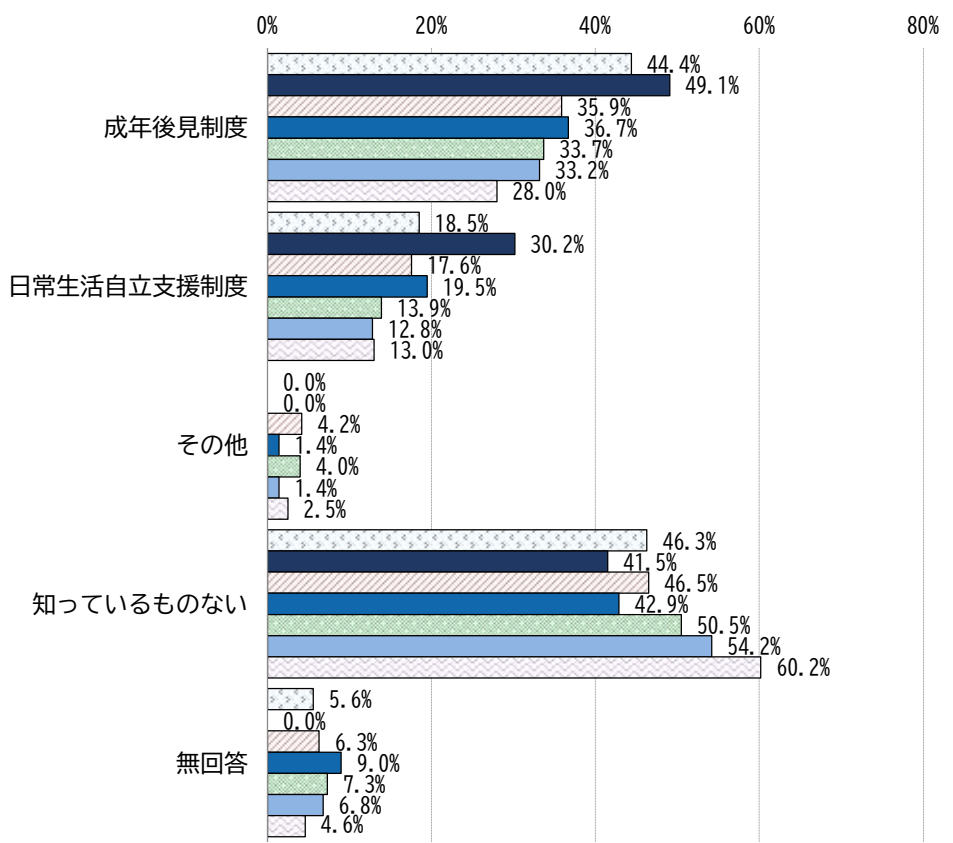
【年齢別集計】



○在宅要支援



○在宅要介護



ご自身の死期が迫ったときの世話や治療

あなたは、ご自身の死期が迫ったときにどのような世話や治療を受けたいか、これまでに考えたことがありますか。(〇はひとつ)

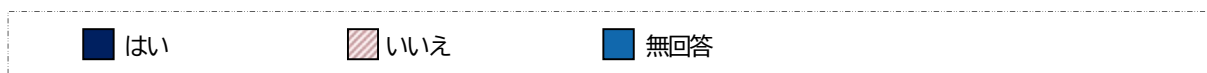
<高齢者一般調査 問57・在宅要支援認定者調査 問51・在宅要介護認定者調査 問11>

【単純集計】

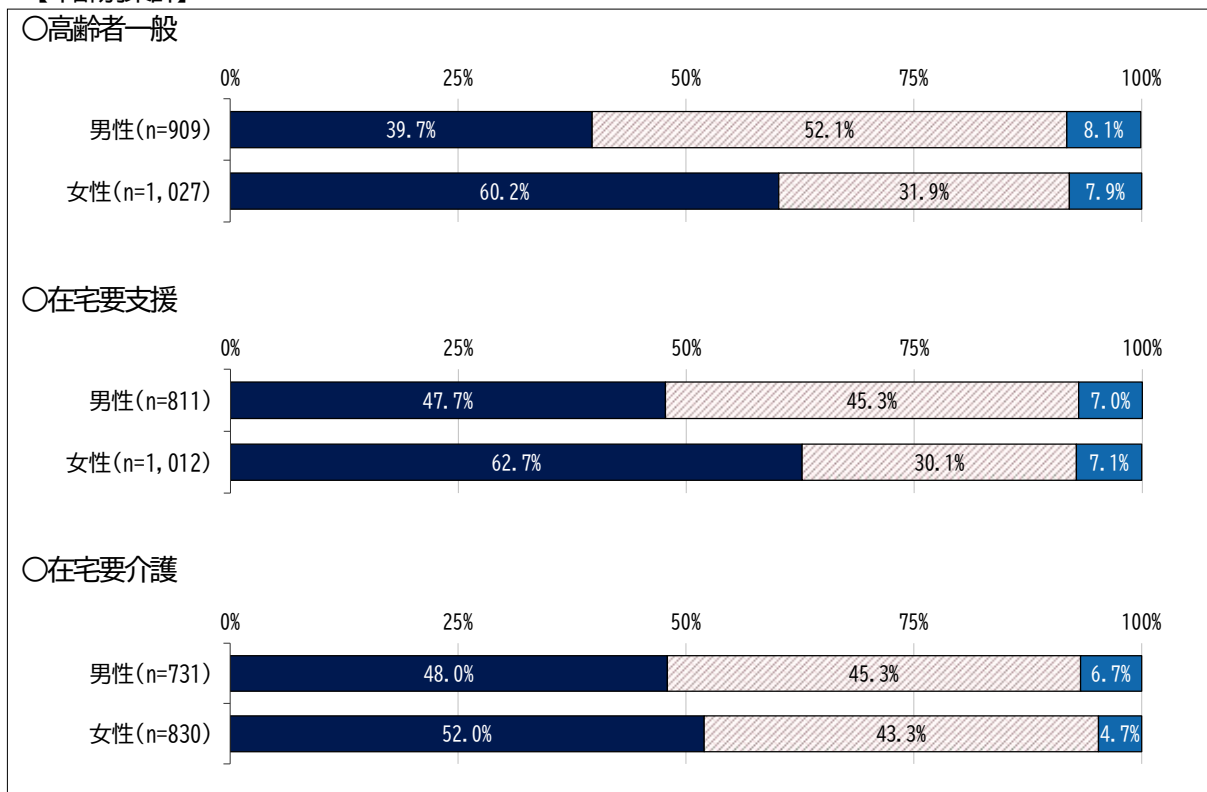
回 答	高齢者一般		在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
はい	979	50.6%	1,022	56.1%	783	50.2%
いいえ	802	41.4%	672	36.9%	690	44.2%
無回答	155	8.0%	129	7.1%	88	5.6%
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%	1,561	100.0%

単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者ともに「はい」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、高齢者一般では90歳以上、在宅要支援認定者では70～74歳、在宅要介護認定者では85～89歳で「はい」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



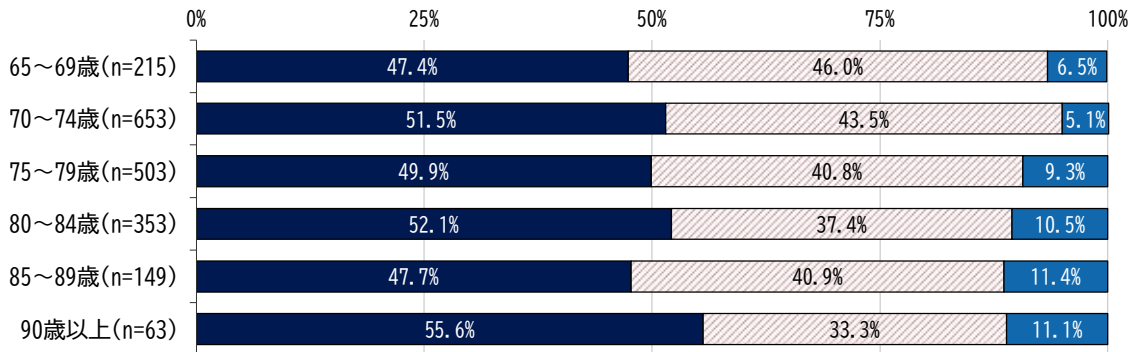
【年齢別集計】



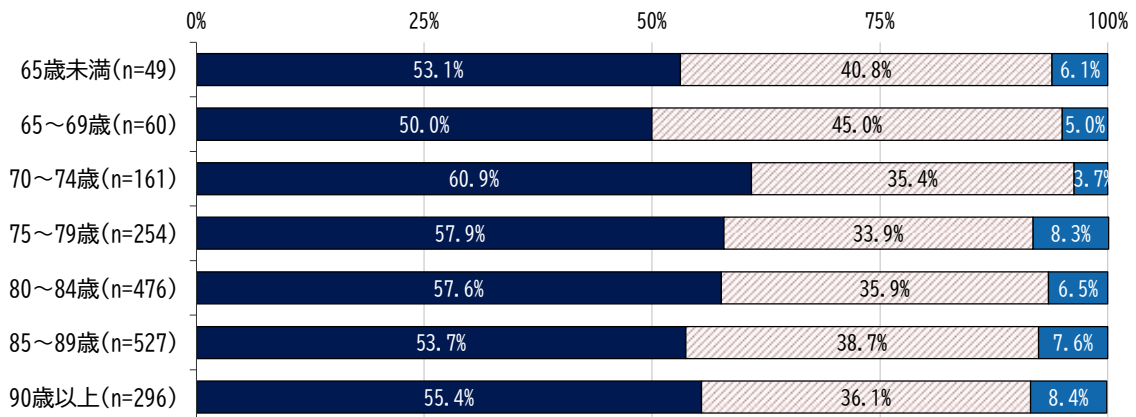
■ はい      ■ いいえ      ■ 無回答

【年齢別集計】

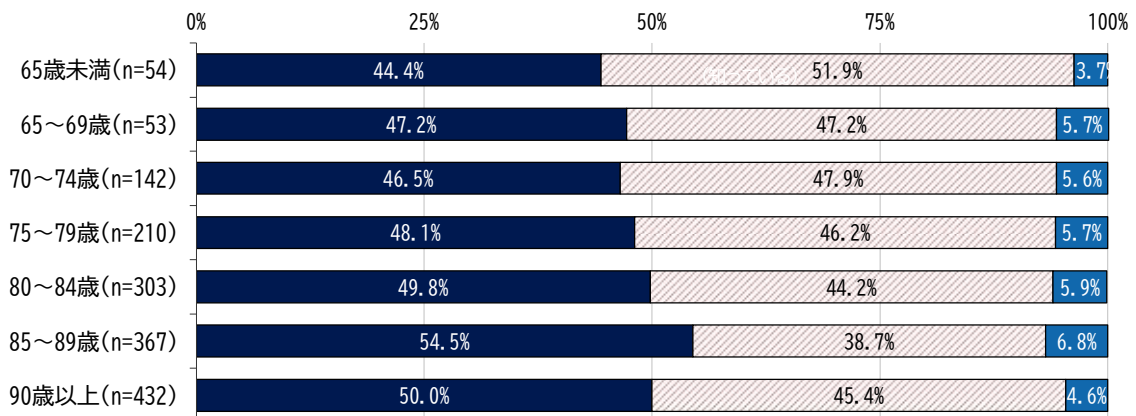
○高齢者一般



○在宅要支援



○在宅要介護





ご自身の死期が迫ったときの世話や治療の相談

あなたは、ご自身の死期が迫ったときにどのような世話や治療を受けたいか、だれかと話し合ったことがありますか。(〇はいくつでも)

<高齢者一般調査 問58・在宅要支援認定者調査 問52・在宅要介護認定者調査 問12>

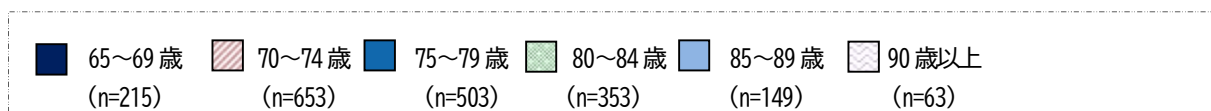
【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
ご家族	804	41.5%	753	41.3%	704	45.1%
友人	181	9.3%	151	8.3%	55	3.5%
医療介護関係者	80	4.1%	144	7.9%	173	11.1%
その他	32	1.7%	33	1.8%	33	2.1%
話し合ったことはない	890	46.0%	820	45.0%	712	45.6%
無回答	130	6.7%	106	5.8%	60	3.8%
合 計	1,936	—	1,823	—	1,561	—

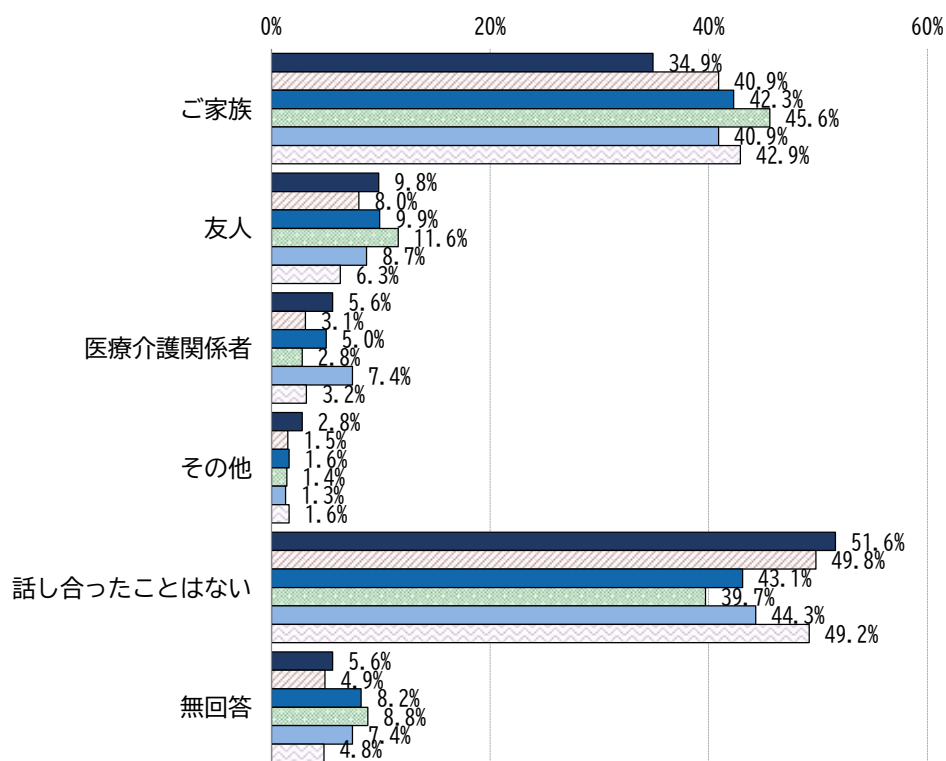
単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者とも「話し合ったことはない」の割合が高く、ついで「ご家族」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、高齢者一般では80～84歳、在宅要支援認定者では75～79歳、在宅要介護認定者では85～89歳で「ご家族」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

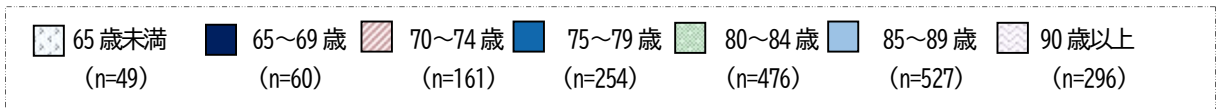
【年齢別集計】



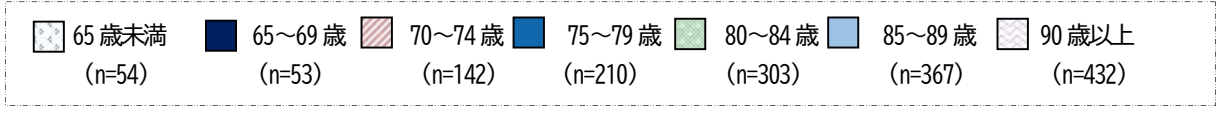
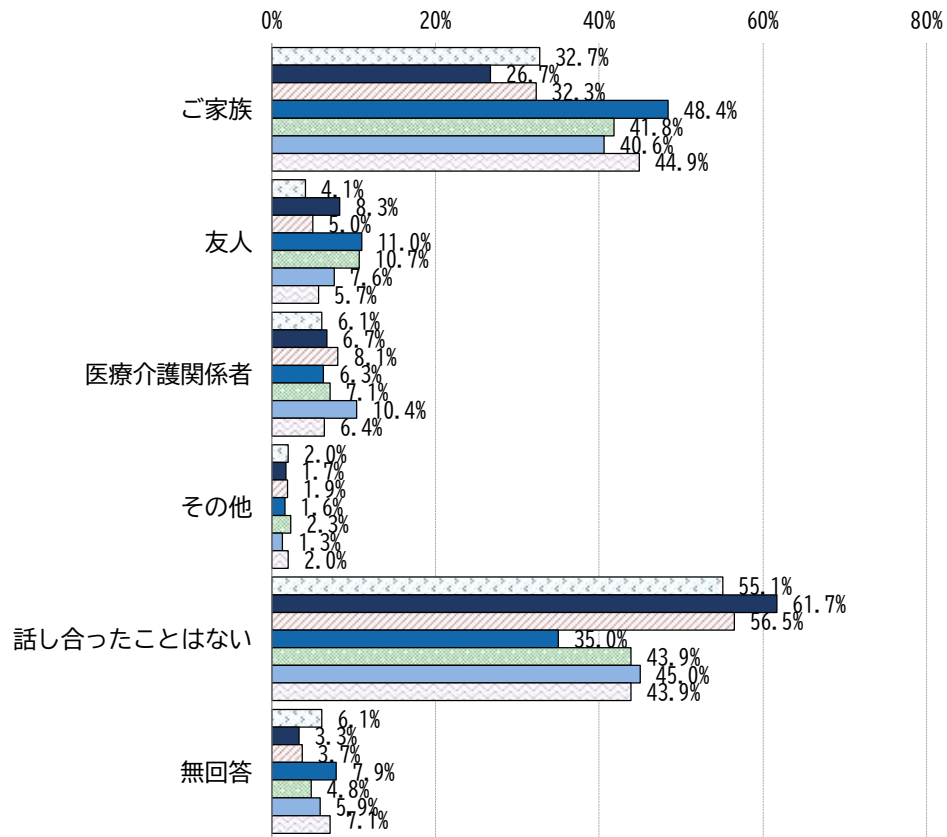
○高齢者一般



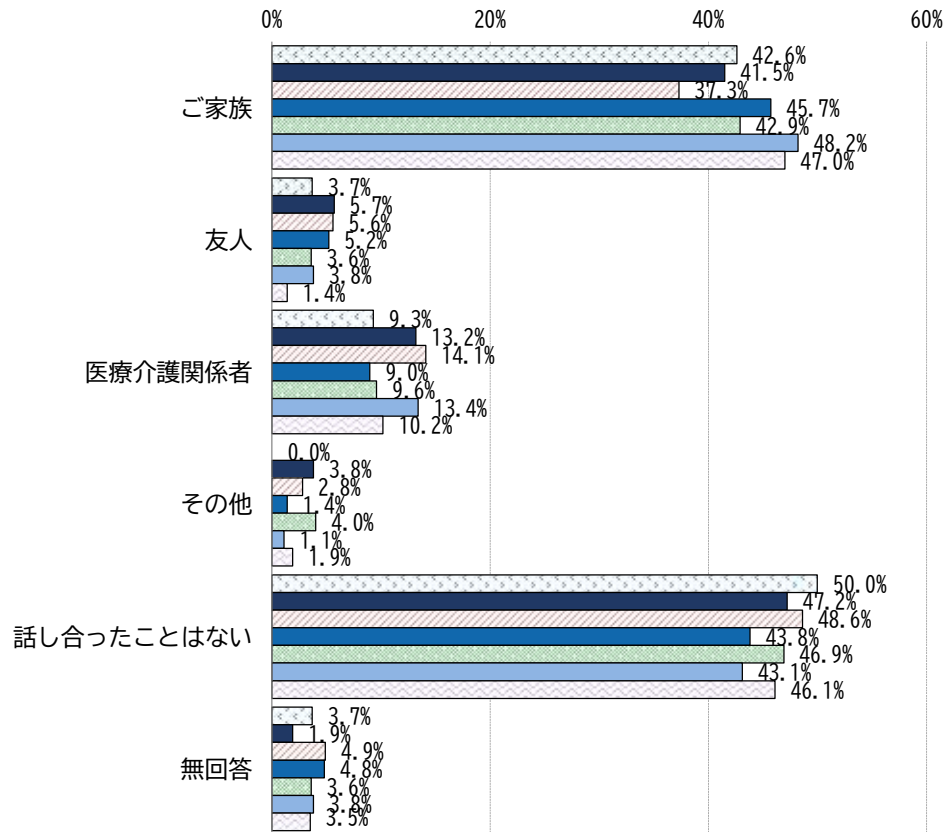
【年齢別集計】



○在宅要支援



○在宅要介護



認知症カフェの認知度

認知症カフェ（認知症の人やその家族など誰もが気軽に認知症に関する専門的な知識を持つスタッフに相談できる場）について知っていますか。（○はひとつ）

<高齢者一般調査 問59・在宅要支援認定者調査 問53・在宅要介護認定者調査 問13>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
知っていて、利用したことがある	19	1.0%	47	2.6%	31	2.0%
知っているが、利用したことはない	244	12.6%	301	16.5%	215	13.8%
知らない	1,545	79.8%	1,367	75.0%	1,262	80.8%
無回答	128	6.6%	108	5.9%	53	3.4%
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%	1,561	100.0%

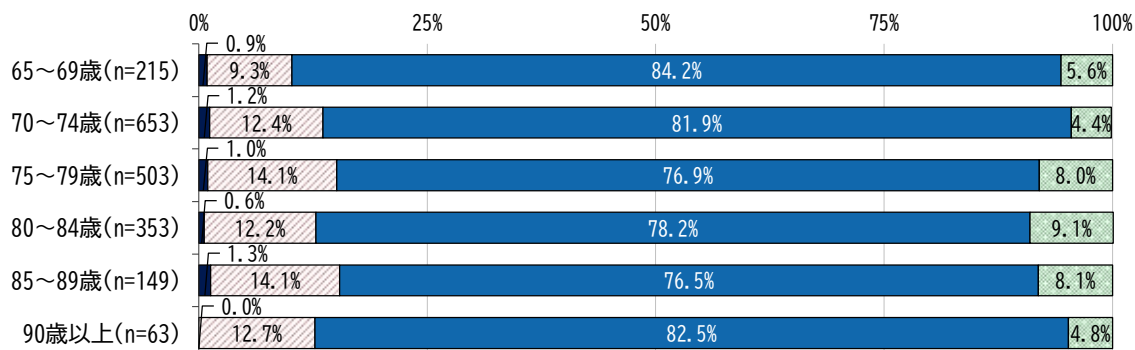
単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者とも「知らない」の割合が最も高く約8割となっています。

年齢別でみると、「知っているが、利用したことはない」の割合は、在宅要支援認定者では80～84歳で最も高くなっており、在宅要介護認定者では70～74歳で最も高くなっています。

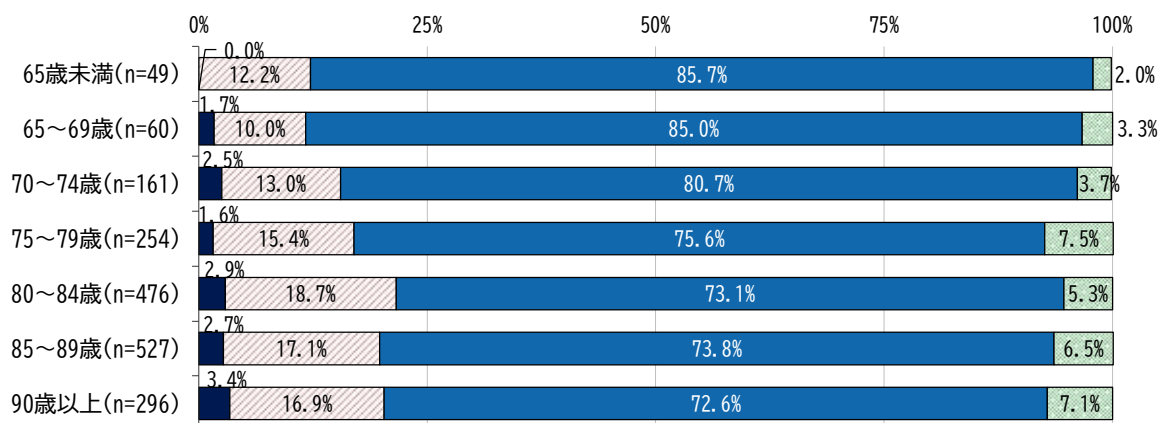


【年齢別集計】

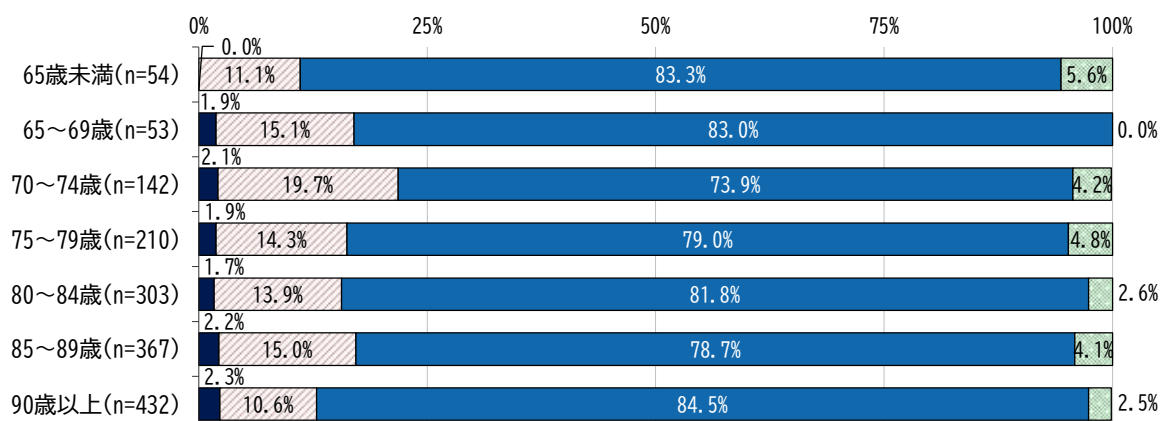
○高齢者一般



○在宅要支援



○在宅要介護



オレンジシール・オレンジメール事業の認知度

オレンジシール・オレンジメール事業（認知症により行方がわからなくなった人を早期に保護するための事業で、本人の履物に張りつける登録番号入りのシールの交付や見守り協力者に対する行方不明者情報のメール配信を行うもの）について知っていますか。（○はひとつ）

<高齢者一般調査 問60・在宅要支援認定者調査 問54・在宅要介護認定者調査 問14>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
知っていて、オレンジシールの登録やオレンジメールの登録をしている	12	0.6%	33	1.8%	57	3.7%
知っているが、登録していない	235	12.1%	227	12.5%	195	12.5%
知らない	1,557	80.4%	1,499	82.2%	1,255	80.4%
無回答	132	6.8%	64	3.5%	54	3.5%
合 計	1,936	100.0%	1,823	100.0%	1,561	100.0%

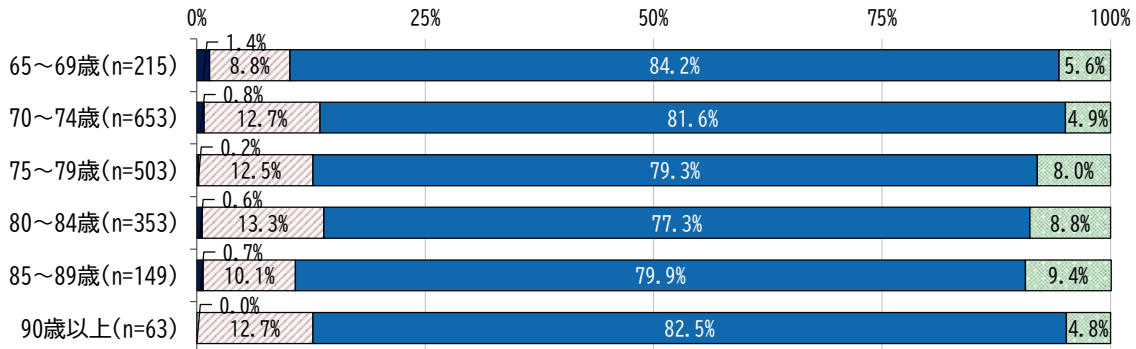
単純集計で見ると、高齢者一般、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者とも「知らない」の割合が最も高く8割を超えています。

年齢別で見ると、在宅要支援認定者では「知っていて、オレンジシールの登録やオレンジメールの登録をしている」と「知っているが、登録していない」を合わせた割合は、年齢が上がるにつれて増加する傾向にあります。

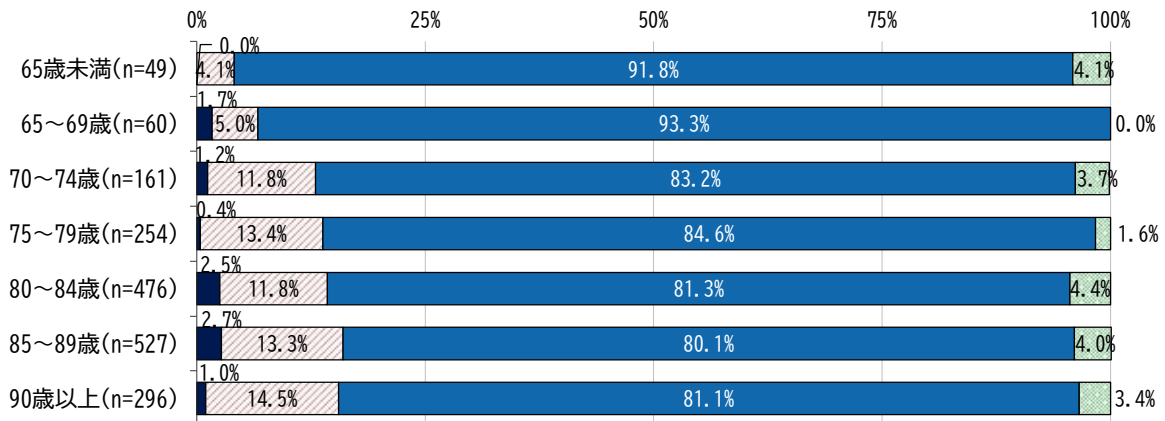
知っていて、オレンジシールの登録やオレンジメールの登録をしている  
 知っているが、登録していない  
 知らない  
 無回答

【年齢別集計】

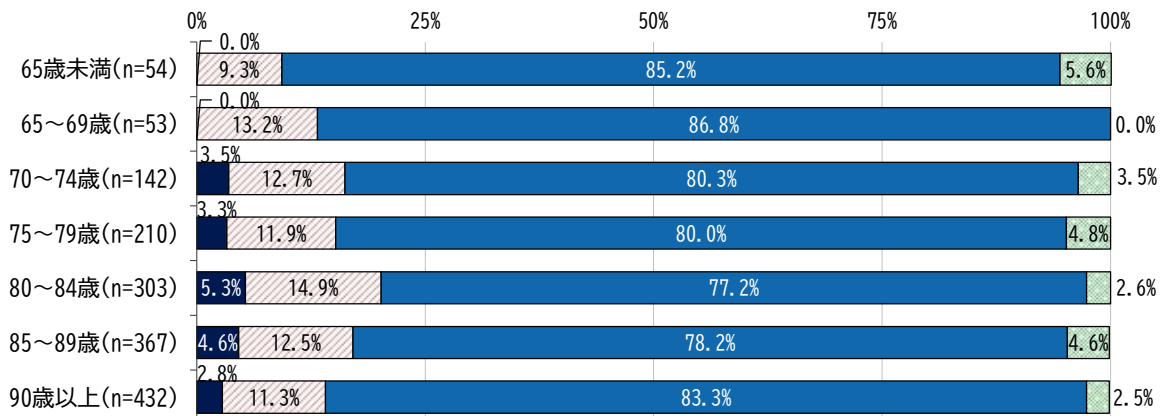
○高齢者一般



○在宅要支援



○在宅要介護



## 高齡期を安心して快適に暮らすために重要な施策

老後を安心して過ごすために、今後、市に対して充実を求めることはどのようなことですか。

(〇は3つまで)

<高齡者一般調査 問61>

## 【単純集計】

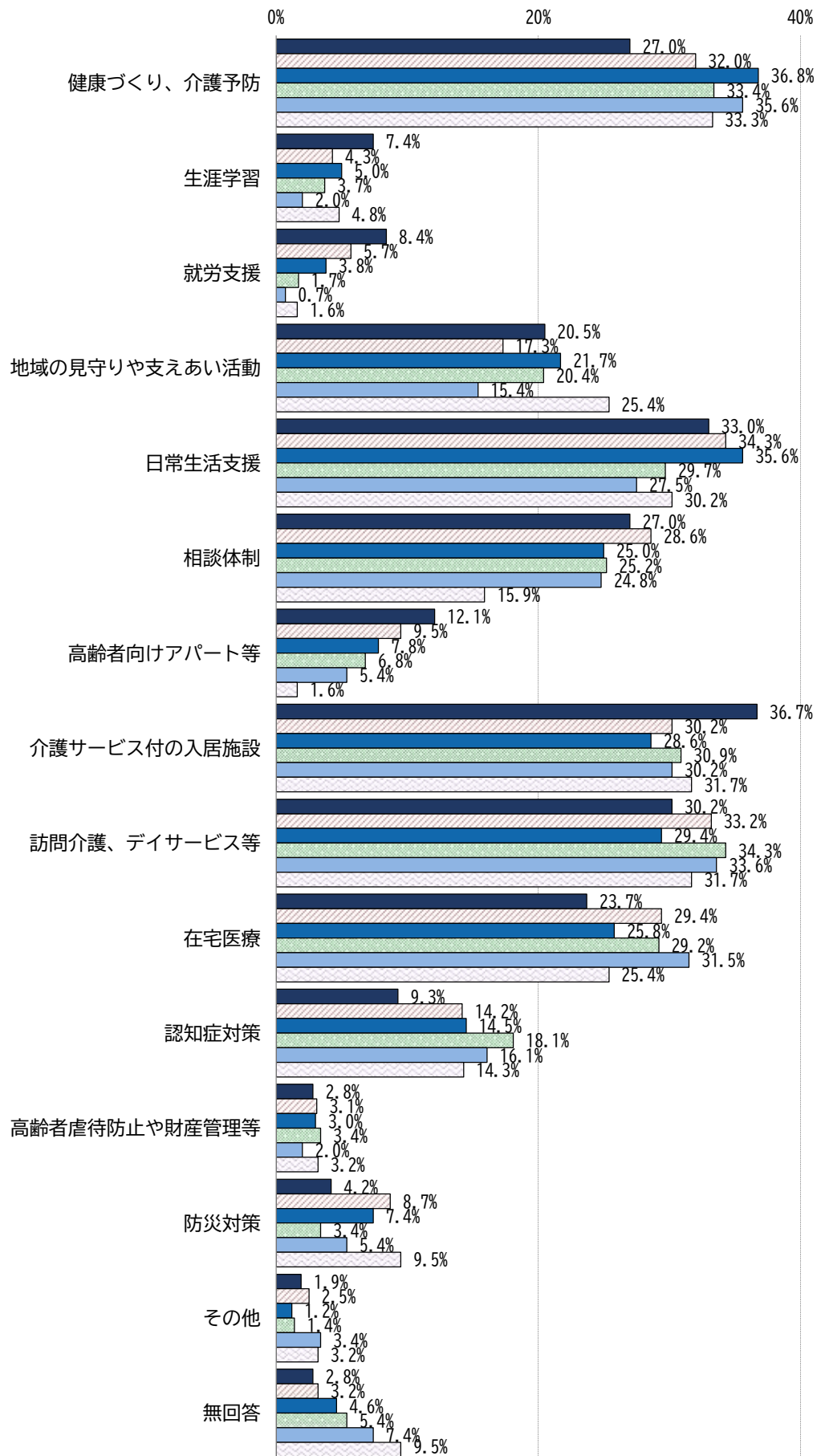
回 答	高齡者一般	
	件数	割合
健康づくり、介護予防	644	33.3%
生涯学習	88	4.5%
就労支援	82	4.2%
地域の見守りや支えあい活動	377	19.5%
日常生活支援	639	33.0%
相談体制	507	26.2%
高齡者向けアパート等	160	8.3%
介護サービス付の入居施設	594	30.7%
訪問介護、デイサービス等	621	32.1%
在宅医療	539	27.8%
認知症対策	283	14.6%
高齡者虐待防止や財産管理等	58	3.0%
防災対策	129	6.7%
その他	38	2.0%
無回答	86	4.4%
回 答 数	1,936	—

単純集計でみると、「健康づくり、介護予防」の割合が最も高く、ついで「日常生活支援」「訪問介護、デイサービス等」の順で割合が高くなっています。

年齢別でみると、65～69歳では「就労支援」「介護サービス付の入居施設」の割合が他の年代と比べて高くなっています。90歳以上では「地域の見守りや支えあい活動」の割合が他の年代と比べて高くなっています。



【年齢別集計】



災害時や緊急時の避難

あなたは、災害時や緊急時に、1人で避難することができますか。(〇はひとつ)

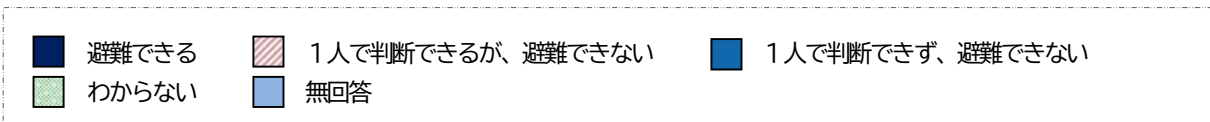
<在宅要支援認定者調査 問55 ・ 在宅要介護認定者調査 問15>

【単純集計】

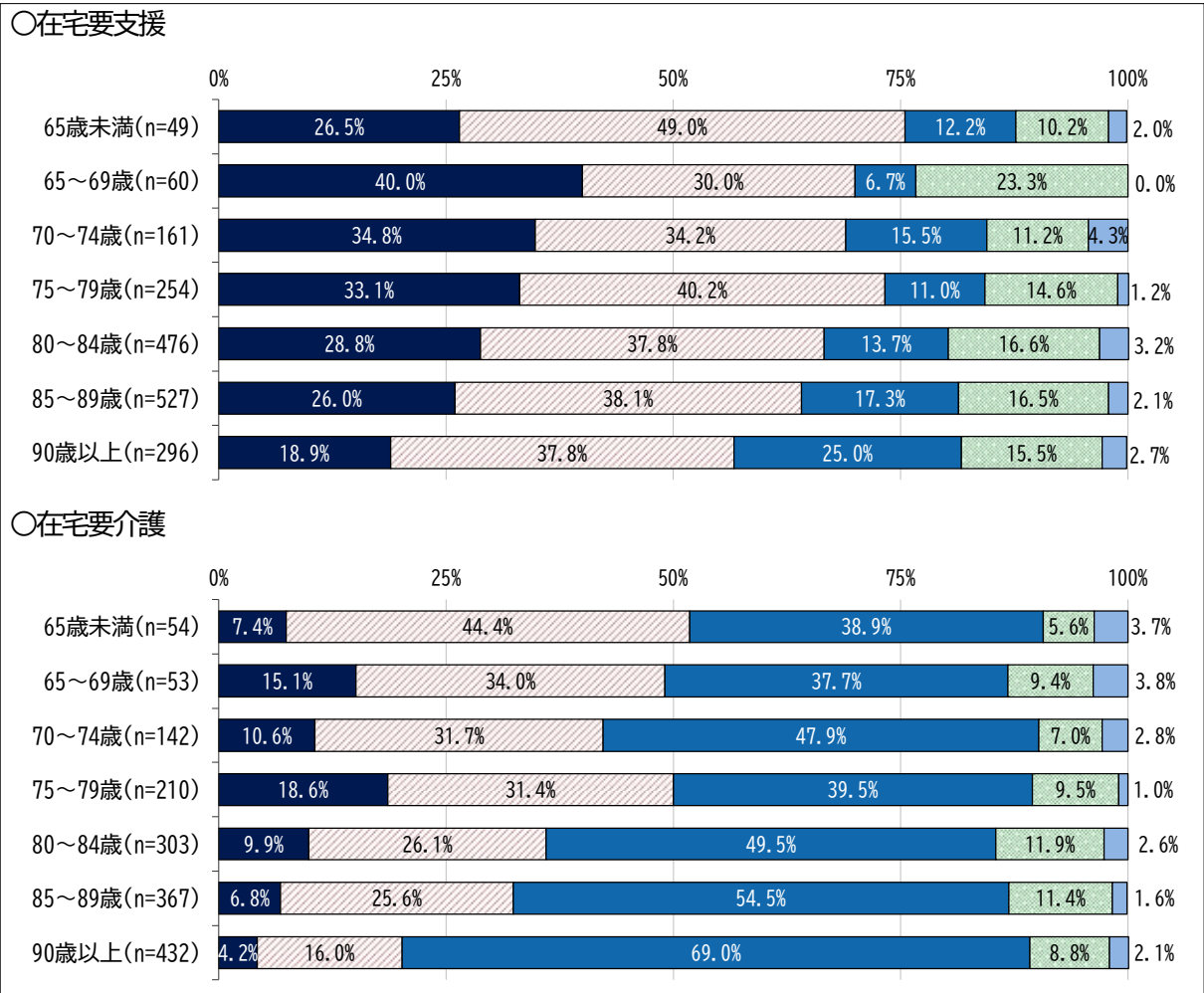
回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
避難できる	507	27.8%	139	8.9%
1人で判断できるが、避難できない	692	38.0%	395	25.3%
1人で判断できず、避難できない	293	16.1%	840	53.8%
わからない	286	15.7%	154	9.9%
無回答	45	2.5%	33	2.1%
回 答 数	1,823	100.0%	1,561	100.0%

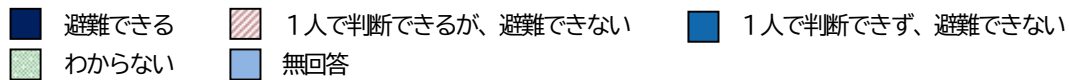
単純集計でみると、在宅要支援認定者では「1人で判断できるが、避難できない」の割合が高くなっています。在宅要介護認定者では「1人で判断できず、避難できない」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者ともに年齢が高くなるにつれて「1人で判断できず、避難できない」の割合が高くなる傾向にあります。



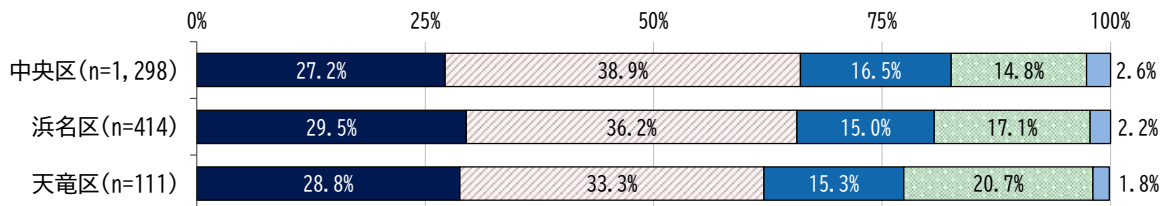
【年齢別集計】



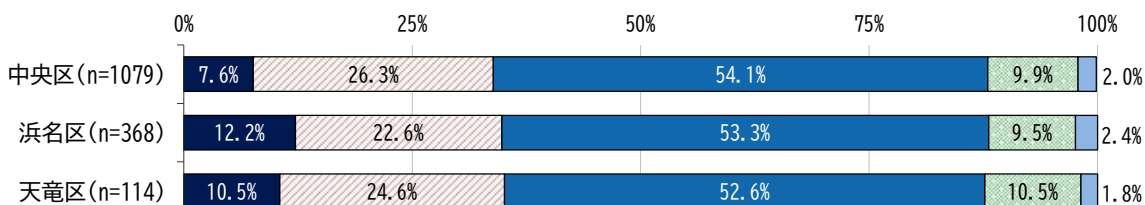


【区別集計】

○在宅要支援

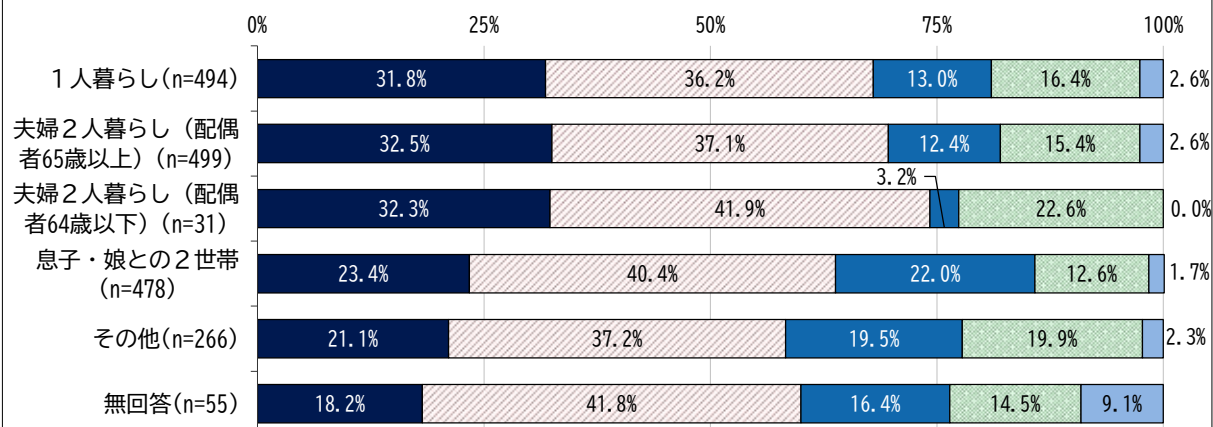


○在宅要介護

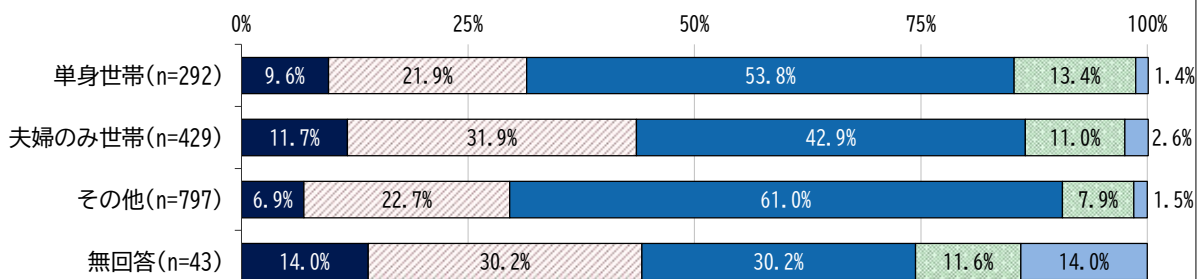


【家族構成別集計】

○在宅要支援



○在宅要介護



災害時や緊急時に手助けを頼める人

前問で「1人で判断できるが、避難できない」「1人で判断できず、避難できない」と回答した方にお伺いします。あなたは、災害時や緊急時に、手助けを頼める人（同居者を含む）はいいますか。

(○はひとつ) <在宅要支援認定者調査 問56 ・ 在宅要介護認定者調査 問16>

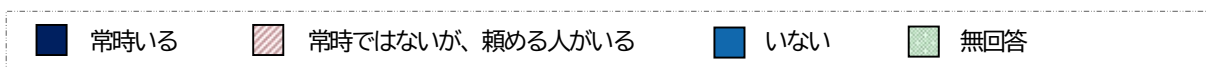
【単純集計】

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
常時いる	417	42.3%	762	61.7%
常時ではないが、頼める人がいる	384	39.0%	380	30.8%
いない	167	17.0%	85	6.9%
無回答	17	1.7%	8	0.6%
回 答 数	985	100.0%	1,235	100.0%

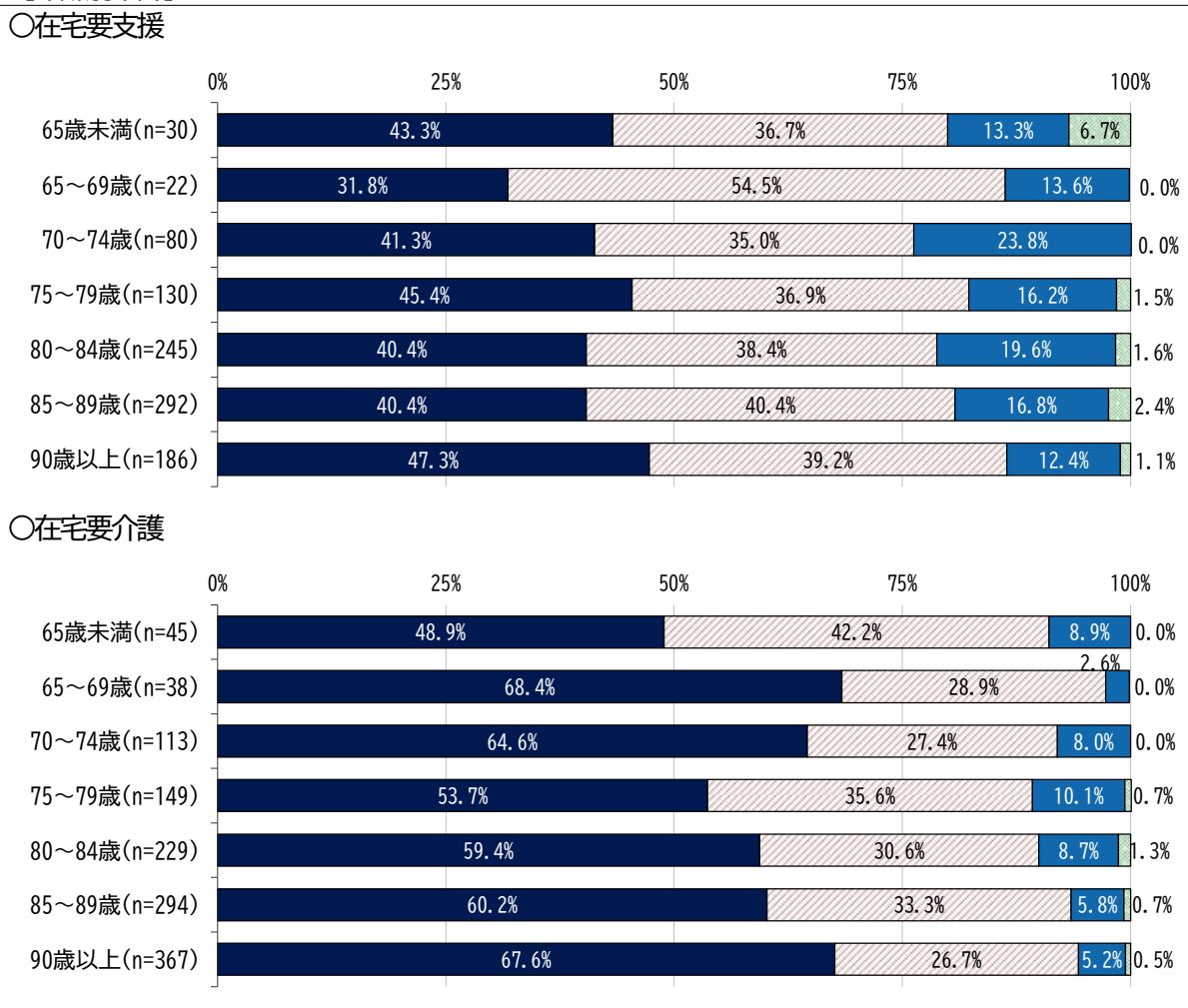
単純集計で見ると、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者ともに「常時いる」の割合が高くなっています。

区別で見ると、在宅要支援認定者では、他の地区と比べて天竜区で「常時ではないが、頼める人がいる」の割合が高くなっています。

家族構成別で見ると、在宅要支援認定者では、1人暮らしで「いない」の割合が高く4割となっています。



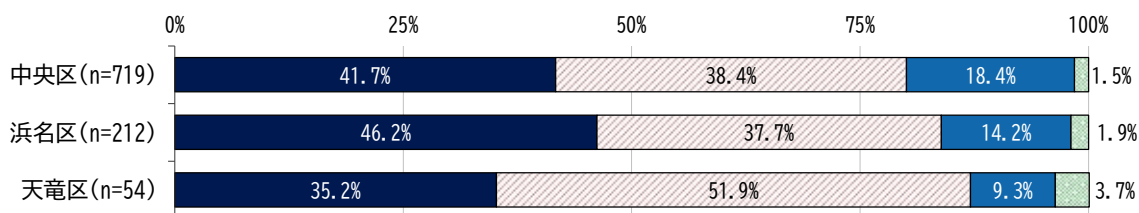
【年齢別集計】



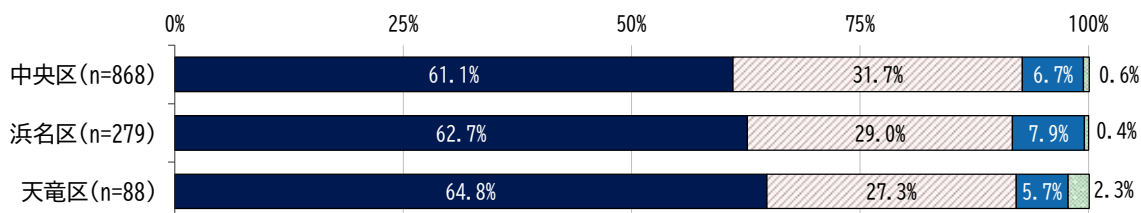
■ 常時いる    ▨ 常時ではないが、頼める人がいる    ■ いない    ■ 無回答

【区別集計】

○在宅要支援

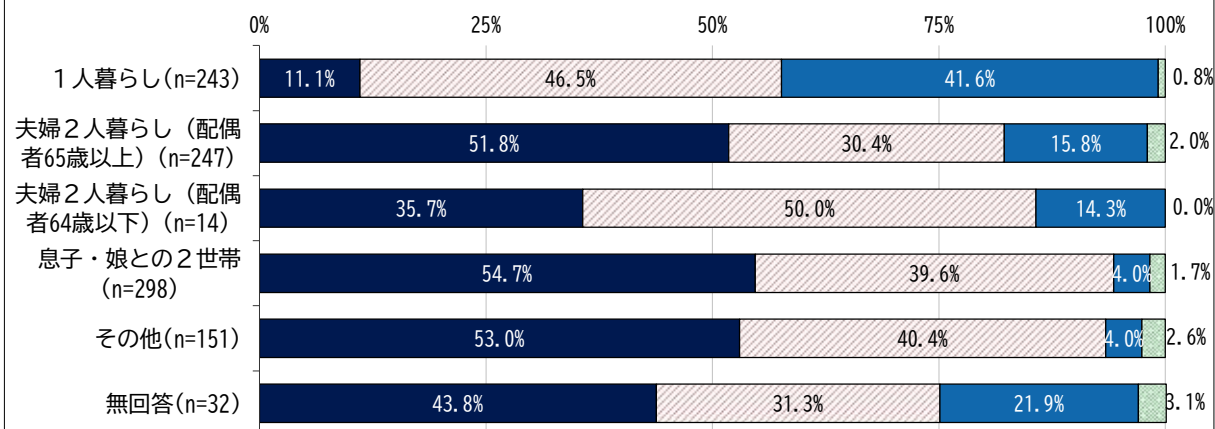


○在宅要介護

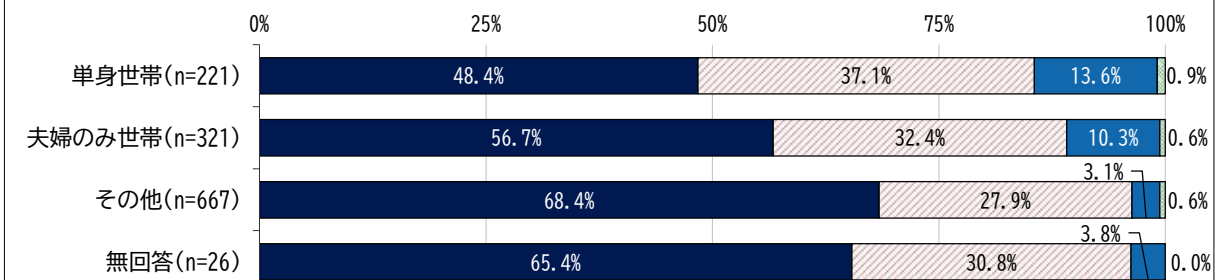


【家族構成別集計】

○在宅要支援



○在宅要介護



## 災害時の心配事や問題点

あなたは、災害が起きた時の心配事や問題点はありますか。(〇はいくつでも)

<在宅要支援認定者調査 問57 ・ 在宅要介護認定者調査 問17>

## 【単純集計】

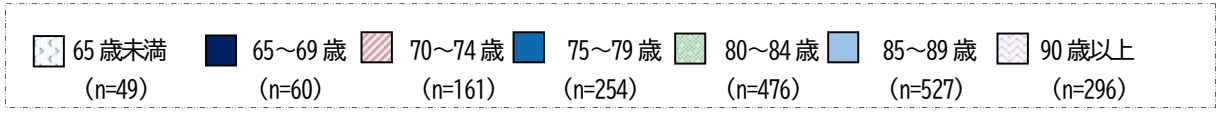
回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
家が崖崩れや浸水の心配がある	199	10.9%	165	10.6%
避難所での生活が心配	1,074	58.9%	956	61.2%
避難所に行くことが難しい	820	45.0%	965	61.8%
情報をうまく入手できない	544	29.8%	520	33.3%
その他	109	6.0%	113	7.2%
無回答	148	8.1%	76	4.9%
回 答 数	1,823	100.0%	1,561	100.0%

単純集計でみると、在宅要支援認定者では、「避難所での生活が心配」の割合が最も高くなっています。在宅要介護認定者では「避難所に行くことが難しい」の割合が最も高く、僅差で「避難所での生活が心配」が続いています。

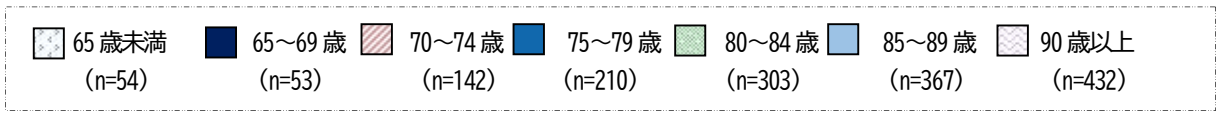
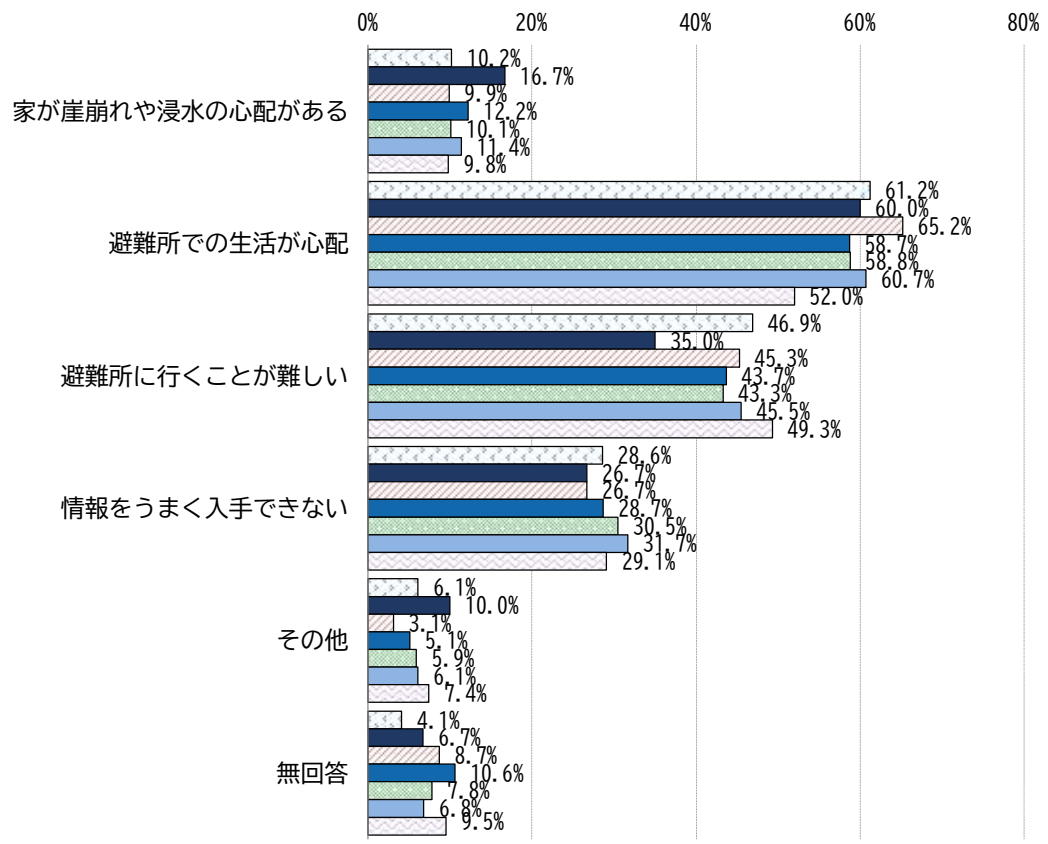
家族構成別でみると、在宅要支援認定者では1人暮らしで「情報をうまく入手できない」の割合が他の家族構成と比べて高くなっています。



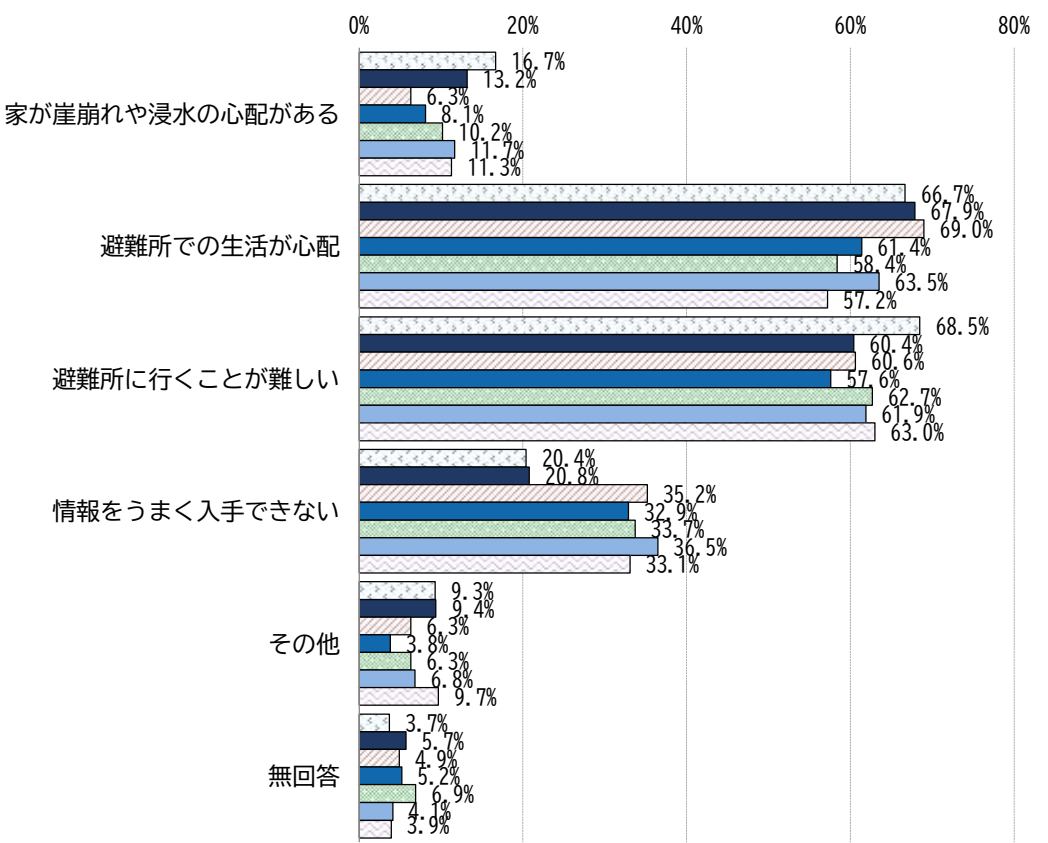
【年齢別集計】



○在宅要支援



○在宅要介護

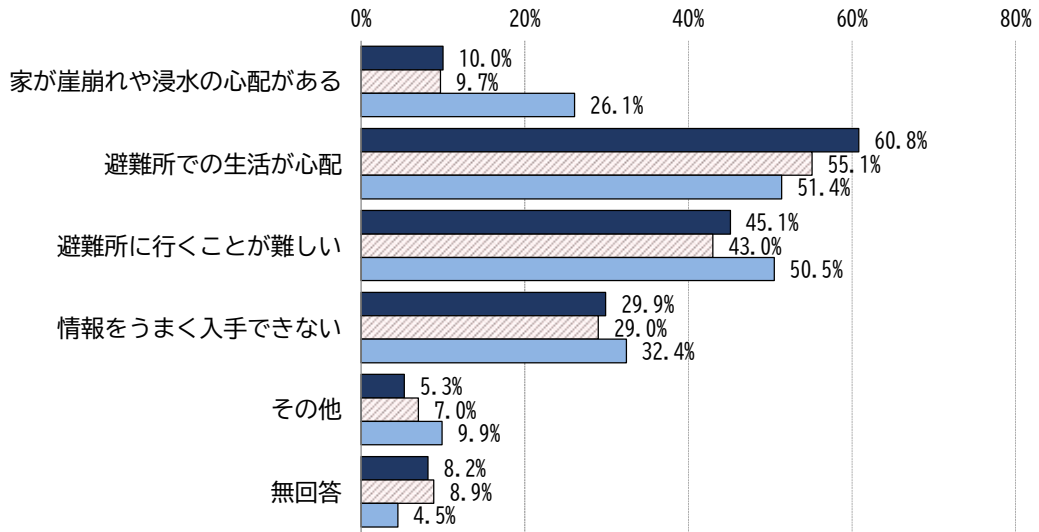




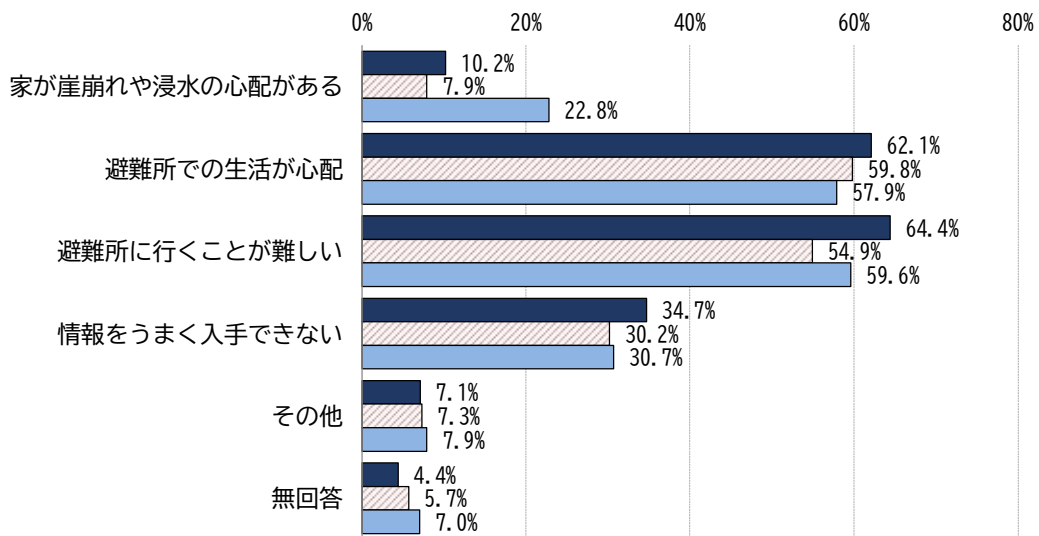
【区別集計】



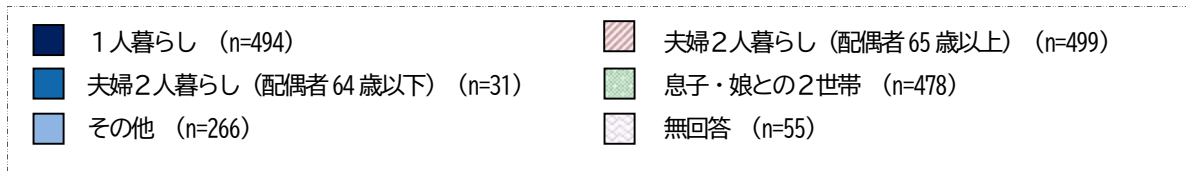
○在宅要支援



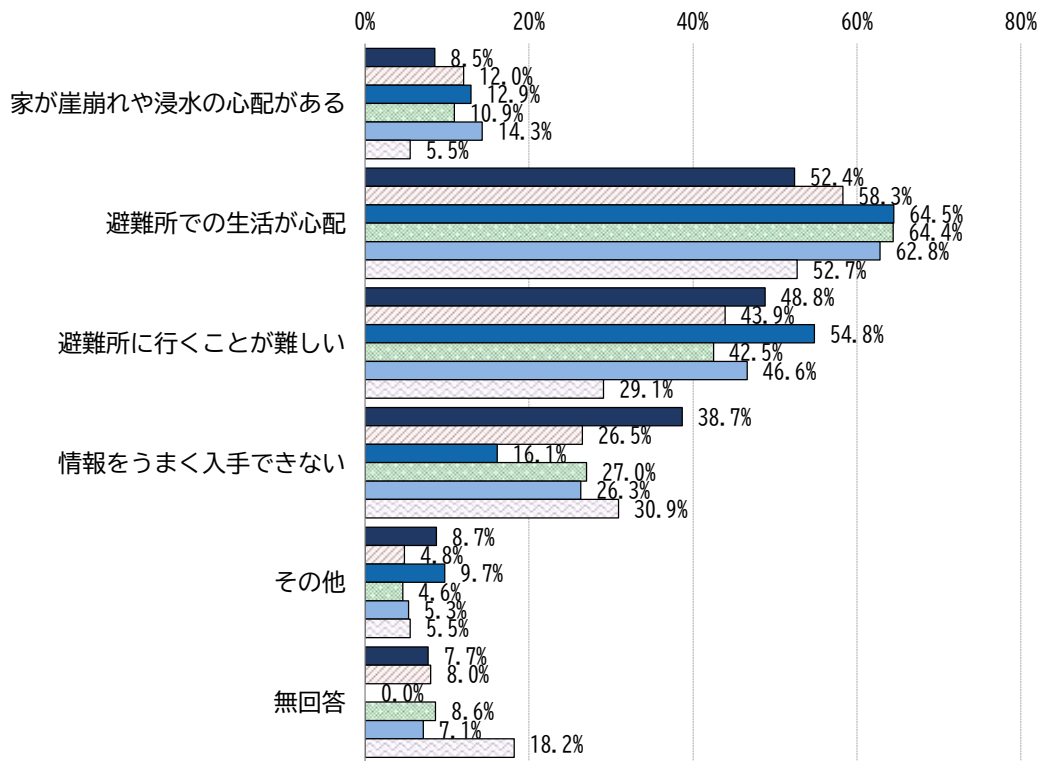
○在宅要介護



【家族構成別集計】



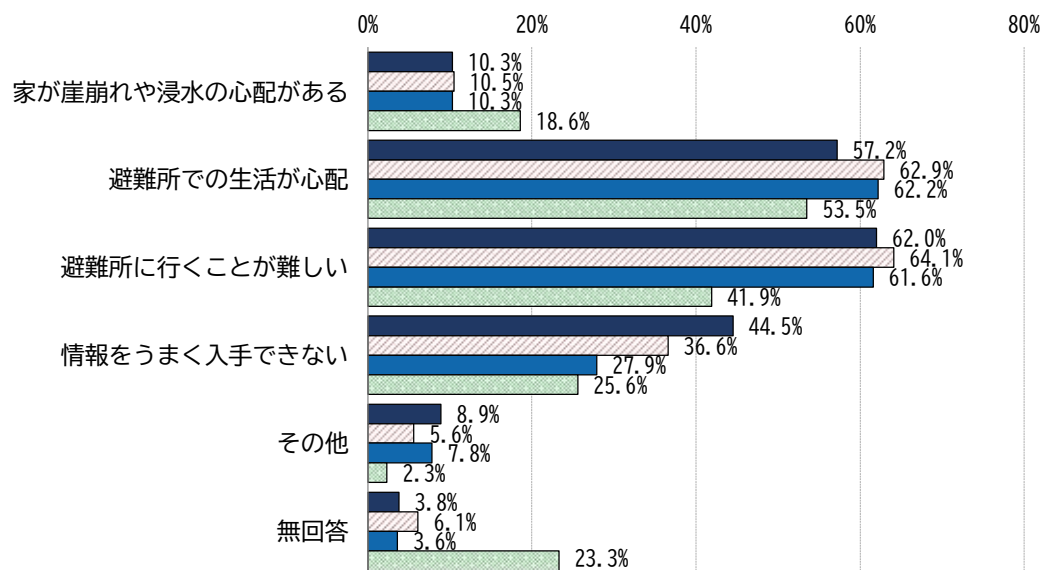
○在宅要支援



【家族構成別集計】



○在宅要介護



介護保険制度について

介護保険制度全般についてどのように思いますか。(〇はひとつ)

<在宅要支援認定者調査 問58 ・ 在宅要介護認定者調査 問18>

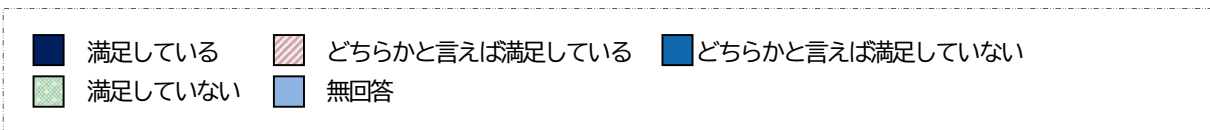
【単純集計】

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
満足している	264	14.5%	320	20.5%
どちらかと言えば満足している	937	51.4%	874	56.0%
どちらかと言えば満足していない	331	18.2%	205	13.1%
満足していない	141	7.7%	90	5.8%
無回答	150	8.2%	72	4.6%
合 計	1,823	100.0%	1,561	100.0%

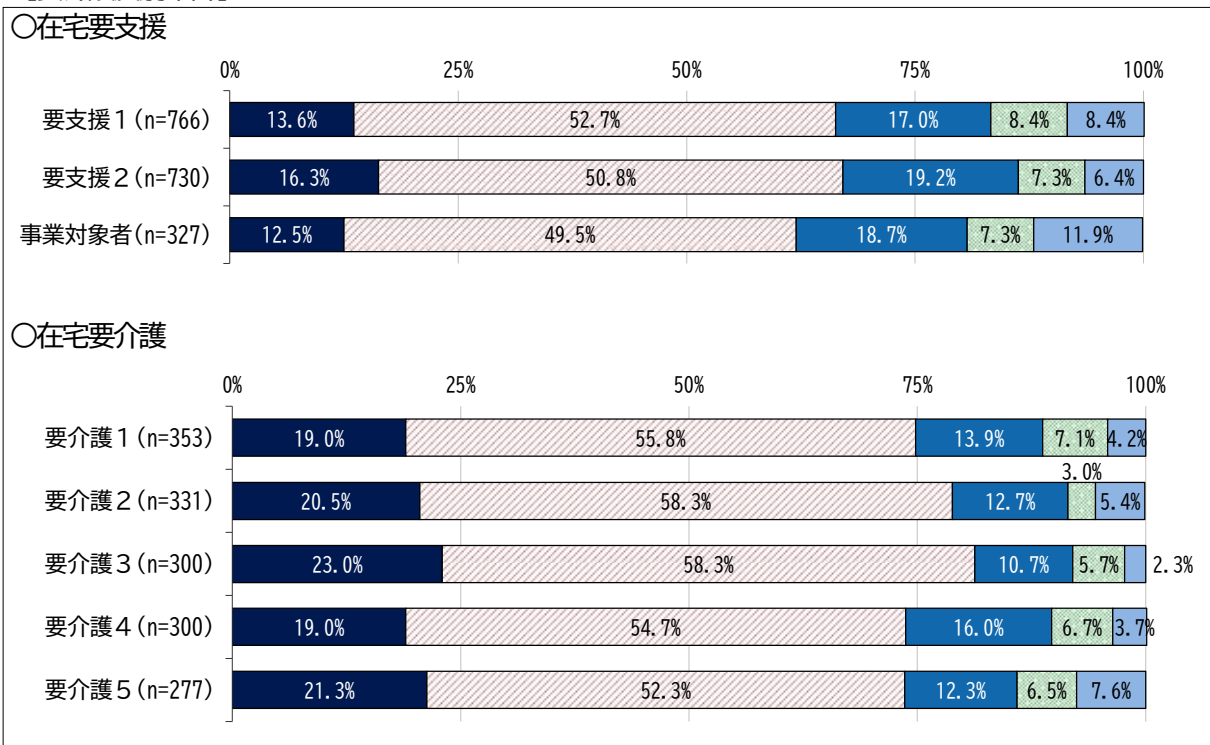
単純集計でみると、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者ともに「どちらかと言えば満足している」の割合が高くなっています。

要介護度別でみると、「どちらかと言えば満足していない」「満足していない」を合わせた割合は、要介護4が最も高くなっています。

区別でみると、在宅要支援認定者では他の区に比べて天竜は「満足している」「どちらかと言えば満足している」を合わせた割合が高くなっています。

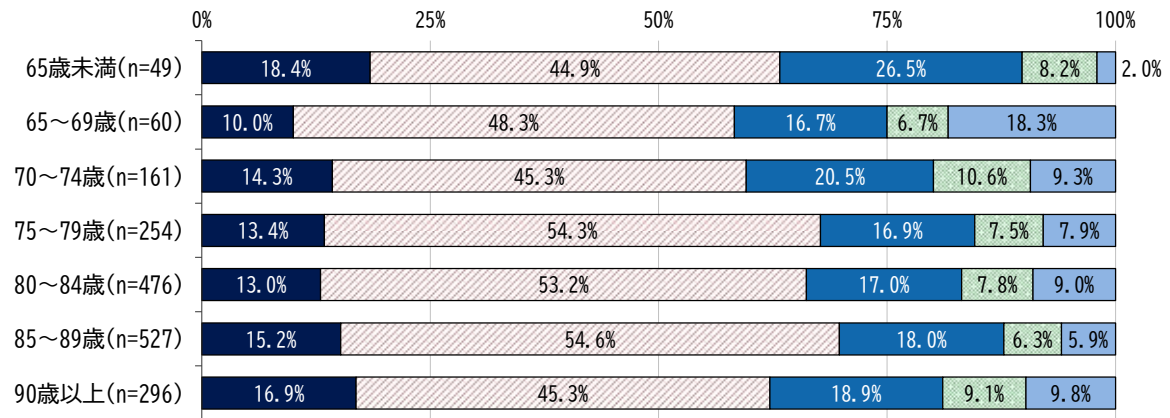


【要介護度別集計】

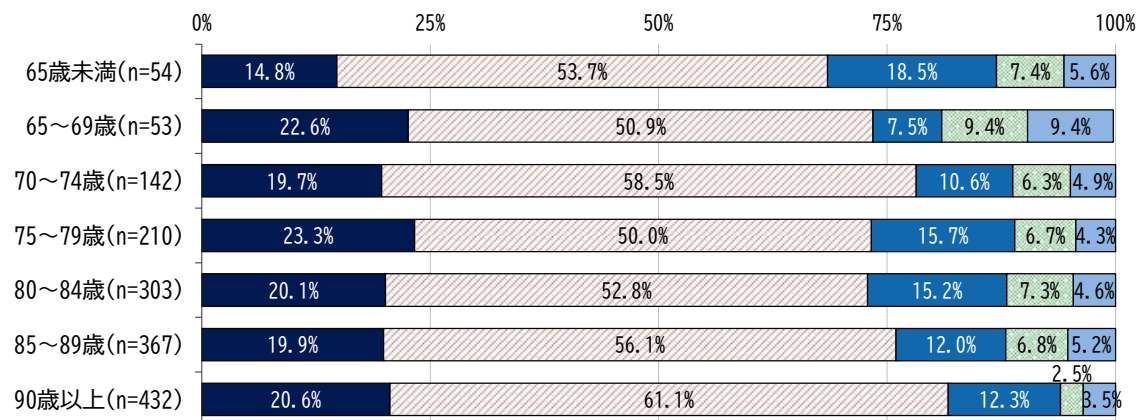


【年齢別集計】

○在宅要支援

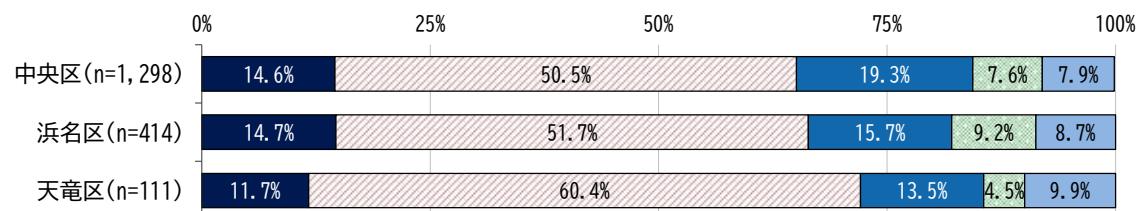


○在宅要介護

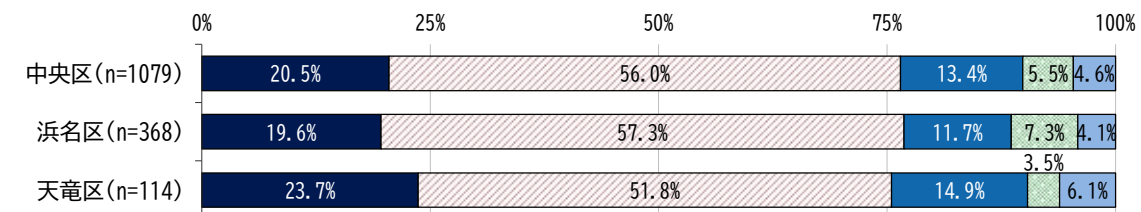


【区別集計】

○在宅要支援



○在宅要介護



担当のケアマネジャー

担当のケアマネジャーに満足していますか。(〇はひとつ)

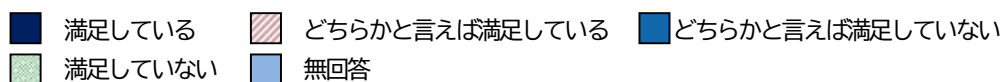
<在宅要支援認定者調査 問59 ・ 在宅要介護認定者調査 問19>

【単純集計】

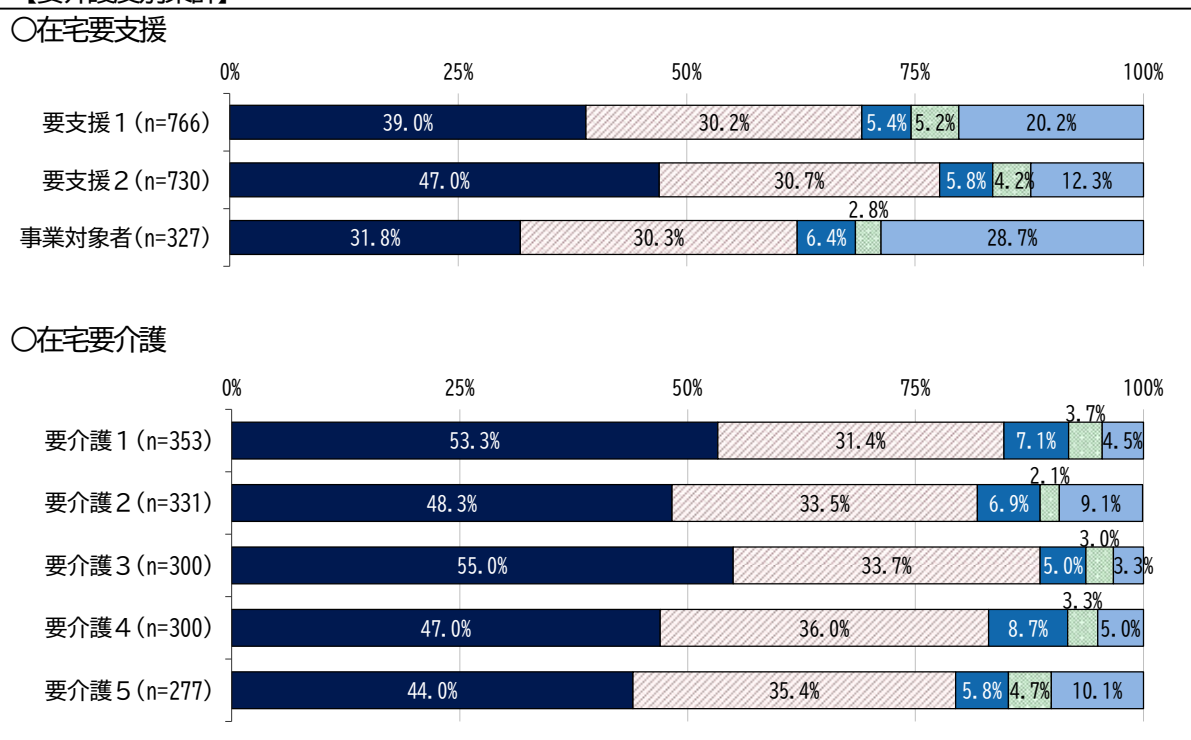
回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
満足している	746	40.9%	776	49.7%
どちらかと言えば満足している	554	30.4%	529	33.9%
どちらかと言えば満足していない	104	5.7%	105	6.7%
満足していない	80	4.4%	52	3.3%
無回答	339	18.6%	99	6.3%
合 計	1,823	100.0%	1,561	100.0%

単純集計でみると、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者ともに「満足している」の割合が高くなっています。

要介護度別でみると、他の要介護度に比べて事業対象者は「満足している」の割合が低くなっています。



【要介護度別集計】



施設入所・入居の検討状況

現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(〇はひとつ)

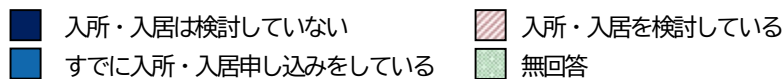
<在宅要支援認定者調査 問61 ・ 在宅要介護認定者調査 問21>

【単純集計】

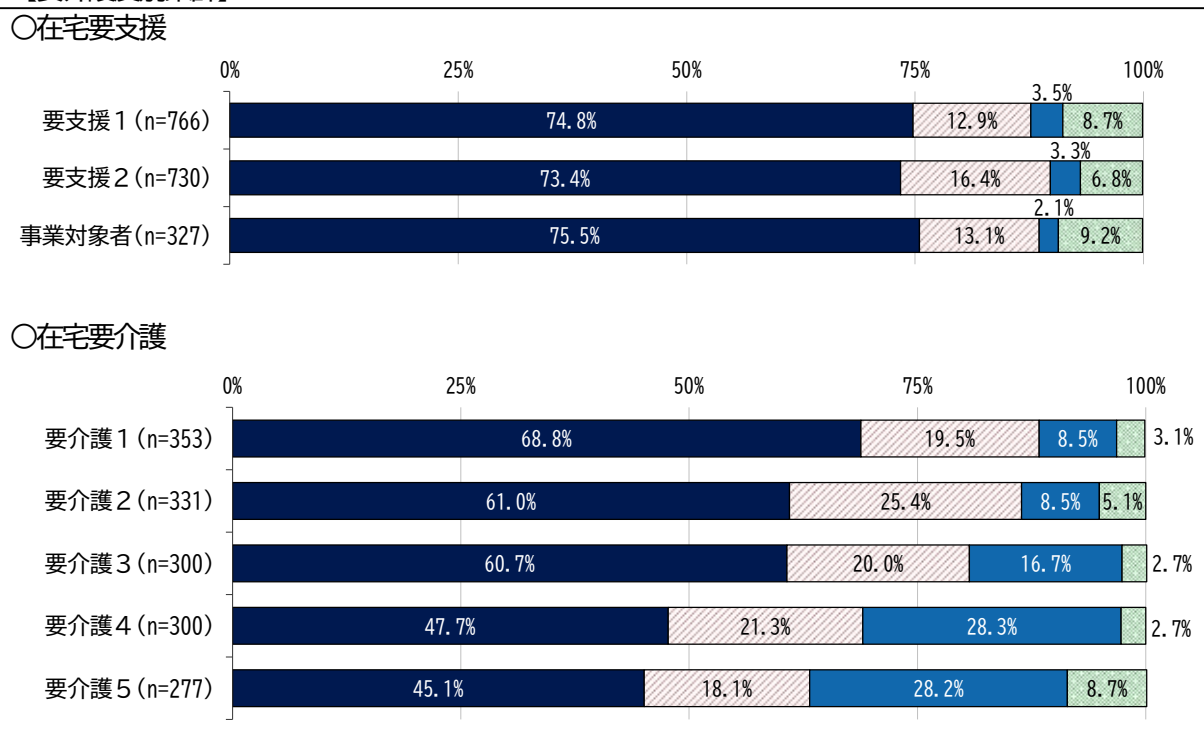
回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
入所・入居は検討していない	1,356	74.4%	895	57.3%
入所・入居を検討している	262	14.4%	327	20.9%
すでに入所・入居申し込みをしている	58	3.2%	271	17.4%
無回答	147	8.1%	68	4.4%
合 計	1,823	100.0%	1,561	100.0%

単純集計でみると、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者ともに、「入所・入居は検討していない」の割合が高くなっています。

要介護度別でみると、要介護度が高くなるにつれて、「入所・入居を検討している」「すでに入所・入居申し込みをしている」の合計の割合が高くなる傾向にあります。



【要介護度別集計】



介護保険サービスの利用有無

令和4年11月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(〇はひとつ)

<在宅要支援認定者調査 問62 ・ 在宅要介護認定者調査 問22>

【単純集計】

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
利用した	563	30.9%	980	62.8%
利用していない	1,147	62.9%	516	33.1%
無回答	113	6.2%	65	4.2%
合 計	1,823	100.0%	1,561	100.0%

単純集計でみると、在宅要支援認定者は「利用していない」の割合が高く、在宅要介護認定は「利用した」の割合が高くなっています。



介護保険サービスを利用しない理由

前問（介護保険サービスの利用有無）で「利用していない」と回答した方にお伺いします。あなたが介護保険サービスを利用しなかった理由は何ですか。（○は3つまで）

<在宅要支援認定者調査 問63 ・ 在宅要介護認定者調査 問23>

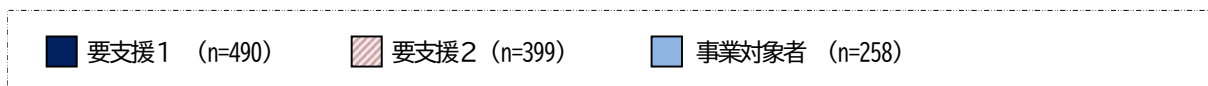
【単純集計】

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	726	63.3%	179	34.7%
本人にサービス利用の希望がない	174	15.2%	107	20.7%
家族が介護をするため必要ない	95	8.3%	80	15.5%
以前、利用していたサービスに不満があった	21	1.8%	14	2.7%
利用料を支払うのが難しい	56	4.9%	35	6.8%
利用したいサービスが利用できない、身近にない	26	2.3%	11	2.1%
住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	65	5.7%	42	8.1%
サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	69	6.0%	23	4.5%
その他	49	4.3%	115	22.3%
無回答	168	14.6%	61	11.8%
回 答 数	1,147	100.0%	516	100.0%

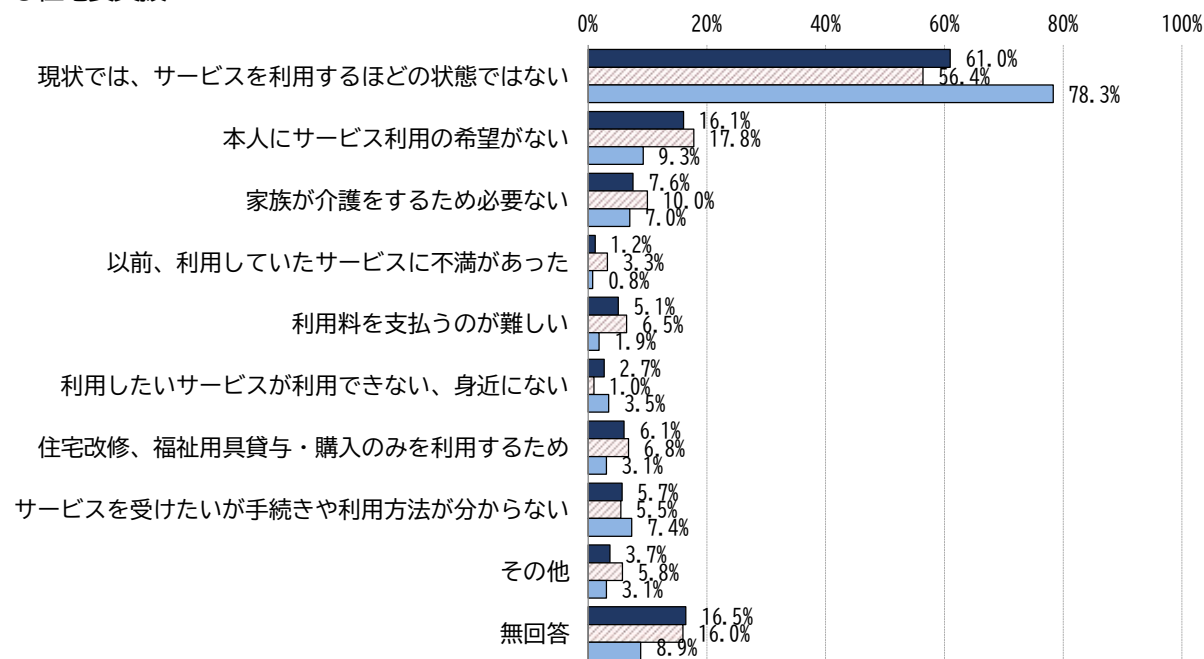
単純集計でみると、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者ともに「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が高くなっています。

要介護度別でみると、低い要介護度の場合「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が高くなる傾向があります。

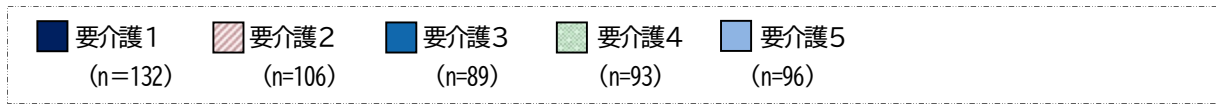
【要介護度別集計】



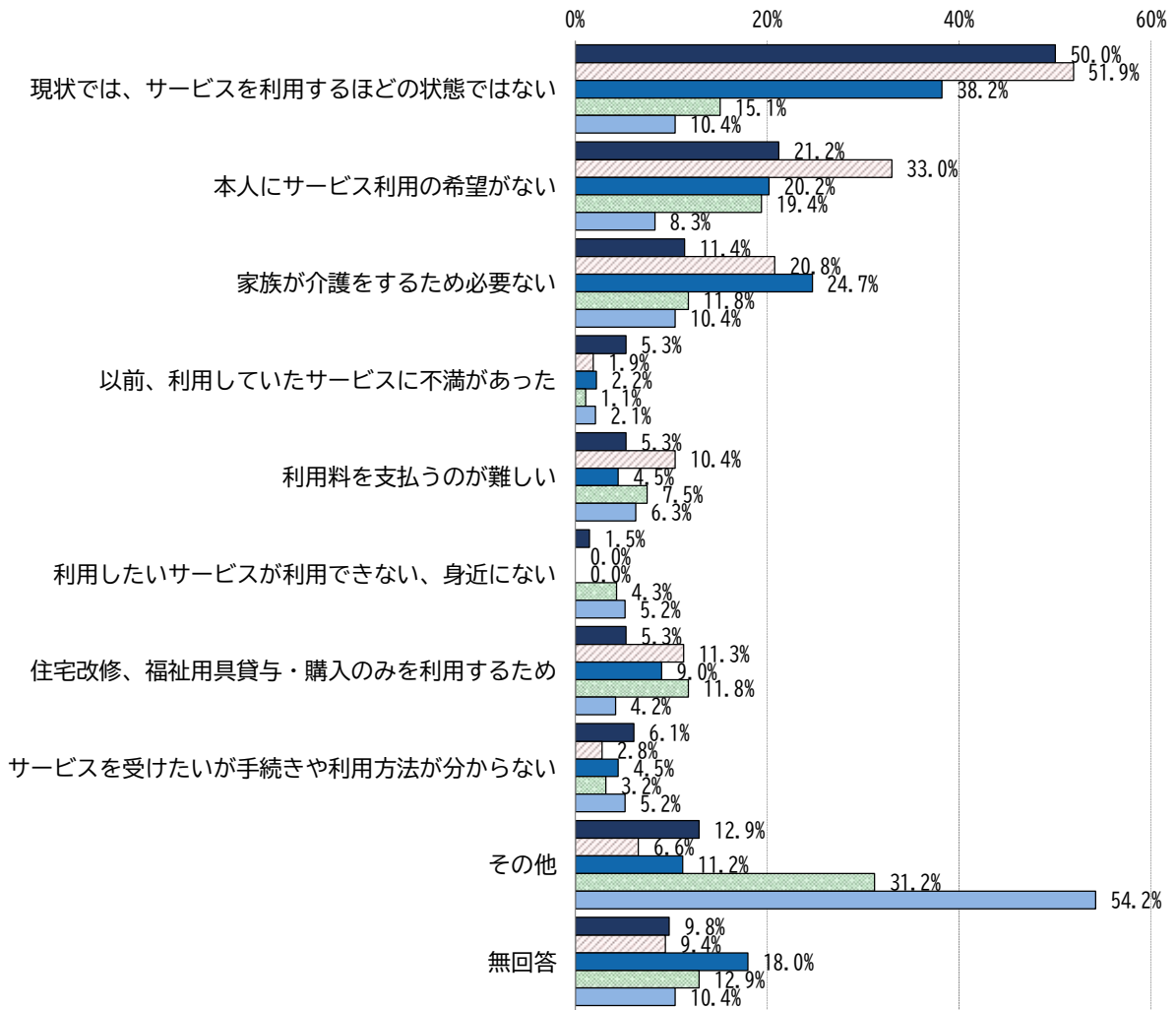
○在宅要支援



【要介護度別集計】



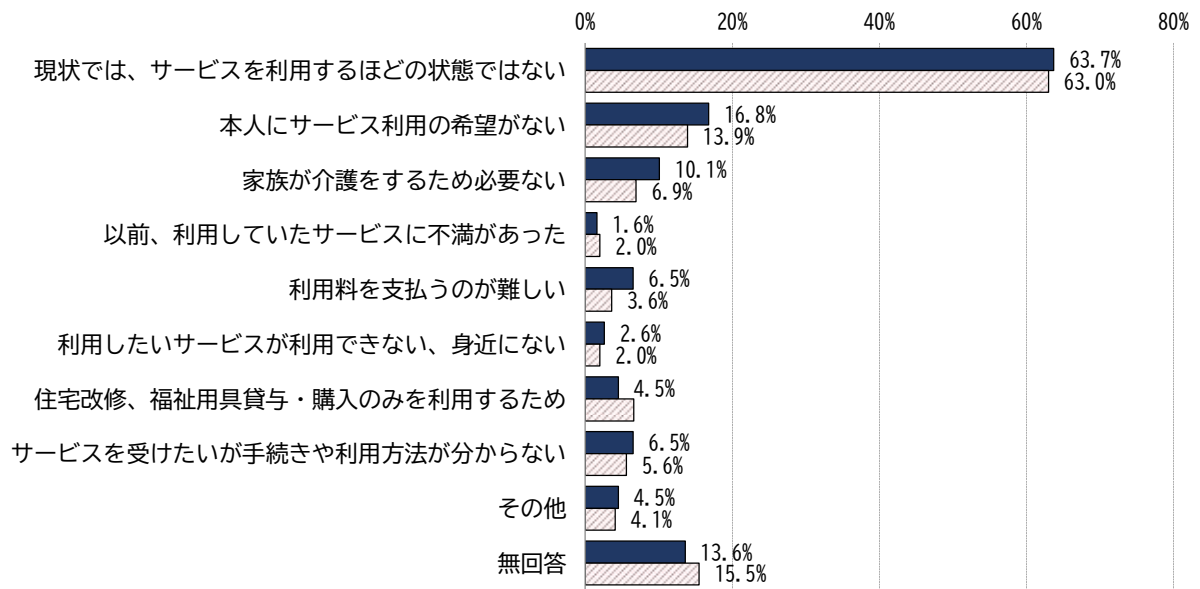
○在宅要介護



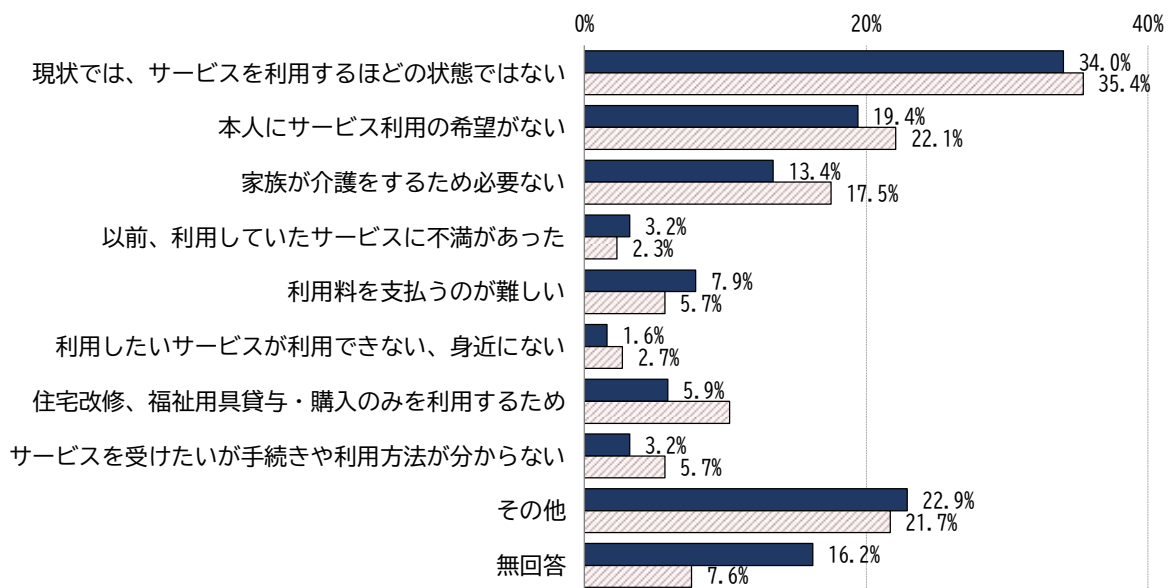
【性別集計】



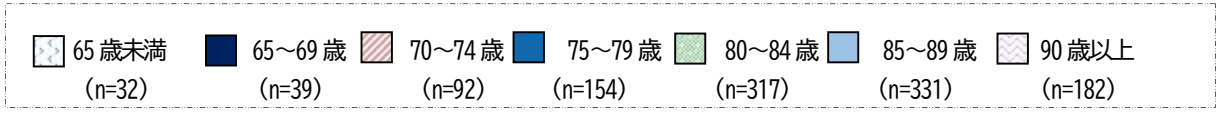
○在宅要支援



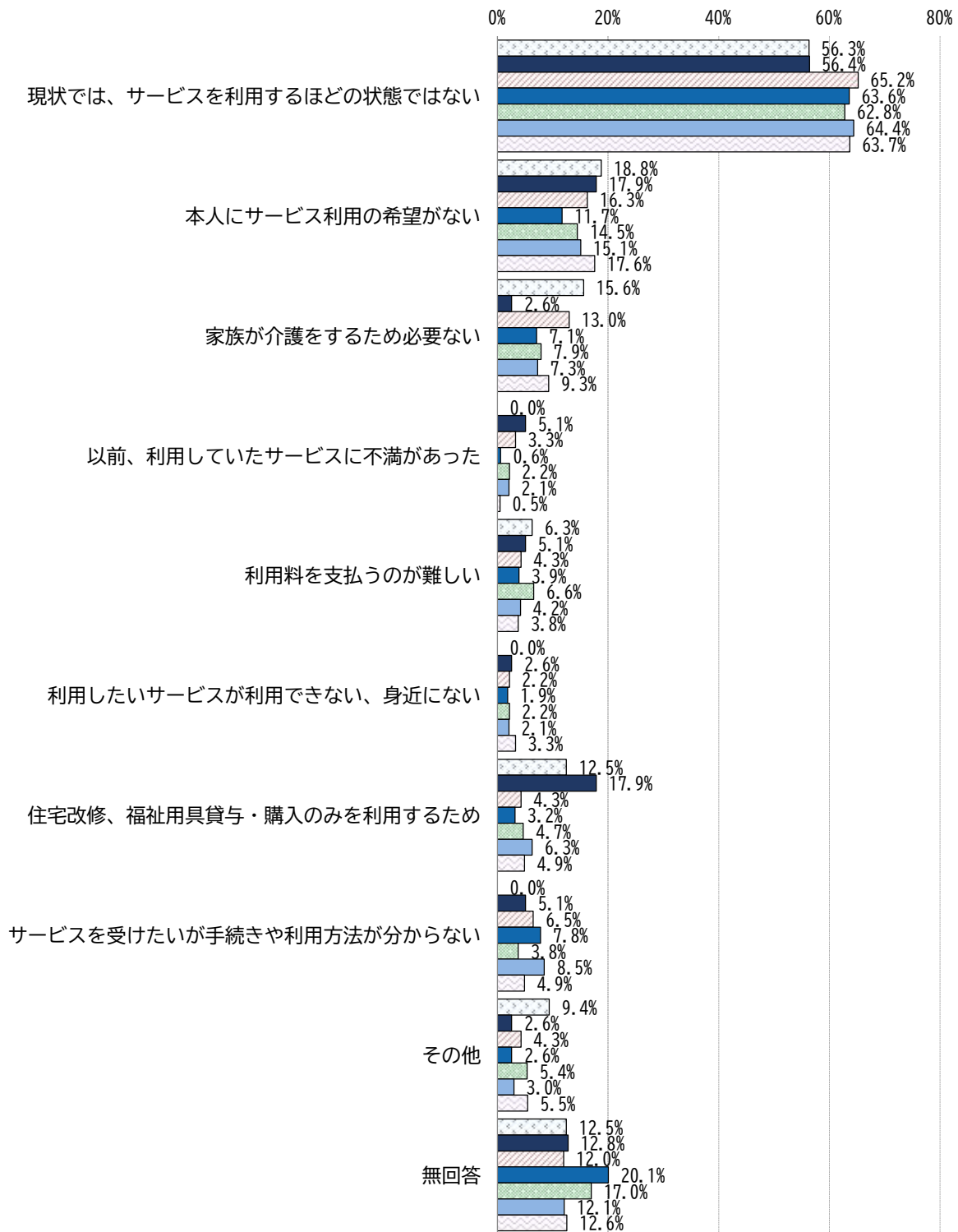
○在宅要介護

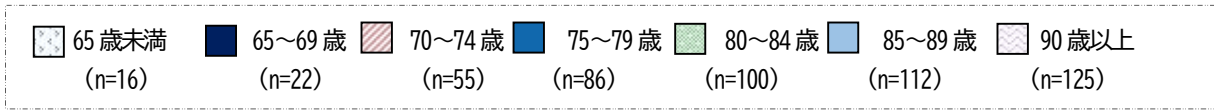


【年齢別集計】

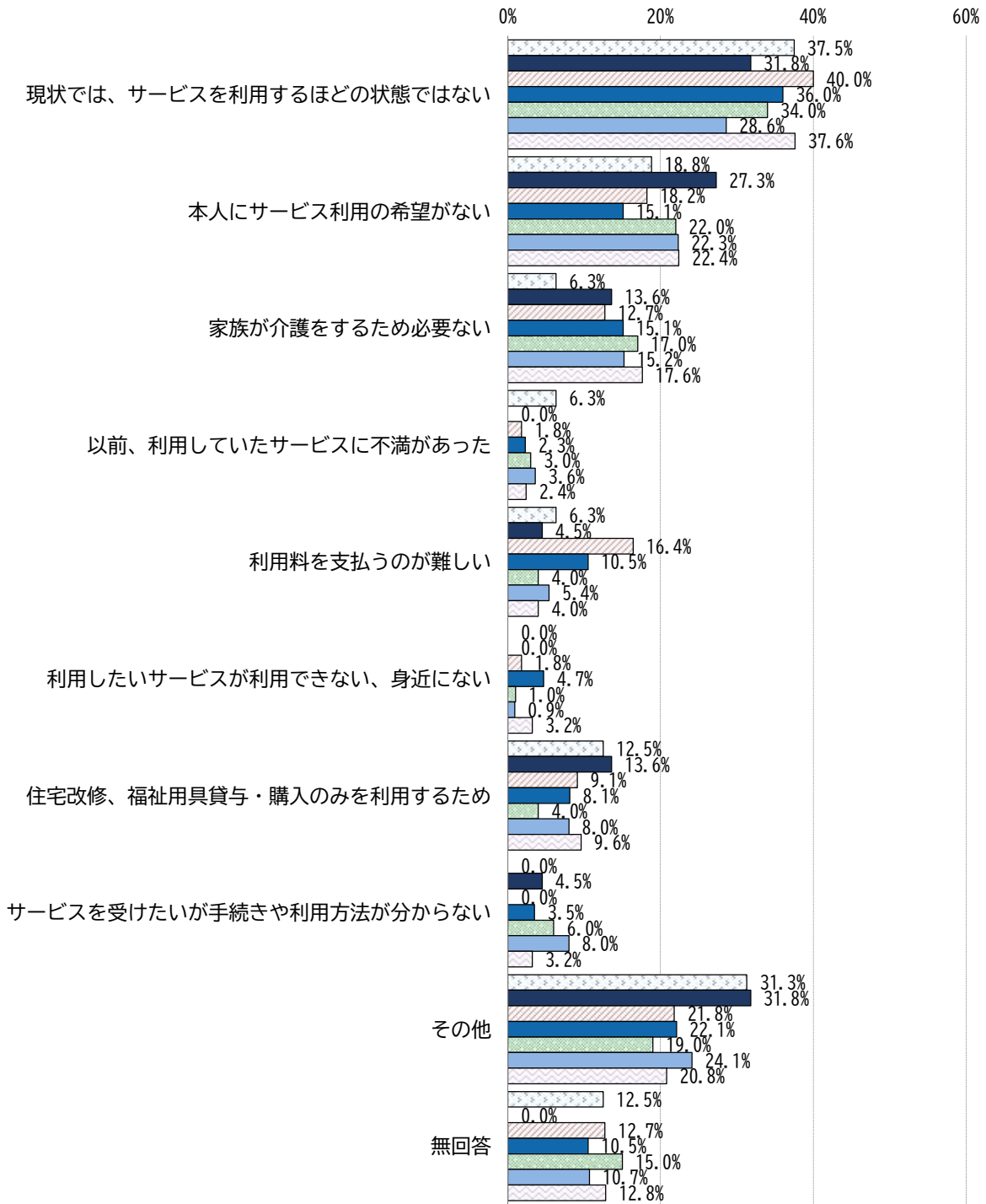


○在宅要支援





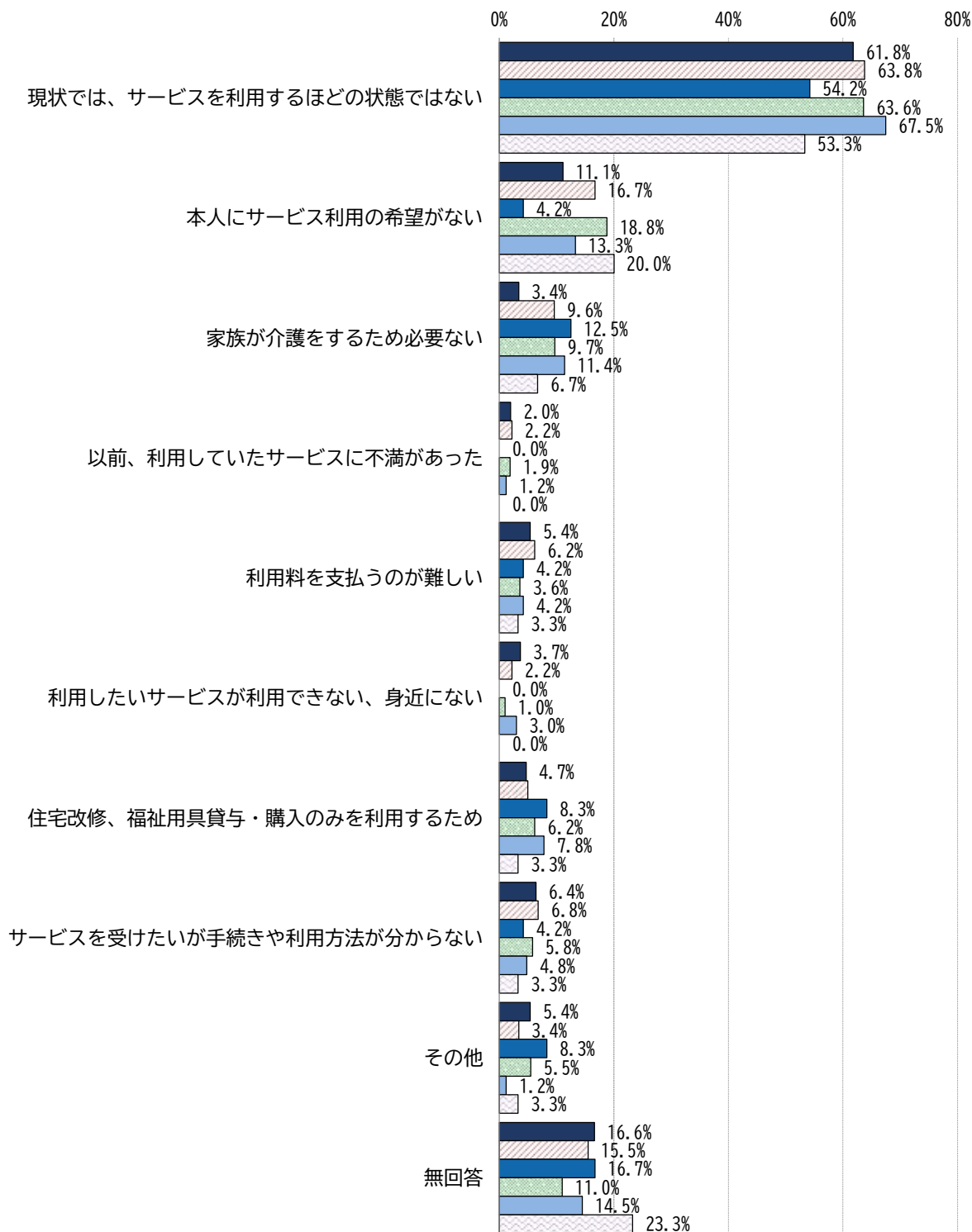
○在宅要介護



【家族構成別集計】



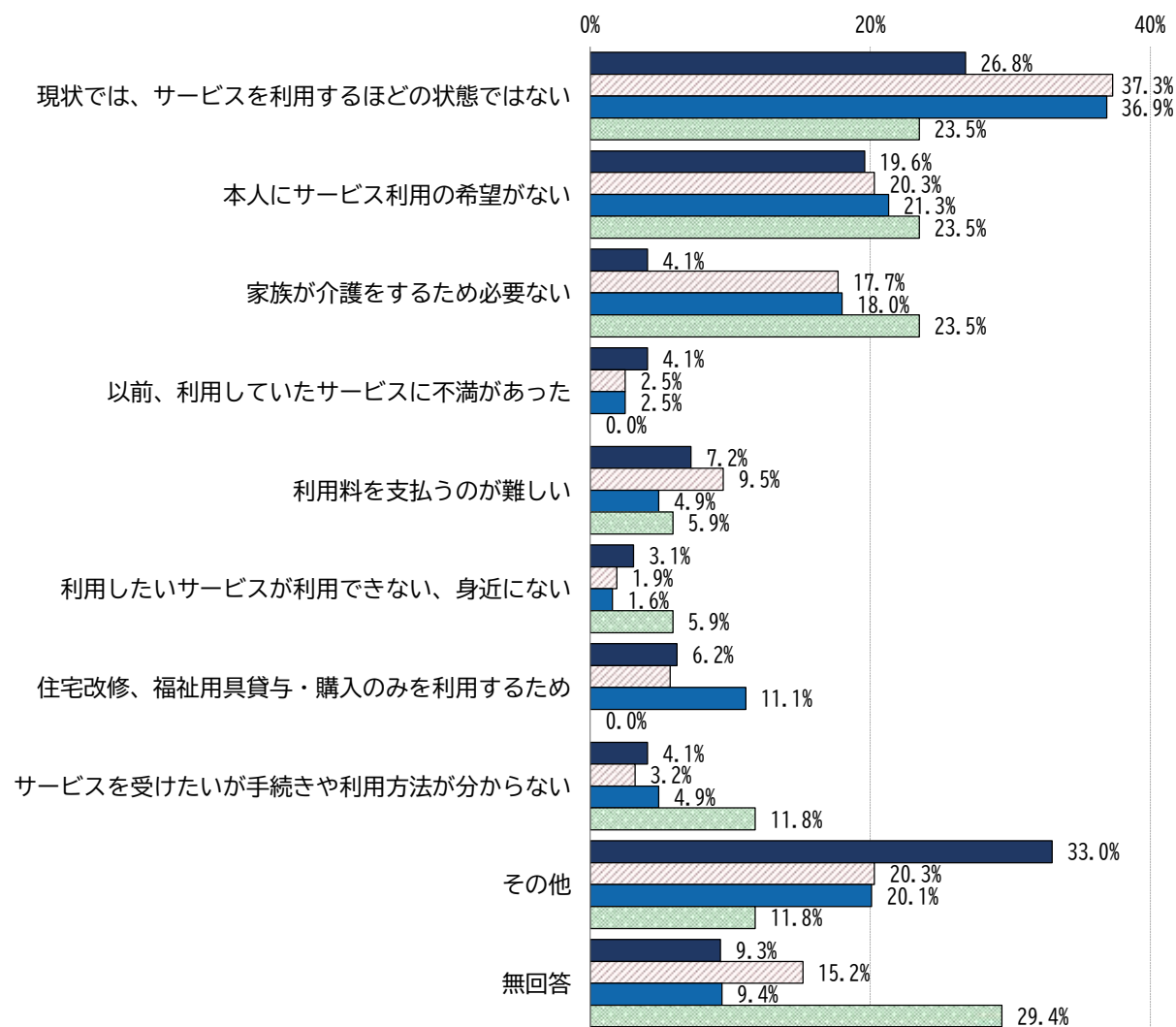
○在宅要支援



【家族構成別集計】



○在宅要介護





介護保険サービスの利用状況

前々問（介護保険サービスの利用有無）で「利用した」と回答した方にお伺いします。以下の介護保険サービスについて、令和4年11月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「1. 利用していない」を選択してください。（それぞれに○はひとつ）

<在宅要支援認定者調査 問64 ・ 在宅要介護認定者調査 問24>

【単純集計】

A. 訪問介護

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
利用していない	298	52.9%	545	55.6%
週1回程度	74	13.1%	63	6.4%
週2回程度	40	7.1%	48	4.9%
週3回程度	4	0.7%	37	3.8%
週4回程度	6	1.1%	19	1.9%
週5回以上	3	0.5%	52	5.3%
無回答	138	24.5%	216	22.0%
合 計	563	100.0%	980	100.0%

B. 訪問入浴介護

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
利用していない	387	68.7%	654	66.7%
週1回程度	3	0.5%	52	5.3%
週2回程度	4	0.7%	41	4.2%
週3回程度	1	0.2%	10	1.0%
週4回程度	0	0.0%	2	0.2%
週5回以上	0	0.0%	2	0.2%
無回答	168	29.8%	219	22.3%
合 計	563	100.0%	980	100.0%

C. 訪問看護

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
利用していない	349	62.0%	544	55.5%
週1回程度	34	6.0%	134	13.7%
週2回程度	8	1.4%	56	5.7%
週3回程度	2	0.4%	20	2.0%
週4回程度	2	0.4%	7	0.7%
週5回以上	0	0.0%	6	0.6%
無回答	168	29.8%	213	21.7%
合 計	563	100.0%	980	100.0%

介護保険サービスの利用状況

D. 訪問リハビリテーション

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
利用していない	339	60.2%	609	62.1%
週1回程度	45	8.0%	102	10.4%
週2回程度	24	4.3%	44	4.5%
週3回程度	3	0.5%	16	1.6%
週4回程度	1	0.2%	2	0.2%
週5回以上	0	0.0%	1	0.1%
無回答	151	26.8%	206	21.0%
合 計	563	100.0%	980	100.0%

E. 通所介護 (デイサービス)

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
利用していない	226	40.1%	285	29.1%
週1回程度	140	24.9%	73	7.4%
週2回程度	88	15.6%	131	13.4%
週3回程度	6	1.1%	188	19.2%
週4回程度	3	0.5%	81	8.3%
週5回以上	0	0.0%	98	10.0%
無回答	100	17.8%	124	12.7%
合 計	563	100.0%	980	100.0%

F. 通所リハビリテーション (デイケア)

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
利用していない	295	52.4%	546	55.7%
週1回程度	69	12.3%	49	5.0%
週2回程度	64	11.4%	68	6.9%
週3回程度	4	0.7%	59	6.0%
週4回程度	3	0.5%	27	2.8%
週5回以上	0	0.0%	22	2.2%
無回答	128	22.7%	209	21.3%
合 計	563	100.0%	980	100.0%

介護保険サービスの利用状況

G. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
利用していない			828	84.5%
利用した			39	4.0%
無回答			113	11.5%
合 計			980	100.0%

H. 小規模多機能型居宅介護

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
利用していない	446	79.2%	777	79.3%
利用した	5	0.9%	90	9.2%
無回答	112	19.9%	113	11.5%
合 計	563	100.0%	980	100.0%

I. 看護小規模多機能型居宅介護

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
利用していない			814	83.1%
利用した			40	4.1%
無回答			126	12.9%
合 計			980	100.0%

## 介護保険サービスの利用状況

## J. ショートステイ

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
利用していない	430	76.4%	647	66.0%
月1～7日程度	14	2.5%	137	14.0%
月8～14日程度	1	0.2%	58	5.9%
月15～21日程度	1	0.2%	23	2.3%
月22日以上	0	0.0%	33	3.4%
無回答	117	20.8%	82	8.4%
合 計	563	100.0%	980	100.0%

## K. 居宅療養管理指導

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
利用していない	435	77.3%	735	75.0%
月1回程度	4	0.7%	38	3.9%
月2回程度	7	1.2%	75	7.7%
月3回程度	0	0.0%	10	1.0%
月4回程度	1	0.2%	7	0.7%
無回答	116	20.6%	115	11.7%
合 計	563	100.0%	980	100.0%

ご家族等からの介護を受ける頻度

ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む。)(○はひとつ)

<在宅要支援認定者調査 問65 ・ 在宅要介護認定者調査 問25>

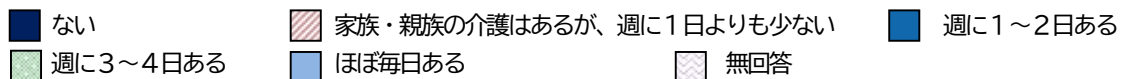
【単純集計】

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
ない	877	48.1%	352	22.5%
家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない	89	4.9%	73	4.7%
週に1～2日ある	132	7.2%	80	5.1%
週に3～4日ある	47	2.6%	76	4.9%
ほぼ毎日ある	203	11.1%	803	51.4%
無回答	475	26.1%	177	11.3%
合 計	1,823	100.0%	1,561	100.0%

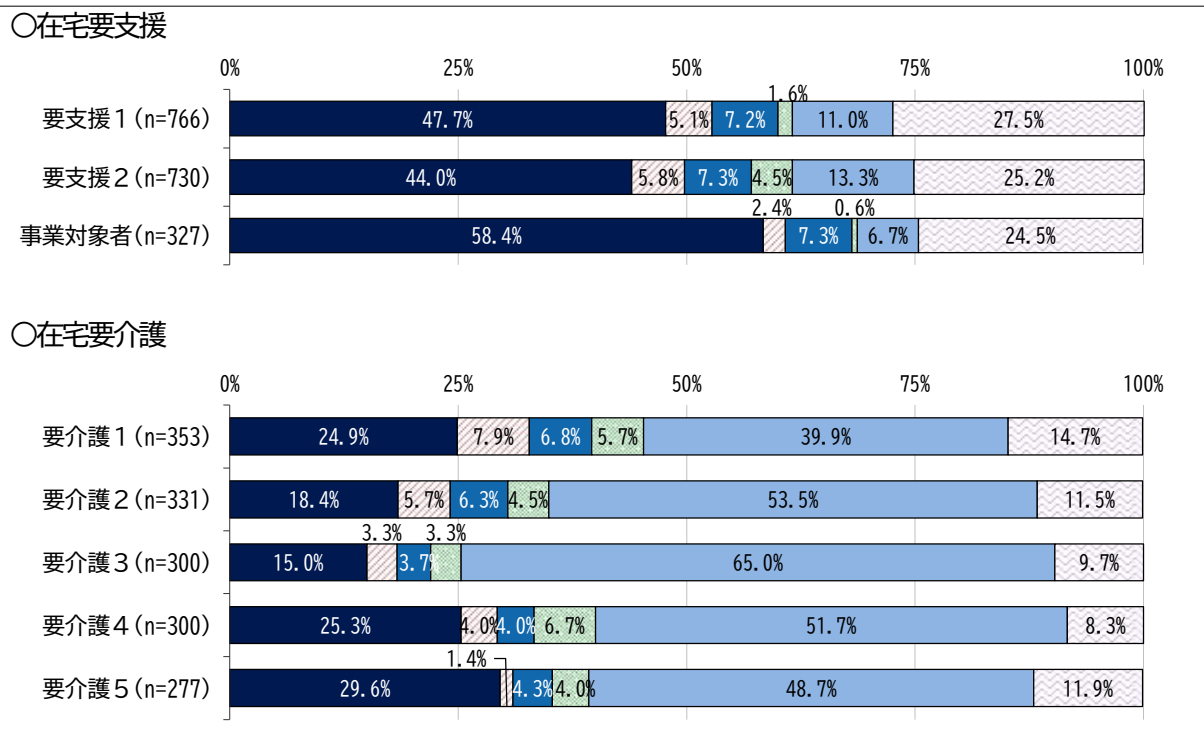
単純集計でみると、在宅要支援認定者では「ない」の割合が高く、在宅要介護認定者では「ほぼ毎日ある」の割合が高くなっています。

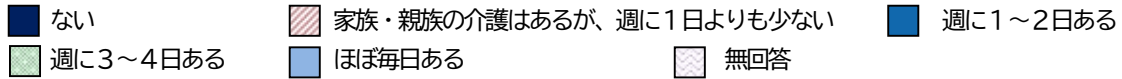
要介護度別でみると、在宅要支援認定者では、他の介護度に比べて事業対象者は「ない」の割合が最も高く、次いで要支援1が続いています。

家族構成別でみると、在宅要介護認定者では、「ない」の割合は単身世帯が最も高くなっています。



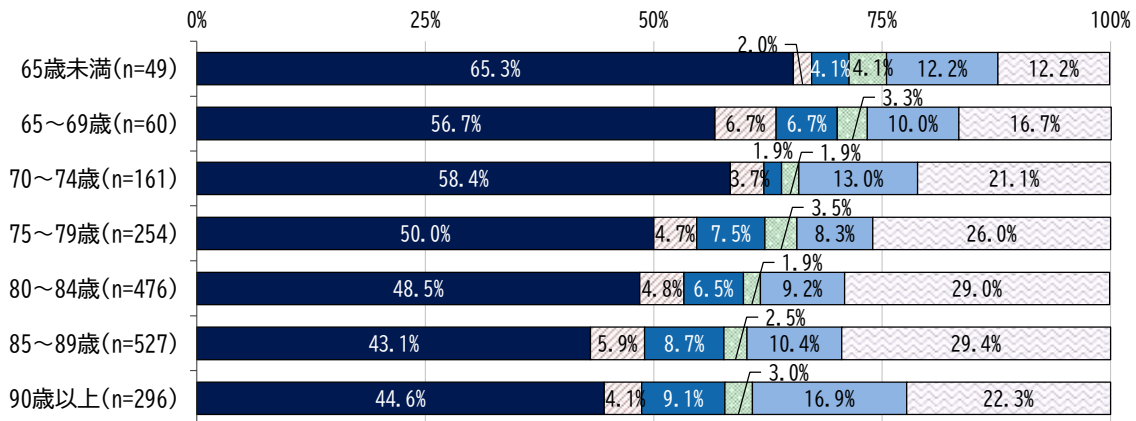
【要介護度別集計】



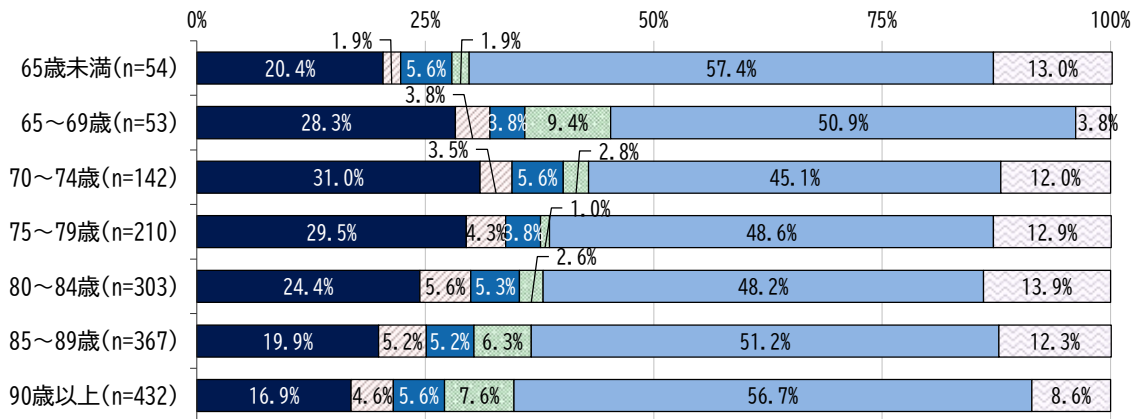


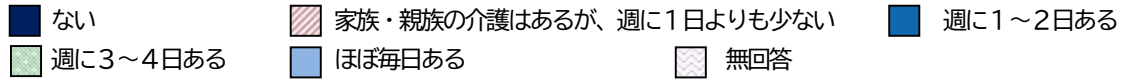
【年齢別集計】

○在宅要支援



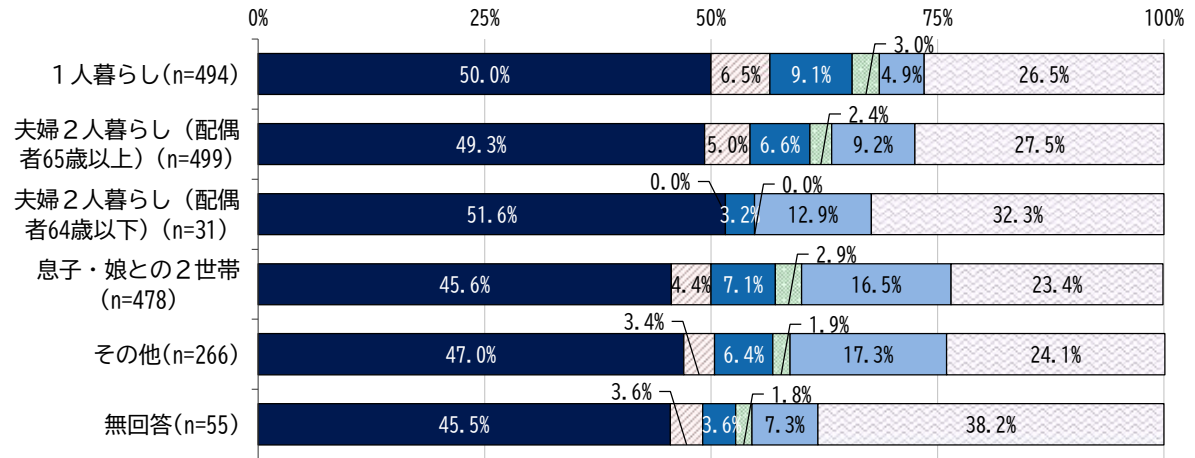
○在宅要介護



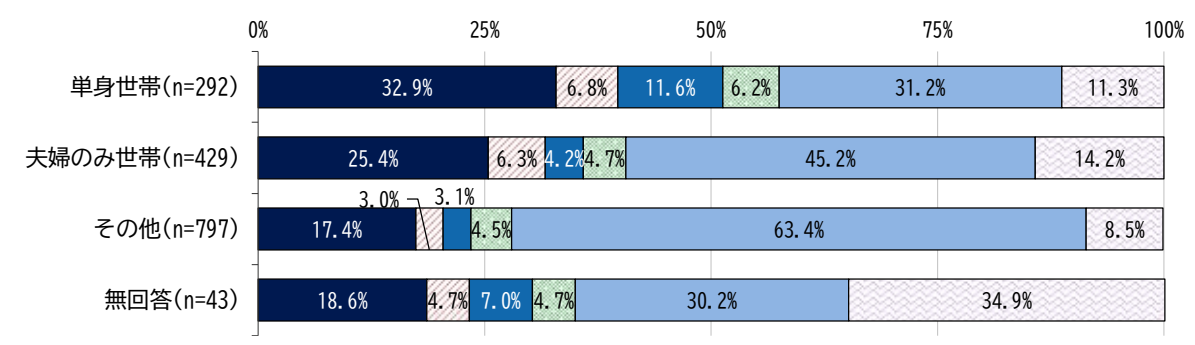


【家族構成別集計】

○在宅要支援



○在宅要介護





介護者の年齢

次の問 66 (問 26) からは、同居・別居を問わず、主な介護者の方がお答えください。

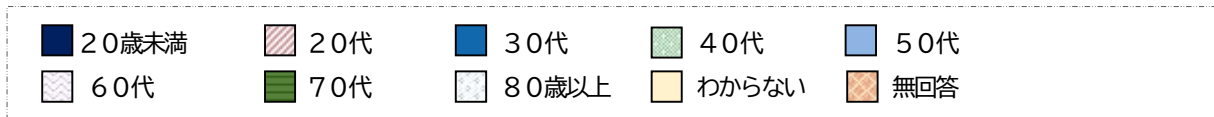
主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(〇はひとつ)

<在宅要支援認定者調査 問66 ・ 在宅要介護認定者調査 問26>

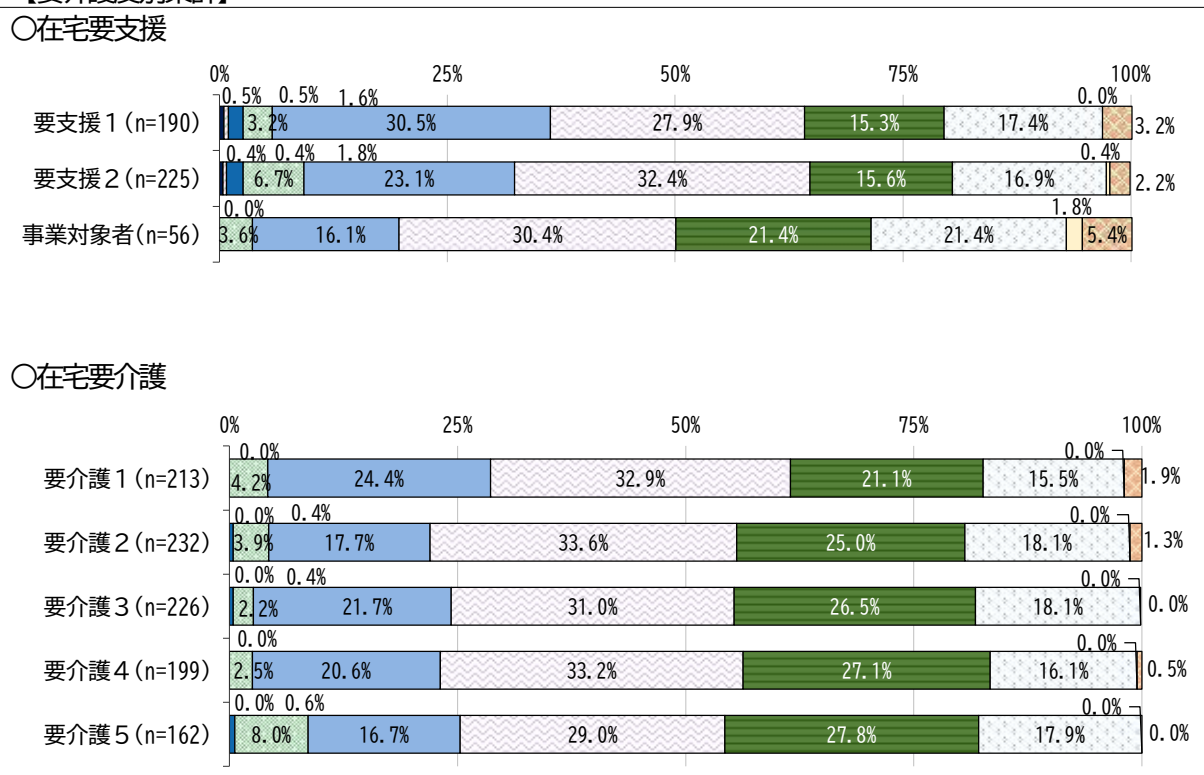
【単純集計】

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
20歳未満	2	0.4%	0	0.0%
20代	2	0.4%	0	0.0%
30代	7	1.5%	3	0.3%
40代	23	4.9%	41	4.0%
50代	119	25.3%	210	20.3%
60代	143	30.4%	331	32.1%
70代	76	16.1%	262	25.4%
80歳以上	83	17.6%	177	17.2%
わからない	2	0.4%	0	0.0%
無回答	14	3.0%	8	0.8%
合 計	471	100.0%	1,032	100.0%

単純集計で見ると、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者ともに「60代」の割合が高くなっています。要介護度別で見ると、在宅要支援認定者では、事業対象者の「70代」「80代」の割合が多くなっています。



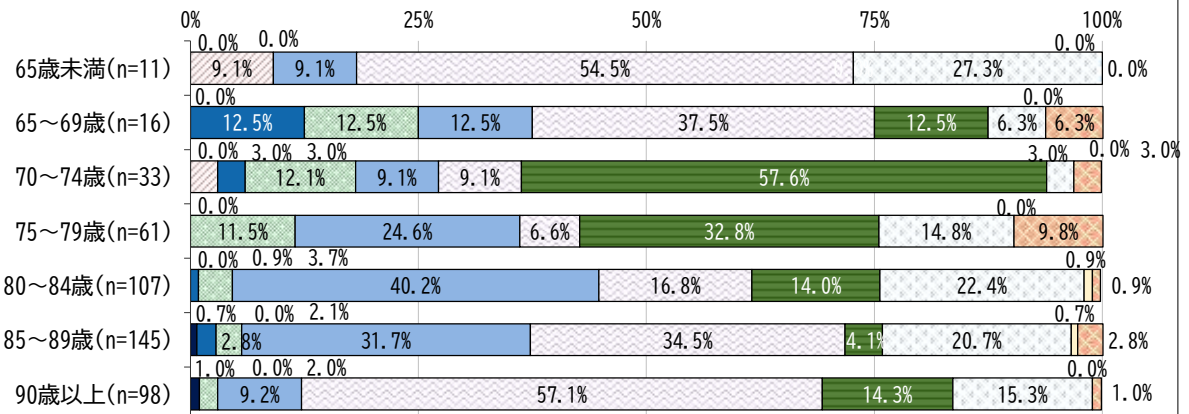
【要介護度別集計】



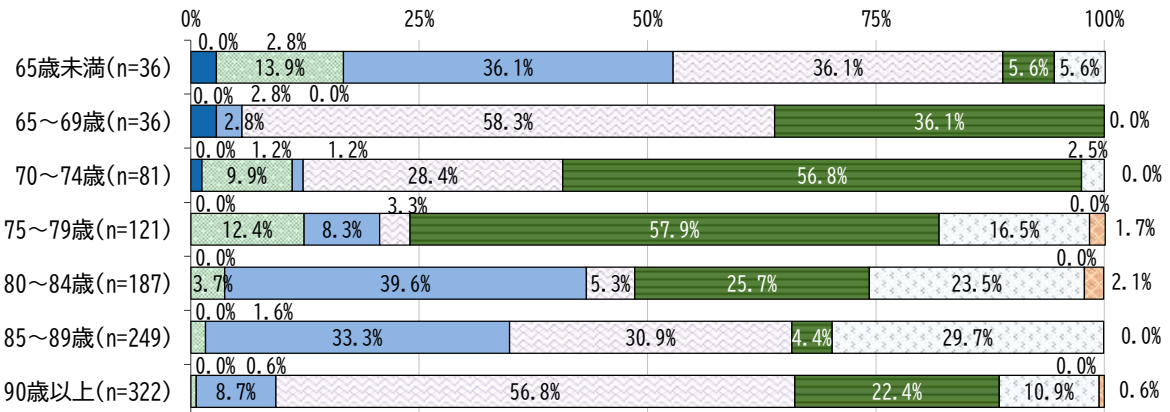


【年齢別集計】

○在宅要支援



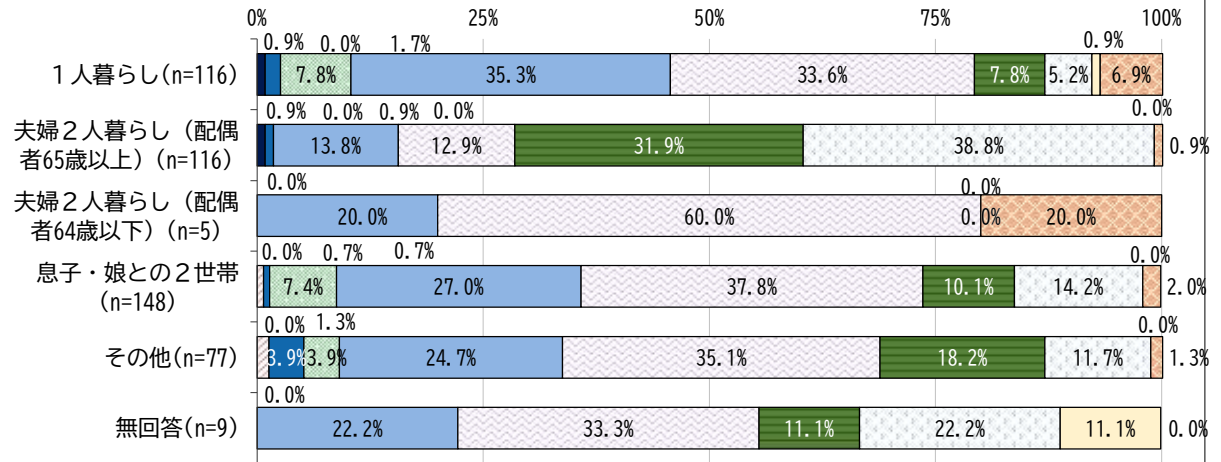
○在宅要介護



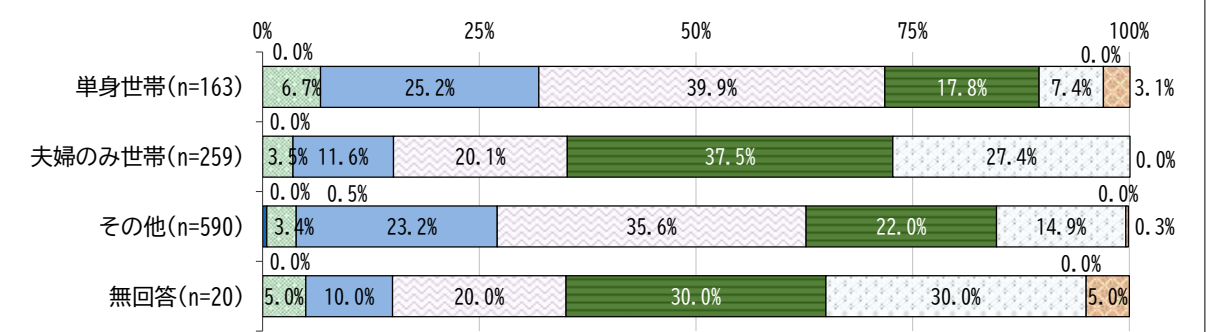


【家族構成別集計】

○在宅要支援



○在宅要介護



介護のための離職

ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者様）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（○はいくつでも）

<在宅要支援認定者調査 問67 ・ 在宅要介護認定者調査 問27>

【単純集計】

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）	33	7.0%	117	11.3%
主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）	3	0.6%	22	2.1%
主な介護者が転職した	11	2.3%	25	2.4%
主な介護者以外の家族・親族が転職した	3	0.6%	8	0.8%
介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	333	70.7%	748	72.5%
わからない	39	8.3%	32	3.1%
無回答	53	11.3%	88	8.5%
回 答 数	471	100.0%	1,032	100.0%

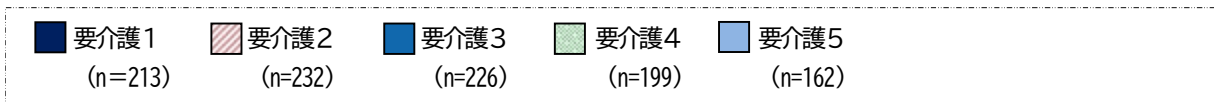
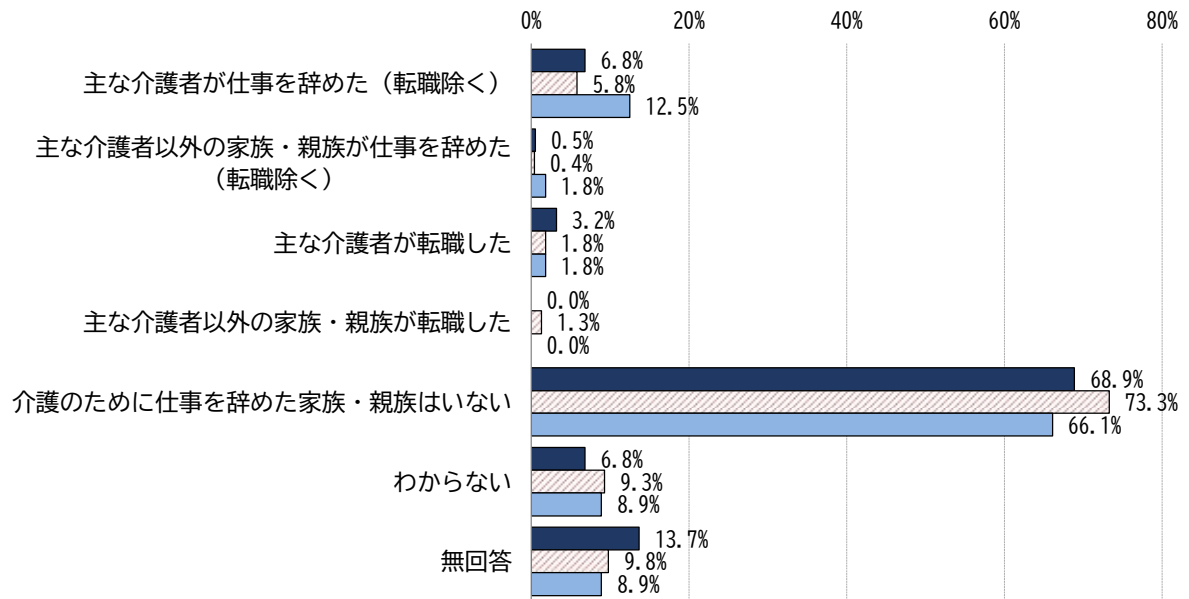
単純集計でみると、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者ともに「介護のために仕事を辞めた家族・親はいない」の割合が高くなっていますが、在宅要介護認定者では約1割が「主な介護者が仕事を辞めた」と回答しています。

要介護度別でみると、他の介護度に比べて要介護2～4では「主な介護者が仕事を辞めた」の割合が約1割を超えています。

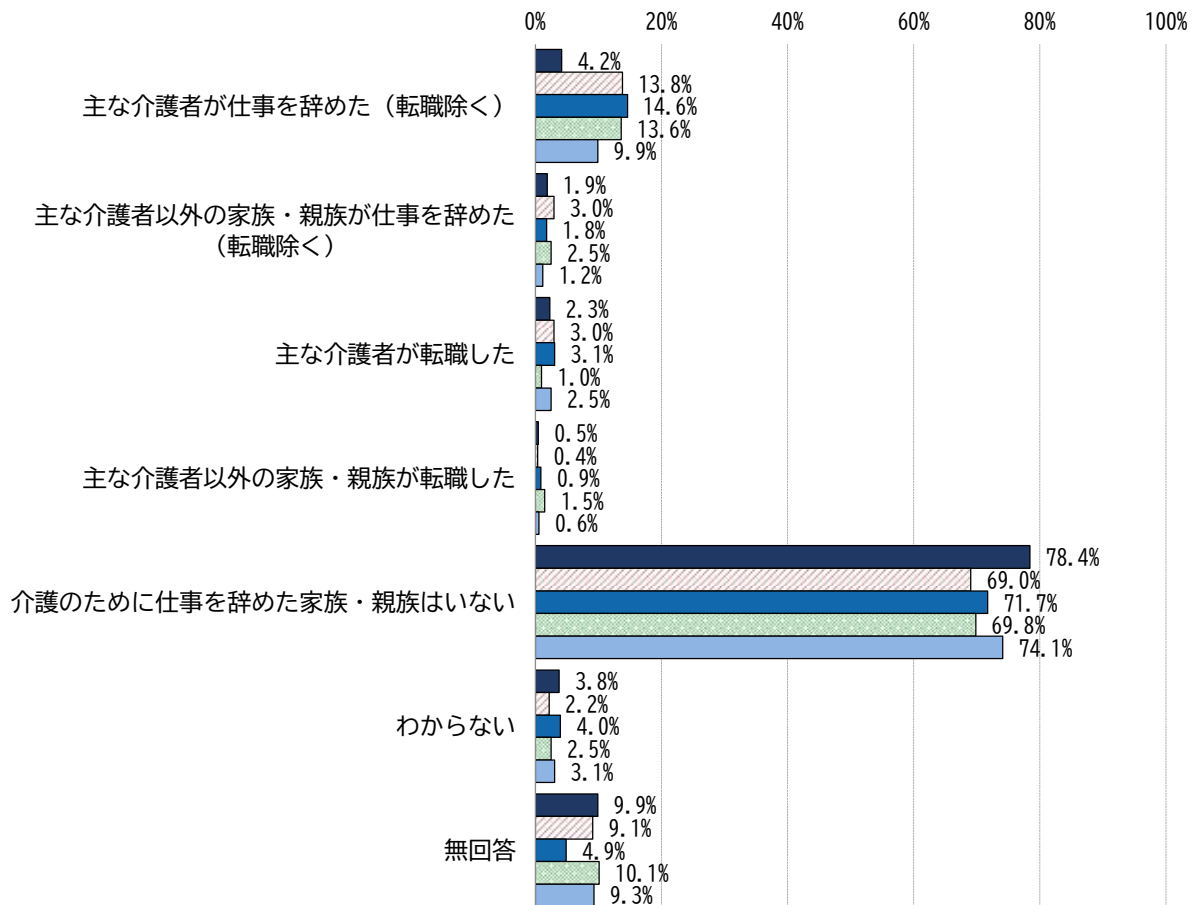
【要介護度別集計】



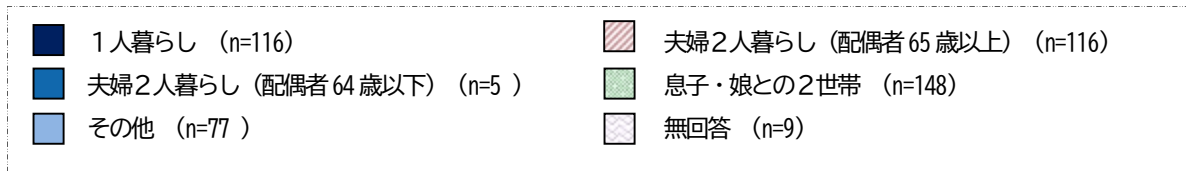
○在宅要支援



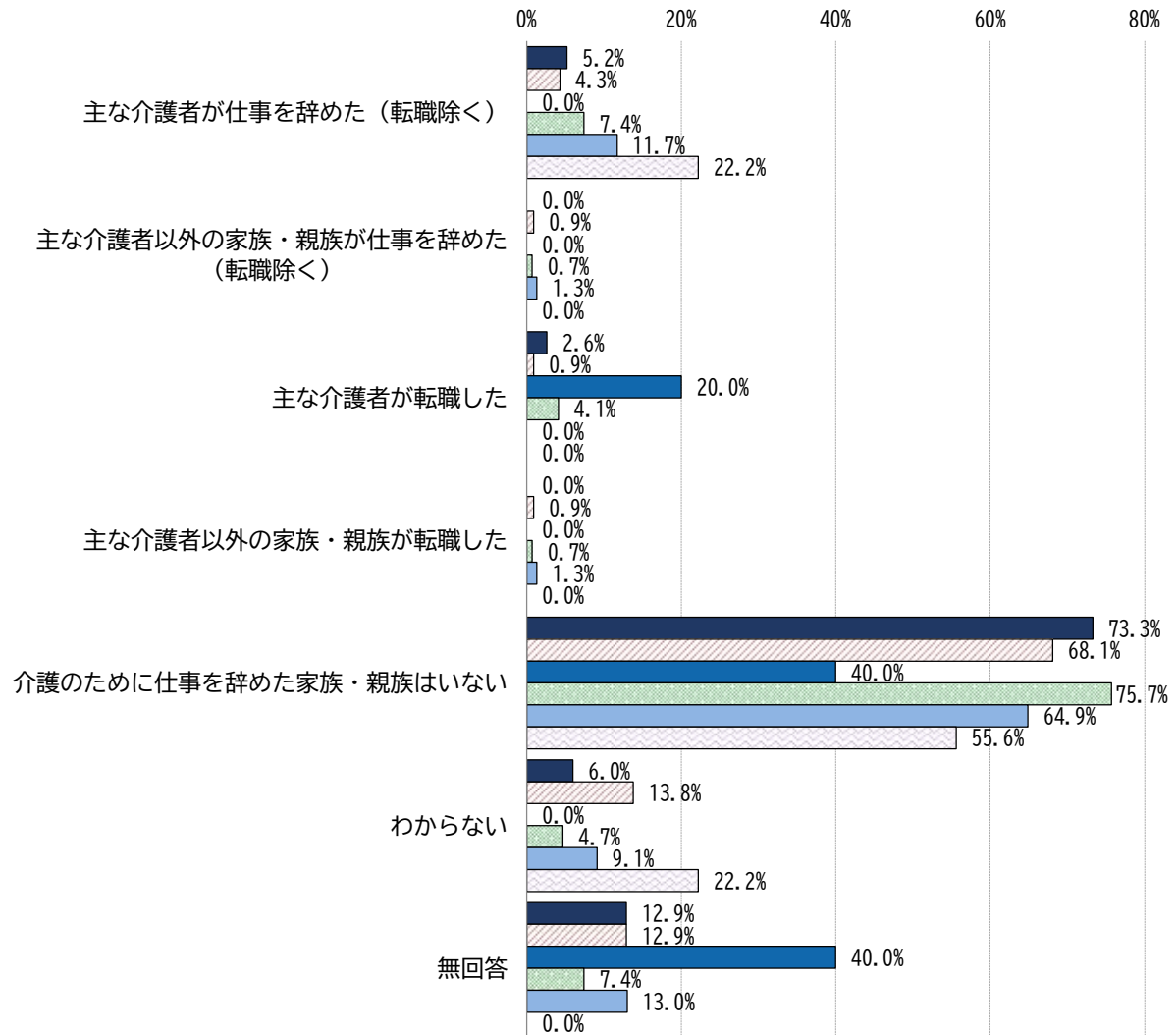
○在宅要介護



【家族構成別集計】



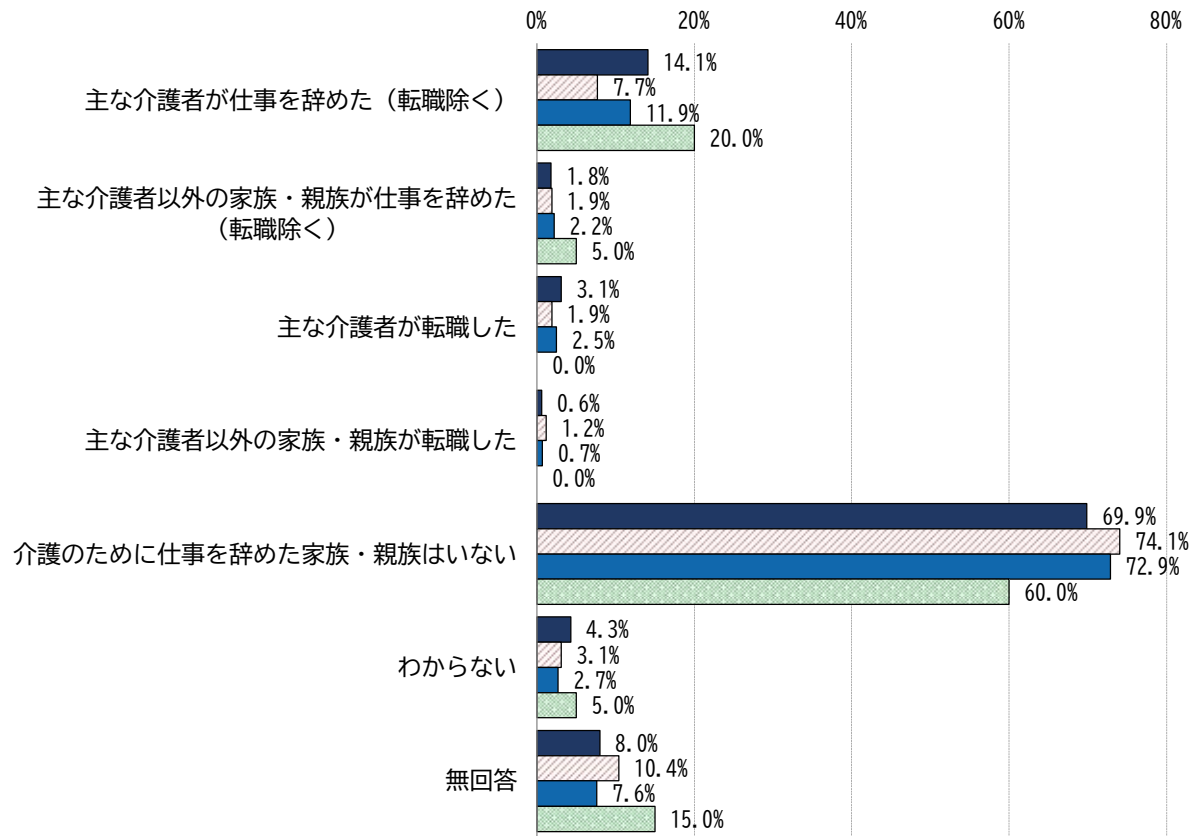
○在宅要支援



【家族構成別集計】



○在宅要介護



介護者の勤務形態

主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(〇はひとつ)

<在宅要支援認定者調査 問68 ・ 在宅要介護認定者調査 問28>

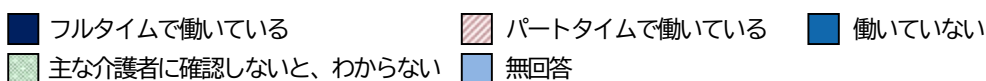
【単純集計】

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
フルタイムで働いている	116	24.6%	232	22.5%
パートタイムで働いている	103	21.9%	207	20.1%
働いていない	203	43.1%	554	53.7%
主な介護者に確認しないと、わからない	10	2.1%	6	0.6%
無回答	39	8.3%	33	3.2%
合 計	471	100.0%	1,032	100.0%

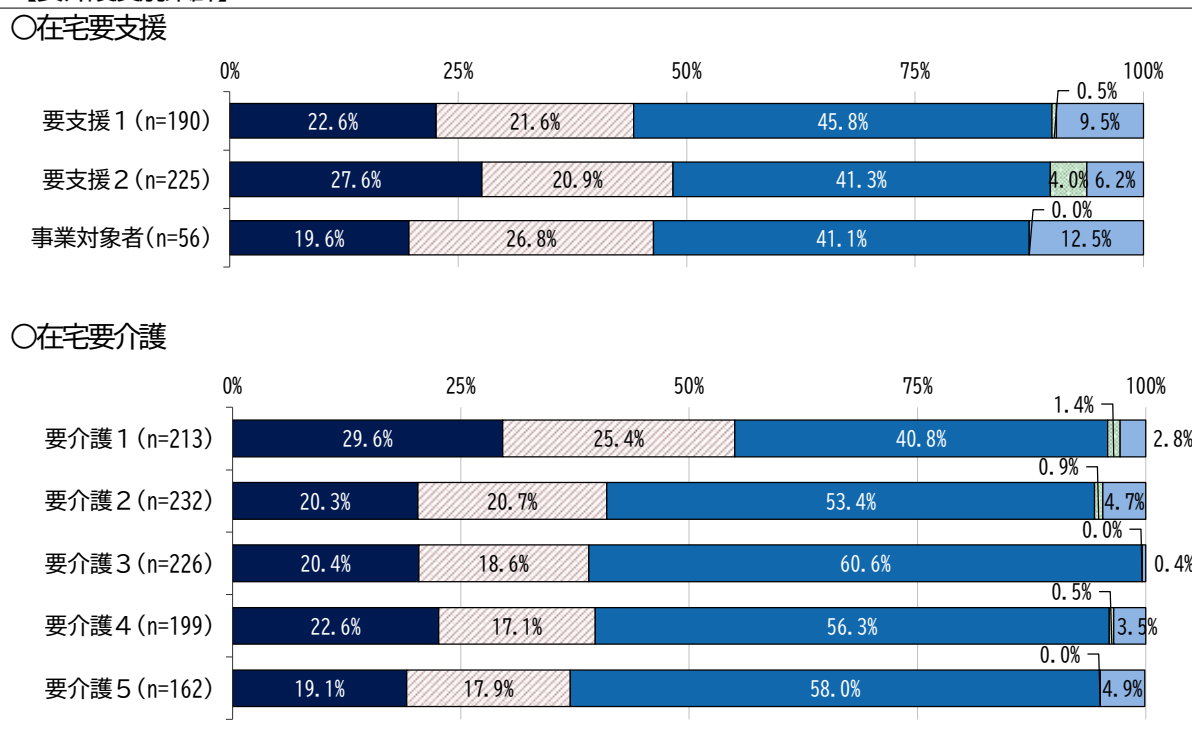
単純集計でみると、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者ともに「働いていない」の割合が高くなっています。

要介護度別でみると、要介護1は「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」をあわせた割合が5割を超えているが、要介護2～4では4割程度となっています。

家族構成別でみると、在宅要介護認定者では、他の家族構成に比べて夫婦のみ世帯は「働いていない」の割合が高くなっています。



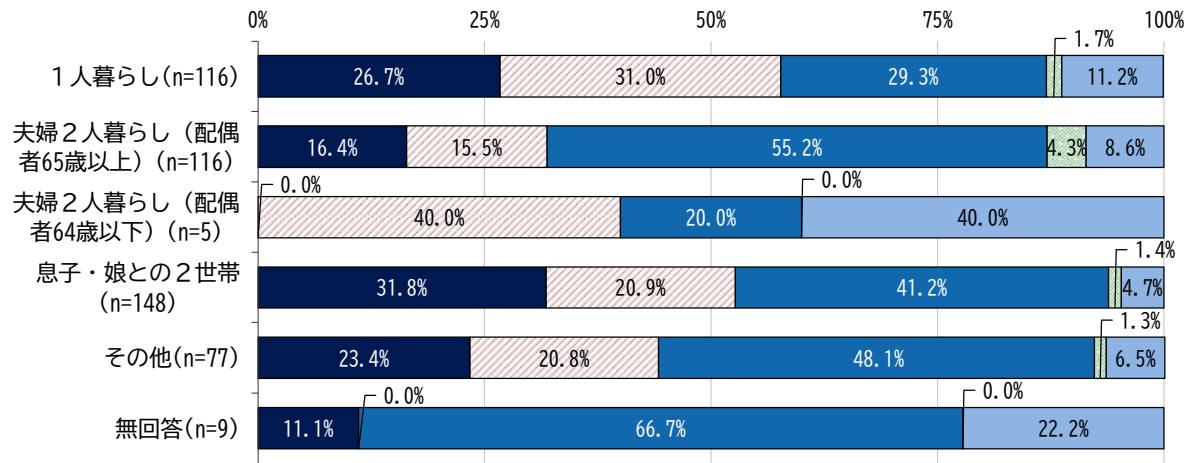
【要介護度別集計】



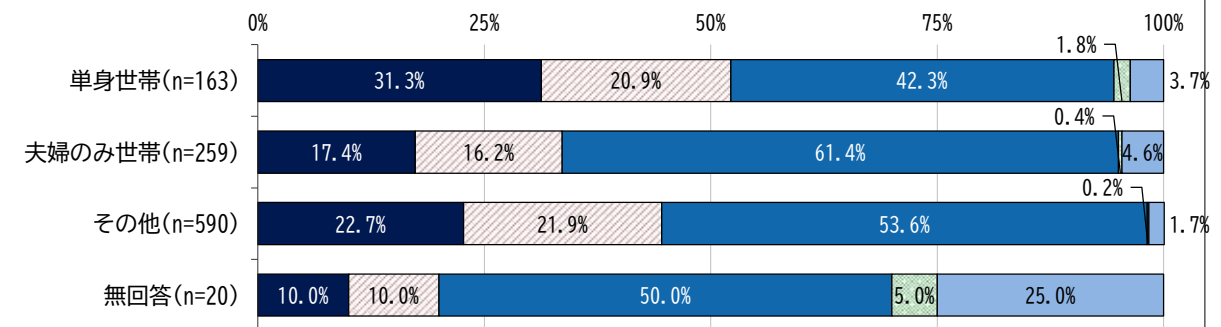


【家族構成別集計】

○在宅要支援



○在宅要介護



介護者の働き方

前問で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(〇はいいくつでも)  
 <在宅要支援認定者調査 問69 ・ 在宅要介護認定者調査 問29>

【単純集計】

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
1. 特に行っていない	119	54.3%	141	32.1%
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早出・中抜け等)」しながら、働いている	56	25.6%	182	41.5%
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている	36	16.4%	94	21.4%
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	5	2.3%	31	7.1%
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている	25	11.4%	62	14.1%
6. 主な介護者に確認しないと、わからない	4	1.8%	1	0.2%
無回答	5	2.3%	5	1.1%
回 答 数	219	100.0%	439	100.0%

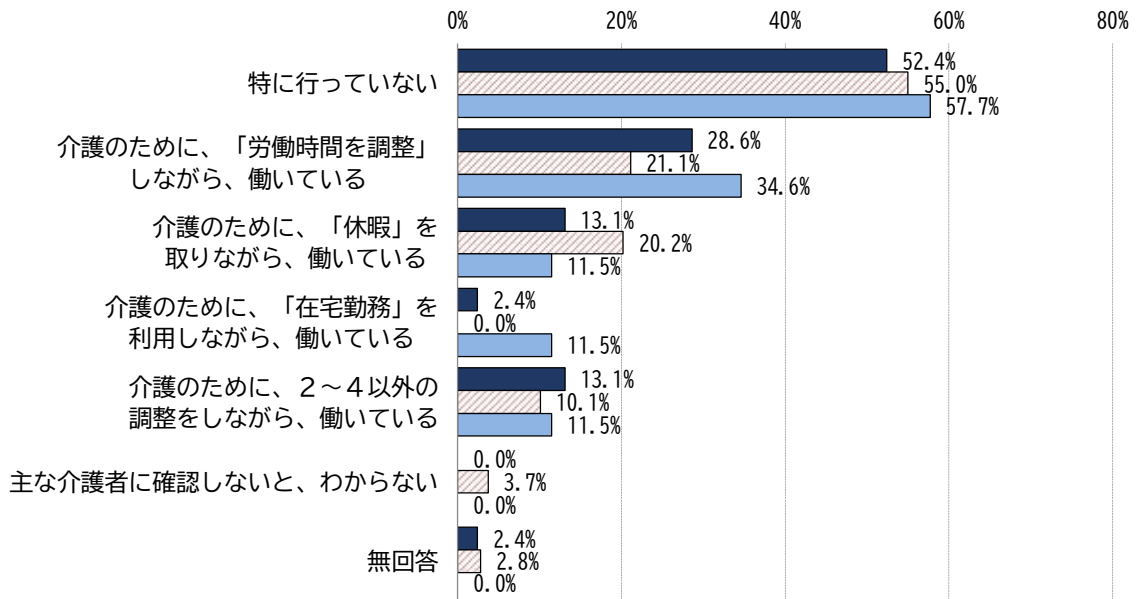
単純集計でみると、在宅要支援認定者では、「特に行っていない」の割合が最も高く、次いで「介護のために、労働時間を調整しながら、働いている」の割合が高くなっています。在宅要介護認定者では、「介護のために、労働時間を調整しながら、働いている」の割合が最も多く、次いで「特に行っていない」の割合が高くなっています。

要介護度別でみると、在宅要介護認定者では、介護度が上がるにつれて「介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている」の割合が低くなる傾向がみられます。

【要介護度別集計】

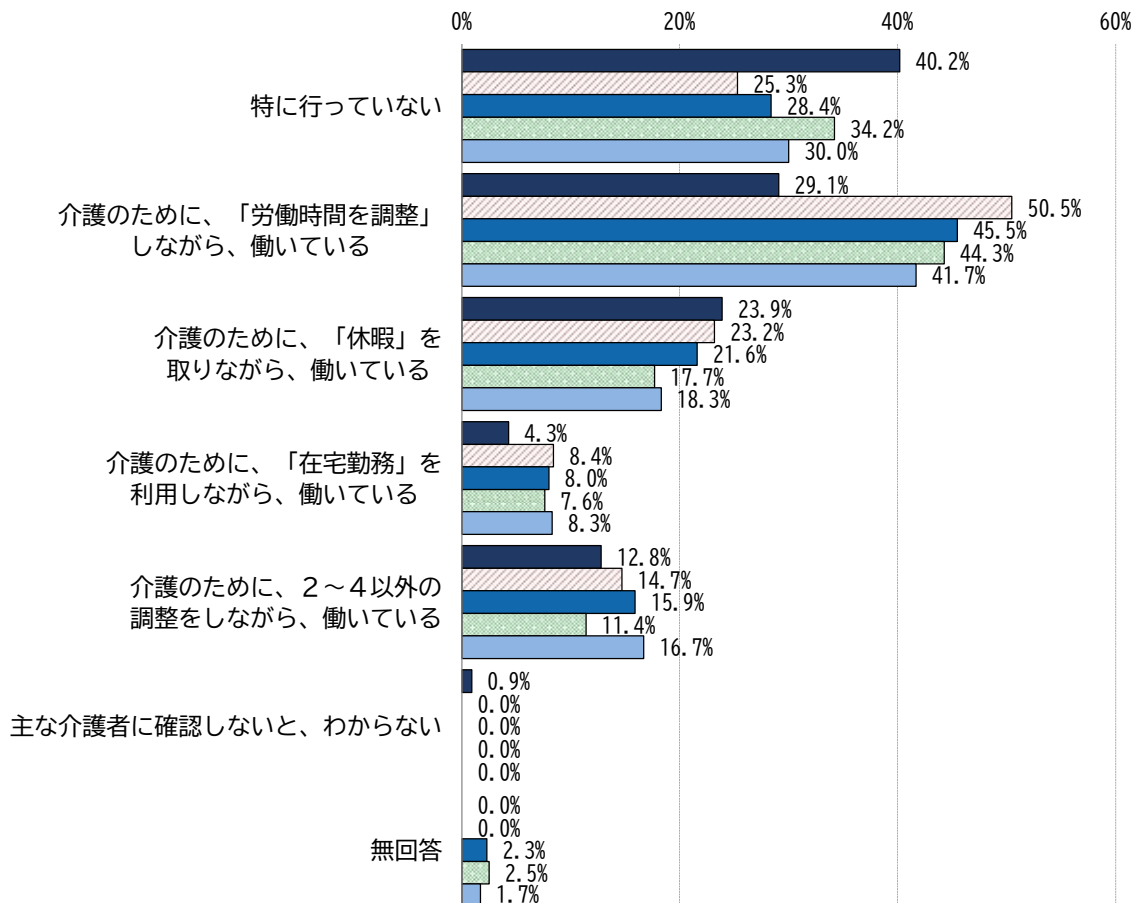
■ 要支援1 (n=84)    ▨ 要支援2 (n=109)    ■ 事業対象者 (n=26)

○在宅要支援

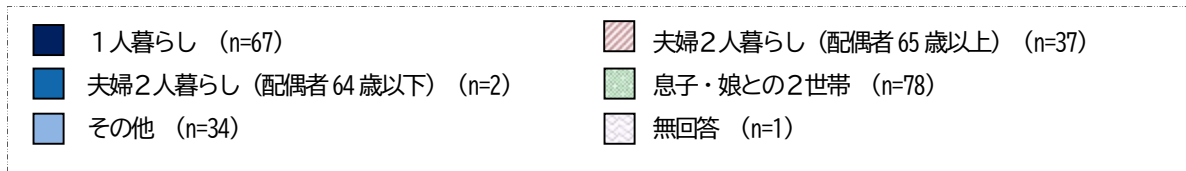


■ 要介護1 (n=117)    ▨ 要介護2 (n=95)    ■ 要介護3 (n=88)    ▨ 要介護4 (n=79)    ■ 要介護5 (n=60)

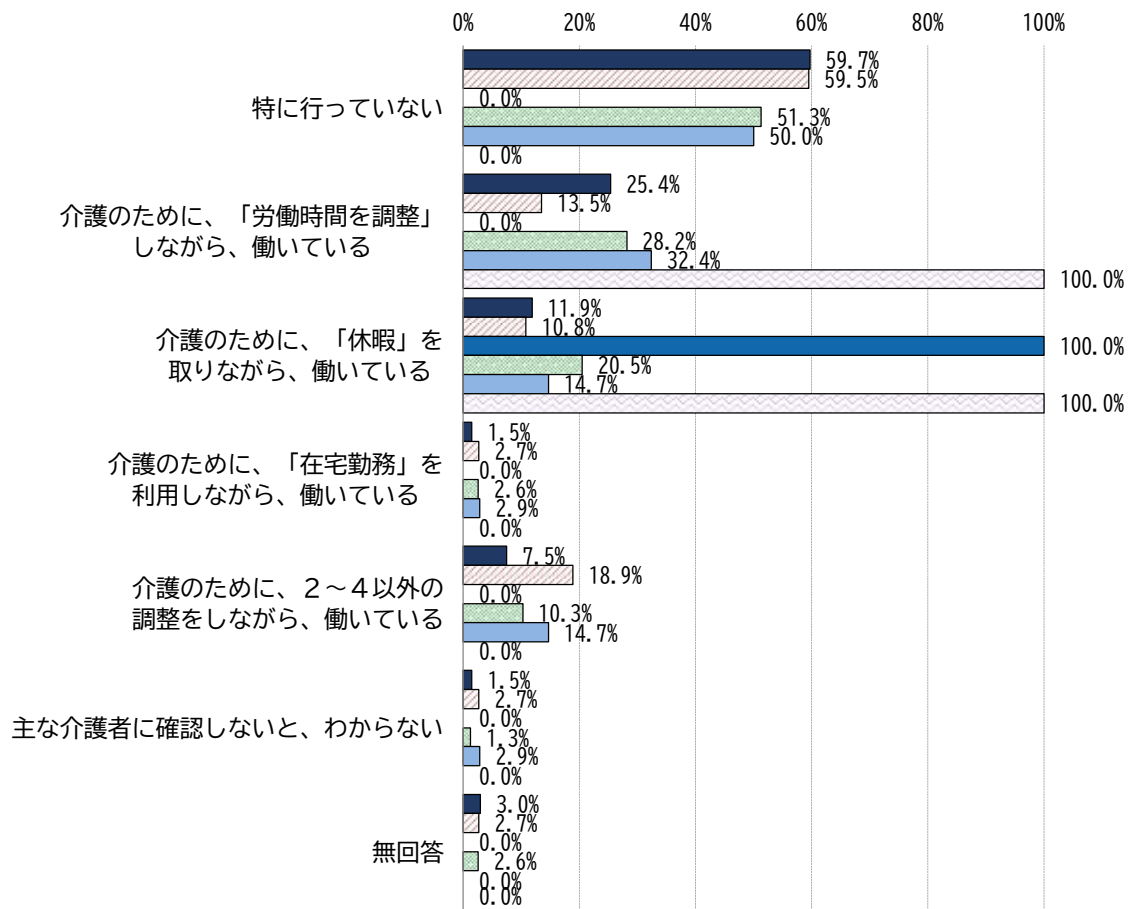
○在宅要介護



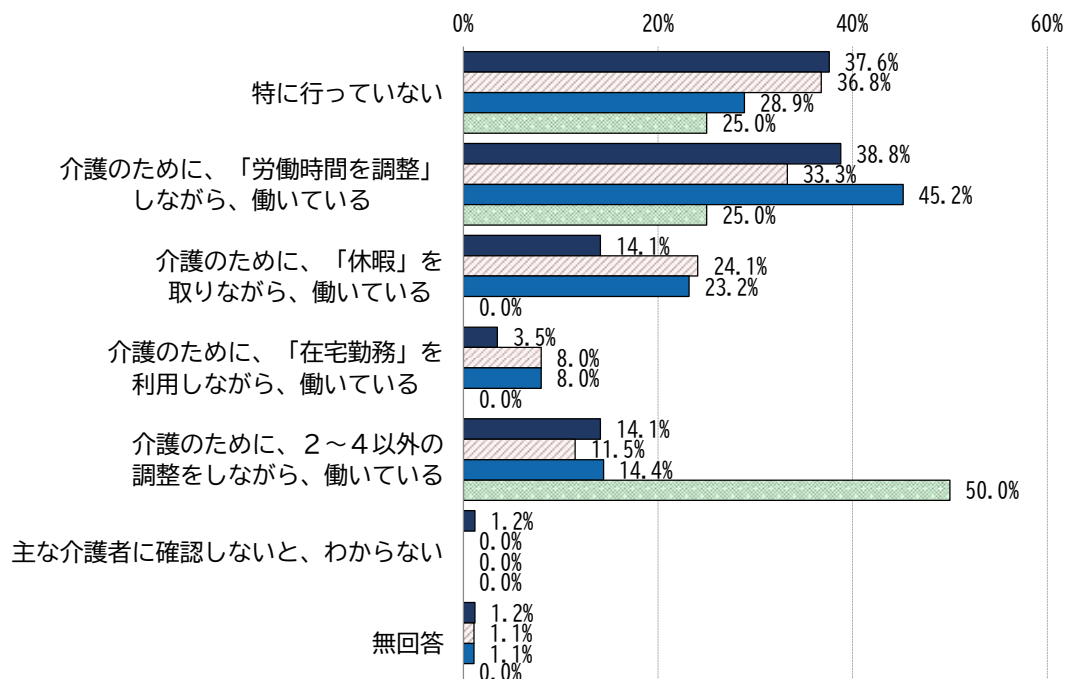
【家族構成別集計】



○在宅要支援



○在宅要介護



介護者は働きながら介護を継続できそうか

前々問で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。  
 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(○はひとつ)

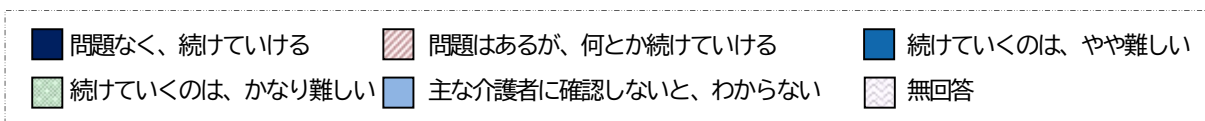
<在宅要支援認定者調査 問70 ・ 在宅要介護認定者調査 問30>

【単純集計】

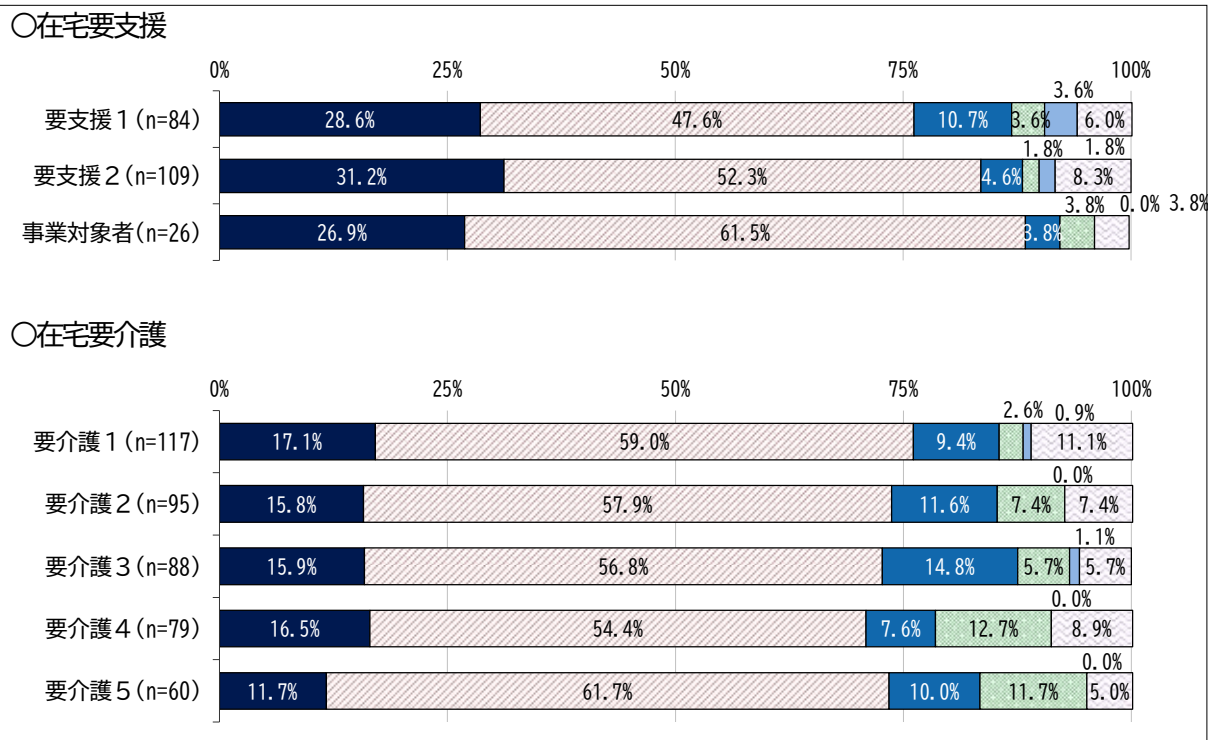
回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
問題なく、続けていける	65	29.7%	69	15.7%
問題はあるが、何とか続けていける	113	51.6%	254	57.9%
続けていくのは、やや難しい	15	6.8%	47	10.7%
続けていくのは、かなり難しい	6	2.7%	32	7.3%
主な介護者に確認しないと、わからない	5	2.3%	2	0.5%
無回答	15	6.8%	35	8.0%
合 計	219	100.0%	439	100.0%

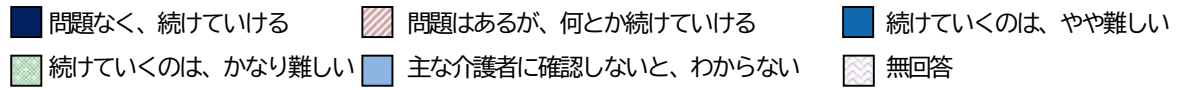
単純集計でみると、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者ともに、「問題はあるが、何とか続けている」の割合が最も高く5割を超えています。

要介護度別でみると、事業対象者及び要介護4以上では「続けていくのは、かなり難しい」の割合が1割を超えています。



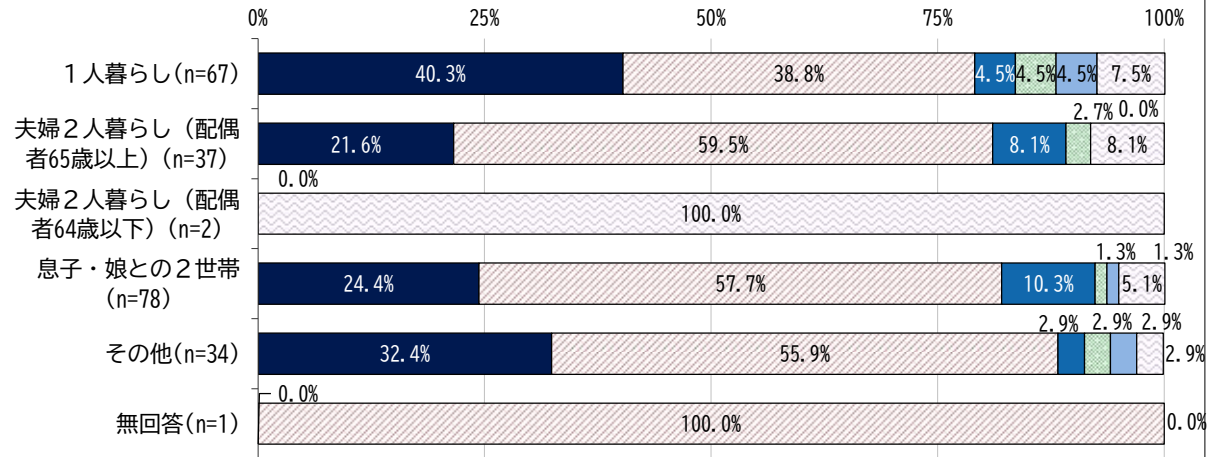
【要介護度別集計】



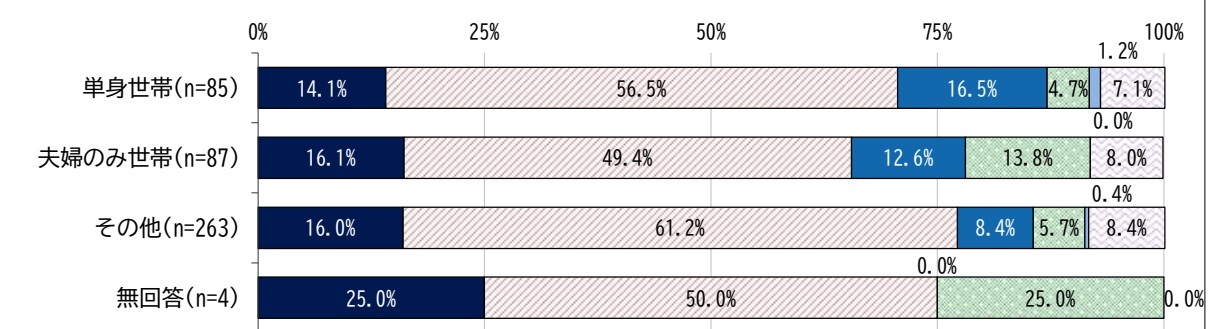


【家族構成別集計】

○在宅要支援



○在宅要介護



介護する上での困りごと

あなたが介護する上で困っていることは何ですか。(〇は3つまで)

<在宅要支援認定者調査 問71 ・ 在宅要介護認定者調査 問31>

【単純集計】

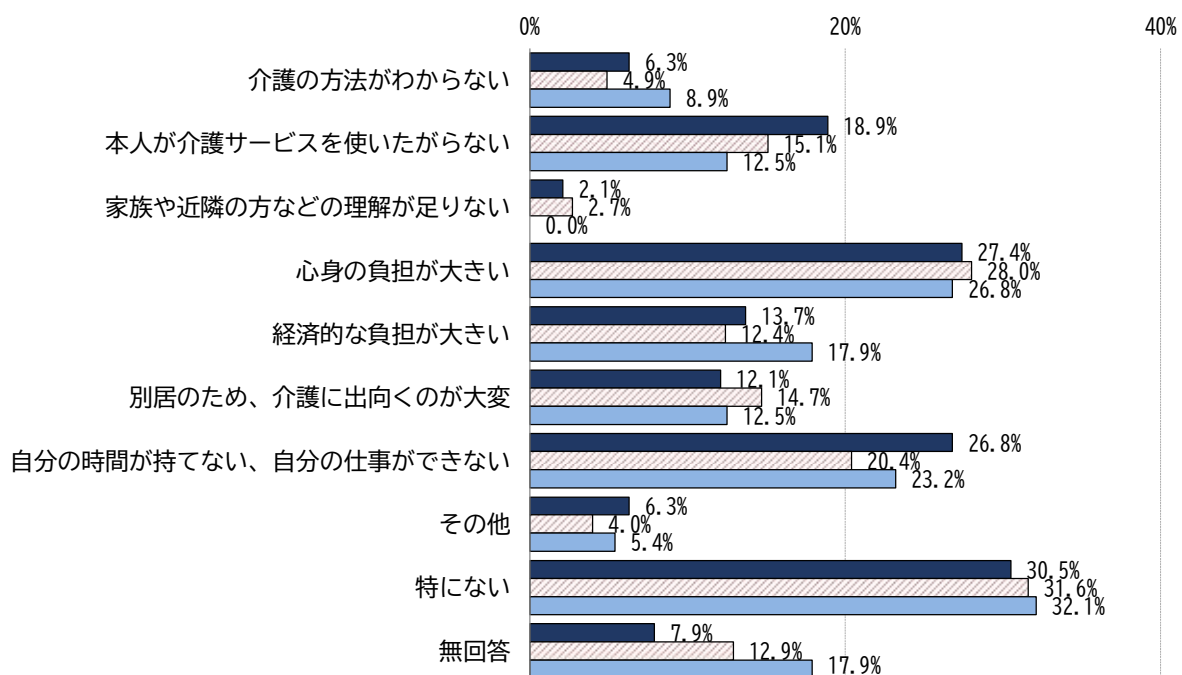
回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
介護の方法がわからない	28	5.9%	37	3.6%
本人が介護サービスを使いたがらない	77	16.3%	118	11.4%
家族や近隣の方などの理解が足りない	10	2.1%	35	3.4%
心身の負担が大きい	130	27.6%	604	58.5%
経済的な負担が大きい	64	13.6%	304	29.5%
別居のため、介護に出向くのが大変	63	13.4%	81	7.8%
自分の時間が持てない、自分の仕事ができない	110	23.4%	413	40.0%
その他	24	5.1%	88	8.5%
特にない	147	31.2%	136	13.2%
無回答	54	11.5%	60	5.8%
回 答 数	471	-	1,032	-

単純集計でみると、在宅要支援認定者では、「特にない」の割合が最も高く、ついで「心身の負担が大きい」「自分の時間が持てない、自分の仕事ができない」となっています。在宅要介護認定者では、「心身の負担が大きい」の割合が最も高く、ついで「自分の時間が持てない、自分の仕事ができない」「経済的な負担が大きい」となっています。

【要介護度別集計】

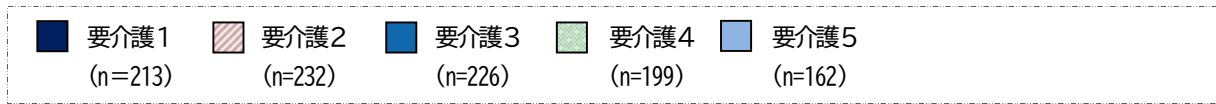


○在宅要支援

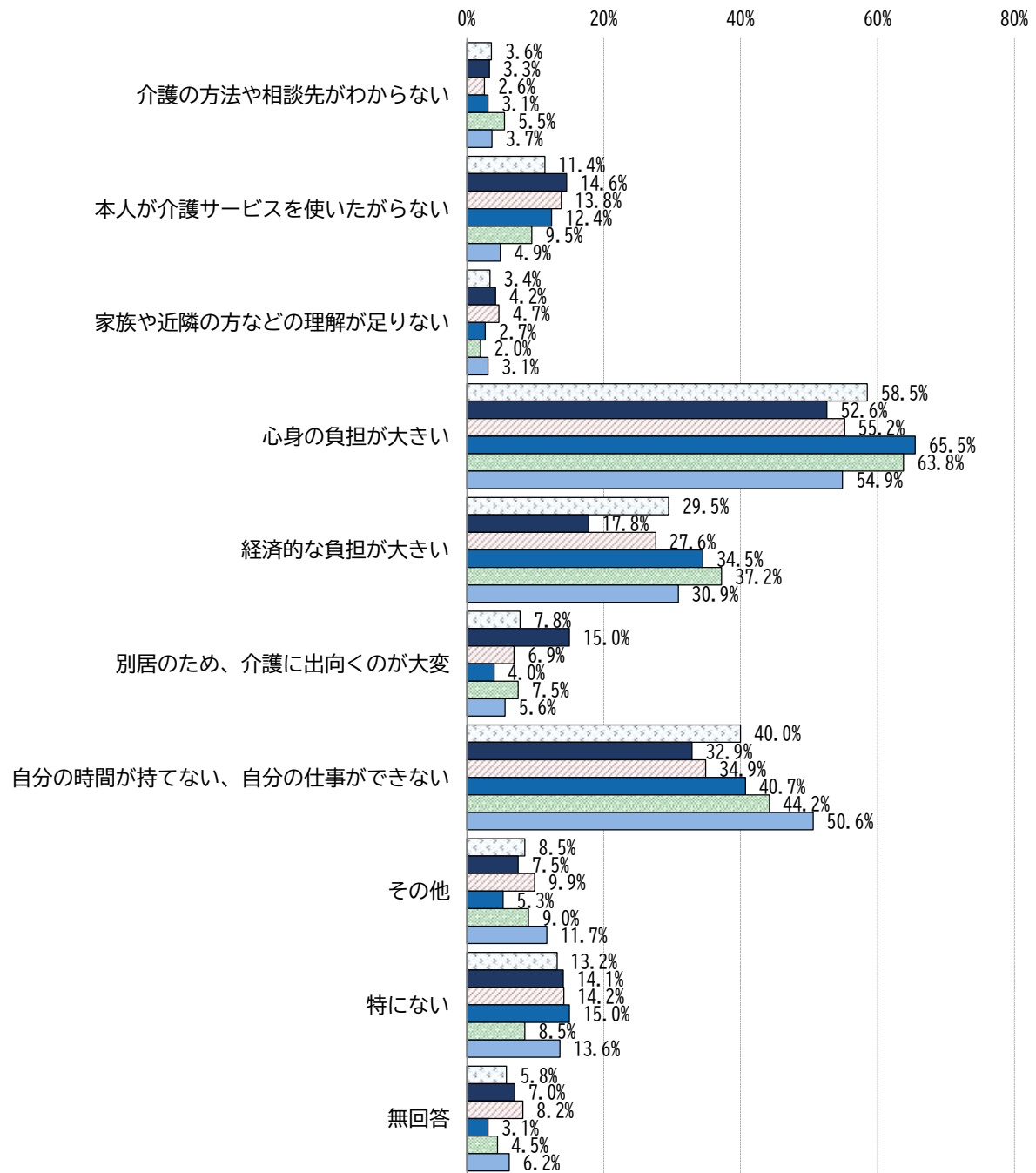




【要介護度別集計】

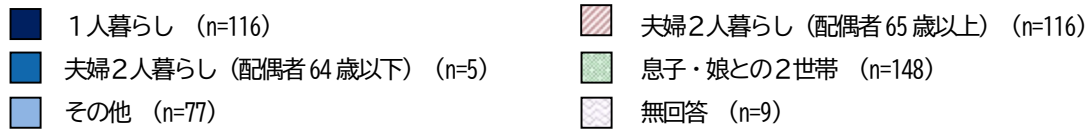


○在宅要介護

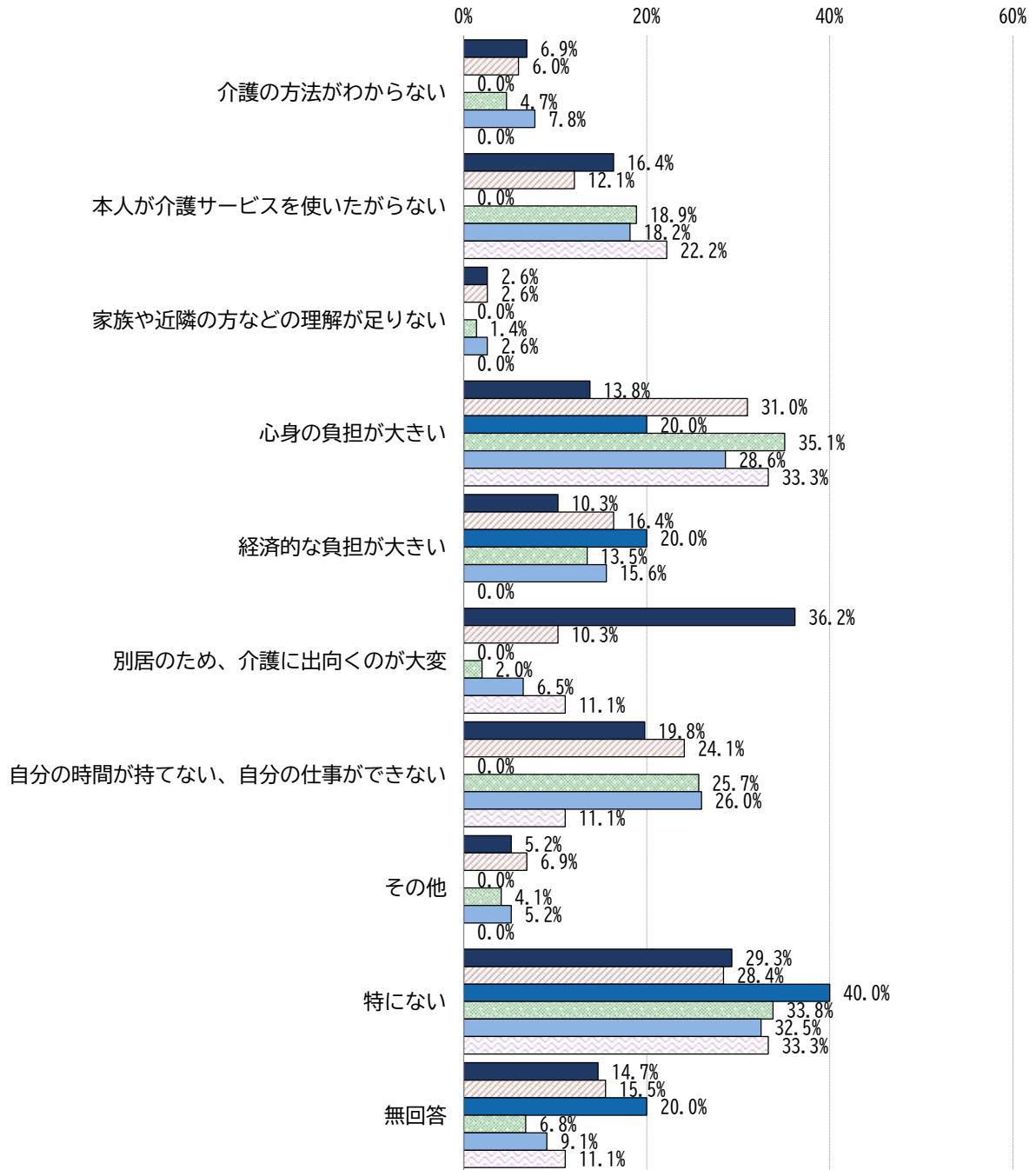




【家族構成別集計】



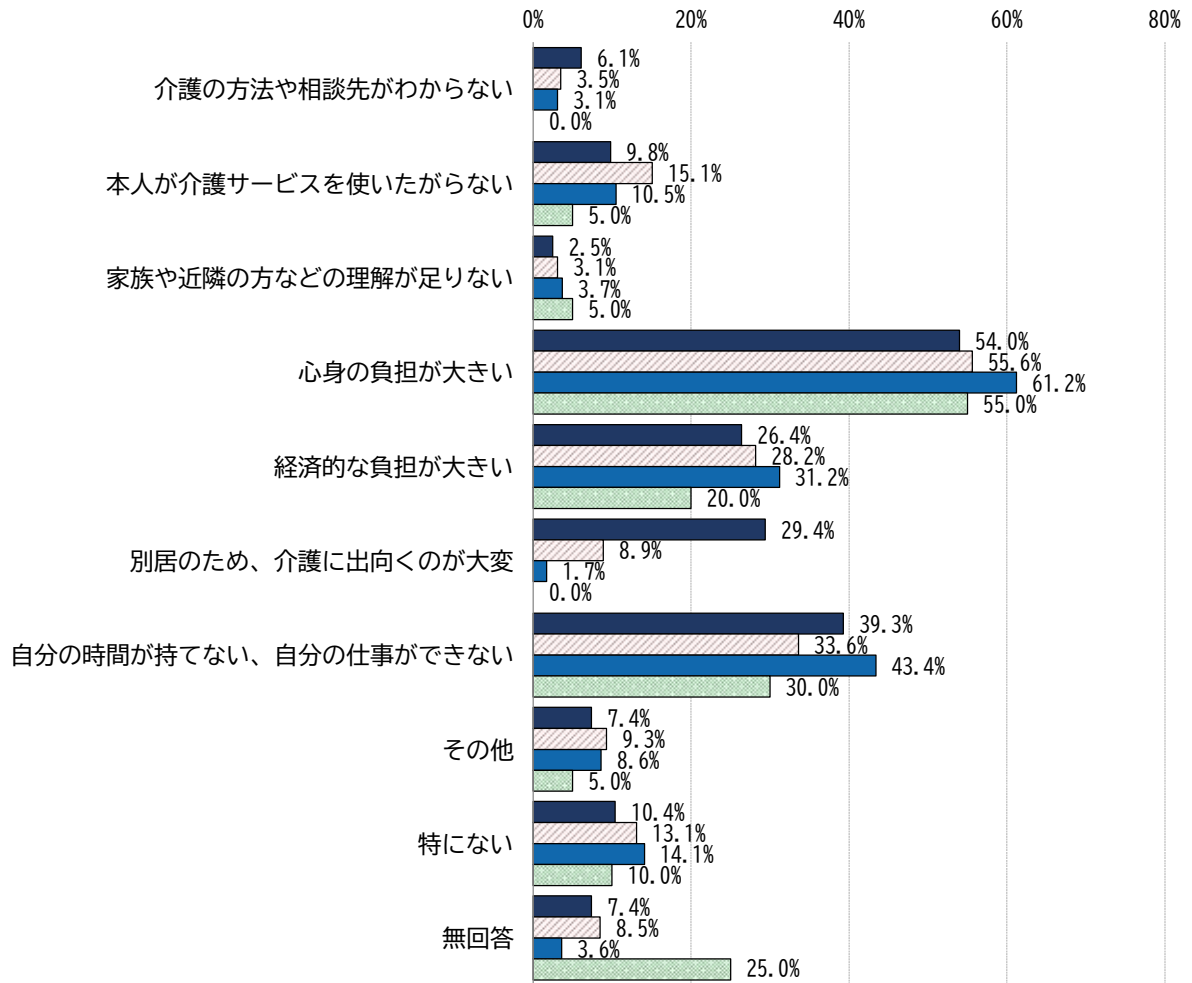
○在宅要支援



【家族構成別集計】



○在宅要介護



介護者が不安に感じる介護

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。(現状で行っているか否かは問いません。)(〇は3つまで)

<在宅要支援認定者調査 問72 ・ 在宅要介護認定者調査 問32>

【単純集計】

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
〔身体介護〕 日中の排泄	52	11.0%	218	21.1%
夜間の排泄	90	19.1%	350	33.9%
食事の介助(食べる時)	28	5.9%	116	11.2%
入浴・洗身	118	25.1%	264	25.6%
身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	32	6.8%	85	8.2%
衣服の着脱	31	6.6%	157	15.2%
屋内の移乗・移動	61	13.0%	197	19.1%
外出の付き添い、送迎等	202	42.9%	297	28.8%
服薬	52	11.0%	131	12.7%
認知症状への対応	109	23.1%	327	31.7%
医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	28	5.9%	79	7.7%
〔生活援助〕 食事の準備(調理等)	129	27.4%	273	26.5%
その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	121	25.7%	173	16.8%
金銭管理や生活面に必要な諸手続き	95	20.2%	183	17.7%
〔その他〕 その他	18	3.8%	58	5.6%
不安に感じていることは、特にない	43	9.1%	39	3.8%
主な介護者に確認しないと、わからない	2	0.4%	3	0.3%
無回答	33	7.0%	50	4.8%
回 答 数	471	—	1,032	—

単純集計でみると、在宅要支援認定者では、「外出の付き添い、送迎等」の割合が最も高く、ついで「食事の準備(調理等)」となっています。在宅要介護認定者では、「夜間の排泄」の割合が最も高く、ついで「認知症状への対応」となっています。

要介護度別でみると、在宅要介護認定者では「夜間の排泄」の割合が要介護3、要介護4で約4割と他に比べて高くなっています。

家族構成別でみると、在宅要支援認定者では、「認知症への対応」は息子・娘との2世帯の割合が高くなっています。

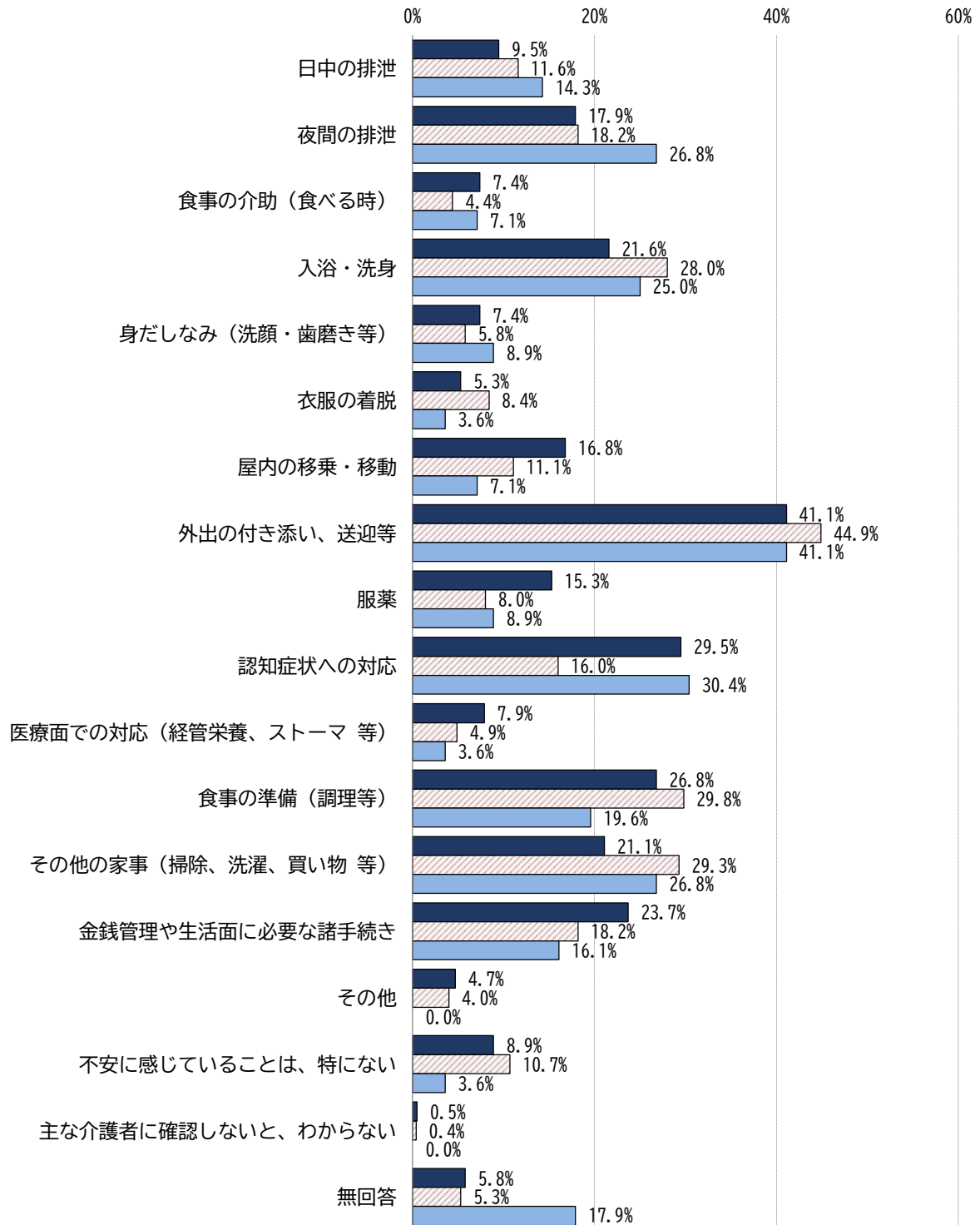
【要介護度別集計】

■ 要支援1 (n=190)

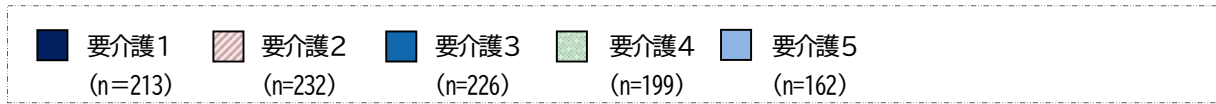
▨ 要支援2 (n=225)

■ 事業対象者 (n=56)

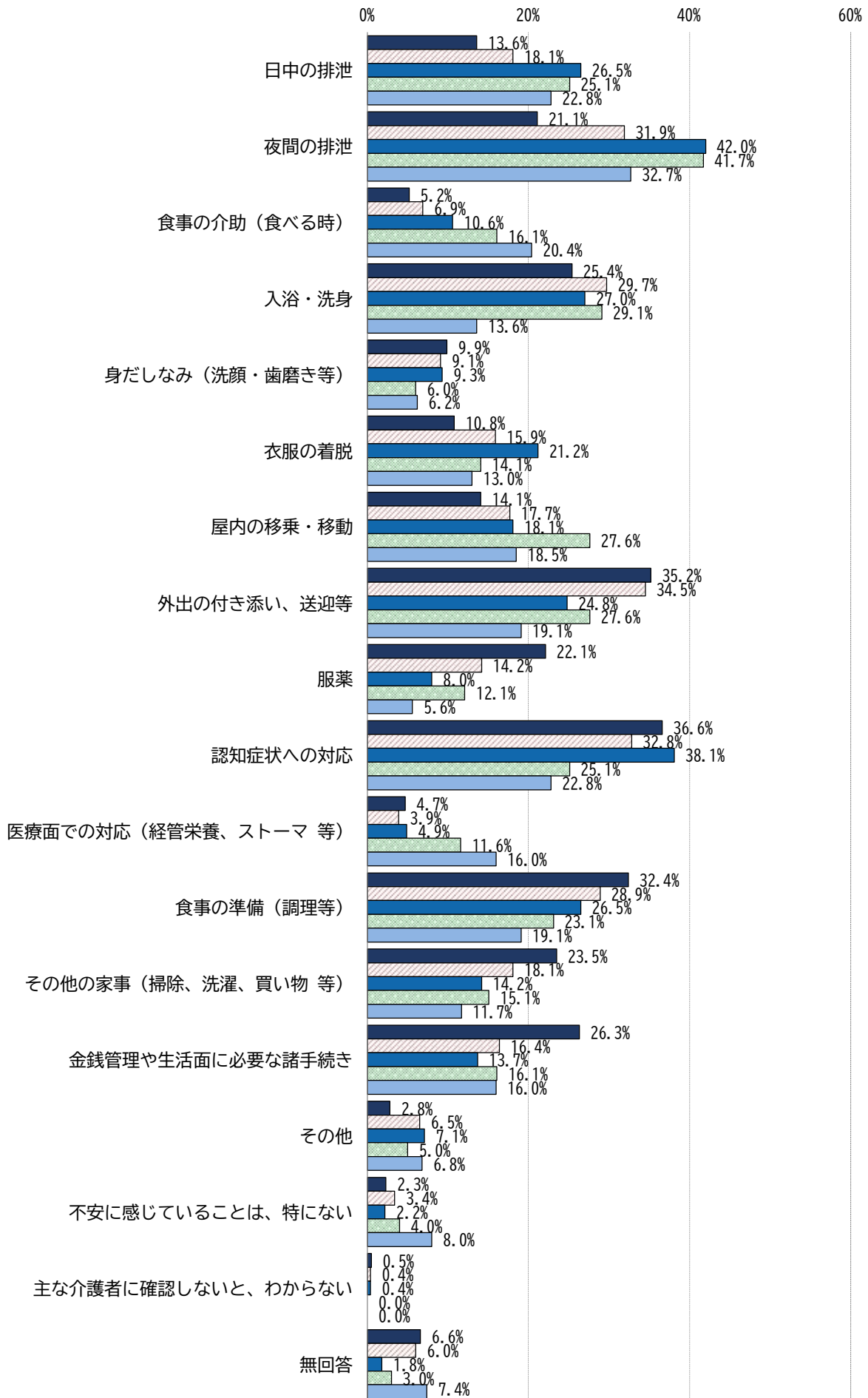
○在宅要支援



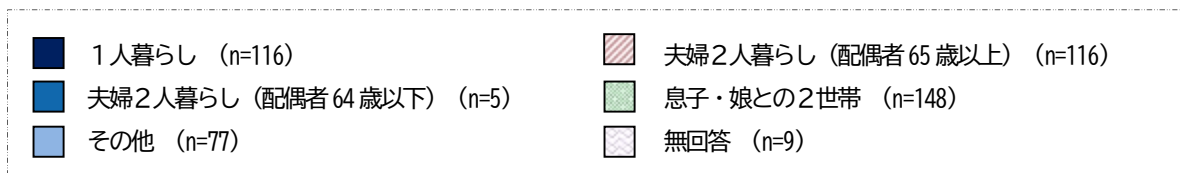
【要介護度別集計】



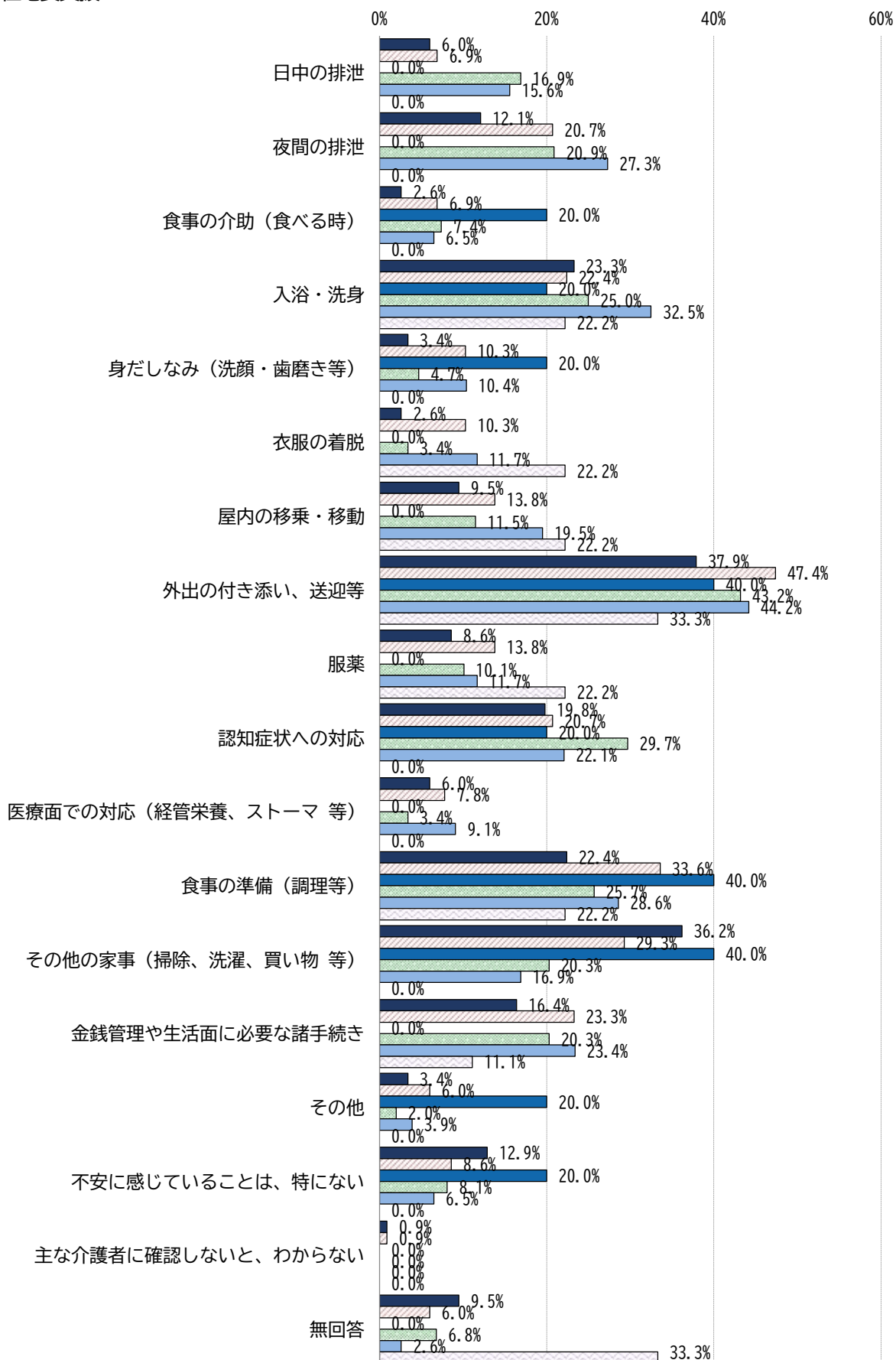
○在宅要介護



【家族構成別集計】



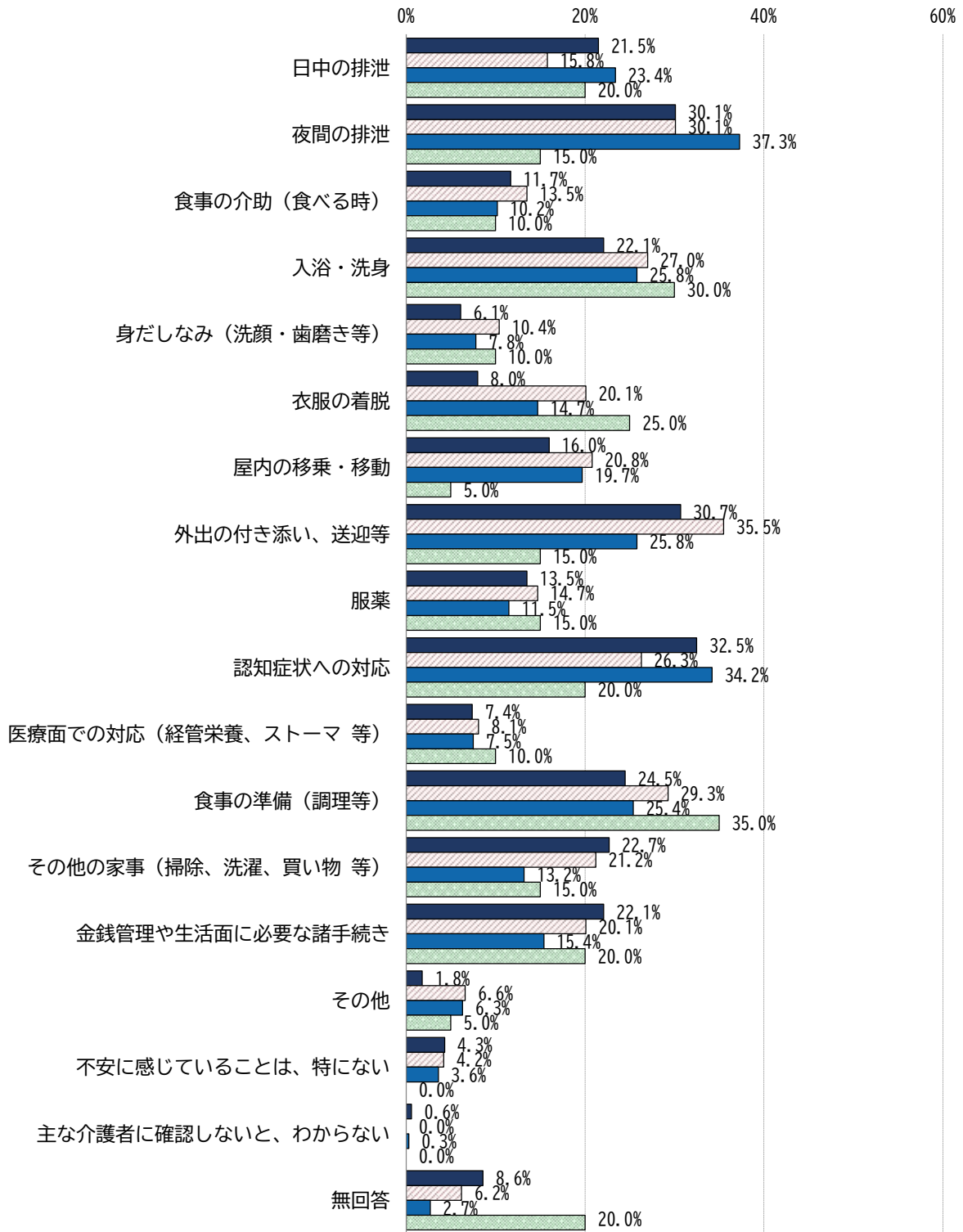
○在宅要支援



【家族構成別集計】



○在宅要介護



ダブルケアの状況

主な介護者の方のダブルケアの状況について、ご回答ください。（該当するものに○をつける）

<在宅要介護認定者調査 問33>

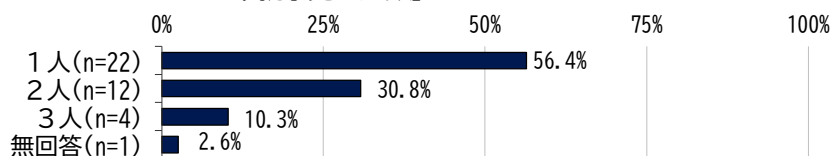
【単純集計】

回 答	在宅要介護	
	件数	割合
現在または過去5年以内に、高齢者の介護と同時に行っている	156	15.1%
(1) 育児（未就学児）	(39)	(25.0%)
(2) 障がいのある人（18歳未満）の介助	(1)	(0.6%)
(3) 障がいのある人（18歳以上）の介助	(53)	(34.0%)
(4) その他の人のケア	(70)	(44.9%)
(5) 無回答	(5)	(3.2%)
ダブルケアをしていない、したことがない	629	60.9%
無回答	247	23.9%
合 計	1,032	100.0%

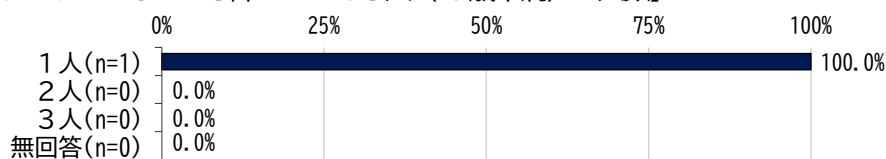
単純集計でみると、「ダブルケアをしていない、したことがない」の割合が高く、「現在または過去5年以内に、高齢者の介護と同時に行っている」の割合は1割半ばとなっています。

ダブルケアの内容については、「その他の人のケア」の割合が最も高く、ついで「障がいのある人（18歳以上）の介助」「育児（未就学児）」となっています。

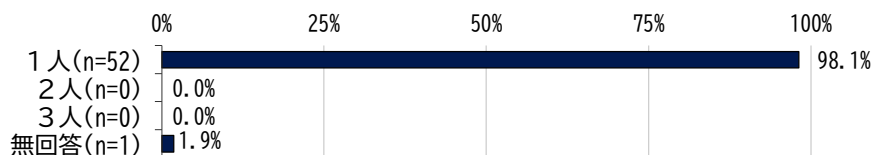
【ダブルケアをしている未就学児の人数】



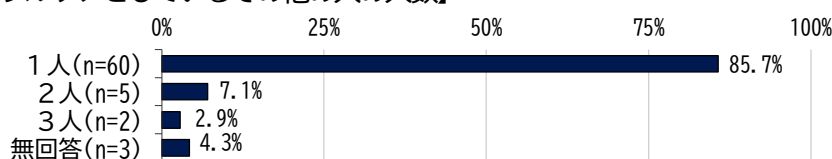
【ダブルケアをしている障がいのある人（18歳未満）の人数】



【ダブルケアをしている障がいのある人（18歳以上）の人数】



【ダブルケアをしているその他の人の人数】



※その他の人のケア：2人目の高齢者、認知症状のある親、うつ病など



## ダブルケアの具体例

問33で「現在または過去5年以内に、高齢者の介護と同時に行っている」と回答した方にお伺いします。主な介護者が高齢者の介護と同時に行っているダブルケアの具体的な内容を教えてください。(自由記載)

<在宅要介護認定者調査 問34>

ダブルケアの内容など		在宅要介護認定者	
		件数	割合
育児（未就学児）	子供の世話、育児の手助け（乳幼児の見守り、食事、入浴など）	34	21.8%
	送迎（保育園・塾・習い事など）	17	10.9%
障がいのある人 （18歳未満・18歳以上）の介助・	病院等の付き添い	14	9.0%
	日常生活のケア（食事、入浴、買物、掃除、洗濯、薬の管理など）	50	32.1%
その他の人のケア	高齢者2人以上のお世話	21	13.5%
	介護サービスを利用しながらお世話	19	12.2%
その他	ケアを受けている人の状態、日々の心かけ、健康状態の不安など	23	14.7%
	その他の意見	6	3.8%
合計		156	—

※割合（%）は、問33で「現在または過去5年以内に、高齢者の介護と同時に行っている」と回答した方156件に対する率

## 育児・障がいのある人の介助・その他の人のケアに関する支援制度やサービスの利用状況

問33で「現在または過去5年以内に、高齢者の介護と同時に行っている」と回答した方にお伺いします。育児・障がいのある人の介助・その他の人のケアに関する支援制度やサービスについて、現在利用しているものをご回答ください。(〇はいくつでも)

<在宅要介護認定者調査 問35>

## 【単純集計】[育児に関する支援]

回 答	在宅要介護	
	件数	割合
保育施設（認可、認可外含む）、託児所等保育関連施設	16	41.0%
時間外の保育等（延長保育、休日保育）	3	7.7%
病児・病後児保育	0	0.0%
一時預かりサービス（民間のベビーシッター含む）	2	5.1%
保育所、習い事等への送迎のサービス（通っている保育所、習い事教室が行う送迎を除く）	1	2.6%
民間が行う自宅での家事援助のサービス	1	2.6%
相談支援（市役所や区役所の窓口、民間施設等の窓口や相談サービス等）	1	2.6%
勤務先の支援制度	1	2.6%
地域の子育て支援制度（ファミリー・サポート・センター、子育て支援ひろば等）	0	0.0%
その他	0	0.0%
利用していない	11	28.2%
無回答	12	30.8%
回 答 数	39	—

単純集計でみると、「保育施設（認可、認可外含む）、託児所等保育関連施設」の割合が最も高く、ついで「利用していない」となっています。

## 【単純集計】[障がいのある人の介助に関する支援]

回 答	在宅要介護	
	件数	割合
障がいサービスの利用相談、サービス等利用計画の作成	7	13.0%
自宅で入浴、排せつ、食事の介助を受けられるサービス	6	11.1%
外出や移動するときに介助や同行を受けられるサービス	4	7.4%
施設等に通い、介助を受けたり日中活動を行うサービス	11	20.4%
施設等に通い、身体機能や生活能力の訓練を受けられるサービス	6	11.1%
介助者が病気の時などに、短期間、施設に入所できるサービス	7	13.0%
日常生活の不便を解消する日常生活用具の購入費の助成制度	3	5.6%
児童福祉法に基づく福祉サービス（児童発達支援、放課後等デイサービス）	0	0.0%
その他	4	7.4%
利用していない	10	18.5%
無回答	22	40.7%
回 答 数	54	—

単純集計でみると、「施設等に通い、介助を受けたり日中活動を行うサービス」の割合が最も高く、ついで「利用していない」となっています。

【単純集計】[その他の人のケアに関する支援]

回 答	在宅要介護	
	件数	割合
相談支援（市役所や区役所の窓口、民間施設や病院等の窓口や相談サービス等）	10	14.3%
その他	9	12.9%
利用していない	17	24.3%
無回答	34	48.6%
回 答 数	70	—

単純集計でみると、「利用していない」の割合が最も高く、ついで「相談支援（市役所や区役所の窓口、民間施設や病院等の窓口や相談サービス等）」となっています。

## ダブルケアについての負担

問33で「現在または過去5年以内に、高齢者の介護と同時に行っている」と回答した方にお伺いします。ダブルケアについて負担を感じていますか。(〇はひとつ)

<在宅要介護認定者調査 問36>

## 【単純集計】

回 答	在宅要介護	
	件数	割合
高齢者の介護に関して負担を感じる	32	20.5%
育児・障がいのある人の介助・その他の人のケアに関して負担を感じる	3	1.9%
両方に負担を感じる	52	33.3%
あまり負担を感じない	11	7.1%
負担を感じない	4	2.6%
無回答	54	34.6%
合 計	156	100.0%

単純集計でみると、「両方に負担を感じる」の割合が最も高く、ついで「高齢者の介護に関して負担を感じる」の割合が高くなっています。

## ダブルケアについての負担または希望する支援

ダブルケアについて、どのような負担を感じていますか。また、どのような支援があったらよいと思いますか。(自由記載)

<在宅要介護認定者調査 問37>

内容 (意見・要望など)		在宅要介護	
		件数	割合
負担に感じていること	金銭面、費用などの負担に対する不安	7	4.5%
	仕事と介護の両立	2	1.3%
	2人の世話が思うようにできない	9	5.8%
	精神的・体力的にきつい・つらい	18	11.5%
	介護者が休む時間が欲しいなど	5	3.2%
希望する支援	サービスの充実、サービス利用手続きの簡素化	5	3.2%
	サポートが必要 (ケアマネジャー、ヘルパー など)	6	3.8%
	経済的支援	9	5.8%
	家族介護者の負担軽減	4	2.6%
	病院・施設等への送迎サービスの実施	2	1.3%
	子どもへの支援、学童保育の預かり年齢の見直し など	5	3.2%
	相談したい、窓口を知りたい など	9	5.8%
	施策のPR、サービスなど情報提供に関すること	3	1.9%
その他	現状のサービスに満足している	3	1.9%
	その他の意見	15	9.6%
	分からない、特になし など	1	0.6%
合計		156	—

※在宅要介護認定者の割合 (%) は、有効回収数 156 件に対する率

自由意見

高齢者の保健福祉行政についてのご意見をお聞かせください。

<高齢者一般調査 問62>

内容（意見・要望など）		件数	割合
高齢者福祉に関すること	高齢者が安心して生活できる施策の充実など	15	0.8%
	支援が必要な方に対する福祉施策の充実など	5	0.3%
	ひとり暮らし高齢者等の見守り支援施策の充実、緊急時のサポート体制など	13	0.7%
	生きがいづくり・居場所づくり施策の充実など	10	0.5%
	要介護者を抱える家族への援助・支援	3	0.2%
	健康づくり・介護予防施策の充実、認知症予防施策の充実など	17	0.9%
	高齢者の就労、社会資源としての高齢者の活用、支え手としての活躍など	6	0.3%
	家族・地域での支え合い、自立・自助のあり方など	4	0.2%
	高齢者向けバス・タクシー等交付事業の制度化など	13	0.7%
医療・介護に関すること	医療・介護の連携体制の構築、病院に関するご意見など	5	0.3%
	新型コロナウイルス感染症についての悩みなど	5	0.3%
	介護人材の充実、介護施設への適正な指導監督など	7	0.4%
	介護保険サービスの充実、介護保険料の抑制とサービス充実の両立など	11	0.6%
	介護保険料の軽減、利用状況に応じた負担とするべきなど	43	2.2%
	特別養護老人ホーム・介護付有料老人ホーム等の整備、入所費用の軽減など	29	1.5%
年金・健康保険に関すること	年金受給額が少ない、健康保険料を軽減してほしいなど	18	0.9%
行政全般に関すること	公共交通機関の充実、免許返納者への対策など	23	1.2%
	公共施設の改修・充実、道路の整備など	5	0.3%
	子ども・若年者関係施策の充実	7	0.4%
	施策のPR、周知不足など情報発信に関すること	34	1.8%
	相談したい、窓口を知りたい、充実してほしいなど	19	1.0%
	魅力的なまちづくりなど	3	0.2%
アンケートに関すること	アンケート結果の報告・説明・活用について	12	0.6%
	内容が難解、アンケートについてのご意見	24	1.2%
その他	感謝（今後の参考としたい、助かっているなど）	13	0.7%
	不満（ニーズの把握不足、施策が不公平、対応が不親切など）	66	3.4%
	パソコン・スマホの操作方法がわからない、教えてほしいなど	7	0.4%
	自身の生活の様子、今後のこと（心配、不安、悩み）など	78	4.0%
	その他の意見	7	0.4%
合計		531	—

※割合（%）は、有効回収数1,936件に対する率

自由意見

介護保険制度などについて自由なご意見をお聞かせください。

<在宅要支援認定者調査自由記載欄>

内容（意見・要望など）		在宅要支援	
		件数	割合
介護保険制度に関するもの	介護保険制度は必要、現状のサービスに満足している	33	1.8%
	サービスの充実、サービス利用手続きの簡素化、今後の費用負担に対する不安	29	1.6%
	制度が複雑で難解、介護保険制度に関する情報発信が不足、不十分、要介護認定に関する意見など	34	1.9%
	保険料負担の軽減、保険料負担のあり方など	26	1.4%
施設入所に関するもの	入所費用が不安、待機者を無くして欲しい、入所条件が厳しいなど	6	0.3%
日ごろの介護に関するもの	家族介護者の負担軽減、仕事と介護の両立が困難、など	9	0.5%
	老々介護で今後が不安、今は自活できているが今後が不安、介護サービス利用に対する考え方など	8	0.4%
	ひとり暮らし、孤独	4	0.2%
	相談窓口や相談先について	4	0.2%
	介護職員やケアマネジャーに対する感謝	8	0.4%
	事業所・職員について	14	0.8%
アンケート調査に関するもの	内容が難解、アンケートについてのご意見	10	0.5%
その他	生活の様子、日々の心がけ、健康状態の不安など	55	3.0%
	その他の意見	38	2.1%
	わからない、特になしなど	11	0.6%
合計		289	—

※在宅要支援認定者の割合（％）は、有効回収数1,823件に対する率

自由意見

介護保険制度などについて自由なご意見をお聞かせください。

<在宅要介護認定者調査自由記載欄>

内容（意見・要望など）		在宅要介護	
		件数	割合
介護保険制度に関するもの	介護保険制度は必要、現状のサービスに満足している	46	2.9%
	サービスの充実、サービス利用手続きの簡素化、今後の費用負担に対する不安	32	2.0%
	制度が複雑で難解、介護保険制度に関する情報発信が不足、不十分、要介護認定に関する意見など	35	2.2%
	保険料負担の軽減、保険料負担のあり方など	32	2.0%
施設入所に関するもの	入所費用が不安、待機者を無くして欲しい、入所条件が厳しいなど	7	0.4%
日ごろの介護に関するもの	家族介護者の負担軽減、仕事と介護の両立が困難、など	13	0.8%
	老々介護で今後が不安、今は自活できているが今後が不安、介護サービス利用に対する考え方など	14	0.9%
	介護職員やケアマネジャーに対する感謝、待遇の改善	11	0.7%
	事業所・職員に関すること	14	0.9%
アンケート調査に関するもの	内容が難解、アンケートについてのご意見	8	0.5%
その他	生活の様子、日々の心がけ、健康状態の不安など	20	1.3%
	認知症関連	12	0.8%
	交通・免許返納・移動手段等	5	0.3%
	1人暮らし、孤独	2	0.1%
	仕事について	4	0.3%
	その他の意見	50	3.2%
	わからない、特になしなど	1	0.1%
合計		306	—

※在宅要介護認定者の割合（％）は、有効回収数1,561件に対する率



# V 付録 調査票



## 令和4年度 高齢者一般調査 調査票

浜松市では、令和6年度から8年度(2024年度から2026年度)の高齢者保健福祉計画(介護保険事業計画)を策定するための資料として、市民の皆様を対象としたアンケート調査を実施いたします。

この調査は厚生労働省から示された項目を基に、今後の施策を検討するための重要な調査です。ご多用のところ恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和4年12月

### ■調査の対象者

浜松市内在住の65歳以上の方の中から、3,000名を無作為抽出しております。

### ■個人情報と調査票の番号

調査票右下の番号は事業計画策定のために集計・分析するためのものです。個人のお名前が出ることは一切ありません。

### 一ご記入にあたってのお願い一

この調査票に、お名前のご記入は必要ありません。

ご回答は、封筒のあて名の方ご本人について記入してください。

ご病気などで、あて名の方ご本人が自分で答えるのが難しい場合は、ご家族またはお世話をなさっている方が記入をお手伝いするか、ご本人の立場に立ち、代わって記入してください。

設問をお読みいただき、該当する数字に○をつけてください。

設問によって「○はひとつ」「○は3つまで」「○は1〜5つでも」「など、○をつける数

が異なりますのでご注意ください。

ご回答いただきました調査票は、令和5年1月10日(火)までご同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにポストにご投かんしてください。

### 【お問合せ先】

(担当)浜松市 健康福祉部 高齢者福祉課 生きがい・長寿政策グループ  
(電話)053-457-2789 (平日8:30~17:15)

(通し番号)

### あなたのご家族や生活状況について

問1 家族構成をお教えください。(○はひとつ)

1. 1人暮らし
2. 夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)
3. 夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)
4. 息子・娘との2世帯
5. その他

問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

(○はひとつ)

1. 介護・介助は必要ない
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている  
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

問3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○はひとつ)

1. 大変苦しい
2. やや苦しい
3. ふつう
4. ややゆとりがある
5. 大変ゆとりがある

### からだをうごかすことについて

問4 階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。(○はひとつ)

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

問5 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。

(○はひとつ)

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

問6 15分位続けて歩いていきますか。(○はひとつ)

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

問7 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○はひとつ)

1. 何度もある
2. 1度ある
3. ない

問8 転倒に対する不安は大きいですか。(○はひとつ)

1. とても不安である
2. やや不安である
3. あまり不安でない
4. 不安でない

問9 週に1回以上は外出(散歩なども含めます)していますか。(○はひとつ)

1. ほとんど外出しない
2. 週1回
3. 週2～4回
4. 週5回以上

問10 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○はひとつ)

1. とても減っている
2. 減っている
3. あまり減っていない
4. 減っていない

食べることについて

問11 身長・体重

身長 \_\_\_\_\_ cm 体重 \_\_\_\_\_ kg

問12 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○はひとつ)

1. はい
2. いいえ

問13 歯の数と入れ歯(部分入れ歯を含みます)の利用状況をお教えください。  
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。)(○はひとつ)

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

問14 どなたかと食事をもとにする機会がありますか。(○はひとつ)

1. 毎日ある
2. 週に何度かある
3. 月に何度かある
4. 年に何度かある
5. ほとんどない

毎日の生活について

問15 物忘れが多いと感じますか。(○はひとつ)

1. はい
2. いいえ

問16 外出する際の主な移動手段は何ですか。(○はいくつでも)

1. 自分で車を運転して移動している
2. 公共交通機関やタクシーを利用して移動している
3. 同居している親族に送迎してもらっている
4. 別居している親族に送迎してもらっている
5. 地域の方や知り合いに送迎してもらっている
6. その他 ( )
7. 移動手段が無く、頼る人もいないので困っている

問 17 バスや電車をを使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)  
(○はひとつ)

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

問 18 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○はひとつ)

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

問 19 自分で食事の用意をしていますか。(○はひとつ)

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

問 20 自分で請求書の支払いをしていますか。(○はひとつ)

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

問 21 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○はひとつ)

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

問 22 生きがい(喜びや楽しみ)を感じるのとはどのような時ですか。  
(○はいくつでも)

1. 仕事をしているとき(農作業なども含む)
2. 教養を身につけること(学習)をしているとき
3. 健康づくりやスポーツをしているとき
4. 家族との団らんのとき
5. 友人や知人と過ごすとき
6. シニアクラブ・老人クラブ活動をしているとき
7. 地域活動(町内会、自治会、ボランティア等)に参加しているとき
8. 旅行に行っているとき
9. 散歩や買い物をしているとき
10. テレビを見たり、ラジオを聞いているとき
11. パソコン、インターネットをしているとき
12. 他人から感謝されたとき
13. 収入があつたとき
14. おいしいものを食べているとき
15. 若い世代と交流しているとき
16. その他
17. 特になし

問 23 日常生活で利用できるインターネット環境はありますか。(○はひとつ)

1. パソコンでインターネットを使用でき、スマートフォンやタブレットも使用している
2. パソコンでインターネットを使用できるが、スマートフォンやタブレットは使用していない
3. パソコンでインターネットは使用できないが、スマートフォンやタブレットを使用している
4. パソコンでインターネットを使用できず、スマートフォンやタブレットも使用していない

問24 問23で「1」「2」「3」と回答した方にお聞きします。パソコン・スマートフォン・タブレットをどのようなことに使用していますか。  
(〇はいくつでも)

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 通話</li> <li>2. メール</li> <li>3. 情報検索</li> <li>4. SNS (ライン、フェイスブック、インスタグラムなど)</li> <li>5. 地図・ナビゲーション</li> <li>6. 動画や音楽視聴</li> <li>7. ネットショッピング (アマゾンなど)</li> <li>8. 電子書籍</li> <li>9. ゲーム</li> <li>10. 電子決済 (PayPay, auPAY など)</li> </ol> |
|--|

地域での活動について

問25 以下のような会・グループ等にとの頻度で参加していますか。

※①-⑧それぞれに回答してください。(それぞれに〇はひとつ)

① ボランティアのグループ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 週4回以上</li> <li>2. 週2～3回</li> <li>3. 週1回</li> <li>4. 月1～3回</li> <li>5. 年に数回</li> <li>6. 参加していない</li> </ol>
② スポーツ関係のグループやクラブ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 週4回以上</li> <li>2. 週2～3回</li> <li>3. 週1回</li> <li>4. 月1～3回</li> <li>5. 年に数回</li> <li>6. 参加していない</li> </ol>
③ 趣味関係のグループ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 週4回以上</li> <li>2. 週2～3回</li> <li>3. 週1回</li> <li>4. 月1～3回</li> <li>5. 年に数回</li> <li>6. 参加していない</li> </ol>

④ 学習・教養サークル	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 週4回以上</li> <li>2. 週2～3回</li> <li>3. 週1回</li> <li>4. 月1～3回</li> <li>5. 年に数回</li> <li>6. 参加していない</li> </ol>
⑤ 介護予防のための通いの場 ・ロトレサロン (ロコモーションントレーニング事業) ・地域の高齢者サロン など	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 週4回以上</li> <li>2. 週2～3回</li> <li>3. 週1回</li> <li>4. 月1～3回</li> <li>5. 年に数回</li> <li>6. 参加していない</li> </ol>
⑥ シニアクラブ・老人クラブ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 週4回以上</li> <li>2. 週2～3回</li> <li>3. 週1回</li> <li>4. 月1～3回</li> <li>5. 年に数回</li> <li>6. 参加していない</li> </ol>
⑦ 町内会・自協会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 週4回以上</li> <li>2. 週2～3回</li> <li>3. 週1回</li> <li>4. 月1～3回</li> <li>5. 年に数回</li> <li>6. 参加していない</li> </ol>
⑧ 収入のある仕事	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 週4回以上</li> <li>2. 週2～3回</li> <li>3. 週1回</li> <li>4. 月1～3回</li> <li>5. 年に数回</li> <li>6. 参加していない</li> </ol>

問 26 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○はひとつ)

1. 是非参加したい
2. 参加してもよい
3. 参加したくない
4. 既に参加している

問 27 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(○はひとつ)

1. 是非参加したい
2. 参加してもよい
3. 参加したくない
4. 既に参加している

### 浜松市ささえあいポイント事業のご案内

受入登録のある施設や地域の高齢者サロン・配食団体等でボランティア活動や介護予防活動をするに換金できるポイントがもたらえます！

※ます研修会を受講してボランティア登録をお願いします(オンライン可)。

詳しくは、市ホームページをご覧ください。

(1)ボランティアポイント

施設ボランティア

活動する人	65歳以上の市民の方
活動場所	受入登録のある市内の介護サービス事業所、 高齢者福祉施設、障害者福祉施設、児童福祉施設、保育施設
活動内容	レクリエーションの補助や芸能披露、話し相手、補助的作業等
ポイント	30分につき1ポイント(1ポイント100円相当) ※条件あり

地域ボランティア

活動する人	65歳以上の市民の方
活動場所	市内全域
活動内容	高齢者サロン運営、高齢者への配食
ポイント	30分につき1ポイント(1ポイント100円相当) ※条件あり

(2)介護予防ポイント (1)のボランティアを合計で5ポイント以上取得した方

【申込先】浜松市社会福祉協議会 TEL.053-457-7011

問 28 地域住民による支え合い活動(掃除や洗濯などの家事援助、交流や運動などの通いの場づくり)の担い手として参加してみたいと思いますか。(○はひとつ)

1. すでに参加している
2. ぜひ参加したい
3. 関心はあるが参加できていない
4. 関心はないが参加してもよい
5. 参加したくない

問 29 問 28で「1」「2」「3」「4」と回答した方にお聞きします。地域住民による支え合い活動(掃除や洗濯などの家事援助、交流や運動などの通いの場づくり)を行うとしたらご自身にできそうなことはありますか。(○はいくつでも)

1. 掃除(ゴミ出し含む)
2. 洗濯
3. 電球の交換
4. 家具の移動
5. 草取り
6. 買い物や薬の受け取り
7. 病院やスーパーなどへの送迎
8. 交流や運動などの通いの場の運営
9. 病院やスーパーなどへの送迎用車両の提供
10. その他( )

問 30 問 28で「5」と回答した方にお聞きします。地域住民による支え合い活動(掃除や洗濯などの家事援助、交流や運動などの通いの場づくり)に参加していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 仕事や家事などをしていて時間がない
2. どこでどのような活動をおこなっているのかわからない
3. 支え合い活動に興味がなくない
4. 自身の健康状態がよくない
5. 自身の生活に余裕がない
6. 経験不足などの理由で活動に参加する自信がない
7. その他( )





問36 反対に、看病や世話をしあう人。○はいくつでも)

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 同居の子とも
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣
6. 友人
7. その他 ( )
8. そのような人はいない

健康について

問37 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○はひとつ)

1. とてもよい
2. まあよい
3. あまりよくない
4. よくない

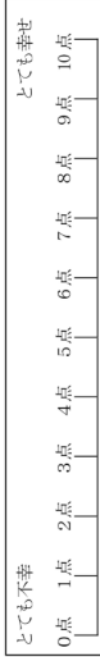
問38 ご自分の健康のためにどんなことを心がけていますか。

- (○は3つまで)
1. 休養や睡眠を十分にとる
  2. 食事に気をつける  
(栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど)
  3. 歯や口の中を清潔に保つ
  4. 健康診断などを定期的に行う
  5. 酒、タバコを控える
  6. 散歩やスポーツをする
  7. 地域の活動に参加する
  8. 教養や学習活動などの楽しみを持つ
  9. 気持ちを明るく持つ
  10. 身の回りのことはなるべく自分で行う
  11. 仕事を休む
  12. その他
  13. 特に心がけていない

問39 健康についてどのようなことが知りたいですか。(○は3つまで)

1. がんや生活習慣病(高血圧など)にならないための工夫について
2. 望ましい食生活について
3. 運動の方法について
4. 健康診断・各種検診の内容や受け方などについて
5. 寝たきりや介護の予防について
6. 歯の健康について
7. 認知症の予防について
8. うつ病の予防について
9. その他 ( )

問40 あなたは、現在のどの程度幸せですか。  
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、該当する点数に○をつけてください。)



問41 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○はひとつ)

1. はい
2. いいえ

問42 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○はひとつ)

1. はい
2. いいえ

問43 タバコは吸っていますか。(○はひとつ)

1. ほぼ毎日吸っている
2. 時々吸っている
3. 吸っていたがやめた
4. もともと吸っていない

問44 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)

1. ない
2. 高血圧  
のうそくちゆう のうしゆけつ のうこうそく
3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)  
のうそくちゆう
4. 心臓病  
しんざうびよう
5. 糖尿病  
とんぱんびよう
6. 高脂血症 (脂質異常)  
かうしじゆう しじゆう しじゆう
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)  
こくそく くわんそく きかんしんえん
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気  
いどう かんざう たんのお びやく
9. 腎臓・前立腺の病気  
じんざう ぜんりつせん
10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)  
こつこく こつこく こつこく
11. 外傷 (転倒・骨折等)  
がいしやう てんたう こつせつ
12. がん (悪性新生物)  
がん あくせいしんせいぶつ
13. 血液・免疫の病気  
けつえき めんぎ
14. うつ病  
うつびよう
15. 認知症 (アルツハイマー病等)  
にんちしやう
16. パーキンソン病  
ぱーきんそんびよう
17. 目の病気  
め びやく
18. 耳の病気  
みみ びやく
19. その他 ( )

問45 「フレイル」という言葉を聞いたことがありますか。(〇はひとつ)

1. 初めて聞いた
2. 聞いたことがある
3. 意味も知っている

※「フレイル」とは、加齢により心身の機能が低下し、健康な状態から要介護の状態へと移行する中間の段階を指します。

問46 浜松市では、介護予防のためロコモーションントレーニング (通称：ロコトレ) の取り組みを推進しています。あなたのロコトレへの取り組み状況についてお聞かせください。(〇はいくつでも)

1. ロコトレを知らない
2. ロコトレを知っているが、取り組む必要性を感じない
3. ロコトレに取り組んでみたいが、取り組めていない
4. 地域のサロンやデイサービス事業所等で、ロコトレに取り組んでいる
5. 個人的にロコトレに取り組んでいる

問47 日常生活の中で耳の聞こえに関して困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

1. 人の話を聞き間違える
2. 人との会話がまなすストレスを感じている
3. 出かけて用事を済ませたり人と会ったりするのをためらってしまう
4. その他 ( )
5. 困っていることはない

問48 補聴器を使用していますか。(〇はひとつ)

1. 使用している
2. 使用していない
3. 使用していないが必要と感じる

今後のくらしについて

問 49 今後やってみたいと思うものは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 働くこと
2. 学習や教養を高めるための活動
3. 健康づくりやスポーツ
4. 趣味の活動
5. シニアクラブ・老人クラブ活動
6. 社会奉仕活動(ボランティア、高齢者の生活支援など)
7. 町内会、自治会の活動
8. その他
9. 特になし

問 50 あなたは介護が必要となった場合、どこで介護を受けたいと思いますか。(〇はひとつ)

1. なるべく家族のみで、自宅で介護してほしい
2. 介護保険サービス(デイサービスや短期の宿泊サービスなど)や福祉サービス(緊急通報サービスなど)を使いながら自宅で介護してほしい
3. 特別養護老人ホームや介護付き有料老人ホームなどの施設に入所したい
4. その他( )
5. わからない

問 51 あなたの家族に介護が必要となった場合、どのように介護したいと思いますか。(〇はひとつ)

1. なるべく家族のみで、自宅で介護したい
2. 介護保険サービス(デイサービスや短期の宿泊サービスなど)や福祉サービス(緊急通報サービスなど)を使いながら自宅で介護したい
3. 特別養護老人ホームや介護付き有料老人ホームなどの施設に入所させたい
4. その他( )
5. わからない

問 52 介護保険料の額は、3年に1度見直すこととなり、お住まいの浜松市において、介護保険のサービスを利用する人の数が増えたり、1人あたりのサービス額が増えたりすると、保険料の額は高くなります。また、実際に介護保険のサービスを受ける場合は、原則として保険対象サービス費用の1割、2割または3割を利用者が負担しています。

超高齢社会を迎え、介護保険サービスを充実させるために、費用負担が増えることについてどう思いますか。(〇はひとつ)

1. 介護保険サービスを充実させるために、保険料や利用料などの負担がその分増えてもやむを得ない
2. 介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担がその分増えることはやむを得ないが、利用料の負担は現状程度とするのがよい
3. 介護保険サービスを充実させるために、利用料の負担が増えることはやむを得ないが、保険料の負担は現状程度とするのがよい
4. 保険料や利用料の負担は現状程度とし、介護保険サービス利用者の増加により、介護保険サービス量が低下してもやむを得ない
5. 保険料や利用料の負担を減らし、介護保険サービスの充実は望まない
6. わからない

問 53 地域包括支援センター(高齢者相談センター)は、高齢者の方々が住みなれた地域で安心して暮らしていただけるよう、介護・福祉・健康など様々な面から総合的に支援する機関で、市内に22か所設置されています。地域包括支援センター(高齢者相談センター)の役割を知っていますか。(〇はひとつ)

1. 知っている
2. 名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない
3. 存在を知らない

問 54 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(〇はひとつ)

1. はい
2. いいえ

問 55 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(〇はひとつ)

1. はい
2. いいえ

問56 認知症等により判断能力が低下し、金銭管理や日常生活の様々な手続きが難しくなった場合に使える制度で知っているものはありますか。(〇はいくつでも)

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 成年後見制度</li> <li>2. 日常生活自立支援事業 (社会福祉協議会が実施しているもの)</li> <li>3. その他 ( )</li> <li>4. 知っているものはない</li> </ol> |
|--|

問57 あなたは、ご自身の死期が迫ったときにどのような世話や治療を受けたいか、これまでに考えたことがありますか。(〇はひとつ)

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. はい</li> <li>2. いいえ</li> </ol> |
|---|

問58 あなたは、ご自身の死期が迫ったときにどのような世話や治療を受けたいか、だれかと話し合ったことがありますか。(〇はいくつでも)

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ご家族</li> <li>2. 友人</li> <li>3. 医療介護関係者</li> <li>4. その他</li> <li>5. 話し合ったことはない</li> </ol> |
|--|

問59 認知症カフェ (認知症の人やその家族など誰もが気軽に認知症に関する専門的な知識を持つスタッフに相談できる場) について知っていますか。(〇はひとつ)

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 知っていて、利用したことがある</li> <li>2. 知っているが、利用したことはない</li> <li>3. 知らない</li> </ol> |
|--|

問60 オレンジシール・オレンジメール事業 (認知症により行方がわからなくなった人を早期に保護するための事業で、本人の履物に張りつける登録番号入りのシールの交付や見守り協力者に対する行方不明者情報のメール配信を行うもの) について知っていますか。(〇はひとつ)

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 知っていて、オレンジシールの登録やオレンジメールの登録をしている</li> <li>2. 知っているが、登録していない</li> <li>3. 知らない</li> </ol> |
|---|

問61 老後を安心して過ごすために、今後、市に対して充実を求めることはどのようなことですか。(〇は3つまで)

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 健康づくり、介護予防</li> <li>2. 生涯学習</li> <li>3. 就労支援</li> <li>4. 地域の見守りや支えあい活動</li> <li>5. 日常生活支援</li> <li>6. 相談体制</li> <li>7. 高齢者向けアパルト等</li> <li>8. 介護サービス付の同居施設</li> <li>9. 訪問介護、デイサービス等</li> <li>10. 在宅医療</li> <li>11. 認知症対策</li> <li>12. 高齢者虐待防止や財産管理等</li> <li>13. 防災対策</li> <li>14. その他 ( )</li> </ol> |
|---|

問62 高齢者の保健福祉行政についてのご意見をお聞かせください。

---



---



---



---



---



---



---



---

■アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました■

## 令和4年度 在宅要支援認定者等調査 調査票

浜松市では、令和6年度から8年度（2024年度から2026年度）の介護保険事業計画（高齢者保健福祉計画）を策定するための資料として、市民の皆様を対象としたアンケート調査を実施いたします。

この調査は厚生労働省から示された項目を基に、今後の施策を検討するための重要な調査です。ご多用のところ恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和4年12月

### ■調査の対象者

浜松市内在住の事業対象者、要支援認定者の方の中から3,000名を無作為抽出しております。

### ■個人情報と調査票の番号

調査票右下の番号は事業計画策定のために集計・分析するためのものです。個人のお名前が出ることは一切ありません。

### ◆ご記入にあたってのお願い◆

- 1 この調査票に、お名前のご記入は必要ありません。
- 2 ご回答は、封筒のあて名の方ご本人について記入してください。
- 3 アンケートは、問1から問6.5まではご本人様が、問6.6から問7.2までは介護をしている方にお答えください。  
あて名の方ご本人が自分で答えるのが難しい場合は、ご家族またはお世話をなさっている方が記入をお手伝いするか、ご本人の立場に立ち、代わって記入してください。
- 4 設問をお読みいただき、該当する数字に○をつけてください。  
設問によって「○はひとつ」「○は3つまで」「○はいくつでも」など、○をつける数が異なりますのでご注意ください。
- 5 ご回答いただきまました調査票は、令和5年1月10日（火）までに同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにポストに投函してください。

### 【お問合せ先】

(担当) 浜松市 健康福祉部 介護保険課 総務・給付グループ  
(電話) 053-457-2862 (平日8:30~17:15)

(通し番号)

問1 現在、この調査票にご回答をいただいているのは、どなたですか。(○はいくつでも)

1. 調査対象者本人
2. 主な介護者となっている家族・親族
3. 主な介護者以外の家族・親族
4. その他

ご本人のことについて

問2 家族構成をお教えください。(○はひとつ)

1. 1人暮らし
2. 夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)
3. 夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)
4. 息子・娘との2世帯
5. その他

あなたのご家族や生活状況について

問3 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○はひとつ)

1. 介護・介助は必要ない
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている  
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

問4 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○はひとつ)

1. 大変苦しい
2. やや苦しい
3. ふつう
4. ややゆとりがある
5. 大変ゆとりがある

からださうごかすことについて

問5 階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。(○はひとつ)

1. できるし、している
2. できるけどしていません
3. できない

問6 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○はひとつ)

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

問7 15分位続けて歩いていきますか。(○はひとつ)

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

問8 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○はひとつ)

1. 何度もある
2. 1度ある
3. ない

問9 転倒に対する不安は大きいですか。(○はひとつ)

1. とても不安である
2. やや不安である
3. あまり不安でない
4. 不安でない

問10 週に1回以上は外出(散歩なども含めます)していますか。(○はひとつ)

1. ほとんど外出しない
2. 週1回
3. 週2～4回
4. 週5回以上

問11 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○はひとつ)

1. とても減っている
2. 減っている
3. あまり減っていない
4. 減っていない

食べることについて

問12 身長・体重

身長 \_\_\_\_\_ cm 体重 \_\_\_\_\_ kg

問13 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○はひとつ)

1. はい
2. いいえ

問14 歯の数と入れ歯(部分入れ歯を含みます)の利用状況をお教えてください。

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)(○はひとつ)

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

問15 どなたかと食事をとにもする機会はありますか。(○はひとつ)

1. 毎日ある
2. 週に何度かある
3. 月に何度かある
4. 年に何度かある
5. ほとんどない

毎日の生活について

問16 物忘れが多いと感じますか。(○はひとつ)

1. はい
2. いいえ

問17 外出する際の主な移動手段は何ですか。(○はいくつでも)

1. 自分で車を運転して移動している
2. 公共交通機関やタクシーを利用して移動している
3. 同居している親族に送迎してもらっている
4. 別居している親族に送迎してもらっている
5. 地域の方や知り合いに送迎してもらっている
6. その他 ( \_\_\_\_\_ )
7. 移動手段が無く、頼る人もいないので困っている

問18 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可) (○はひとつ)

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

問19 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○はひとつ)

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

問20 自分で食事の用意をしていますか。(○はひとつ)

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

問21 自分で請求書の支払いをしていますか。(○はひとつ)

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

問22 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○はひとつ)

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

問23 生きがい(喜びや楽しみ)を感じるのほどのような時ですか。(○はいくつでも)

1. 仕事をしているとき (農作業なども含む)
2. 教養を身につけること(学習)をしているとき
3. 趣味づくりやスポーツをしているとき
4. 家族との団らんするとき
5. 友人や知人と過ごすとき
6. シニアクラブ・老人クラブ活動をしているとき
7. 地域活動(町内会、自治会、ボランティア等)に参加しているとき
8. 旅行に行っているとき
9. 散歩や買い物をしているとき
10. テレビを見たり、ラジオを聞いているとき
11. パソコン、インターネットをしているとき
12. 他人から感謝されたとき
13. 収入があつたとき
14. おいしいものを食べているとき
15. 若い世代と交流しているとき
16. その他
17. 特になし

問24 日常生活で利用できるインターネット環境はありますか。(○はひとつ)

1. パソコンでインターネットを使用でき、スマートフォンのタブレットも使用している
2. パソコンでインターネットを使用できるが、スマートフォンのタブレットは使用していない
3. パソコンでインターネットは使用できないが、スマートフォンのタブレットを使用している
4. パソコンでインターネットを使用できず、スマートフォンのタブレットも使用していない

問25 問24で「1」「2」「3」と回答した方にお聞きします。パソコン・スマートフォン・タブレットをどのようなことに使用していますか。(○はいくつでも)

1. 通話
2. メール
3. 情報検索
4. SNS (ライン、フェイスブック、インスタグラムなど)
5. 地図・ナビゲーション
6. 動画や音楽視聴
7. ネットショッピング (アマゾンなど)
8. 電子書籍
9. ゲーム
10. 電子決済 (PayPay, auPAY など)

地域での活動について

問26 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※①-⑧それぞれに回答してください。(それぞれに○はひとつ)

① ボランティアのグループ	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない
② スポーツ関係のグループやクラブ	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない
③ 趣味関係のグループ	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない
④ 学習・教養サークル	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない
⑤ 介護予防のための通いの場 ・ロコモサロン (ロコモーショントレーニング事業) ・地域の高齢者サロン など	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない
⑥ シニアクラブ・老人クラブ	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない

⑦ 町内会・自治会	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない
⑧ 収入のある仕事	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない

問27 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたははその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○はひとつ)

1. 是非参加したい
2. 参加してもよい
3. 参加したくない
4. 既に参加している

問28 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたははその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(○はひとつ)

1. 是非参加したい
2. 参加してもよい
3. 参加したくない
4. 既に参加している

問29 地域住民による支え合い活動(掃除や洗濯などの家事援助、交流や運動などの通いの場)のうち利用したいサービスはありますか。(○は3つまで)

1. 掃除(ゴミ出し含む)
2. 洗濯
3. 電球の交換
4. 家具の移動
5. 草取り
6. 買物や薬の受取り
7. 病院やスーパーなどへの送迎
8. 交流や運動などの通いの場
9. その他( )
10. 利用したものはない





問 38 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○はひとつ)

1. はい 2. いいえ

問 39 この1か月間、どうしても物事に對して興味がわかない、あるいは心から楽しめる感じがよくありませんでしたか。(○はひとつ)

1. はい 2. いいえ

問 40 タバコは吸っていますか。(○はひとつ)

1. ほぼ毎日吸っている  
2. 時々吸っている  
3. 吸っていたがやめた  
4. もともと吸っていない

問 41 現在治療中、または後遺症のある病気がありますか。(○はいくつでも)

1. ない  
2. 高血圧  
3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)  
4. 心臓病  
5. 糖尿病  
6. 高脂血症 (脂質異常)  
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)  
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気  
9. 腎臓・前立腺の病気  
10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)  
11. 外傷 (転倒・骨折等)  
12. がん (悪性新生物)  
13. 血液・免疫の病気  
14. うつ病  
15. 認知症 (アルツハイマー病等)  
16. パーキンソン病  
17. 目の病気  
18. 耳の病気  
19. その他 ( )

問 42 「フレイル」という言葉を聞いたことがありますか。(○はひとつ)

1. 初めて聞いた  
2. 聞いたことがある  
3. 意味も知っている

※ 「フレイル」とは、加齢により心身の機能が低下し、健康な状態から要介護の状態へと移行する中間の段階を指します。

問 43 浜松市では、介護予防のためロコモーショントレーニング (通称：ロコトレ) の取り組みを推進しています。あなたのロコトレへの取り組み状況についてお聞かせください。(○はいくつでも)

1. ロコトレを知らない  
2. ロコトレを知っているが、取り組みの必要性を感じない  
3. ロコトレに取り組んでみたいが、取り組めていない  
4. 地域のサロンやデイサービス事業所等で、ロコトレに取り組んでいる  
5. 個人的にロコトレに取り組んでいる

問 44 日常生活の中で耳の聞こえに関して困っていることはありますか。(○はいくつでも)

1. 人の話を聞き間違える  
2. 人との会話がままならずストレスを感じている  
3. 出かけて用事を済ませたり人と会ったりするのをためらってしまう  
4. その他 ( )  
5. 困っていない

問 45 補聴器を使用していますか。(○はひとつ)

1. 使用している  
2. 使用していない  
3. 使用していないが必要と感じる

今後のくらしについて

問 46 今後やってみたいと思うものは何ですか。(○はいくつでも)

1. 働くこと  
2. 学習や教養を高めるための活動  
3. 健康づくりやスポーツ  
4. 趣味の活動  
5. シニアクラブ・老人クラブ活動  
6. 社会奉仕活動 (ボランティア、高齢者の生活支援など)  
7. 町内会、自治会の活動  
8. その他  
9. 特になし

問47 地域包括支援センター（高齢者相談センター）は、高齢者の方々が住みなれた地域で安心して暮らしていただけるよう、介護・福祉・健康など様々な面から総合的に支援する機関で、市内に2か所設置されています。地域包括支援センター（高齢者相談センター）の役割を知っていますか。（○はひとつ）

1. 知っている
2. 名前が聞いたことがあるが、役割までは知らない
3. 存在を知らない

問48 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。（○はひとつ）

1. はい
2. いいえ

問49 認知症に関する相談窓口を知っていますか。（○はひとつ）

1. はい
2. いいえ

問50 認知症等により判断能力が低下し、金銭管理や日常生活の様々な手続きが難しくなった場合に使える制度で知っているものはありますか。（○はいくつでも）

1. 成年後見制度
2. 日常生活自立支援事業（社会福祉協議会が実施しているもの）
3. その他（ ）
4. 知っているものはない

問51 あなたは、ご自身の死期が迫ったときどのような世話や治療を受けたいか、これまでに考えたことがありますか。（○はひとつ）

1. はい
2. いいえ

問52 あなたは、ご自身の死期が迫ったときどのような世話や治療を受けたいか、だれかと話し合ったことがありますか。（○はいくつでも）

1. ご家族
2. 友人
3. 医療介護関係者
4. その他
5. 話し合ったことはない

問53 認知症カフェ（認知症の人やその家族など誰もが気軽に認知症に関する専門的な知識を持つスタッフに相談できる場）について知っていますか。（○はひとつ）

1. 知っていて、利用したことがある
2. 知っているが、利用したことはない
3. 知らない

問54 オレンジメール・オレンジメール事業（認知症により行方がわからなくなった人を早期に保護するための事業で、本人の履物に張りつける登録番号入りのシールの交付や見守り協力者に対する行方不明者情報のメール配信を行うもの）について知っていますか。（○はひとつ）

1. 知っていて、オレンジメールの登録やオレンジメールの登録をしている
2. 知っているが、登録していない
3. 知らない

災害・避難時の対応について

問55 あなたは、災害時や緊急時に、1人で避難することができますか。（○はひとつ）

1. 避難できる
2. 1人で判断できるが、避難できない
3. 1人で判断できず、避難できない
4. わからない

問56 問55で「2」「3」と回答した方にお伺いします。あなたは、災害時や緊急時に、手助けを頼める人（同居者を含む）はいますか。（○はひとつ）

1. 常時いる
2. 常時ではないが、頼める人がいる
3. いない

問57 あなたは、災害が起きた時の心配事や問題点がありますか。（○はいくつでも）

1. 家が崩壊しや浸水の心配がある
2. 避難所での生活が心配
3. 避難所に行くことが難しい
4. 情報をうまく入手できない
5. その他

介護保険制度や介護保険サービスについて

問58 介護保険制度全般についてどのように思っていますか。（○はひとつ）

1. 満足している
2. どちらかと言えば満足している
3. どちらかと言えば満足していない
4. 満足していない

問59 担当のケアマネジャーに満足していますか。(○はひとつ)

1. 満足している
2. どちらかと言えば満足している
3. どちらかと言えば満足していない
4. 満足していない

問60 介護保険料の額は、3年に1度見直すこととなっており、お住まいの浜松市において、介護保険のサービスを利用する人の数が増えたり、1人あたりのサービス額が増えたりすると、保険料の額は高くなります。また、実際に介護保険のサービスを受けると、原則として保険対象サービス費用の1割、2割または3割を利用者が負担しています。

超高齢社会を迎え、介護保険サービスを充実させるために、費用負担が増えることについてどう思いますか。(○はひとつ)

1. 介護保険サービスを充実させるために、保険料や利用料などの負担がその分増えなくてもやむを得ない
2. 介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担がその分増えることは、やむを得ないが、利用料の負担は現状程度とするのがよい
3. 介護保険サービスを充実させるために、利用料の負担が増えることはやむを得ないが、保険料の負担は現状程度とするのがよい
4. 保険料や利用料の負担は現状程度とし、介護保険サービスの増加により、介護保険サービス量が低下してもやむを得ない
5. 保険料や利用料の負担を減らし、介護保険サービスの充実は望まない
6. わからない

問61 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。

(○はひとつ)

1. 入所・入居は検討していない
2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居申し込みをしている

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問62 令和4年11月の1か月の間に、住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険

サービスを利用しましたか。(○はひとつ)

1. 利用した → 問64へ
2. 利用していない → 問63へ

問63 問62で「2」と回答した方にお伺いします。あなたが介護保険サービスを利用しなかった理由は何か。(○は3つまで)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいたが手続きや利用方法が分からない
9. その他(具体的に： )

問64 問62で「1」と回答した方にお伺いします。以下の介護保険サービスについて、令和4年11月の1か月の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「1. 利用していない」を選択してください。(それぞれに○はひとつ)

1週間あたりの利用回数 (それぞれに○はひとつ)	
<b>A. 訪問介護</b> (ホームヘルパーによるサービスです)	1. 利用していない 2. 週1回程度 3. 週2回程度 4. 週3回程度 5. 週4回程度 6. 週5回以上
<b>B. 訪問入浴介護</b> (寝たきりの高齢者等の家庭に入浴車等で訪問し、介護仕様の浴槽で入浴サービスを受けられます)	1. 利用していない 2. 週1回程度 3. 週2回程度 4. 週3回程度 5. 週4回程度 6. 週5回以上
<b>C. 訪問看護</b> (看護師等が自宅の高齢者等を訪問し、療養上の世話や診療の補助等を行うサービスです)	1. 利用していない 2. 週1回程度 3. 週2回程度 4. 週3回程度 5. 週4回程度 6. 週5回以上
<b>D. 訪問リハビリテーション</b> (理学療法士や作業療法士等が家庭を訪問し、医師の指示に基づいてリハビリテーションを行うサービスです)	1. 利用していない 2. 週1回程度 3. 週2回程度 4. 週3回程度 5. 週4回程度 6. 週5回以上

1週間あたりの利用回数 (それぞれに○はひとつ)	
E. 通所介護 (デイサービス) (介護施設において、日帰りで食事、入浴等の日常生活上の支援や、生活向上のための支援を行うサービスです)	1. 利用していない 2. 週1回程度 3. 週2回程度 4. 週3回程度 5. 週4回程度 6. 週5回以上
F. 通所リハビリテーション (デイケア) (医療機関等で食事、入浴等の日常生活上の支援や生活向上のためのリハビリテーションを行うサービスです)	1. 利用していない 2. 週1回程度 3. 週2回程度 4. 週3回程度 5. 週4回程度 6. 週5回以上
利用の有無 (それぞれに○はひとつ)	
G. 小規模多機能型居宅介護 (利用者の状況等に応じて、「通所サービス」を中心として、「宿泊サービス」、「訪問サービス」を組み合わせたサービスです)	1. 利用していない 2. 利用した
1か月あたりの利用日数 (○はひとつ)	
H. ショートステイ (特別介護老人ホームや介護老人保健施設等に短期間入所をして、日常生活上の支援や、医学的管理のもとで看護、介護、リハビリテーション等が受けられます)	1. 利用していない 2. 月1～7日程度 3. 月8～14日程度 4. 月15～21日程度 5. 月22日以上
1か月あたりの利用回数 (○はひとつ)	
I. 居宅療養管理指導 (医師、歯科医師、薬剤師等が訪問して療養生を送るために必要な指導を行うサービスです)	1. 利用していない 2. 月1回程度 3. 月2回程度 4. 月3回程度 5. 月4回程度

※ここから再び、全員の方にお伺いします。

問65 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む。) (○はひとつ)

1. ない 一質問以上で終わります ご協力ありがとうございます。なお、アンケートの最後に自由記述欄がございます。介護保険制度に対するご意見などございましたら、こちらもご記入ください。	} 問66へ 進んでください
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない	
3. 週に1～2日ある	
4. 週に3～4日ある	
5. ほぼ毎日ある	

次の問66からは、同居・別居を問わず、主な介護者の方がお答えください。

※「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、ご本人様(調査対象者様)にご回答・ご記入をお願いします(ご本人様のご回答・ご記入が難しい場合は、無回答で結構です)。

問66 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(○はひとつ)

- |          |        |          |          |        |
|----------|--------|----------|----------|--------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20代 | 3. 30代   | 4. 40代   | 5. 50代 |
| 6. 60代   | 7. 70代 | 8. 80歳以上 | 9. わからない |        |

問67 ご家族やご親族の中で、ご本人様(調査対象者様)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません) (○はい/○いいえ)

- |                               |
|-------------------------------|
| 1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)         |
| 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く) |
| 3. 主な介護者が転職した                 |
| 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した         |
| 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない      |
| 6. わからない                      |

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

問 68 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(○はひとつ)

1. フルタイムで働いている 2. パートタイムで働いている 3. 働いていない 4. 主な介護者に確認しないと、わからない	} 問 69へ
---	---------

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問 69 問 68 で「1」「2」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(○はいくつでも)

1. 特に行っていない 2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、運出・早出・中抜け等）」しながら、働いている 3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている 4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている 5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている 6. 主な介護者に確認しないと、わからない
--

問 70 問 68 で「1」「2」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(○はひとつ)

1. 問題なく、続けていける 2. 問題はあるが、何とか続けていける 3. 続けていくのは、やや難しい 4. 続けていくのは、かなり難しい 5. 主な介護者に確認しないと、わからない
---

問 71 あなたが介護する上で困っていることは何ですか。(○は3つまで)

1. 介護の方法がわからない 2. 本人が介護サービスを使いたがらない 3. 家族や近隣の方などの理解が足りない 4. 心身の負担が大きい 5. 経済的な負担が大きい 6. 別居のため、介護に向くのが大変 7. 自分の時間が持てない、自分の仕事ができない 8. その他（具体的に： 9. 特にない
--

問 72 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。(現状で行っているか否かは問いません。)(○は3つまで)

[身体介護] 1. 日中の排泄 2. 夜間の排泄 3. 食事の介助（食べる時） 4. 入浴・洗身 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） 6. 衣服の着脱 7. 屋内の移乗・移動 8. 外出の付き添い、送迎等 9. 服薬 10. 認知症状への対応 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等） [生活援助] 12. 食事の準備（調理等） 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等） 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き [その他] 15. その他 16. 不安に感じていることは、特になし 17. 主な介護者に確認しないと、わからない
--

【自由記載欄】 介護保険制度などについて自由なご意見をお聞かせください。

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---

■アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました

**令和4年度 在宅要介護認定者調査 調査票**

浜松市では、令和6年度から8年度（2024年度から2026年度）の介護保険事業計画（高齢者保健福祉計画）を策定するための資料として、市民の皆様を対象としたアンケート調査を実施いたします。

この調査は厚生労働省から示された項目を基に、今後の施策を検討するための重要な調査です。ご多用のところ恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和4年12月

■調査の対象者

浜松市内在住の要介護認定者の方の中から3,000名を無作為抽出しております。

■個人情報と調査票の番号

調査票右下の番号は事業計画策定のために集計・分析するためのものです。個人のお名前が出ることは一切ありません。

◆回答に当たってのお願い◆

- 1 この調査票に、お名前のご記入は必要ありません。
- 2 ご回答は、封筒のあて名の方ご本人について記入してください。
- 3 アンケートは、問1から問25まではご本人様が、問26から問37までは介護をしている方がお答えください。  
あて名の方ご本人が自分で答えるのが難しい場合は、ご家族またはお世話をなさっている方が記入をお手伝いするか、ご本人の立構に立って、代わって記入してください。
- 4 設問をお読みいただき、該当する数字に○をつけてください。  
設問によって「○はひとつ」「○は3つまで」「○はいくつでも」など、○をつける数が異なりますので、ご注意ください。
- 5 ご回答いただきました調査票は、令和5年1月10日（火）までに同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにポストに投かんしてください。

【お問合せ先】

（相 当）浜松市 健康福祉部 介護保険課 総務・給付グループ  
（電 話）053-457-2862（平日8:30～17:15）

（通し番号）

問1 現在のこの調査票にご回答を頂いているのはどなたですか。（○はいくつでも）

1. 調査対象者本人
2. 主な介護者となっている家族・親族
3. 主な介護者以外の家族・親族
4. その他

調査対象者様ご本人について

問2 世帯類型について、ご回答ください。（○はひとつ）

1. 単身世帯
2. 夫婦のみ世帯
3. その他

問3 日常生活で利用できるインターネット環境はありますか。

（○はひとつ）

1. パソコンでインターネットを使用でき、スマートフォンやタブレットも使用している
2. パソコンでインターネットを使用できるが、スマートフォンやタブレットは使用していない
3. パソコンでインターネットは使用できないが、スマートフォンやタブレットを使用している
4. パソコンでインターネットを使用できず、スマートフォンやタブレットも使用していない

問4 問3で「1」「2」「3」と回答した方にお聞きします。パソコン・スマートフォン・タブレットをどのようなことに使用していますか。（○はいくつでも）

1. 通話
2. メール
3. 情報検索
4. SNS（ライン、フェイスブック、インスタグラムなど）
5. 地図・ナビゲーション
6. 動画や音楽視聴
7. ネットショッピング（アマゾンなど）
8. 電子書籍
9. ゲーム
10. 電子決済（PayPay、auPAYなど）

問5 日常生活の中で耳の聞こえに関して困っていることはありますか。(○はいくつでも)

1. 人の話を聞き間違える
2. 人との会話がまなずストレスを感じている
3. 出かけて用事を済ませたり人と会ったりするのをためらってしまう
4. その他 ( )
5. 困っていることはない

問6 補聴器を使用していますか。(○はひとつ)

1. 使用している
2. 使用していない
3. 使用していないが必要と感じる

介護予防・認知症について

問7 「フレイル」という言葉を聞いたことがありますか。(○はひとつ)

1. 初めて聞いた
2. 聞いたことがある
3. 意味も知っている

※「フレイル」とは、加齢により心身の機能が低下し、健康な状態から要介護の状態へと移行する中間の段階を指します。

問8 浜松市では、介護予防のためロコモーション・シニア・シニア・シニア（通称：ロコモレ）の取り組みを推進しています。あなたのロコモレへの取り組み状況についてお聞かせください。(○はいくつでも)

1. ロコモレを知らない
2. ロコモレを知っているが、取り組みの必要性を感じない
3. ロコモレに組み込みたいが、取り組みができていない
4. 地域のサロンやデイサービス事業所等で、ロコモレに取り組んでいる
5. 個人的にロコモレに取り組んでいる

問9 地域包括支援センター（高齢者相談センター）は、高齢者の方々が住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるよう、介護・福祉・健康など様々な面から総合的に支援する機関で、市内に22か所設置されています。地域包括支援センター（高齢者相談センター）の役割を知っていますか。(○はひとつ)

1. 知っている
2. 名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない
3. 存在を知らない

問10 認知症等により判断能力が低下し、金銭管理や日常生活の様々な手続きが難しくなった場合に使える制度で知っているものはありますか。(○はいくつでも)

1. 成年後見制度
2. 日常生活自立支援制度（社会福祉協議会が実施しているもの）
3. その他 ( )
4. 知っているものはない

問11 あなたは、ご自身の死期が迫ったときにどのような世話や治療を受けたいか、これまでに考えたことがありますか。(○はひとつ)

1. はい
2. いいえ

問12 あなたは、ご自身の死期が迫ったときにどのような世話や治療を受けたいか、だれかと話し合ったことがありますか。(○はいくつでも)

1. ご家族
2. 友人
3. 医療介護関係者
4. その他
5. 話し合ったことはない

問13 認知症カフェ（認知症の人やその家族など誰もが気軽に認知症に関する専門的な知識を持つスタッフに相談できる場）について知っていますか。(○はひとつ)

1. 知っていて、利用したことがある
2. 知っているが、利用したことはない
3. 知らない

問14 オレンジシール・オレンジメール事業（認知症により行方がわからなくなった人を早期に保護するための事業で、本人の履物に張りつける登録番号入りのシールの交付や見守り協力者に対する行方不明者情報のメール配信を行うもの）について知っていますか。(○はひとつ)

1. 知っていて、オレンジシールの登録やオレンジメールの登録をしている
2. 知っているが、登録していない
3. 知らない



災害・避難時の対応について

問 15 あなたは、災害時や緊急時に、1人で避難することができますか。

(○はひとつ)

1. 避難できる
2. 1人で判断できるが、避難できない
3. 1人で判断できず、避難できない
4. わからない

問 16 問 15 で「2」「3」と回答した方にお伺いします。あなたは、災害時や緊急時に、手助けを頼める人（同居者を含む）はいますか。

(○はひとつ)

1. 常時いる
2. 常時ではないが、頼める人がいる
3. いない

問 17 あなたは、災害が起きた時の心配事や問題点はありませんか。

(○はいくつでも)

1. 家が崖崩れや浸水の心配がある
2. 避難所での生活が心配
3. 避難所に行くことが難しい
4. 情報をうまく入手できない
5. その他 ( )

介護保険制度や介護保険サービスについて

問 18 介護保険制度全般についてどのように思いますか。(○はひとつ)

1. 満足している
2. どちらかと言えば満足している
3. どちらかと言えば満足していない
4. 満足していない

問 19 担当のケアマネジャーに満足していますか。(○はひとつ)

1. 満足している
2. どちらかと言えば満足している
3. どちらかと言えば満足していない
4. 満足していない

問 20 介護保険料の額は、3年に1度見直すこととなっており、お住まいの浜松市において、介護保険のサービスを利用する人の数が増えたり、1人あたりのサービス額が増えたりすると、保険料の額は高くなります。また、実際に介護保険のサービスを受ける場合は、原則として保険対象サービス費用の1割、2割または3割を利用者が負担しています。

超高齢社会を迎え、介護保険サービスを充実させるために、費用負担が増えることについてどう思いますか。(○はひとつ)

1. 保険料や利用料などの負担がその分増えてもやむを得ない
2. 保険料の負担がその分増えることはやむを得ないが、利用料の負担は現状程度とするのがよい
3. 利用料の負担が増えることはやむを得ないが、保険料の負担は現状程度とするのがよい
4. 保険料や利用料の負担は現状程度とし、介護保険サービス量が低下してもやむを得ない
5. 保険料や利用料の負担を減らし、介護保険サービスの充実は望まない
6. わからない

問 21 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(○はひとつ)

1. 入所・入居は検討していない
2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居申し込みをしている

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問 22 令和4年11月の1か月の間に、住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを利用しましたか。(○はひとつ)

1. 利用した → 問 24へ
2. 利用していない → 問 23へ

問 23 問 22 で「2」と回答した方にお伺いします。あなたが介護保険サービスを利用しなかった理由は何ですか。(○は3つまで)

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない</li> <li>2. 本人にサービス利用の希望がない</li> <li>3. 家族が介護をするため必要ない</li> <li>4. 以前、利用していたサービスに不満があった</li> <li>5. 利用料を支払うのが難しい</li> <li>6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない</li> <li>7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため</li> <li>8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない</li> <li>9. その他(具体的に： )</li> </ol>
---

問 24 問 22 で「1」と回答した方にお伺いします。以下の介護保険サービスについて、令和4年11月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「1. 利用していない」を選択してください。(それぞれに○はひとつ)

1 週間あたりの利用回数 (それぞれに○はひとつ)	
A. 訪問介護 (ホームヘルパーによるサービスです)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用していない</li> <li>2. 週1回程度</li> <li>3. 週2回程度</li> <li>4. 週3回程度</li> <li>5. 週4回程度</li> <li>6. 週5回以上</li> </ol>
B. 訪問入浴介護 (寝たきりの高齢者等の家庭を入浴車で訪問し、介護仕様の浴槽で入浴サービスを受けられます)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用していない</li> <li>2. 週1回程度</li> <li>3. 週2回程度</li> <li>4. 週3回程度</li> <li>5. 週4回程度</li> <li>6. 週5回以上</li> </ol>
C. 訪問看護 (看護師等が在宅の高齢者等を訪問し、療養上の世話や診療の補助等を行うサービスです)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用していない</li> <li>2. 週1回程度</li> <li>3. 週2回程度</li> <li>4. 週3回程度</li> <li>5. 週4回程度</li> <li>6. 週5回以上</li> </ol>
D. 訪問リハビリテーション (理学療法士や作業療法士等が家庭を訪問し、医師の指示に基づいてリハビリテーションを行うサービスです)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用していない</li> <li>2. 週1回程度</li> <li>3. 週2回程度</li> <li>4. 週3回程度</li> <li>5. 週4回程度</li> <li>6. 週5回以上</li> </ol>

E. 通所介護 (デイサービス) (介護施設において、日帰りで食事、入浴等の日常生活上の支援や、生活上の向上のための支援を行うサービスです)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用していない</li> <li>2. 週1回程度</li> <li>3. 週2回程度</li> <li>4. 週3回程度</li> <li>5. 週4回程度</li> <li>6. 週5回以上</li> </ol>
F. 通所リハビリテーション (デイケア) (医療機関等で食事、入浴等の日常生活上の支援や生活向上のためのリハビリテーションを行うサービスです)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用していない</li> <li>2. 週1回程度</li> <li>3. 週2回程度</li> <li>4. 週3回程度</li> <li>5. 週4回程度</li> <li>6. 週5回以上</li> </ol>

利用の有無 (それぞれに○はひとつ)	
G. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 (日中・夜間を通じて、定期的な巡回と随時の通報によりホームヘルパー等に自宅を訪問してもらい、食事等の介護や緊急時の対応等が受けられます)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用していない</li> <li>2. 利用した</li> </ol>
H. 小規模多機能型居宅介護 (利用者の状況等に応じて、「通所サービス」を中心として、「宿泊サービス」、「訪問サービス」を組み合わせたサービスです)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用していない</li> <li>2. 利用した</li> </ol>
I. 看護小規模多機能型居宅介護 (「小規模多機能型居宅介護」と「訪問看護」を組み合わせ、自宅や事業所への通所・短期間宿泊で、介護や医療・看護のケアが受けられます)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用していない</li> <li>2. 利用した</li> </ol>

1 か月あたりの利用回数 (○はひとつ)	
J. ショートステイ (特別養護老人ホームや介護老人保健施設等に短期間入所して、日常生活上の支援や、医学的管理のもとで看護、介護、リハビリテーション等が受けられます)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用していない</li> <li>2. 月1～7日程度</li> <li>3. 月8～14日程度</li> <li>4. 月15～21日程度</li> <li>5. 月22日以上</li> </ol>

1 か月あたりの利用回数 (○はひとつ)	
K. 居宅療養管理指導 (医師、歯科医師、薬剤師等が訪問して療養生活を送るために必要な指導を行うサービスです)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用していない</li> <li>2. 月1回程度</li> <li>3. 月2回程度</li> <li>4. 月3回程度</li> <li>5. 月4回程度</li> </ol>

※ここから再び、全員の方にお伺いします。

問25 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。  
(同居していない子どもや親族等からの介護を含む。)(○はひとつ)

1. ない → 質問以上で終わります  
ご協力ありがとうございました。なお、アンケートの最後に自由記述欄がございます。介護保険制度に対するご意見などございましたら、こちらでもご記入ください。
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない
3. 週に1～2日ある
4. 週に3～4日ある
5. ほぼ毎日ある

次の問26からは、同居・別居を問わず、主な介護者の方にお答えください

※「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、ご本人様（調査対象者様）にご回答・ご記入をお願いします（ご本人様のご回答・ご記入が難しい場合は、無回答で結構です）。

問26 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(○はひとつ)

1. 20歳未満
2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代
6. 60代
7. 70代
8. 80歳以上
9. わからない

問27 ご家族やご親族の中で、ご本人様（調査対象者様）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいませんか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）(○はいくつでも)

1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）
3. 主な介護者が専職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が専職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

問28 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。  
(○はひとつ)

1. フルタイムで働いている
2. パートタイムで働いている
3. 働いていない
4. 主な介護者に確認しないと、わからない

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問29 問28で「1」「2」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていきますか。  
(○はいくつでも)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短期間勤務、退出・早帰・早帰・中抜け等）」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問30 問28で「1」「2」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(○はひとつまで)

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないと、わからない

問31 あなたが介護する上で困っていることは何ですか。(○は3つまで)

1. 介護の方法や相談先がわからない
2. 本人が介護サービスを使いたがらない
3. 家族や近隣の方などの理解が足りない
4. 心身の負担が大きい
5. 経済的な負担が大きい
6. 別居のため、介護に出向くのが大変
7. 自分の時間が持てない、自分の仕事ができない
8. その他 (具体的に: _____)
9. 特になし

問32 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。(現状で行っているか否かは問いません。)(○は3つまで)

[身体介護]
1. 日中の排泄
2. 夜間の排泄
3. 食事の介助 (食べるとき)
4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ (洗顔・歯磨き等)
6. 衣服の着脱
7. 屋内の移乗・移動
8. 外出の付き添い、送迎等
9. 服薬
10. 認知症状への対応
11. 医療面での対応 (経管栄養、ストーマ等)
[生活援助]
12. 食事の準備 (調理等)
13. その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等)
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
[その他]
15. その他
16. 不安に感じていることは、特になし
17. 主な介護者に確認しないと、わからない

ダブルケアについて

※「ダブルケア」とは、「高齢者の介護」と、「育児・障がいのある人の介助・その他の人のケア」を同時に担うことを指します。  
 ※「育児」とは、未就学児 (小学校入学前の子ども) を対象とし、日常的に孫の育児に携わっている場合も対象とします。

問33 主な介護者の方のダブルケアの状況について、ご回答ください。  
 (該当するものに○をつける)

1. 現在または過去5年以内に、高齢者の介護と同時に行っているもの ※(1)～(4)の該当するものにご記入ください。 ※障がいのある未就学児の場合は、(2)障がいのある人 (18歳未満) を選んでください。
(1) 育児 (未就学児) …未就学児の人数 ( ) 人
(2) 障がいのある人 (18歳未満) の介助 …18歳未満の障がいのある人の人数 ( ) 人
(3) 障がいのある人 (18歳以上) の介助 …18歳以上の障がいのある人の人数 ( ) 人
(4) その他の人のケア (状態): …該当する人の人数 ( ) 人 →問34へ進んでください
2. ダブルケアをしていない、したことがない →質問は以上で終わりです。アンケートの最後に【自由記載欄】 がございます。そちらもご記入ください。

問34 問33で「1」と回答した方にお伺いします。主な介護者が高齢者の介護と同時に行っているダブルケアの具体的な内容を教えてください。

(自由記載)

(例) 乳幼児の見守り、子どもの保育園等の送迎、障がいのある人の食事の介助、難病のある人の入浴の介護 など

問 35 問 33 で「1」と回答した方にお伺いします。育児・障がいのある人の介助・その他の人のケアに関する支援制度やサービスについて、現在利用しているものをご回答ください。(〇はいくつでも)

<p>[育児に関する支援]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育施設 (認可外含む)、託児所等保育関連施設</li> <li>2. 時間外の保育等 (延長保育、休日保育)</li> <li>3. 病児・病後児保育</li> <li>4. 一時預かりサービス (民間のベビーシッター含む)</li> <li>5. 保育所、習い事等への送迎のサービス (通っている保育所、習い事教室が行う送迎を除く)</li> <li>6. 民間が行う自宅での家事援助のサービス</li> <li>7. 相談支援 (市役所や区役所の窓口、民間施設等の窓口や相談サービス等)</li> <li>8. 勤務先の支援制度</li> <li>9. 地域の子育て支援制度 (ファミリー・サポート・センター、子育て支援ひろば等)</li> <li>10. その他 ( )</li> <li>11. 利用していない</li> </ol> <p>[障がいのある人の介助に関する支援]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 障がいサービスの利用相談、サービス等利用計画の作成</li> <li>2. 自宅での入浴、排せつ、食事の介助を受けられるサービス</li> <li>3. 外出や移動するときに介助や同行を受けられるサービス</li> <li>4. 施設等に通い、介助を受けたり日中活動を行うサービス</li> <li>5. 施設等に通い、身体機能や生活能力の訓練を受けられるサービス</li> <li>6. 介助者が病気の時などに、短期間、施設に入所できるサービス</li> <li>7. 日常生活の不便を解消する日常生活用具の購入費の助成制度</li> <li>8. 児童福祉法に基づく福祉サービス (児童発達支援、放課後等デイサービス)</li> <li>9. その他 ( )</li> <li>10. 利用していない</li> </ol> <p>[その他の人のケアに関する支援]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 相談支援 (市役所や区役所の窓口、民間施設や病院等の窓口や相談サービス等)</li> <li>2. その他 ( )</li> <li>3. 利用していない</li> </ol>
--

問 36 問 33 で「1」と回答した方にお伺いします。ダブルケアについて負担を感じていますか。(〇はいとつ)

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者の介護に関して負担を感じる</li> <li>2. 育児・障がいのある人の介助・その他の人のケアに関して負担を感じる</li> <li>3. 両方に負担を感じる</li> <li>4. あまり負担を感じない</li> <li>5. 負担を感じない</li> </ol>
---

問 37 ダブルケアについて、どのような負担を感じていますか。また、どのような支援があったらよいかと思いますか。(自由記載)

--

【自由記載欄】 介護保険制度などについて自由なご意見をお聞かせください。

--

■アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。■



発行年月 令和5年3月

発行 浜松市

編集 浜松市 健康福祉部 高齢者福祉課 電話 053-457-2790

介護保険課 電話 053-457-2862

〒430-8652 浜松市中区元城町103番地の2